

国立国語研究所学術情報リポジトリ

Japanese homonymy and its problems

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001232

国立国語研究所報告 20

同音語の研究

国立国語研究所

1961

国立国語研究所報告 20

同音語の研究

国立国語研究所

1961

刊行のことば

日本語には同音語が多いと言われる。この同音語はコミュニケーションの上で障害となることが少なくない。

一体現代普通に用いられることばの中で、同音語はどれほどあるのか、そしてどのような姿で存在するのか。

一口に同音語と言っても、文脈で充分区別ができて混乱を起こさないものもあれば、文脈などでは区別ができず、受け手に混乱や誤解を起こさせるものもある。コミュニケーションの上で問題となる度合いや性質がいろいろに違っている。この調査研究では、同音語におけるこのような問題にできるだけ近づこうとした。

この調査研究は、昭和33年度から昭和35年度にわたって第四研究部第一資料研究室で行なったものである。担当者は次のとおりであるが、実施した3年間には担当者に多少出はいりがあった。

松 尾 拾 (室長)

市 川 孝 (昭和34年4月、お茶の水女子大学に転任)

大久保 愛 (昭和34年11月、第四研究部第二資料研究室に転出)

田 中 章 夫 (昭和34年10月、香川大学から転任)

なお、本書の執筆は、松尾拾と田中章夫が当たった。

この報告の成るについて、資料を提供していただいた、衆議院速記者養成所・朝日新聞社・呉羽紡績株式会社、また、テストに協力して下さった、都立墨田川高校・都立武蔵丘高校ならびに関根俊雄氏・西尾能仁氏・中山崇氏・大東百合子氏に厚くお礼を申し上げたい。

昭和35年3月1日

国立国語研究所長 岩淵悦太郎

目 次

刊行のことば

I 調査研究の概要

1. 調査を必要とする理由……………1
2. 調査結果のあらまし……………2
3. 調査資料……………3
4. 調査の方法……………6

II 同音語の分類

1. 第1次操作……………11
2. 第2次操作……………15
3. 第3次操作……………21

III 同音複合語をめぐる問題

1. 調査の目的と方法……………40
2. 同音複合語を生み出すもの(I)——造語要素……………42
3. 同音複合語を生み出すもの(II)——造語力の強い同音語……………51
4. 結合性の異なる同音単位……………53

IV 特殊な同音語

1. 固有名詞……………56
2. 略語……………56
3. 連語・「助辞を伴う単位」……………57
4. 洋語(外来語)……………58
5. 誤読などで生じる同音語……………59

V テレタイプ関係の資料の調査

1. 調査の目的……………60
2. 実務関係における同音語の問題点……………60

3. テレタイプ資料の収集および分析.....	62
Ⅵ 同音語の判別とその要因についての調査	
——実験テストによる	
1. 調査のあらまし.....	68
2. 予備テスト——「同音語判別テスト」の問題作成のための…	70
3. 同音語判別テスト.....	91
む す び	132
同 音 語 集	135

I 調査研究の概要

1. 調査を必要とする理由

国語には同音語が多い。これは、国語が「子音＋母音＋子音」の結びつきをもたない、単純な音節構造からなることに原因があり、いわば、国語の宿命ともいべきものであるが、さらに、国語の中に漢語の占める割合が著しく大きいことが、この現象を増大させている。このような同音語は、誤解や難解をひき起こす原因となり、意志の伝達のためには、一つの大きな障害となっている。こういうことは早くからいわれてきた。ことに、当用漢字・現代かなづかいが実施されてから十余年を経た今日、ようやくその主旨が社会一般に浸透してきたが、書きことばにおける顕著な傾向は、社会一般に用いられる文章に漢字が少なくなり、かなの占める比率が高くなってきているということであろう。言い換えれば、現在、社会一般に行なわれている漢字かなまじり文が、しだいに漢字まじりかな文になる傾向がある。また、さらに進んで、かなばかりの文が、われわれの日常生活の中にも、すでにしばしば見受けられるまでになった。電気料金の領収書や火災保険証書などがこれである。

生活の合理化が、理論上の問題としてではなく、実際上の必要に促されて、この段階まで進んでくると、国語表記についても、従来は漢字の裏に隠れていたために目だたなかった、いろいろの問題が表に出て来て、新たにその解決を促す事態を生じてくる。同音語が重要な課題として浮かび上がってきたのも、その一つのあらわれであろう。もし、社会一般に用いられる文章が漢字まじりかな文になる傾向が、さらに著しくなるとしたならば、同音語によるまぎれやすさが意志の伝達を妨げることが、いっそうはなはだしくなるであろうと想像される。その支障は、どの程度のものであろうか。われわれは、将来に備えてこれをあらかじめ調査しておく必要を感じる。これが、この調査の第1の目的である。

そうは言っても、この調査には、出発点から多少不合理な点があることを覚悟しなければならない。上に述べたような傾向が強まる場合には、理解のため

の必要から、むずかしい言いまわしや誤解されやすい語は、おのずから避けられ、よりやさしい言いまわしや、意味が明らかに理解できる語が採用されるようになるであろう。しかし、われわれが、いまこの調査を始めるとすれば、そのどの部分が、将来言い換えられる可能性があるかを予測することはできないので、現行の文章を基礎とせざるを得ない。同音語の問題は、和語・漢語・外来語のすべてにわたって起こりうるが、現行の文章を基礎として考察するならば、漢語と漢語、漢語と和語の間の同音語が主たる対象となる。漢語は、書きことばでは、漢字の書き分けによって容易に区別されるが、それが、かなで書かれた場合、あるいは、話しことばに用いられた場合には、誤解をひき起こす可能性が多くなる。われわれは、このような同音語のまぎれやすさが、文脈の中でどのような条件のもとに置かれたときに生じるかを知りたい。その原因の追究には、種々の困難が伴うであろうが、もし、そのいくつかを発見し得たならば、そこに同音語の処理に対する道も開けてくるであろう。ここに、この調査の第2の目的がある。今回の調査では、後に述べるような事情で、実際の話しことばにおける同音語の問題を調べることはせず、書きことばにおける同音語の調査を主眼とせざるを得ないが、書きことばと話しことばとは、重なり合う部分が多いから、この調査は、話しことばの同音語の問題をも究明するに役だつといえるであろう。

2. 調査結果のあらまし

同音語のまぎれやすさは、避けがたいものなのであろうか。書きことばではともかく、話しことばでは、アクセントやイントネーション、あるいは話し手の身振りや表情が、同音語を聞き分ける手がかりになっていることは、だれしも経験するところである。これに似たような判別の手がかりが、書きことばでもあるのではないか。たとえば、適当な文脈が与えられた場合とか、話題の範囲とか、きわめて著しい慣用的な言い方がある場合とかが、これに役だつのではないか。このような条件を考え、それがどうすれば、有効に働くかを検討してみたのが、Ⅱ「同音語の分類」の第1次操作から第3次操作までの経過である。Ⅱでは、単一の語について考察したが、同音語の問題は、それだけではない。造語要素を伴って一語となるものや複合語にもみられる。Ⅲ「同音複合語

をめぐる問題」では、それらの語がどのようにして成立してくるかを考え、さらに、このような構造をもつ語でも、同音語のまぎれやすさを見分ける方法があることを検討した。Ⅳ「特殊な同音語」は、上に考えた以外にどのような同音語の問題があるかを概観した。

ここまでは、むしろ理論的に考えたことなので、実際の文章について、われわれの考えたことを検討しなければならない。Ⅴ「テレタイプ関係の資料の調査」をこれにあてた。こうして、われわれは、同音語のまぎれやすさは、④その語がもつ性質、つまり品詞性・慣用的用法・造語力・語の構成法などを手がかりにしても、③文中にあっては、適切な文脈やその語の位相を手がかりとしても、ある程度見分けられるものであり、真にまぎれやすい、つまり、判別の手がかりのない同音語は、案外少ない、しかも、それには同音類義語というべきものが多いという見通しを得た。しかし、同音語の問題は、それを使う人の知識量・年齢などに左右される面がきわめて大きい。いま、われわれが判別の手がかりとしてたてたものが、はたして、現代の社会一般の言語生活にもあてはまるものであろうか。この点を検討するために、小規模なテストを大学生・高校生に実施してみた。Ⅵ「同音語の判別とその要因についての調査」は、その結果の記述である。以上が、この調査のあらましであるが、かりに、この結果を利用したならば、どの程度同音語の支障を防ぐことができるかについても、むすびのことばを借りて、われわれの考えを述べてみた。

3. 調 査 資 料

この調査は、現代の社会各方面に行なわれている具体的な文章を資料とすることが最も望ましい。そのためには、基礎的な、大規模な調査が必要となる。しかし、われわれに許された期間と経費では、このような準備を整えることは不可能であったので、既成の資料を利用して、基礎資料を作らざるを得なかった。資料として採用したものは、次のものである。

- (1) 同音語・類音語集（衆議院速記者養成所刊・昭29・非売品）
- (2) 明解国語辞典（三省堂）
- (3) 広辞林（三省堂）
- (4) 広辞苑（岩波書店）

(5) 各種学術用語集（文部省）

動物学 植物学 物理学 化学 機械工学 電気工学 船舶工学 土木工学 建築学 採鉱冶金学 図書館学 数学

(6) その他の学術語関係書

法令用語辞典・同追補（学陽書房刊・昭25・27）

岩波小辞典（岩波書店）

政治 経済学（同改訂版） 経済用語 労働運動 社会思想 国際問題
法律 教育 哲学 心理学 音楽 西洋美術 世界史（東洋） 日本史
西洋文学 日本文学（古典） 日本文学（近代）

農業用語のてびき一営農（日本放送協会編・昭31）

農業技術用語辞典（朝倉書店刊・昭27）

新農業事典（風間書房刊・昭26）

放送気象用語集・同増補改定資料（日本放送協会編・昭29・33）

(7) 現代用語関係書

現代用語の基礎知識（自由国民社刊・昭35年版）

ラジオ・テレビ用語辞典（朝日新聞社刊）

新聞語辞典（朝日新聞社刊・1957年版）

新聞用語集（新聞協会編・昭35年版）

以下、これらの資料の解説、または採択理由について述べておく。

(1) 「同音語・類音語集」は、その「まえがき」によれば、衆議院速記者養成所の用語教科書兼参考書として編まれたもので、採録語彙は、国会の速記録、衆議院記録部編「国会のことば」、日本速記協会編「会議録用字の手引き」、その他法令用語辞典の類から選んだもの、また、用例は主として「国会のことば」から採ったものである。したがって、その収録範囲が国会内における発言に限られているため、その語彙が、やや政治・経済・法律関係の語にかたより、また、演説や質疑応答が基調となるため、社会一般の話しことばにはあまり使わない語が時々見受けられる点に多少の難はある。しかし、そのような具体的な場での話しことばを基礎として採録された、数少ない資料として、価値があると思うので、これを基本として、その欠を他の資料で補うことにした。

(2) 「明解国語辞典」は、現代の社会一般の用語中心に編まれていること、収録語数も比較的多いこと、品詞の別、アクセントの記載があるので、基礎資料を作るのに便利なことなどの理由で、全語彙を調査し、(1)の欠を補うのに用いた。

(3) 「広辞林」を(1)(2)の補充資料として選んだのは、この辞書が学術関係の語を比較的豊富に採録していることと、反面、現在では古風になった漢語を多く残したことに注目したからである。今回の調査の目標は、現代語における同音語の問題であるから、古風な漢語は、調査対象からはずしてもよいと思われる。しかし古風ではあるが、なお命脈を保つものと、明らかに使われないものとのけじめは、容易につけられないので、一往補充資料に採用した。

(4) 「広辞苑」は「明解国語辞典」同様、収録語彙が多いことが採用の理由であるが、いわば、落穂拾いに利用し、必ずしも全語彙にはわたらなかった。

(5) 「各種学術用語集」は、所属の学会が、学術用語を当用漢字・現代かなづかいの範囲で改正したものの集成である。この種の専門語は、辞書類には通常組織的には採録されていないので、これを採用した。ただ、現在刊行されたものは12種にとどまるので、そのほかの分野の学術用語は、このように組織的には採録できず、学術用語の中で、精粗の差が著しくなってしまったのは残念であった。

(6) 「その他の学術語関係書」は、前述のようなものを利用して補充した。

(7) 「現代用語関係書」は、最近の社会生活の用語で、まだ辞書類には採録されていないものを補充するために利用した。ただし、流行語は除外した。

このほか、日本放送協会編の「同音語・類音語」(昭16刊)も随時参考し、また、「日本語アクセント辞典」(金田一春彦監修、三省堂・昭33刊)はその目的のために利用した。

ところで、資料をこのようなものに採ると、同音語の問題を考えていく上には大切なことなのであるが、どうしても手の及ばない部分が出てくることが予想される。それは、次のような場合である。

(i) 連語と単一の語との間の同音語、たとえば「会いたい」と「相対」。辞書類は、単一の語を登録するのを原則とするから、連語は、基礎資料から漏

れてしまうことになる。これは、具体的な文章を資料としない限り望めない欠陥であろう。

(ii) 複合語のある種のものは、その構造の違いによって、辞書類には登録されない。たとえば、「重大事件」に対する「十大事件」。辞書では「重大」と「事件」とに分けて登録されるから、「十大事件」はついに出てくることはない。この種のものを組織的にとらえることは、不可能に近い。われわれは、国立国語研究所書きことば研究室が総合雑誌の用語調査を行なった際の基礎資料などを利用して、これを理論的に考えてみることによって、その欠を補った。(第Ⅲ章参照)

このような避けがたい資料上の欠陥を救うためには、採集カードを操作する際に極力注意して、可能な語構成を想定してみるのも一つの方法であろうが、それにもおのずから限界がある。われわれは、次に述べる別途の資料でこれをいくらかでも補う努力をした。

基礎資料の分析の段階で、朝日新聞社から、テレタイプ関係の資料を得ることができた。これは、具体的な文の形を備える資料として、この調査を進める上の有力な補助資料となった。詳細については第Ⅴ章を参照されたい。

4. 調査の方法

4.1 調査対象のとりえ方

調査を始めるにあたり、同音語がたがいにまぎれるかまぎれないかをどういう見方でとらえるのが効果的であるかを、あらかじめ考えてみる。この場合、同音語のまぎれやすさを判断し、正しい理解を得るためには、どのような条件があるかを考え、それらの条件をみだし得ない時に同音語がまぎれやすくなるという考え方をとるのが便宜である。同音語のまぎれやすさを判定する条件としては、次のようなものが考えられる。

(1) 内部的条件

語自身をもつ性質に、同音語を判断する手がかりがあるもので、品詞性の違い、慣用的用法があること、造語力があること等が、この条件として数えられる。もし、これらの点で同音語がたがいに区別がつかないとするならば、その一組の同音語は、少なくとも、形態的な面に関する限りでは、まぎれやすいも

のと判定することができるであろう。

(2) 外部的条件

その語をとりまく外部に同音語のまぎれやすさを判別する条件があると思われるもの。これには、つぎの四つが考えられる。

- (i) 文脈の違い
- (ii) 話題(位相)の違い
- (iii) 使用度
- (iv) 読むものの言語的環境

このうち、(i)(ii)は語の意味に関する面である。いま、これについて少し説明を加えると、「文脈」とは、一般に文および文連接における脈絡と考えられるが、その脈絡は、必ずしも、言語の形態に現われているとは限らない。

カイジョウを数十羽のハトが飛びまわっています。

という文脈で、「カイジョウ」が「海上」ではなく、「会場」であると判別する根拠は、数十羽のハトが海上を飛びまわるということは普通ではないという常識がそこに働いて、文面には現われない論理を構成するからである。文脈の違いとここでいうのは、このような場合をも含めての文脈をさしている。

また、文脈を同音語のまぎれやすさを判別するための条件とするためには、文脈の長さをどのように切り取るかが問題になる。たとえば、

…蔵相のライシンを待って

では「ライシン」が何を意味するか決まらないが、

…蔵相のライシンを待って、姫路、尼崎と遊説し…

と長い文脈になれば、「来神」(神戸に来る)であると理解される。文脈が長くなれば、それだけ同音語を判別する手がかりとなる語が現われる可能性が多くなるわけであるが、このことはただちに、文脈の長さだけが判別の条件になるということの意味するものではない。上の例でも理解されるように、文脈の中に判別のための手がかりとなる語が現われるか否かが問題なのである。その語が当面の同音語よりも前に現われていれば、その同音語は、(1)の内部的条件の有無に関与することなしに、容易に判別されるであろうし、その語が当面の同音語より後にあれば、判別のための文脈は、いきおい長くなることになるろう。

したがって、文脈の長さということは、当面の同音語を中心にした前後の文節あるいは句のどこに、手がかりとなる語が現われるかということに帰着する。

「話題」とは、話の題材と考えられるが、実際の場合では、それは千差万別であり、同音語のまぎれやすさを判別する条件とはなり得ないことはいうまでもない。そこで、話題の内容に立ち入って、特徴的な面でもとらえる方法はないものだろうか。そこに「位相」というわくが考えられる。ある社会が他の社会と種々の理由で異なる面をもつ場合、その違いを特徴的に示す徴標を、その社会の位相と考えれば、その位相の種類が複雑多岐にわたることは覚悟しなければならないにしても、話題の内容をその位相を表わす語によって客観的にとらえることができるであろう。

(iii) 使用度 使用度の高い語が同音語になると、まぎれる可能性が多いのではないか、逆に同音語の一方が使用度が低いときは、判別が容易ではないか。

(iv) 読む者の言語的環境 同音語のまぎれやすさを起こすということは、同じ音の語をたくさん知っていることが前提になる。ここに、読む者の知識の量と質とが関係してくる。知識量の少ない者は、同音語が、たまたま乏しい自分の手持ちの知識の中にある時は、正解することができるが、そうでない時は、読み解けないことになって、いくつかの同音語を選別する能力を持たない。逆に、知識量の多い者は、同音語に迷う可能性が多いわけであるが、もっている知識を適宜に使って、ありあまる同音語を判別している。この知識の質と量は、年齢、教養の面から分析することができよう。

4.2 研究の方法

さて、上に考えたような条件を個々の語にあてはめてみるためには、具体的な文脈を備えた資料が整わなければならないが、前述したように、この調査は個々の語を集録した同音語集あるいは辞書類等を主資料としたので、具体的な文脈は、すべてこれを推定する方法をとらなければならない。このことは、計画を具体化する場合、方法上の制約を与えることになった。それは、外部的条件のうち、文脈と位相の2条件で著しい。文脈についていえば、同音語を判別するために役だつ文脈とは、前に述べたように、その中に判別のための手が

かりになる語がある文脈ということになる。もし、これを推定によって作るとすると、手がかりになる語があるようにも、ないようにも、推定する者の手加減で左右されるおそれがある。したがって、推定という方法をとる場合は、文脈を判別条件に数えるのは適切でない。

次に、位相を推定することは、文脈を推定するよりは容易であるが、どういう位相を考えるかについて推定者の主観のずれがあり、また、語によっては、どういう位相を与えるべきかに迷うことも起こり、その判定がまた、人によって異なることになる。このようなことは、推定者の年齢・経験の違いによるところが大きい。したがって位相を推定するという方法にも、多くの困難が予想される。

文脈や位相に比べて、内部的条件に属するものは、品詞性・慣用的用法・アクセントのいずれも推定を必要としないので、研究方法として採用するに適している。ただ造語力については、その語がどのような複合語を作るかを推定することでは、文脈・位相の場合と同じ事情にある。また品詞性・慣用的用法・アクセントは、研究方法としては適しているが、慣用的用法の有無で判別される同音語はわずかであるし、品詞性・アクセントはすべての語に備わる性質であるにしても、これによって判別される同音語もまた必ずしも多くない。したがって、研究方法として大きな面を占めてくるのは、やはり位相であると思われる。位相はすべての語に備わり、また多様な様相をもっているからである。したがって、これを推定して決めるという点で、研究方法上の重大な困難はあるにしても、同音語のまぎれやすさの判別には欠くことのできない条件として、これを最も重視することにした。こうして、われわれは次のような方法を採ることにした。

- (a) 意味の面から、位相（推定）
- (b) 形態の面から(1)品詞性(2)慣用的用法(3)アクセント(4)造語力（推定）
- (c) 読む者の側から(1)使用度(2)読む者の言語的環境

採集した同音語の組ごとに上の条件をあてはめてみるのであるが、研究の手順からいえば、(c)(1)使用度は、参考資料が限定される上に、使用度の著しく低いものは、常識でも判断しうることが予想されるし、あまり問題にならないの

で、はじめからすべての同音語について調査しなくてもよいであろう。また、(c)(2)読む者の言語的環境は最後の段階で、テストによって推察すべき事項であるから、第2次の手順にまわし、まず採り上げるものは、(a)および(b)である。

Ⅱ 同音語の分類

1. 第1次操作の経過と問題点

作業の経過の概略を述べ、前章 4.2 で述べた方法を採る場合に起こった問題点について触れる。

第1次操作は、資料を、まぎれやすいと思われる同音語の組と、まぎれる可能性が少ないと思われる同音語の組とに分けることを目標とする。そのために、まず、語ごとの位相その他を決定しなければならない。

1.1 位相の種類

語の位相をできるだけ具体的にとらえようとする、いきおい、位相が無限に細かくなり、同時にどの位相に属せしめるべきかに迷うものが増えて、收拾がつかない。位相をたてる目的が、同音語のまぎれやすさを判別するに役だつ範囲の差異を見いだすことにあるのならば、むしろ大きな分類の方が効果的である。まして、これを推定する場合には、主観の違いによるずれを少なくする意味からも得策であると思われる。この考えに従い、実例に即して位相をたててみると、つぎのようになる。

(1) 社会の様相の違いの面から

(i) 専門的な領域に属する語……(専門語)

(a) 学術語 (例) 権原 恐慌 帰納 凍土 環礁

(b) 職業語 (例) 阿媽 視聴者

(ii) 専門的な領域に属するが、しだいに社会一般に広がっている語

(例) 過納 管財 会頭 基地

(iii) 専門的な領域をもたない語 (一般語)

(例) 完成 郊外 週間 両親

(2) 表現様式の違いの面から

(i) 書きことばにも、話しことばにも使われると思われる語

(例) 今週 最後 瞬間

(ii) 書きことばに使われ、話しことばに使われることは少ないと思われる

語……(文章語)

(例) 左袒 寛恕 所見 双眸 書札 沈黙

(iii) 現在の言語生活には、書きことばにも話しことばにも使われないと思
われる語……(非現代語)

(例) 蟻客 覇府 腹帯(はるび)

このうち、推定によって比較的位相がとらえやすいのは、専門語だけである。
他の位相は、(1)の(ii)をなお専門語の領域にとどめるか、一般語と認めるか
にしても、(2)の表現様式の3種の違いにしても、その境界をどこにひくかを容
易に決めにくい。これについては、担当者3名の判定が一致したものをその位
相とすることを原則としたが、語によっては全員の一致を得ることができない
ものがあり、2名の一致に従ったものもある。

1.2 品詞性の異同

1語が2品詞にわたるもの、たとえば、名詞とサ変、あるいは名詞と形容動
詞というような用法をもっている語、それと名詞がセットになる場合は、部分
的な異同がみられるにすぎないから、第1次操作の段階では残した。これに対
し、全面的に一致しないセット(名詞とサ変、名詞と形容動詞)は、第1次操作で
脱落する。ただ、その場合でも、位相がきわめて近いときは、位相を重視する
たてまえをとり、保留した。

1.3 慣用的用法の有無

慣用と認める限界をどこに置くかに問題がある。その語が前または後にとる
語の種類に制約がある場合、たとえば、「好学」(「後学」と同音語になる)は、
後に名詞はとるが、動詞はとらないとか、「癩」(「疳・爛」等と同音語になる)は、
単独用法としては、後に動詞はとるが名詞はとらないとかいうことも、一種の
慣用と認めることができよう。しかし、この種の慣用の有無を基礎的な資料を
もたないで推定することは、客観性の乏しい結果を生むことになりかねない。
その上、相当量の語が、第1次操作で、すでに他の同音語とまぎれないものと
してふるい落されてしまい、調査の結果をかえって貧しいものになってしまうお
それがある。もし限界を少し狭くして、前または後にとる語に、ある限られた
範囲のものを要求する場合、たとえば、「開化」(「開花」と同音語になる)は「文

明開化」の用法が普通であるとか、「念頭」(「年頭」と同音語になる)は「～を去らない」「～に浮かぶ」のように使われるとか、「覇」(「歯・業・派」と同音語になる)は「～を唱える、～を争う」と使われるとかの類に慣用を認めるとすると、¹他方で、次のような類があることに気づく。たとえば、始球式の「始球」(「四球・死球」と同音語になる)、降水量の「降水」(「香水・硬水・鉍水・公水」と同音語になる)、この類は、単独で用いられる可能性はなく、むしろ普通には、ある限られた語(あるいは造語要素)と結合して、複合語(あるいは語)を作る。慣用の強さでは、「開化・念頭」の類と甲乙ないと思われる。われわれはこの類を、慣用とは別に、「造語力の有無」としてとらえ、別の判別条件としてたてた。このようにみえてくると、慣用があるということは、造語力の強弱の問題と、ある部分では、共通した面をもっているが、一方は句表現を対象とし、一方は語を対象とするものとして、二つの条件をたてた方が、調査のためには便利であろう。ところで、慣用の限界を以上のように認めたとしても、なお第1次操作でらち外に去る語は少なくないであろう。第1次操作の目的からいえば、ここでふり落とされるものは、客観性のある慣用表現にとどめたい。そうになると、結局、慣用の限界をきびしく、ある特定の語を前後にとるものに限るのが安全である。たとえば、次のようなもの。「皆兵(国民～)」(「海兵」と同音語になる)「妍(～を競う)」(「陰」と同音語になる)「反旗(～を翻す)」(「半旗・半期」と同音語になる)

1.4 アクセントの異同

アクセントの異同は、話しことばでは判別の有効な条件となるが、書きことばでは無力なことは言うまでもない。その上、確かな証拠によってアクセントをとらえることができない語が相当多い。これは資料としたものに比較的文章語あるいは非現代語が多いのに、アクセント文献は、多く一般語中心に編まれているからである。このような次第で、アクセントは他の条件に比べて効力がやや劣ることになる。

1.5 第1次操作で、上の諸条件のうちのどれか一つで区別がつけば、その同音語はまぎれないとしたのでは、あまりにもたくさんのものが落ちてしまう。といって、逆に上の条件を総合して、そのどれか一条件で区別がつかない

という場合には、他の条件ではすべて区別がついても、その同音語はまぎれやすいとするならば、大部分の同音語はまぎれやすいことになる。さきにみてきたように、判別条件のうち、造語力の強弱は推定法によらざるを得ず、アクセントまた不確かな面が多く、慣用表現の有無も、その適用範囲は狭いので、この3条件は、第1次操作では、他の2条件に比べて有効度が低い。したがって、これを参考程度に考慮することにした。つまり、第1次操作では、位相を重視し、品詞性の異同をこれに次ぐ条件にたてて判別するのが穏当ではないかと思われる。操作の経過およびその結果を「シセイ」のカード例によって示せば、次の表のようになる。

表 1

見出し	表記	品詞	位相	アクセント	判定
シセイ	市制		法	0	①
	市政			0	①
	市勢			0	①
	施政			0	①
	司政		<～官>		
	死生		文	0	
	私生		<～児>	1	
	市井		文		①
	至誠		文	01	
	資性			1	②
	私製	名・サ	<～ハガキ>		③④
	試製	名・サ	<～品>	0	④
	紙製				⑧
	姿勢				②
	詩聖			01	
	四声		言語		
	雌性		動<～先熟>		
	示性		数<～数>		
	四姓		非		

〔注〕 品詞欄の無表記は名詞，位相欄の「文」は文章語，「非」は非現代語，「法」・「数」・「言語」等は法律・数学・言語関係の分野に現われる語の意。<～児>等は，慣用的用法または造語力の条件を知るための注記。アクセントの記号は「明解国語辞典」の方式により，空欄は，アクセント文献にないもの。

判定の欄に同番号を付けたものどうしが、まぎれやすい同音語と認めたものである。したがって、番号が与えてないものは、同音であっても、まぎれる可能性がまずないと考えられる。このようにして第1次操作で資料（推定語数48,000）から、まぎれやすいと思われる同音語、概数6000組を選び出した。この6000組につき、さらに細かく分析してみることにした。

2. 第2次操作

この操作では、同音語の判別が困難になる種々の場合を想定して、「同音語のまぎれやすさ」を生み出す諸条件を分析した。そして、その諸条件を、個々の同音語セットに適用して、それぞれの同音語のまぎれやすさの段階づけを試みた。これによって、真に対策を要する同音語を選び出す方法を探求することにした。

2.1 同音語のまぎれやすさを生み出す条件

ここでは、同音語（同音複合語は除く）について考えられる諸条件を追求して、「同音語のまぎれやすさ」を生み出す条件として、つぎのようなものを採り上げた。

位相

主条件1 ともに一般語である。

第1次操作では、文章語・非現代語などに分けたが、第2次操作では、「現在、一般社会で使われている語（一般語）どうしがセットになっている同音語」が、もっともまぎれやすいと推定し、この条件だけに整理した。しかし、一般語かどうかの判定は、判定者の主観的判断だけによるため、判定者によって、判定の結果が、かなりゆれてしまう。この欠点を補うために、つぎの2条件を考え合わせた。

派生条件 ともに特殊な漢字を用いない。

派生条件 ともに特殊な音・訓を用いない。

「漢字の読み方や用字法が、きわめて特殊な語」は、一般社会では、あまり使われなくなってきたのではないかと推察し、一般語かどうかの判定の裏づけとして、この2条件を補った。

主条件2 使用分野・使用領域が、ともに同一である。

第1次操作では、専門語・職業語を、専門分野別・職業領域別に細分したが、ここでは、「ともに同一分野で使われる同音語が、もっともまぎれやすい」と推定し、この条件だけにしぼった。

意味

主条件3 たがいに類義である。

同音語であっても、「意味がかけはなれているものは、まぎれにくい。意味の近いものほどまぎれやすい」という観点から、「同音類義語がもっともまぎれやすい」と推定し、この条件を設けた。つぎに、意味の比較的近い同音語（例、帰京：帰郷）についても、当然考えるべきであるが、語の意味体系についての研究が未完成の現在では、これを取りあげることは、きわめてむずかしいので、便宜的方法として、つぎの条件をたてた。

派生条件 共通の漢字が使われている。

同音語になるそれぞれの語を漢字を用いて書く場合、その漢字に、共通の字があるかどうかを手がかりにして、語の意味が、たがいに近いか否かを推定することにした。共通の漢字をもつ同音語は、漢字が、まったく異なるものよりは、意味的に近い可能性があるのではないかと考えたからである。

主条件4 同義語ではない。

セットになる一組の語が、たがいに同義ならば、同音語としては、問題にならないわけである。辞書などを参考にして、はっきり同義語と判定ができたものは、第2次操作を始める前に調査対象から除外したが、意味領域をとらえる方法が未開拓の現状では、同義語かどうかの判定は、かなり主観的になるので、ここで、もう一度この条件を設けて検討することにした。

品詞

主条件5 品詞性が全面的に一致している。

第1次操作でも、品詞性の異同は、一つの日やすとして採用したが、第2次操作では、「品詞性が全面的に一致する語が、もっともまぎれやすい」という観点から、全面的一致だけを採り上げ、部分的一致については採り上げないことにした。

用法

主条件6 慣用的な用法や、他の語との慣用的な結合がない。

同音語であっても「一方または両方の語の用法が限定されていれば、まぎれにくい」という観点から、いわゆる慣用句だけでなく、慣用的な複合形式の有無をも含めて、この条件を設けた。したがって、ここで言う「慣用的用法」の範囲は、第1次操作の場合よりも広がっているわけである。

アクセント

主条件7 アクセントが一致している。

アクセントの違いは、一語で出てきた場合には、ほとんど唯一の判別条件である。もちろん話しことばでは、有力な判別条件である。したがって、「アクセントが一致している同音語は、まぎれやすい」と考え、この条件を設けた。

2.2 同音語のまぎれやすさの程度を推定する試み

前項で設定した10項目の条件を、個々の同音語セットに適用し、試験的につぎのような評点を与えた。

- | | |
|---------------------------|------|
| ○ある同音語セットに、その条件が当てはまる場合 | 1点 |
| ○ある同音語セットに、その条件が当てはまらない場合 | } 0点 |
| ○当てはまるかどうか判定を保留した場合 | |

各同音語セットのまぎれやすさを、この評点で採点し、まぎれやすさの程度を、推定しようと試みた。この操作を行なう場合、前述した各条件につき、つぎのような点に特に留意した。

a ともに一般語である……話しことばや新聞などで、一般に使われ、特に解説や注釈なしに通用すると思われる語を「一般語」とし、古語や特殊な専門語などは、「非一般語」として扱った。

b ともに特殊な漢字を用いていない……だいたい当用漢字表を目やすにして判定した。

c ともに特殊な音・訓を用いていない……だいたい当用漢字音訓表を目やすにして判定した。

d 使用分野・使用領域が、ともに同一である……セットになっている同音語が、同一の専門分野・職業領域の語として、ともに属する場合、および、いずれの

分野・領域にも、ともに属さない場合に、1点を与えた。したがって、たがいに別々の分野・領域に属してしまう同音語や、片方だけが、ある分野・領域に属してしまう同音語には、0点を与えた。

e たがいに類義である……同義ではないが、意味がきわめて近い同音語で、たとえまぎれても、コミュニケーションにそれほど大きな支障にはならないと思われるものに1点を与えた。

f 共通の漢字が使われている……セットになっている同音語を漢字で書き表わす場合に、同一の漢字が、一字でも使われるものに1点を与えた。

g 同義語ではない……意味は全く同じで、表記だけが異なっている同音語を同義語として扱い、その場合、0点を与えた。

h 品詞性が全面的に一致している……部分的一致、および不一致に、0点を与えた。

i 慣用的な用法や、他の語との慣用的な結合がない……セットになっている同音語の両方、または一方が慣用句を構成する場合、および、一定の複合語の構成単位としてしか使われない場合に、1点を与えた。

j アクセントが一致している……アクセントによって判別される可能性のある同音語、およびアクセントが不明な語を含むセットには、0点を与えた。セットになる語のアクセントにゆれがあっても、一致してしまう可能性のある場合には、1点を与えた。

以上の方法で、同音語セットを採点した結果の一部を、例として、つぎにあげる。

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	計		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	計
寄航：寄港	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	協会：教会	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	9
夏期：夏季	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	市営：私営	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	9
改訂…改定	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	四球：死球	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	9
共同：協同	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	化学：科学	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	9
紅葉：黄葉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	帰郷：帰京	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	9
形式：型式	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	学会：学界	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	9
成長：生長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	収集：蒐集	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9
修正：修整	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	下衆：下種	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	9
辞典：事典	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	双紙：草子	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	9
温和：穏和	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	重態：重体	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	9

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	計		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	計
強行：強硬	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	8	規格：企画	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	7
世紀：西紀	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	8	危険：棄権	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	7
創意：総意	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	8	安産：暗算	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	7
広野：曠野	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	8	関心：感心	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	7
振興：進行	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	8	河川：架線	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	7
諸家：書家	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	8	異状：異常	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	7
妻子：才子	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	8	事前：次善	1	1	1	1	0	0	1	1	0	1	7
河心：河身	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	8	渦流：河流	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	7
皮：川	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	8	容態：様体	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	7
人出：人手	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	8	買う：飼う	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	7

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	計		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	計
女性：女声	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	6	軌間：亀鑑	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	5
団長：断腸	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	6	嘆美：耽美	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	5
鑑賞：感傷	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	6	操作：走査	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	5
指定：子弟	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	6	不告：誣告	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	5
彷徨：咆哮	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	6	模作：摸索	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	5
兢々：恂々	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	6	画竜：臥竜	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	5
汽罐：器官	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	6	変形：扁形	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	5
空蟬：現身	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	6	子等：子良	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	5
惜し：愛し	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	6	義：誼	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	5
むむ	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	6	議す：議する	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	5
赤：銅	1	1	0	1	0	0	1	0	1	1	6												

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	計
訴状：狙上	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	4
美人：微塵	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	4
沃懸：罇掛け	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
内張り：梁	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
蒺藜：簠	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
茨：薔薇	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	4
兵児：禪	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	4

2.3 以上の操作によって、10点の同音語から、4点の同音語まで、一往、7段階の段階づけができたが、この分類を見わたしてみても、つぎの四つの点に疑問が起こった。

イ) この操作では、「まぎれやすさを生み出す条件」として、分析した10項目の条件を、すべて等価的・等質的に評価して分類基準として採用してしまったが、そのため、漢字関係の条件や意味関係の条件が、他の条件に比べて、

やや、ききすぎた結果になった。それぞれの条件によって、ひき起こされる支障・混乱の質の違いや、各条件のウエイトの違いを認めて、評点を与えるべきではなかったか。条件別に評点の差をつけるとか、2.1 であげた主条件と派生条件の間に評点差をつけるとかの方法が考えられる。

ロ) 分類基準として、漢字が、かなり重視されているため、和語の同音語が適正に分類されていないのではあるまいか。まぎれやすい同音語の大部分は字音語には違いないが、同音語の分類を試みる以上、和語についても考慮をはらった分類方法をたてた方法がよい。

ハ) この操作によると、もっとも、まぎれやすい段階(10点・9点など)には、同音類義語のほとんど、すべてが属し、これの占める割合が、たいへんに大きい。しかし、実際には、同音類義語ならば、たとえ、まぎれても、コミュニケーションは、一往成立すると思われるので、それほど大きな支障にはならないのではないか。同音類義語は、たしかに、まぎれやすい同音語には違いないが、一般の同音語(同音異義語)が、まぎれる場合とは、質が異なると考えられる。

ニ) この操作によると、もっともまぎれにくい段階(4点・5点など)には、非一般語(2.2.a) どうしの組合せが、また、ややまぎれにくい段階には、非一般語と一般語との組合せが属する。これら非一般語を含む同音語セットは、一般語どうしのセットに比べれば、たしかに、まぎれる可能性は低いかもしれない。しかし、別な方面から考えると、非一般語は、一般の人々の言語意識には存在しにくい語だから、非一般語を含む同音語セットでは、つぎのようなことが、起こりうる。

○非一般語どうしの組合せ……コミュニケーションの理解者(受け手)の言語意識に、どちらの語も存在していないために、コミュニケーションそのものが、成立しない場合がある。

○非一般語と一般語との組合せ……コミュニケーションの理解者(受け手)の言語意識に、非一般語が存在していないために、それを、それと同音の一般語の方の意味に理解してしまう場合がある。

非一般語を含んだ同音語セットでは、コミュニケーションの際に、このよ

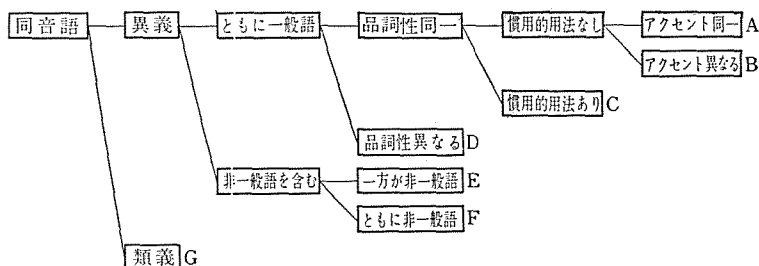
うな支障・混乱が起こることは、当然予想され、その可能性も、かなり高いのではないかと推定される。しかし、これらの支障・混乱は、いずれも、「語（非一般語）を知らない」ために、もたらされたものであって、いわゆる「同音語がまぎれた」という場合とは、質が異なるのではないか。

第2次操作の結果、問題となった、以上の点を満足するような「同音語の分類方法」として、われわれは、第3次操作を試みた。

3. 第3次操作

3.1 第2次操作の結果と、その反省を基礎にして、第3次操作として、つぎの表2のような分類を施した。

表 2



以下、この分類の作業過程を説明しつつ、つぎにあげる16組の同音語セットを、サンプルとして分類していく。〈 〉内は表2の分類記号。

(例)

化学：科学	協調：強調	古人：故人	低調：丁重
制作：製作	定跡：定石	訳者：役者	買う：飼う
向学：後学	暗に：案に	強行：強硬	良好：良港
高压：光圧	風呂：風炉	雪景：夕景	採桑：採藻

i) 同音語を同音異義語と同音類義語とに分ける。

◎同音異義語（コミュニケーションの混乱・支障をもたらす）

(例)

化学：科学	協調：強調	古人：故人	低調：丁重
-------	-------	-------	-------

訳者：役者 買う：飼う 向学：後学 暗に：案に
強行：強硬 良好：良港 高圧：光圧 風呂：風炉
雪景：夕景 採桑：採藻

◎同音類義語（コミュニケーションの成立そのものには、あまり支障にならない）〈G〉

（例） 制作：製作 定跡：定石

注1 同音同義語は、第2次操作の際の判定（2.2.g）に従って、調査対象からはずした。

注2 ここで言う「類義語」とは、意味が、きわめて近いため、同音語としては問題が、あまり起こらないもの、というグループであって、厳密に意義を考察して設定した類義語ではない。

ii) 同音異義語を「ともに一般語の組み合わせ」と「非一般語を含む組み合わせ」とにわけると。

◎ともに一般語の組み合わせ（まぎれやすい）

（例）

化学：科学 協調：強調 古人：故人 低調：丁重
訳者：役者 買う：飼う 向学：後学 暗に：案に
強行：強硬 良好：良港

◎非一般語を含む組み合わせ（非一般語を知らないための支障（2.3.ニ）が起りやすい）

（例）

高圧：光圧 風呂：風炉 雪景：夕景 採桑：採藻

注 ここでいう「一般語」「非一般語」は、第2次操作（2.2.a）の場合と、同じ内容をさしている。

iii) 「非一般語を含む組み合わせ」を「一方が非一般語になっている組み合わせ」と「ともに非一般語の組合せ」とにわけると。

◎一方が非一般語になっている組み合わせ（非一般語は、一般語の方の意味に理解されてしまいやすい（2.3.ニ））〈E〉

（例）

高圧：光圧 風呂：風炉

◎ともに一般語の組み合わせ（コミュニケーションが成立しにくい（2.3.

ニ)) <F>

(例)

雪景：夕景 採桑：採藻

- iv) 「ともに一般語の組合わせ」をわける場合、第2次操作の結果(2.3.イ)を考慮して、分類基準に、つぎのようなウエイトをつけた。

品詞性の異同……個人差やゆれが少ないので、もっとも基本的な分類基準として採用する。

慣用的用法(2.1の主条件6)の有無……現代の若い年令層では、慣用的用法、中でも特に慣用句などは、かなりくずれつつあり、その上、個人差も大きいので、品詞性と同等には扱えない。

アクセントの異同……話しことばの場合にしか通用しないので、もっとも軽い分類基準とした。

- v) 上で述べた、分類基準の序列に従って、「ともに一般語」の同音語セットから、つぎのようなグループを順次、はずしていく。

◎品詞性が全面的に一致していない同音語セットを抽出し、1グループとする。<D>

(例)

強行(名・サ変)：強硬(名・形動)

良好(名・形動)：良港(名)

◎つぎに慣用的用法(2.1の主条件6)のある語を含む同音語セットを抽出し、1グループとする。<C>

(例)

向学(一心)：後学(一のために)

暗に：案に(一相違して)

◎最後にアクセントで判別される可能性のある同音語セットを抽出し、1グループとする。

(例)

訳者(ヤク[↑]シャ)：役者(ヤク[↑]シャ)

買う(カウ)：飼う(カウ[↑])

注 一方のアクセントがゆれているものも含めた。

vi) 上の操作で、抽出されずに残った「ともに一般語の同音語セット」は、品詞性からも、慣用的用法からも、アクセントからも判別できないため、まぎれる可能性がかなり高いグループである。〈A〉

(例)

化学：科学 協調：強調 古人：故人 低調：丁重

3.2 前項の(vi)で述べた、もっともまぎれる可能性の高い同音語について、その使用頻度を推定することを試みた。同音語の使用頻度を調査する以上、「化学：科学」なら「カ+ガ+ク」という音結合の頻度を調査する方が有益であるが、ここでは、便宜的に、国立国語研究所報告12「総合雑誌の用語・前編」の第2表「使用率順語彙集(全体)」と対照して、その使用頻度を推定した。そして、この語彙表に掲載されている語を含む同音語セットのグループを「A-1」とし、それ以外を「A-2」とした。

(例)

〔A-1〕 化学：科学^{*} 協調：強調^{*} (*印…「使用率順語彙表」にある語)

〔A-2〕 古人：故人 低調：丁重

3.3 以上述べた第3次操作の結果、第2次操作の段階的な分類方法と異なる系統的な分類方法が、一往たてられた。この分類によって、BからGまでの各グループに属する同音語の例をあげると、つぎのようになる。

Aグループについては、3.5の終わりに全部示してある。

(例)

B	訳者：役者	買う：飼う	制止…静止	用紙：洋紙
	特典：特点	和洋：和様	必死：必至	任期：人氣
	中止：注視	送料：総量	正文：成分	市立：私立
	工学：光学	特異：得意	大地：台地	先：左記
	吐出す：掃出す	晴れる：腫れる	橋：箸	小金：黄金
	向学：後学	暗に：案に	青年：成年	半旗：反旗
	行為：好意	社交：射倖	喜色：氣色	後期：好機
	荒天：好天	青年：成年	先攻：専行	派：覇

意：異 貧する：瀕する 治まり：納まり 徒：婀娜

人当り：一当り

D	強行：強硬	良好：良港	正当：正答	前線：善戦
	施設：私設	当初：投書	創意：相違	大戦：対戦
	開場：会場	教科：教化	高給：高級	好調：高潮
	徳：得	準：純	票：表	作：策
	そんな：損な	ばら炭：ばら積	粹：意気	大降り：大振り
E	高圧：光圧	風呂：風炉	政治：政事	洗剤：銑材
	眼光：眼孔	看護：監護	才女：斎女	触角：触覚
	製鋼：精鋼	素材：礎材	溶液：葉腋	銅管：導管
	髓：蕊	妃：婢	蠟：鎧	駆る：狩る
	燃える：萌える	針：鉤	祝い：斎	子守：木守
F	雪景：夕景	採桑：採藻	方金：砲金	短粒：単粒
	光冠：光環	鉋害：公害	助辞：助字	選鉋：洗鉋
	糖乳：豆乳	配油：廃油	溶化：沃化	買電：売電
	鉦：簫	義：誼	業：劫	検する：験する
	呪す：誦す	小稲：晚稲	羽金：鋼	紅染め：香染め
G	制作：製作	定跡：定石	雄姿：勇姿	巡検：巡見
	定年：停年	成長：生長	制服：正服	黄葉：紅葉
	共同：協同	改訂：改定	好技：巧技	鑑賞：観賞
	王侯：王公	弦：絃	疳：癰	選：撰
	奢る：驕る	支払：払仏	皮：革	早生：早稲

この分類は、純粹に、まぎれやすさのランキングになっているわけではない。〔A・B・C・Dのブロック〕と、〔E・Fのブロック〕および〔Gグループ〕の間には、コミュニケーションの際に生じる混乱・支障の質的な違いが含まれている。もちろん、A・B・C・Dの各グループは、一往、まぎれやすいものから、まぎれにくいものへの段階的な分類になっていると考えてよい。

3.4 第3次操作において、まず第一に考えられる難点は、この分類の基本

的な操作に当たる「異義か類義か」の判定、および、「一般語か非一般語か」の判定が、ともに、操作者の主観的な判断にゆだねられてしまう点である。したがって、このプロセスで、分類が、操作者によってかなりゆれてくる。同様に、低い年令層の言語意識によって分類を進めるか、高い年令層の言語意識によるか、など、標準のとり方によっても、分類全体が、かなりゆれてくる可能性がある。

こうしたゆれは、同音語というものの性格それ自体からきているとも言えるが、分類を試みる以上、客観的な妥当性をもって、分類が確定するほうが、のぞましい。この意味から、上記の「ゆれを生じやすい判定」においては、第2次操作の際に試みた派生条件(2.1参照)のようなものを考え合わせて、分類を進めるのも一つの方法である。

第二の問題としては、この分類では「もっともまぎれやすい同音語群(Aグループ)」を抽出することを目的としたため、条件別のウェイト差を強く認め、C・D・E・F・Gの各グループについては、下位分類を施さなかったことである。いま「Dグループ(ともに一般語で、品詞性の異なる同音異義語のグループ)」を例にとって考えてみても、このグループに属する同音語を、慣用的用法の有無やアクセントの異同などから、さらに細分することは、同音語のまぎれやすさを考える上で、かなり意味があるのではないかと推定される。Cグループについても、アクセントの異同でさらに二分することは、無意味ではない。しかしE・Fのグループにおいては、ここに属する非一般語について、品詞性・慣用的用法・アクセントを推定することは、かなりむずかしいので、E・Fのグループを、さらに細分することは、事実上困難でもあり、また、あまり効果的な分類を期待できない。

第三の問題として、Gグループの同音類義語の中には、つぎのように、意味はかなり似ていても、その使用分野が異なり、それぞれの使用分野によって特別な使い分けやニュアンスをもっているものがあることである。

(例)

定跡(将棋)：定石(囲碁)

経理：計理(～士など)

制作(芸術)：製作(工)

移動：異動(人事～、～証明)

作成(書類など): 作製

生育(植物): 成育(動物)

足形: 足型(製靴業で「型木」の意) 生長(植物): 成長

経費: 係費(会計法など)

これらは、同音語のためにひき起こされるコミュニケーションの混乱・支障という点からは、あまり問題にならないかもしれないが、同音類義語の性格を考えていく上では、注目すべきものである。

3.5 むすび

以上述べたように、第1次から第3次までの操作によって、われわれは、はじめにあげた種々の資料から採集した約48,000語の同音語の中から、調査対象として、抽出した約6,000セットの同音語について、そのまぎれやすさと判別の可能性を検討し、分類を試みた。

その結果、われわれは、第3次操作の分類において、A-1, A-2の各グループに属する同音語セットが、最もまぎれる可能性をもつ同音語ではないかと推定した。

表3は、A-1, A-2に属する同音語の表である(39ページ[注]参照)。

表 3

〔A-1〕			遅れる (高)	カガク	化学 (高)
アカ	銅	オサマル	治まる	カゴ	科学 (高)
	赤 (高)		納まる (高)		駕籠
イギ	異議	オサメル	(収まる)	カジ	籠 (高)
	意義 (高)		治める		家事
イチジ	一次		納める (高)	カズ	火事 (高)
	一時 (高)		(収める)		下図
イヌ	戌	カ	課 (高)	カゾク	数 (高)
	犬 (高)		科 (高)		華族
イル	居る (高)	カイ	会 (高)	カダイ	家族 (高)
	要る (高)		回 (高)		歌題
ウツル	移る (高)	カイイン	海員	カテイ	課題 (高)
	写る (高)		会員 (高)		課程
(映る)			解答 (高)	カブ	過程 (高)
オー	王	カイトー	回答 (高)		燕
	翁 (高)	カイホー	解放 (高)	カミ	株 (高)
オクレル	送れる		開放 (高)		紙

	髮	(高)	コーゼン	昂然		ショーカ	消火	
カン	観	(高)		公然	(高)		昇華	
	感	(高)	コーテイ	皇弟			消化	(高)
カンガク	漢学			皇帝	(高)	ショーカイ	照会	
	官学	(高)	コーム	校務			紹介	(高)
カンジ	監事			公務	(高)	ジョータイ	常態	
	幹事	(高)	サツジン	殺陣			状態	(高)
カンセイ	管制			殺人	(高)	ジョシ	女子	(高)
	完成	(高)	サル	申			女史	(高)
ギイン	議院			さる(猿)	(高)	シンテン	伸展	
	議員	(高)	サンギョー	蚕業			進展	(高)
キカイ	機械	(高)		産業	(高)	シンリ	心理	(高)
	(器械)		シガク	史学			真理	(高)
	機会	(高)		私学	(高)	セイ	正	(高)
キカン	汽罐		シキン	賜金			性	(高)
	機関	(高)		資金	(高)	ゼンシン	漸進	
キセイ	既製		ジコ	自己			前進	(高)
	既成	(高)		事故	(高)	ゼンブ	前部	
キョーカイ	協会	(高)	シサン	私産			全部	(高)
	教会	(高)		資産	(高)	ソーギ	葬儀	
キョーソー	競走		ジジツ	時日			争議	(高)
	競争	(高)		事実	(高)	ソーゾー	創造	(高)
キョーチャウ	協調		シソー	志操			想像	(高)
	強調	(高)		思想	(高)	チョクセツ	直截	
キョーワ	協和		シブ	支部			直接	(高)
	共和	(高)		市部	(高)	テンカイ	転回	
キンチャウ	謹聴		シューカン	週刊			展開	(高)
	緊張	(高)		週間	(高)	ドーシ	同氏	
ケイスー	計数		シューシュウ	収集			同志	(高)
	係数	(高)		(蒐集)		トージョー	東上	
ゲンメイ	嚴命			(拾集)			登場	(高)
	言明	(高)		收拾	(高)	トーナイ	島内	
コーカン	交歓		シューリョー	修了			党内	(高)
	交換	(高)		終了	(高)	トクチャウ	特長	
コーギョー	鈛業		シュサイ	主宰			特徴	(高)
	工業	(高)		主催	(高)	ネンカン	年刊	
	興業		シュルイ	酒類			年鑑	
	興行	(高)		種類	(高)		年間	(高)
コーシキ	硬式		シヨウ	試用		ノーカ	農科	
	公式	(高)		使用	(高)		農家	(高)

ハタケ	疥 畑 (高)	アト	庠政 跡 後	イリコ	異物 海参 炒粉
ハンコー	反攻 反抗 (高)	アマ	尼 海人 (海女)	イリョク	意力 偉力 威力
ハンノー	半納 反応 (高)	アミド	網戸 罽戸	インリョー	飲料 飲量
ヒョー	評 表 (高)	イイン	医員 医院	ウキス	浮き州 浮き渠
ビョーイン	病因 病院 (高)	イキズマル	息づまる 行きづまる	ウシ	牛 丑
フコー	不孝 不幸 (高)	イキズマリ	息づまり 行きづまり	ウソ	獺 鶯
フジン	夫人 婦人 (高)	イコー	意向 遺稿	ウラ	浦 裏
ブンシ	文士 分子 (高)	イショ	遺書 医書	ウラヤマ	浦山 裏山
ホーアン	方案 法案 (高)	イショー	意匠 衣裝 (衣裳)	ウンコー	運行 運航
ホケン	保健 保険 (高)	イセイ	異性 異姓	エイシ	英紙 英誌 A氏
ホシヨー	補償 保障 (高)	イタメル	炒める 痛める	エモノ	獲物 得物
モン	紋 門 (高)	イチダイ	一代 一台	エンカイ	沿海 (縁海)
ヨーゴ	養護 擁護 (高)	イッコク	一刻 一国	エンガイ	煙害 塩害
ヨーヤク	要訳 要約 (高)	イッシャク	一勺 一尺	エンケイ	円形 遠景
レンメイ	連名 連盟 (高)	イッショ	一勝 逸勝	エンゲイ	園芸 演芸
【A-2】		イッショク	一色 一食	エンセン	沿線 沿川
アクシュ	悪習 悪臭	イッチョ	一丁 一町	エンブン	塩分 鉛分
アクセイ	悪政 悪制 悪声	イッパン	一半 一斑	オーガタ	大形 (大型)
アッセイ	压制	イブツ	遺物		

O型
 オサメ 治め
 納め
 (収め)
 オリメ 折り目
 織り目
 カイエシ 開演
 開園
 カイカン 怪漢
 快漢
 カイコ 回顧
 懷古
 カイユー 開校
 開講
 カイジ 怪事
 快事
 カイシュ 回収
 改修
 カイジュ 海獣
 怪獣
 カイジョ 会場
 階上
 海上
 カイセイ 改制
 改正
 カイセン 回線
 怪船
 会戦
 海戦
 カイソー 海藻
 (海草)
 海葱
 カイソク 快速
 快足
 カイダイ 改題
 解題
 カイダス 買い出す
 掻い出す
 カイトー 会頭
 怪盜

カイドー 街道
 海道
 ガイトー 街頭
 外燈
 カイニン 解任
 改任
 カイヘン 改編
 改変
 カイホー 快報
 会報
 カキ 夏期
 (夏季)
 下期
 下記
 カキアツメ 書き集め
 掻き集め
 カキアツメル 書き集める
 掻き集める
 カキイレ 書き入れ
 掻き入れ
 カキミダス 書き乱す
 掻き乱す
 カギョー 家業
 課業
 カク 核
 殻
 カクカイ 各界
 各階
 カクコー 各港
 各校
 カクサ 格差
 較差
 ガクサイ 学才
 楽才
 カクシ 各紙
 各誌
 ガクセイ 学生
 学制
 ガクダン 楽団
 楽壇

ガクユ 学友
 楽友
 カケモノ 賭物
 掛け物
 カコー 河口
 河港
 カゴヤ 駕籠屋
 籠屋
 カザイ 家財
 貨財
 カサク 佳作
 家作
 カジカ 鯀
 河鹿
 カシグラ 河岸蔵
 貸し蔵
 カセツ 仮設
 架設
 カソー 仮装
 仮想
 カッカイ 各界
 各階
 ガッカイ 学界
 学会
 カッコ 各戸
 各個
 カドー 華道
 (花道)
 歌道
 カネツ 加熱
 過熱
 ガマ 蒲
 (香蒲)
 蝦蟇
 カミクセ 髮癖
 噛み癖
 カミスギ 紙漉き
 髮梳き
 カミバサミ 紙挟み
 紙鈹

ガメイ 画名
雅名
カモン 家門
家紋
カヤ 茅
榎
カライリ 乾煎
殻煎
カリコミ 刈り込み
狩り込み
カリョー 科料
過料
カンガイ 灌漑
干害
(旱害)
寒害
管外
館外
カンショ 甘藷
甘蔗
カンセイ 喚声
(喊声)
歛声
カンダン 閑談
歛談
カンチ 閑知
感知
カンナイ 管内
館内
艦内
ガンベキ 岩壁
岸壁
カンミ 甘味
鹹味
カンヤク 簡訳
完訳
キ 己
癸
キカ 貴下
貴家

キカン 季刊
既刊
キキョー 帰京
帰郷
キケツ 帰結
既決
キコー 寄港
(寄航)
帰港
(帰航)
起工
キン 貴紙
貴誌
騎士
棋士
ギン 義姉
義子
義肢
義齒
キシュ 騎手
旗手
キシュツ 記述
既述
ギンヨウ 偽称
偽証
キテン 起点
基点
キューケイ 弓形
球形
キューコー 休講
休校
キューショク 休職
求職
給食
キューゾー 急造
急増
キューハク 急迫
窮迫
キューユー 旧友
級友

キョーエン 共演
競演
キョーダン 教団
教壇
キョーヨウ 共用
強要
キョクチ 極地
局地
キンコー 金鉱
金坑
ギンコー 銀鉱
銀坑
キンセイ 禁制
謹製
キンバイ 金杯
金牌
ギンバイ 銀杯
銀牌
キンリョウ 禁猟
禁漁
キンルイ 禽類
菌類
ケイショウ 軽症
軽傷
ゲキダン 劇団
劇壇
ゲッカン 月間
月刊
ケッコウ 決行
欠航
ケッサイ 決裁
決済
ゲン 原
現
ケンカイ 県会
県界
ケンシ 檢視
検屍
ゲンシ 原子
原始

	(元始)	コーシン	更新 高進 (允進) (昂進)	コクホー	国法 国宝
ケンセイ	県政 県勢 憲政	コースイ	硬水 香水	コジ	固辞 誇示
ゲンソン	現存 蔵存	コースー	航送 後送	コジン	古人 故人
ケントー	健闘 健投	コースー	航送 後送	ゴシン	誤診 誤審
コ	戸 個	コタイ	後退 交代 (交替) (更代)	コッカ	国花 (国華)
コー	侯 公 高 校 項 功	コーチ	耕地 校地 高地	コベツ	国家 個別 戸別
コーエン	講演 公演 口演 好演 後援	コーテキ	公敵 好敵	コンシュ	今週 今秋
ゴーオン	号音 轟音	コートー	高投 好投	コンセン	混線 混戦
コーガイ	構外 校外 郊外 坑外 港外	コードク	購読 講読	サイカイ	再会 再開
コーキ	工期 後期	コーナイ	構内 校内 坑内 港内	ザイキョー	在京 在郷
コーキョー	公共 好況	コーヤ	構内 校内 坑内 港内	サイケツ	採決 裁決
コーコク	公告 広告	コーフ	交付 公付 (弘布)	サイケン	債券 債権
コーサイ	公債 校債	コーヤ	荒野 広野 (曠野)	サイコー	再興 再考
コーザン	鉦山 高山	コーヤク	公約 口約	ザイコー	在校 在港
コーシャク	公爵 侯爵	コーユ	交友 校友	サイシ	妻子 才子
		ゴカン	語感 五感 (五官)	サイニン	再任 再認
		コクセイ	国政 国勢	サイヒ	歳費 採否
				サイロク	採録 再録
				サギ	詐欺 詐偽
				サクシ	作詞

作詩
 サンクスリ 差し薬
 挿し薬
 サンカイ 散会
 参会
 サンシュツ 産出
 算出
 サンシン 三振
 三進
 サンチ 山地
 産地
 サンドー 山道
 参道
 シアン 試案
 私案
 シエイ 市営
 私営
 ジエイ 自衛
 自営
 シエン 試演
 始演
 支援
 シオケ 潮気
 塩気
 シガイ 市外
 市街
 シキュー 四球
 死球
 ジゲン 次元
 字源
 シコー 施行
 施工
 志向
 指向
 シサイ 市債
 私債
 シシ 志士
 嗣子
 シジ 指示
 支持

シンヤ 使者
 死者
 シンヨ 支所
 支署
 シンジョー 紙上
 誌上
 史上
 至情
 詩情
 私情
 シンヨク 試食
 試植
 シセイ 市政
 市勢
 施政
 私製
 試製
 ジセイ 自製
 自生
 ジセキ 自席
 次席
 ジゼン 事前
 次善
 慈善
 シゾー 死蔵
 私蔵
 シゾク 氏族
 士族
 シタイ 肢体
 姿態
 シチブ 七部
 七分
 シチョー 市長
 市庁
 支庁
 ジチョー 自重
 持重
 自嘲
 ジッシン 実子
 実姉

シッソー 疾走
 失踪
 シテキ 私的
 史的
 詩的
 ジナイ 地内
 寺内
 ジニン 自任
 辞任
 自認
 シヒョー 示標
 指標
 シボー 死亡
 志望
 シヤガイ 社外
 車外
 シヤコ 碑礫
 蝦蛄
 シヤセン 社線
 社船
 シヤナイ 社内
 車内
 シヤヒ 社費
 舍費
 シュー 週
 周
 シューキュー 週給
 週休
 シューギョー 就業
 終業
 シューコー 就航
 周航
 シューサク 秀作
 習作
 シューシ 終止
 終始
 シューショ 重傷
 重症
 シューセイ 集成
 修正

(修整)

ジューダイ十代
十台

シューチョー州庁
酋長

シュートク修得
(習得)
拾得

シュギョー修業
修行

ジュクシ 熟思
熟視

シュクセイ肅正
肅清

ジュケン 受験
受検

ジュシヨウ受賞
授賞

シュツコー出航
出港
出向
出講

シュツリョー出猟
出漁

シュト 首都
主都

ジュンカン旬刊
旬間

ジュンコー巡行
巡航

シヨウ 試用
私用

ジョーアイ情合
情愛

ジョーガイ城外
場外

ショーガク小額
(少額)
奨学

ジョーカク城郭

城閣

ジョーキャク乗客
常客
上客

ジョーキュー昇給
昇級

ジョーシツ消失
焼失

ジョーシン焦心
傷心

ジョースー常数
乗数

ジョーセキ上席
定席

ジョーセン省線
商船

ジョータク小宅
妾宅

ジョーデン詳伝
小伝

ジョーナイ場内
城内

ジョーハイ賞杯
賞牌

ジョーヒョー商標
証票

ジョーヒン賞品
小品

ジョーフ 情夫
情婦

ジョーム 省務
商務

ジョーヨー乗用
常用

ジョーリ 条理
情理

ショーロク抄録
詳録

ショーワ 小話
笑話

ショガイ 所外
署外

ジョセイ 助成
助勢

ショチャウ所長
署長

ショナイ 署内
所内

シリョク 死力
資力

シンカ 進化
深化

シンキョー信教
新教

シンコ 新香
糝粉

シンコー新鉦
新坑
新興
進攻
(侵攻)
(侵寇)

シンシキ 新式
神式

シンシツ 寢室
新室

シンセツ 深雪
新雪

シンセン 新線
新船

シンテイ 新定
新訂

シンド 進度
深度

シンブ 神父
新婦

スイカ 水火
水禍

スイガン 酔眼
醉顔

スイショー推称
(推賞)

推奨

スイセイ 水星

彗星

スイリョク 推力

水力

セイイン 成因

成員

セイサン 清算

精算

セイシ 製糸

製紙

ゼイセイ 税制

税政

セイソー 正装

盛装

セイチ 生地

聖地

セイドー 青銅

精銅

正道

政道

セイヒ 成否

正否

セイヤク 制約

誓約

セイリョク 勢力

精力

セイロン 正論

政論

セキ 席

籍

セッセン 接戦

拙戦

セメル 責める

攻める

センカ 戦火

戦禍

センカイ 先回

先会

ゼンカイ 前回

前会

センガン 洗顔

洗眼

ゼンキ 前期

全期

ゼンケイ 全景

前景

センコー 先行

潜行

潜航

ゼンコー 全校

善行

ゼンショー 前章

全章

ゼンセン 前線

全線

センニン 専任

先任

ゼンノー 前納

全納

センバツ 染髪

洗髪

ゼンバン 全般

前半

センビン 先便

船便

センヨウ 専用

占用

ソ 粗

疎

ソー 相

層

ソーイ 創意

総意

ソーカイ 壮快

爽快

ソーギョウ 操業

創業

ソーサ 捜査

操作

ゾーチク 増築

造築

ソガイ 阻害

(阻礙)

疎外

ソンセイ 村政

村勢

タイグン 大軍

大群

タイジン 対陣

退陣

タイセイ 大勢

体勢

体制

態勢

タイナイ 体内

胎内

隊内

タイホ 逮捕

退歩

タイリョウ 大漁

大獵

タコ 蛸

颯

タシ 他紙

他誌

タワゴト 戲言

戲事

タンカ 単価

炭価

タンコウ 炭鉱

炭坑

淡紅

淡黄

チャウコー 聴講

長考

チャウナイ 庁内

町内

腸内
 チョーハツ挑発
 (挑撥)
 微発
 チョーヨウ微用
 重用
 チョッカ直観
 直感
 ツイキュー追及
 追求
 追窮
 追究
 テイオン低音
 低温
 テイガク定額
 低額
 テイギ提議
 定義
 テイセイ帝制
 帝政
 テイセン停戦
 停船
 テイチョー低調
 丁重
 (鄭重)
 テイナイ庭内
 邸内
 テキカク的確
 適格
 テッサク鉄柵
 鉄索
 テンコー転向
 転校
 トーキ党規
 党紀
 冬季
 (冬期)
 当期
 (当季)
 トーコー陶工

刀工
 ドーコー同港
 同校
 ドーシ同紙
 同誌
 トーシュ党首
 投手
 当主
 ドーシヨ同所
 同署
 ドーセイ同姓
 同性
 トーセン当選
 当籤
 トーブ頭部
 東部
 ドーブ同部
 胴部
 トーメン東面
 当面
 トーユ燈油
 桐油
 トク徳
 得
 ナイタイ内定
 内偵
 ナンキュー軟球
 難球
 ナンキョク難局
 難曲
 ニジ二次
 二時
 ニシャ二者
 二社
 ニセモノ偽者
 (贋者)
 偽物
 (贋物)
 ニューコー入港
 入校

入坑
 ニュージョー入場
 入城
 ニューセン入選
 入船
 ニンブ人夫
 妊婦
 ネドコ寢床
 寢所
 ネンカン年鑑
 年刊
 ネンポー年俸
 年報
 ノーガク能楽
 農学
 ノーフ農夫
 農婦
 ハイ廃
 排
 バイエン梅園
 煤煙
 ハイガイ排外
 拜外
 ハイコー廃坑
 廃校
 廃鉱
 ハイシツ廃疾
 肺疾
 ハイジン廃人
 俳人
 ハイスイ排水
 配水
 ハイスル排する
 配する
 拝する
 廃する
 ハイセン配船
 配線
 ハイヘイ廃兵
 敗兵

ハキゾメ 穿き初め
 掃き初め
 ハクトー 白桃
 白糖
 ハッカン 八貫
 八巻
 ハッコー 発行
 発効
 バッシ 抜糸
 抜歯
 ハヤシ 林
 離子
 ハリメ 針目
 張り目
 ハレル 晴れる
 腫れる
 バンジョー 板上
 盤上
 ハンラン 反乱
 (叛乱)
 汜濫
 ハンレイ 判例
 凡例
 ヒイロ 火色
 緋色
 ヒキキル 引き切る
 挽き切る
 ヒキテ 引き手
 弾き手
 ビコー 尾行
 微行
 ビコツ 尾骨
 鼻骨
 ヒジョー 非常
 非情
 ヒゼメ 火攻め
 火責め
 ヒニン 否認
 避妊
 ヒヘン 日偏

 火偏
 ヒボシ 日乾し
 干乾し
 火干し
 (火乾し)
 ヒョーシキ 標識
 表式
 ヒョーシツ 氷室
 氷質
 ビョーシツ 病室
 病質
 ビョーフ 病父
 病夫
 病婦
 ヒル 蛭
 蒜
 ヒワ 悲話
 秘話
 ビワ 琵琶
 枇杷
 フ 夫
 婦
 ブ 分
 部
 不
 無
 フクギョー 服業
 復業
 フクシュ 復習
 復讐
 フクショ 副賞
 副章
 フセイ 不正
 不整
 フダン 普段
 不断
 フッコー 復校
 復航
 ブツリョ 物量
 物糧

フバイ 不買
 不売
 フヘン 普遍
 不变
 不偏
 フリョー 不漁
 不飢
 ブンダン 文壇
 分団
 ブンミヤク 分脈
 文脈
 ヘイコー 閑校
 閑講
 ヘイン 兵士
 平氏
 ベイン 米紙
 米誌
 ベツメイ 別名
 別命
 ヘンキョク 変曲
 編曲
 ボーイン 暴淫
 暴飲
 ボーコー 某港
 某校
 ボーシ 某紙
 某誌
 ホージン 法人
 邦人
 ホーセイ 法制
 砲声
 ホーヨー 包容
 抱擁
 ホーレツ 砲列
 放列
 ホオン 保温
 補温
 ホシュー 補修
 補習
 ボタイ 母胎

母体
 ボンサク 凡作
 凡策
 ホンシ 本紙
 本誌
 ホンリュウ 本流
 奔流
 マイカイ 毎回
 毎会
 ミカイ 未開
 未解
 ミカン 未完
 未刊
 ミズゼメ 水攻め
 水責め
 ミセイ 未成
 未製
 ミッケイ 密計
 密契
 ミッコー 密航
 密行
 ミッソー 密送
 密葬
 ミツリョウ 密漁
 密猟
 ミンセイ 民生
 民政
 ミンゾク 民族
 民俗
 ムキュー 無休
 無給
 ムシグスリ 虫薬
 蒸し薬
 ムダゴト 無駄言
 (徒言)
 無駄事
 (從事)
 メイカ 名歌
 名花
 メイチャ 名著

迷著
 メイトー 名答
 明答
 迷答
 メイブン 名文
 迷文
 メイロン 名論
 迷論
 メンカ 綿花
 (棉花)
 綿価
 メンルイ 綿類
 麵類
 モーシン 猛進
 盲進
 モクレイ 目札
 黙札
 モノ 物
 者
 モッカン 木管
 木環
 ヤエイ 夜営
 野営
 ヤクシ 訳詩
 訳詞
 ヤクメイ 役名
 訳名
 薬名
 ヤマブキ 山吹
 (楝葉)
 山路
 ユーイ 優位
 有為
 ユソー 油槽
 油送
 ヨーゴ 用語
 要語
 ヨージ 幼児
 幼時
 ヨージョ 養女

幼女
 ヨーダン 用談
 要談
 ヨーヒン 用品
 洋品
 ヨーヘイ 傭兵
 用兵
 ヨーリョウ 容量
 用量
 ヨカ 余暇
 予科
 ヨジョウ 余剩
 余情
 ライエン 来援
 来演
 ライカン 来観
 来館
 ライコー 来校
 来航
 ライシュウ 来週
 来秋
 ライホー 来訪
 来報
 リクシヨウ 陸相
 陸将
 リトー 離党
 離島
 リョウ 料
 量
 リョーキ 漁期
 猟期
 リョーケン 両県
 両件
 リョーシ 両氏
 漁師
 猟師
 両市
 両誌
 両紙
 リョーシヨウ 両省

	両相		寮費		連覇
リョーシン	良心	リョーユー	良友	ローガン	老眼
	両親		僚友		老顔
リョーチ	両地	レイグー	冷遇	ローショー	労相
	領地		礼遇		老将
リョーバ	猟場	レイジョー	礼状	ロクジ	六時
	漁場		令状		六次
リョーヒ	良否	レンパ	連破		六字

〔注〕1 (高)は使用率の高い語 (「総合雑誌の用語 (前編)」の第2表「使用率順語彙表 (全体)」に掲載されているもの。

2 ()は同義語と思われるもの。なお、この中には、「同音の漢字による書きかえ」(昭和31.7.5.国語審議会報告)によって、現在はその一方に書きかえられているものがある。別掲の「同音語集」では、「書きかえ」に従った。

3 上に掲げた語の中には、「法令用語改正要領」(昭和29.11.26内閣法制局)によって、法令では現在使用しなくなっているものがいくつかある。別掲の「同音語集」では、法令用語としては、「改正要領」に従った。

Ⅲ 同音複合語をめぐる問題

1. 調査の目的と方法

同音複合語は、その成立がかなり偶発的なために、実態を明らかにすることは、容易でない。実際に使われ、同音語としての問題を起こしそうな複合語が抽出できるほど、資料を、収集するには、大がかりな調査を必要とし、辞書や同音語集など、手近かなものからでは、十分に採集できない。そこで、同音の複合語は、どんな単位の結合によって成立しているかを調べ、それを類別・分析することによって、同音複合語の成立のしかたについて見通しをたてることにする。さらに、可能な範囲で、同音複合語をめぐる問題についても、問題点を究明してみる。

1.1 同音複合語を構成している単位の結びつき方（以下「構成様式」と呼ぶ）は、つぎの2種類に大別される。

A. 構成様式が同一のもの

（例）

{大一海戦	{法曹一界	{消火一栓	{有料一道路	{生態一模写
{大一会戦	{放送一界	{消化一腺	{優良一道路	{声帯一模写
{性一細胞	{使用一料	{前一夫人	{重大一事件	{開校一記念日
{精一細胞	{使用一量	{全一婦人	{十大一事件	{開港一記念日

B. 構成様式が異なるもの

（例）

① {主一成分	{異一電子	{半一世紀	{前一会期	{非一戦災都市
{酒精一分	{遺伝一子	{反省一期	{全快一期	{被戦災一都市
{新一学制	{不一干涉	{軽一電機	{中一戦車	{国際一市場
{進学一生	{不感一症	{継電一機	{抽選一者	{国際史一上
② {菓子一屋	{歯科一医	{指揮一棒	{指揮一権	{選挙一区
{貸家	{斯界	{式帽	{識見	{戦局

{ 齒—医者	{ 総—指揮	{ 検糸—器
{ 敗者	{ 葬式	{ 見識

以上のうち、Aのような構成様式をもつ同音複合語については、同音の造語要素および、同音の単独語、それぞれがもっている結合性（他の語との結びつき方）を、徹底的に分析することによって、原理的には、こうした同音複合語の成立の可能性が、解明できるはずである。

一方、Bのような構成様式をもつものについては、その成立が、きわめて偶発的であり、こうした同音語の成立について見通しをたてることは、困難である。日本語の音（オン）の結びつき方の傾向についての研究や、語の音構成の組織的な研究などが進めば、あるいは、見通しがたてられるようになるかもしれない。

表4 同音複合語の構成

<同音複合語の例>	<構成形式>
① 宇宙 + 線 : 宇宙 + 船	○—○+△
② 希 + 金属 : 貴 + 金属	△+○—○
③ 危険 + 率 : 棄権 + 率	●—●+△
④ 再 + 生産 : 再 + 精算	△+●—●
⑤ 高級 + 車 : 高給 + 者	●—●+△
⑥ 生 + 化学 : 性 + 科学	△+●—●
⑦ 研究 + 期間 : 研究 + 機関	○—○+●—●
⑧ 高空 + 写真 : 航空 + 写真	●—●+○—○
⑨ 教科書 + 展 : 教科書 + 店	(3字語)+△
⑩ 準 + 内地米 : 純 + 内地米	△+(3字語)
⑪ 耳鼻科 + 医院 : 耳鼻科 + 医員	(3字語)+●—●
⑫ 構内 + 警備員 : 港内 + 警備員	●—●+(3字語)
⑬ 某新聞社 + 機 : 某新聞社 + 旗	(4字語)+△
⑭ 半 + 価格統制 : 反 + 価格統制	△+(4字語)

(注) 三角形……造語要素 ○・△……共通部分
 小 円……単 独 語 ●・△……同音部分

れないが、現在の段階では、まだ無理であろう。しかしBの構成様式をもつ同音複合語は、発音の切れめに違いがあるのが普通であり、アクセントも、多くの場合、異なっている。したがって、同音複合語として問題になるのは、多くは、Aのような構成様式をもつものではないかと思われる。それゆえ、ここでは、Aのような構成様式をもつ同音複合語だけについて、分析していくことにする。

1.2 前項で述べた、Aの構成様式をもつ同音複合語の、基本的な複合形式を整理すると、表4のようになる。このような同音複合語については、つぎのような研究方法が考えられる。

一つ一つの単独語・造語要素について、それぞれが他の語と結合する場合、この表の構成形式のどの部分に位置しやすいかを、大規模に調査してみる。そして、その位置が同一になりやすい単独語・造語要素の中から「同音のもの」を摘出すれば、Aの構成形式の同音複合語については、網羅的に調べられ、こうした同音複合語の成立についての見通しをたてることができるはずである。

1.3 同音複合語は、その構成単位の数が増加し、構成が複雑になればなるほど、一般に、意味の識別が容易になると考えられる。1.1で例としてあげた同音複合語でも、漢字5字で構成されるものなどは、まぎれる可能性が、あまりないように思われる。まして漢字6字以上で構成されるような複雑なものは、たとえ、あったとしても、実際の文脈においてはまず問題にならないだろうし、その数も、それほど多くはないと推定される。

また、構成の複雑な同音複合語は、構成の簡単な同音複合語が、さらに複合したものとして解決できる面もある。したがって、同音複合語として、特に検討を要するのは、やはり、漢字3字、4字程度で構成される、構成の比較的簡単な同音複合語である。

以上述べてきたように、ここでは、構成様式が同一の「字音語の同音複合語」の中で、構成の比較的簡単なものについて分析を行なうことにする。

2. 同音複合語を生み出すもの(I)——造語要素

2.1 同音複合語の問題として、まず、採り上げなくてはならないのは、同

音の造語要素である。その理由は、他の同音語に、広く結合して、同音複合語を生み出す有力な要因となっているからである。この意味から、同音の造語要素の中でも、主として一字の字音語は、造語力が、特に、強いために、もっとも問題になる。

2.2 「総合雑誌の用語（国立国語研究所報告12, 13）」調査の際の語構成の調査（所員、斎賀秀夫担当）をもとにして、同音語として問題になりそうな一字の字音語の用法を、分類整理すると表5のようになる。この表でいう「前部分」「後部分」とは、単独語（漢字1字にあたるものを1単位として、2単位までの語）の「前につく」か「後につく」かである。この表5から、一字の字音語の造語要素について、つぎのようなことが、推定される。

表5 同音の「一字の字音語」の用法別分類表

	前部分	後部分			単独用法
		普通名詞～	(数)～	固有名詞～	
アン				案・庵	案(～に)・暗(～に)館
イ	医・異・遺	委・医	位・尉		胃・意・異(～な)
イン		員・院	員・院		因・印・韻・陰
エキ		駅・液			役(の～)・駅・益液・易
エン	遠・円	炎・塩・円 園・宴・鉛			円・宴・縁・演(～じる)
オー	凹・黄			翁(人名～) 王	翁・王・応(～じる)
カ	過・下・可	歌・禍・化 家・科・華 課・下・花 価・貨・果	荷・科・課		課(～する)科・蚊化(～する)
カイ	開・快・皆・怪 海・会	会・界・灰 戒	回・階	海・会	会・回・快・怪解
ガイ		街・外・害			
カク	各・核・角	核・格・角	角・画		核・格・角・確

	前部分	後部分			単独用法
		普通名詞～	(数)～	固有名詞～	
ガク		学・額			学・額・楽・夢
カン	間・漢・管・閑	管・官・艦 漢・館・観 感・間・監	巻・貫・管 鑑・寒	館・刊	観・感・勘・間・ 鑑・鑑・官・巻・ 寒・棺・欄・簡
キ	貴・稀・既・輝	期・紀・季 記・器・鬼 機・軌・基	騎・期・機 基		機・気・軌・季・ 期・奇
ギ	義・擬	技・儀			儀・義・妓・議
キュー	旧・急・九・休	給・級・球	級・球		九・灸・急
キョー		教・狂・境 鏡・経・郷 橋	強・卿	卿・経・教	経・興・凶・境・ 香・卿
キョク		局・曲	曲・局・極		曲・極・局
ク		区・苦・句	区・苦・句		区・苦・句
グン		群・軍	軍・群・郡	軍・郡	軍・群・郡
ケイ	軽・頸	計・形・系 刑・荃・兄	計・景・京	系・兄	計・刑・徑・蹊・ 罍
ケン	県・兼	圈・権・券 兼・犬・隼	県・件・軒 間・鍵	軒・県・犬	県・件・券・権・ 剣・兼・妍・鍵
ゲン	現・原・玄	限・減	元・絃・減		現(～に)・言・弦 厳(儼)(～に) (～として)
コ	古・故	湖・庫	個・戸		
ゴ	御・五	後・語			語・基・五・期
コー	公・広・好・高 甲・硬・光・抗 紅・黄・巧・甲 後	高・口・校 孔・港・工 項・光・溝 綱・鋼・講 鉉・宵・香	校・項・更	港・校・高 公・江・侯 工・鋼・講 鉉・坑	甲・工・行・幸・ 香・功・行・劫・ 孝・講・稿・候・ 効・項・校
ゴー		号・壕	号・合	号・郷	号・毫・業・蒙
コク			国・刻・石		

	前部分	後部分			単独用法
		普通名詞～	(数)～	固有名詞～	
サイ	再・最	債・裁・祭			最・妻・采・菜・ 犀・際・才
ザイ		材・剂・財 罪		在・財	
サク		策・作・柵			柵・策
サン		産・山・酸		産・山・散	三・酸・産・棧
シ	市・死・私・四 支・紫・試	誌・詩・師 視・紙・史 子・士・死 詞・司・糸 使・齒・姉	紙・師・市 誌・氏・子 糸	子(子爵) 子(ペンネーム)・氏 市・紙・師 誌・志・史	市・死・氏 士(の～)・師・詩 資(の～に供す)・ 四
ジ	自・次・磁	時・事・見 寺・辞	寺・次・時 児・事・字	寺・字	地・字・辞・痔
シツ		室・質			室・質
シャ		社・者・車	車・社・者		
シャク			勺・尺		積・酌・笏・杓
シュ		手・酒・種 主	首・株・種	種・酒	主(～として, キ リスト) 種・朱
シュー	州・週・周・終	集・衆・囚 臭	週・集・州 周・宗	集・宗・州	周・週・州・衆 醜
ジュー	重・銃・十	中・銃・獸	十・重		從・銃・十・柔
ジュン	純・準		旬・巡		純(～な) (～に)・順(～に) 準(～ずる)
ショ	諸・初	書・所・署			書・署・緒
ショー	省・小・少・正 商	傷・賞・唱 商・証・章 症・勝・性	升・勝・床	省・賞・相 抄	省・賞・小・衡 性・称・将・笙 証・鉦
ジョー	上・常・定	上・場・状 錠・嬢	乗・疊・条 嬢・城・錠 帖・丈	城・嬢・丈	条(の～)・情・上 錠

	前部分	後部分			単独用法
		普通名詞～	(数)～	固有名詞～	
ショク		職・食・色	色・食・燭		食・職
シン	真・新・親・深	心・神・審 疹	信・審		信(～をおく) 芯・臣・真(～に) 真(～の)
ジン		人・陣	陣・尋		仁・陣
セイ	正・性(sex) 生・精・聖・静	生・製・性 正・制	世・聖	製・生・姓	性(sex)・生・性 製(～する)・制・ 正・勢・精・聖(～ なる)・姓
ゼイ		勢・税			税・資
セキ		石・席・籍	隻・石・席		籍・席・積
セツ		節・説			節・説・切(～に)
セン	先・鮮・千・線	戦・船・箋 線・選(撰) 栓・銭・泉 腺	線(第～) 船(第～) 戦(第～) 選(撰)・戦 銭・線	戦・箋・船 線・選(撰)	線・選(撰)・栓 千・詮(～ない)
ゼン	全・前	禅・前・然			善・禅・膳
ソー	総・早・双・蒼	僧・奏・相 層・槽・瘡 葬・草	艘・層・相 双		相・層・僧・奏 想・寧・壮
ゾー	続・俗	増・像		蔵・像	象・像
ゾク		族・属			俗・賊・属(～す)
タ	他・多				多(とする) 他(～の)
タイ	対・耐・帯	帯・体・態 隊・対	隊・体・袋	隊・対	隊・体・対(～する)
ダイ	大・代・第	代(代金) 大(大学) 大・台	代(百円～) 題・台・代 (世代)	台 大(大学) 代	代(～が変わる) 代(代金)・大・台 題

	前部分	後部分			単独用法
		普通名詞～	(数)～	固有名詞～	
タン	単・短・淡	譚・端・炭		炭・丹	端(～を発する) 啖・単(～に ～なる)・胆 単(single)・嘆
ダン		弾・団・談	段・弾・団	男・談・団	段・壇・暖・断
チ		地・池・値			知(智)・治 地(～をはらう)
チュウ	中・宙・駐	柱・中・注			註・中・宙・忠
チョー	長・超・庁	長・帳・調 庁・鳥	丁・町・挺 庁・張・兆	調・町・丁 庁・朝	長・庁・腸・疗 徴
ツー		通・痛			
テイ	定・低	廷・堤・弟 艇		邸・帝・亭	態(体)・艇・呈 底
テキ		的・敵			
テン		展・店・点	店・点	店・展	天・点・典
デン		伝・電・殿		伝・電・殿	
ド		度・奴・土			
トー	党・当・等・燈 唐・東・籐	塔・等・党 燈・筒・湯 島・刀・糖	頭・等・燈 島・党・当	島・党・等 刀・糖	当・塔・党・唐
ドー	同・銅	堂・動・道 銅	道・堂	道・堂	銅・堂・胴
ノー	農・脳・能・濃	農・脳 能(放射～) 能(能楽)			脳・能(能楽) 能(～がない)
ハイ	肺・廃・排	肺・杯	敗・杯		肺・杯・廃(～す る)・排(～する)
バイ			杯・倍		
バツ		罰・閔			罰・閔・跋 バツ(～がわるい)

	前部分	後部分			単独用法
		普通名詞～	(数)～	固有名詞～	
ハン	半・反・汎	犯・斑・班判	藩・班・版犯・半	藩・班	藩・班・版・判 反(～する) 反(正・反) 範(～とする)
バン	晩・番	版・判・板盤・番	番・晩		番・晩・盤
バン			版・藩・犯班		
ヒ	非・緋・被・避妃	碑・費・比秘・妃			緋・碑・非・比 否(～とする)・秘
ヒョー		表・標・票評	表・票・俵表(第～)標(第～)	表・票・評	票・標・表・評 雹
フ	不・府	婦・夫・府符・譜	夫・婦・府		計・府・歩・斑 腑
ブ	無・不		部・分・歩		武・分・部
ブ			夫・婦・府		
フク	複・副		服・幅		服・複(単・複) 副(正・副)・福
ブツ		物・仏			
ブン		分・文	分・文		分・文
ヘイ	丙・兵・弊・平				幣・兵・摒・丙
ヘン	偏・変		遍・編・辺	辺・編(篇)	変(～に ～な の～)・辺(の～) 辺・偏
ベン			編・遍・辺		
ホ		舗・補・圃			補(～する)・歩
ホー		砲・報・峰法	峰(第～)報(第～)法・峰・方		方(わが～)・苞 法・袍・報・砲

	前部分	後部分			単独用法
		普通名詞～	(数)～	固有名詞～	
ポー	某・棒・亡	坊・帽・棒		某・坊・房	某・棒・坊・暴
ポー		砲・報・峰 法	峰(第～) 報(第～) 法・峰・方		
マク		幕・膜			幕・膜
メン	面・綿	面・麵・綿 免			面・綿
モン			文・門・間		紋・門
ヤク		役・薬・訳	薬・役		訳・役・厄・薬
ヨー	洋・要・養・陽	用・様・葉 要(書名)		用・洋	要・用・洋 陽(～に)
ヨク		欲・浴・翼			欲・翼・浴
リ		裡(～に) 吏			利・理
リョー	両・寮・良	料・量・漁 寮・獵	輛・兩・寮	領・寮・陵	漁・寮・量・両・ 了・涼・後・獵
レイ	例・令・冷	令・例・礼	礼・例		礼・例・零・靈
ロ		炉・路			櫓・紹
ロー	老・蠟			老・楼	老・蠟・牢・勞

イ) 一つ一つの造語要素は、すべて、他の同音語に結合して、同音複合語を生み出す要因となる。

(例)

○前部分として

未	～回収	:	～改修	再	～搗精	:	～統制
全	～過程	:	～家庭	新	～資料	:	～史料
両	～議員	:	～議院	不	～健康	:	～権衡
御	～意向	:	～威光	総	～経費	:	～係費

第　～二信　：　～二審

急　～展開　：　～転回

○後部分として

者　志望～　：　死亡～

式　起工～　：　帰港～

会　後援～　：　講演～

金　補償～　：　保証～

制　週給～　：　週休～

的　総体～　：　相対～

曲　協奏～　：　狂奏～

品　医療～　：　衣料～

筒　発煙～　：　発炎～

業　青果～　：　製菓～

ロ) 他の語との結合のしかた（前部分として結合するとか、後部分として結合するとかいうこと）が、一致している、一組の同音造語要素は、ある語に結合して、同音複合語を生み出す。

（例）

○前部分として

前：全　　前議員：全議員

多：他　　多目的：他目的

核：各　　核実験：各実験

定：低　　定圧力：低圧力

女：助　　女教諭：助教諭

重：銃　　重火器：銃火器

高：好　　高記録：好記録

正：静　　正電気：静電気

性：精　　性細胞：精細胞

怪：快　　怪事件：快事件

○後部分として

会：界　　音楽会：音楽界

夫：婦　　掃除夫：掃除婦

団：談　　探険団：探険談

所：書　　調査所：調査書

管：官　　試験管：試験官

権：犬　　警察権：警察犬

庁：長　　教育庁：教育長

層：僧　　青年層：青年僧

家：化　　専門家：専門化

圏：権　　生活圏：生活権

ハ) 他の語との結合のしかたが、一致している、一組の同音造語要素は、他の同音語に結合して、同音複合語を生み出す。

（例）

○前部分として

急：旧　　急先峰：旧戦法

超：長　　超党派：長踏破

低：定　　低課額：定価額

燈：党　　燈艸油：党経由

全：前	全機関：前期間	寮：両	寮委員：両医院
光：高	光化学：高価額	全：前	全楽器：前学期
最：再	最年少：再燃焼	準：純	準決勝：純結晶

○後部分として

権：県	興行権：工業県	機：器	制動機：青銅器
紙：誌	機関紙：季刊誌	器：期	制御器：盛漁期
場：上	掲示場：形而上	家：化	狂信家：狂信化
説：節	起源説：紀元節	機：期	飛行機：肥効期
感：漢	恍惚感：硬骨漢	燈：等	標識燈：表式等

ニ) 数および、固有名詞に後部分として結合する同音造語要素は、文脈によって識別される可能性が高いと推定されるので、一般の語に自由に結びつく造語要素ほどは、問題にならないと思われるが、例をあげると、つぎのようなものがある。

(例)

○数の後部分として

代：台	10代：10台
階：回	2階：2回
刻：国	1刻：1国
審：信	2審：2信
夫：婦	1夫：1婦

○固有名詞の後部分として

城：嬢	岡崎城：岡崎嬢
市：氏	高田市：高田氏
港：工	秋田港：秋田工
生：姓	高橋生：高橋姓
藩：班	上田藩：上田班

3. 同音複合語を生み出すもの(Ⅰ)——造語力の強い同音語

3.1 単独語が、他の語と結びついて、同音複合語を生み出す場合についても、当然「同音複合語を生み出すもの(Ⅰ)」の項で行なったような分析が、考えられるはずである。しかし、単独語一つ一つの結合性を明らかにして、造語要素に施したような分類(表5)を試みるためには、大がかりな調査を必要とする。

そこで、ここでは、「同音複合語の構成単位になりやすい同音単独語」についてだけ、考えることにする。

3.2 複合語の構成単位になりやすい同音単独語についても、前部分として

結合しやすいものと、後部分として結合しやすいものとが、当然考えられる。例をあげると、つぎのようなものである。(言うまでもなくここでは、他の単独語との結合を考え、造語要素との結合性は考えない。)

イ) 前部分として結合しやすいもの

(例)

自営～	： 自衛～	市立～	： 私立～
史的～	： 詩的～	在校～	： 在港～
原始～	： 原子～	強行～	： 強硬～
越権～	： 越県～	私有～	： 市有～
期成～	： 既成～	国政～	： 国勢～
腹式～	： 複式～	水利～	： 水理～
紙製～	： 私製～	自立～	： 自律～
占有～	： 専有～	耐水～	： 滞水～

ロ) 後部分として結合しやすいもの

(例)

～機関	： ～期間	～体制	： ～態勢
～協会	： ～教会	～減少	： ～現象
～体系	： ～大系	～戦史	： ～戦士
～攻勢	： ～構成	～回収	： ～改修
～騰制	： ～統制	～両様	： ～両用
～要旨	： ～用紙	～委員	… ～医院

以上あげたような「ほかの語と結びつきやすい単独語」についても、2.2で考察した造語要素の場合とまったく同様に、同音複合語を生み出す種々のケースが考えられる。すなわち、結合性の一致しているものは、すべて、他の単独語、または、他の同音語セットに結合して同音複合語を作り出す可能性をもっている。また、こうした「ほかの語と結びつきやすい単独語」は、一つ一つが、すべて、他の同音語セットに結合して同音複合語を作り出す可能性をもっている。

(例)

私有—財産：市有—財産

水利—調査：水理—調査

在校—日数：在港—日数

原始—兵器：原子—兵器

強行—手段：強硬—手段

国政—調査：国勢—調査

資本—攻勢：資本—構成

物価—騰勢：物価—統制

論文—要旨：論文—用紙

自然—減少：自然—現象

実施—機関：実施—期間

保健—委員：保険—医院

自給—体制：持久—態勢

科学—体系：化学—大系

4. 結合性の異なる同音単位

4.1 以上の、同音複合語の分析から、「同音であっても、たがいの結合性が、あい異なる語（単位）は、同音語として、まぎれる可能性が低い」という判別条件が、導き出される。

4.2 結合性の異なる一字漢語

まず、他の語との結合力のよい「一字の字音語」を結合性（他の語との結びつき方）によって、表5のように分類すると、同音ではあっても、まぎれにくいものが、かなり摘出される。

たとえば、この表によると、「ヒ」の同音語には「非、緋、被、避、碑、費、比、秘、妃、否」があるが、それは、つぎのように分類されている。

○前部分として……非、緋、被、避、妃

○後部分として……〔普通名詞～〕碑、費、比、秘、妃

○単独用法………緋、碑、非、比、秘、否（～とする）

したがって、「被」が「碑、費、比、秘、否」とまぎれることは、あまりないと推定される。同様に「費」が「非、緋、被、避、否」とまぎれることも、「否」が「被、避、費、妃」とまぎれることも、ないだろうと思われる。さらに、おなじ単独用法の中で、「否」は「否とする」の形で使われることが多いから、「緋、碑」などとは、まず、まぎれないということになる。

「トー」の同音語には「党、当、等、塔、頭、燈、島・橙、唐、東、筒、湯、刀」

があるが、これらは、つぎのように分類されている。

○前部分として……党，当，等，橙，唐，東，籐

○後部分として……〔普通名詞～〕 塔，等，党，燈，島，筒，湯，刀，糖

〔(数)～〕 頭，等，燈，島，党，当

〔固有名詞～〕 島，党，等，刀，糖

○単独用法……………当，塔，党，唐

したがって、「頭」が「塔」とまぎれる可能性は低いと推定される。単独用法以外では、「塔」が「当」とまぎれることも、少ないと思われる。さらに〔(数)～〕の形の「当」は「(数)当(数)落」として使われるので、「頭，等，燈，島，党」とは、あまり、まぎれない。

「セイ」の同音語として「正，性，精，静，制，世，聖，勢，姓」が、あがっているが、これらは、つぎのように分類されてしまうので、「正」と「世」あるいは「世」と「姓」などは、まぎれにくいと推定される。

○前部分として……正，性(sex)，生，精，聖，静

○後部分として……〔普通名詞～〕 生，製，性，正，制

〔(数)～〕 世，聖

〔固有名詞～〕 製，生，姓

○単独用法……………性(sex)，生，製，性，制，正，勢，精，聖(～なる)，姓

また、「静」は前部分として「静電気」のように使われるだけから、「製，性，制，世，勢，姓」とは、まぎれにくい。〔普通名詞～〕の形で「正」が使われるのは、「検事～」の場合ぐらいだから、おなじ用法の「生，製，性，制」とは、ほとんど、まぎれない。単独用法の場合の「聖」は「聖なる」の形で使われることが多いから、「性(sex)，生，性，製，制，正，勢，精，姓」とは、まぎれないと推定される。

以上の例のようにして、表5を整理していくと、同音の一字の字音語はたくさんあるにしても、実際に、まぎれやすいものは、数がしばられてくる。

4.3. 結合性の異なる同音単独語

前項において、一字漢語について行なったような調査を、同音の単独語についても、行なうことによって、結合性が、あい異なるために、まぎれにくい同音語が、抽出されてくる。

しかし、同音単独語の結合性（他の語との結びつき方）を確かめるには、大規模な調査を必要とするので、ここでは、推定できる範囲のものを、例として、あげるにとどめる。

つぎの例の(前)(後)などは、それぞれ「前部分として結合」「後部分として結合」の記号である。

(例)

(人工 (前) 人口	(以上 (後) 異常	(西紀 (前) 世紀 (後)	(起工 (前) 気候
(正確 (前) 性格	(洋式 (前) 様式 (後)	(中止 (後) 注視	(付随 (前) 不随 (後)
(国際 (前) 国債	(泰西 (前) 体制 (後)	(施設 私設 (前)	(令状 (後) 礼状
(地下 (前) 治下 (後)	(原始 (前) 原紙	(動態 (後) 胴体	(至上 (前) 史上 (後)

以上あげたような同音単独語は、その結合性が、やや異なっているので、同音複合語となってまぎれる可能性は薄いと推定される。

Ⅳ 特殊な同音語

1. 固有名詞

固有名詞をめぐる同音語の問題は、固有名詞どうしが同音となる場合よりも、固有名詞を含んだものの場合に生じやすいと考えられる。一般に固有名詞は、出る順序（地名なら「～県～郡」など、人名なら「肩書き」や「姓・名」など）も、ほぼ決まっているし、それをめぐる話題も、だいたい限られるので、固有名詞どうしの同音語は、普通のコミュニケーションでは、まず、問題にならない。固有名詞をめぐる同音語が、支障を起こすとすれば、普通の語と固有名詞の同音語、あるいは、固有名詞を含んだ語をめぐる問題だろうと推定される。いずれにしても、こうした問題は、他の同音語の場合とは、その性格がやや異なり、やはり特殊なものと言うべきであろう。

固有名詞をめぐる同音語には、つぎのようなものがある。

（例）

イ）欧州・奥州	紅海：黄海	房州：防州	安房：阿波
四万：志摩	茨木：茨城	韓　・　漢	大阪：逢坂
中共：中京	明大：名大	日赤：日石	日航：日光
日台：日タイ	京王：慶応	日清：日新	南亞：南阿
ロ）黄海：公海	米国：米穀	四書：史書	同志社：同志者
東電：答電	国共：国境	伝研：電鍵	東大：燈台
東武：東部	黒海：国界	山陰線：参院選	紀勢線：既成線
対日：滞日	反米：汎米	向ソ：抗ソ	中ソ：駐ソ
中米：駐米	韓国案：勸告案	南ア連邦・南ア連峰	

2. 略語

略語というものは、本来、せまい範囲の人々の間のコミュニケーションの便宜のために作り出されるものだから、略語どうしの同音語、あるいは、略語を含む同音語セットは、支障混乱を起こしやすい。特に、最近のマス・コミなどでは、一般の社会人になじみの薄い略語が、かなり使用される傾向がみられ

る。このため、略語は、同音語としての方面からも、今後、問題になることが多いと予想される。

略語をめぐる同音語セットには、つぎのようなものがある。

(例)

イ) 高校：高工	教組：協組	地検：地建	工専：高専
労災：労済	特高：特攻	普選：婦選	火保：貨保
戦保：戦補	特急：特休	高小：高商	臨休：臨急
採捕：再保	全学連：全岳連		
ロ) 民放：民法	教組：教祖	婦警：父兄	参院：産院
電軌：電気	電工：電光	特急：特級	法経：法系
農金：納金	農工：農耕	区整：区政	内航：内港

3. 連語・「助辞を伴う単位」

連語や「助辞を伴った単位」をめぐる同音セットについて、その実態を明らかにするには、大がかりな調査を必要とし、辞書、その他、手近かな資料からでは、用例がなかなか採集できない。手もとに集まった用例から推測すると、こうした同音単位の中で、もっとも問題になりそうなものは「終止形の異なる活用語でありながら、ある活用形において同音となってしまうもの」である。終止形が同音の活用語は、助辞を伴った場合を想定しなくても、同音か否かは、簡単にわかるが、終止形以外の活用形が同音となるものは、辞書などの資料からは、採集できないため、同音語になるかどうかの見通しがたてにくい。また、一般の連語は、それを構成している個々の同音語について、一応の処理ができる場合が多いと推定される。

(例)

イ) 言って：行って	生きます：行きます	持って：盛って
待って：舞って	飼った：刈った	飼った：勝った
買った：刈った	買った：勝った	買った：刈った
来い：濃い		
ロ) 意として：意図して	お呉れ：送れ	お仕入れ：押入れ
行こう：移行	会いたい：相対	

4. 洋語（外来語）

洋語は、かたかな書きで表記されるので、もし同音語が数多く存在すると、その判別は、かなり、むずかしくなると推定される。しかし実際には、字音語などに比べると、その総数が、ずっと少ない上、使われる音韻が、字音語よりも広い範囲にわたっていてバラエティに富んでいるため、同音語が生じる可能性は、それほど高くないと考えられる。その上、洋語を使う場合には、和語や字音語の場合に比べて、相手に理解されるか否かを反省することが多いので、この点にも、同音語による支障・混乱が、ある程度防がれている原因があるように思われる。しかし、今後、洋語がつつぎに借り入れられ、その数が増加し、日常生活にも数多く取り入れられてくると、同音語としての問題が、深刻になってくることがないとは言えない。そうなると、字音語における同音語の問題は、現行の文章の表記法の範囲では、主として話しことばの場合に、だいたい限られているのに対して、洋語では、書きことばにおいても、支障が生じうる点に注意すべきである。

洋語をめぐる同音語セットには、つぎのようなものがある。

（例）

イ) バス (bus : bath : bass)	コート (Coat : Court)
コック (kok : cock)	ホーム (home : form)
トラック (track : truck)	スチール (steal : steel : still)
オール (all : oar)	ロック (rock : lock)
フロック (frock : fluke)	スト (strike : strip)
バレエ (ballet : volley)	プロ (program : prolétariart : production : professional)
メイド (maid : made)	パス (pass : PAS)
ナイト (night : knight)	ソーセイジ : 早生児
ロ) 減トン : 原トン	ソーダ : 操舵
国会デモ : 国会でも	マイル : 参る
タイ (tie) : 対	マイシン : 邁進
都バス : 飛ばす	コード : 高度
アイス : 愛す	

5. 誤読などで生じる同音語

主として漢字、まれには「和語のかなづかい」などを誤読することによって、それと同音の語にまぎれる場合がある。また、一般に行なわれていないような読みをしたために、それと同音の語とまぎれるようなことがある。こうした用例は、たいへん集めにくいですが、手もとに集まったものには、つぎのようなものがある。

(例)

イ) マンゼン……慢然：万全（バンゼン）

ジューヨー……重要：重用（チョーヨー）

ブンガク……文学：文楽（ブンラク）

セイシン……精神：精進（ショージン）

ジジュー……侍従：持重（ジチョー）

ロ) コーシ……格子・講師：小牛（コウシ）

ギョーセイ……行政：疑陽性（ギョーセイ）

ビョーイン……病院：美容院（ビョーイン）

リョーホー……療法：利用法（リョーホー）

アツカン……悪漢・圧巻：熱爛（アツカン）

コーリ……高利：小売り（コウリ）

漢字の音訓制限などによって漢字の読み方がせばめられてくると、（イ）のような「誤読（慣用読み）による混乱」の生じる可能性が高くなってくると考えられる。また、かな書きやロー字書きなど、表音式の表記法をとると、（ロ）のような混乱が起こることも予想される。

純粹の同音語問題とは言えないかもしれないが、同音語問題の周辺に、こうした問題が存在していることは、注意すべきことだと思われる。

V テレタイプ関係の資料の調査

1. 調査の目的

今回の調査の一環として、テレタイプ関係の資料の調査を志したのは、次の理由による。

- (1) 現在、規模の大きい企業では、事務能率の向上のために、本社と支社あるいは工場との間の通信事務をテレタイプやカナタイプによって機械化している所が多くなった。通信事務文書が、ほとんど全文かなばかりになると、そこに当然同音語の問題が起こってくることが予測される。もとより、企業の内容・性質によって一概にはいえないであろうが、実務の場では、それを実際的にどのように処理しているのか、当事者にただして参考にしたいと考えた。
- (2) われわれの採った基礎資料は、同音語集・各種用語集・辞書類なので、語例は豊富であるが、文章語や非現代語もかなりの量を占め、現代の用に必ずしも合わない面がある。また、具体的な文脈では複合語の形式で現われる語も、資料ではその構成要素に分析されて示されるので、複合語の形式で同音語となるものを求めにくい欠陥がある。テレタイプの資料によって、いくらかでも、このような欠点を補うことができるのではないか。基礎資料では推定しなければならなかった文脈も、テレタイプ資料によってはじめて、具体例を得ることができるという便宜もある。

2. 実務関係における同音語の問題点

東京・大阪の事業所九か所をたずね、

- (1) 同音語による支障が起こっていないか。
- (2) 支障がある場合には、それを実際的にどう処理しているか。

の2項目につき調査した。その結果は、国立国語研究所年報11（159ページー163ページ）に大要報告したので、参照されたい。なお、呉羽紡績は、社の全機構にわたってテレタイプ、カナタイプを徹底的に利用しているので、問題の所在を知るためにはよい例である。われわれの質問に対する同社文書課長代理松村真一氏の寄せられた報告によって要約してみる。呉羽紡績は、昭和28年東

京・大阪間にテレタイプが通じ、29年以降カナタイプを伝票や一般文書にも使い始め、現在ではテレタイプは大阪本社を中心に9工場、2事業場と連絡して一日平均500通に及んでいる。現在かながきにしていないものは人事移動通知、官庁等にあてた発信、儀礼的色合いの強いものに限られ、他は重要文書でもかながきにしている。このように広範囲にわたるので、ある一部局内だけでことばをコントロールするわけにはゆかない。ここに、ことばなおしの必要が起こる。ことばなおしは、漢語を外来語や訓読みに直し、当用漢字外の字は徹底的にかながきにする。たとえば、

梳棉→カード 撰毛→ヨリモ 洗毛→アライ毛

糊付→ノリツケ 空糸→モク糸 経糸→タテ糸 緯糸→ヨコ糸

同音語の支障に関しては、課長以上の人69名に対するアンケートの結果によれば、その70%が支障を感じたことがないと答え、まれにあるが27%、しばしばあるは3%にすぎない。この3%の、支障を感じると答えた人々が、経験した実例としてあげたのは、つぎのようなものである。

建築関係 腹筋・複筋 配水・排水

電気関係 電力料・電力量

繊維関係 織度・鮮度

医学関係 帰郷療養・気胸療養

宣伝関係 一駒・一小間

資材関係 仕様・使用・私用 前面ガラス・全面ガラス

機械関係 硬度計・高度計

財務関係 保証金・補償金

その他 証明・照明 改装スル・回送スル 歯科医・市会

解消スル・改称スル 貴工場・機構上

これらの支障の処理に関しては、50%までの人は、大部分は前後の文脈でなんとかわかるので、そのままにしている。それでも事が済むのは、この支障が、マス・コミのように広く一般にわからせる必要がない、「読み手」と「書き手」の間に局限される問題だからである。ことに専門のことばは、そのサークルでは固定しているから、むりなことばなおしは、かえって「前のことばは

どの意味、あるいは感じを言い表わしえない場合がある」とアンケートは答えている。

同音語の支障を実際に強く感じるのは、固有名詞が同音になる場合である。次のようなアンケートの答えがそれである。

- (i) 物を移動したいが、そのあて先がかなではわからない。
- (ii) 自分の課は査業課だがよくまちがえられる。(査業一作業)
- (iii) 同じ業種に同名が二軒ある。〔宣伝課〕(東映―東栄)
- (iv) 会の名前などでわからないものが多い。〔文書課〕(イシ ヨ ウニソ キ ヌ
ウカイ)

これらの解決には注記したり、そのつど問い合わせたりしているが、これは一つの企業の内部だけでは解決し得ない問題である。

要するに、呉羽紡績では、ことばなおし——これには前述のような、社内共通のもののほかに、執筆の際にその個人が臨機の処置をする場合があるようである。これができるのは、社員にカナタイプ教育を徹底させているため、平易な表現を選ぶことに慣らされているからである——や、タイプのわかち書きによって、同音語の支障を未然に防いでいる面はあるが、大した支障を感じていない。ただ、固有名詞の同音語が、実務面では、処理し得ない問題として残るのである。しかし、実務関係で同音語があまり問題にならないのは、一つにはテレタイプやカナタイプの利用度が現在なお低く、企業の全機構と結びついていないために、問題が表面化してこないためであり、一つには、問題が狭い範囲の一企業内部の問題として適宜に処理されてしまうからではないか。松村氏の言われるように、一企業内部の同音語の支障が、広くマス・コミの世界に進出していった時には、あらためてその処理が問題になるのであろう。将来どういう企業関係の専門語や固有名詞の略称が、社会一般に広がってゆくかは、もとより予測できないが、社会の進展に応じられるように、この問題に関する適切な処置が望まれる。

3. テレタイプ資料の収集および分析

3.1 資料の収集

われわれの一つの目的は、具体的な文脈を備えた資料をテレタイプ関係の資

料に求めることにあったが、現状では、テレタイプを利用して通信される文書は、注文書・稟議書等一定の規格のあるものが大部分で、それ以外の一般の事務連絡の文書は、保存の用を認めないので、捨ててしまう場合もあり、逆に企業内容の機密に属するため、外に出せない場合もあるようで、この目的は達せられなかった。ただ、朝日新聞から得た資料は、社会一般に使われる語を多く含む点で、直接の資料とすることができ、有効であった。その内容は、政治・経済・スポーツ・社会欄に相当する各支局記者の草稿で、日付けからいえば、約1か月分に当たる。この種の資料が豊富に得られることは望ましいことであったが、残念なことに、われわれが調査のために訪れた昭和34年7月以降は、かなテレタイプを漢字テレタイプに切り替えたため、全文かなの資料はこれ以上得られないことになった。

3.2 資料の分析

朝日新聞のテレタイプ資料には、紙面を作る時に漢字にもどす必要から、その漢字を正しく理解させるために、次のような便法を講じている。（これには一定した方式はない。そのつど、その原稿の筆者の裁量に任されているそうである。）

けんか（あがた・した）は、へいきん10（10）％ぐらい

あつこういた（こうせいしょう・はがね・きのいた）

かとう たけみ（きよまさ・ぶし・うつくしい）

九でん もろつか（しよ・つちつか）あげすい（よう・みず）はつでんしよ

この方法は、一面で同音語のまぎれやすさを未然に防いでいることが注目されるが、それはともかく、いまは、これらの注記などが無いものとして資料を一読してみた場合、理解が妨げられた所を抜き出し、その支障の程度によって類をたてると、おおよそ次のようになる。各類ごとに数例ずつ出す。

〔注1〕 同室の数名にテストして、支障の程度をはかった。その際、その語を理解する手がかりとなった語を指摘してもらった。以下の例に〜で示した。なお――は同音語となる語を示す。

〔注2〕 上のテストには、理解に役だつと思われる最も短い範囲の文脈に原文を切断して示した。

〔注3〕 原文は外来語にもかたかなを用いず、また、かなづかいも必ずしも現代かなづかいに従っていない。テストでは慣用に従ったが、ここには原文のままの形で出す。

(i) 特殊な知識・経験によれば、理解しうるもの

- ① こうちせいきゆうも じゆんこうこくも ぜんぶ きやつかされたため しやく
ほうされた (拘置請求も準抗告も全部却下されたため 釈放された) ……同音語
広告
- ② せんこうちゆうでも くうきを きゆうにゆうして でいーぜる・えんじんを
うんでんする きゆうはいき (潜航中でも空気を吸入してディーゼル・エンジンを
運転する吸排器) ……同音語 朽廃・休廢
- ③ はろげんげんその れうで がんしょうの ぜうたいが わかる (ハロゲン元
素の量で岩漿の状態がわかる) ……同音語 岩礁・岩床
- ④ 4えふ・びふじんも さくしゆうから ようやく どうにいり (4 F・B布
陣も昨秋からようやく堂に入り) ……同音語 夫人・婦人
- ⑤ いづもたいしやしんはいでん かんこうさい (出雲大社新拝殿完工祭) ……同
音語 観光祭

この類の難読・誤読の原因を推察すると、(A)専門語か、または耳遠いことば
であること (B)手がかりになる語が明確でないことにあると思われる。

(ii) 一般社会的な知識・経験が理解をささえるもの

- ⑥ なると かんちようきやくが ゆくえふめい (鳴門観潮客が行くえ不明) ……
同音語 艦長・館長・干潮・冠潮
- ⑦ ろうどうぜうけんの きりさげによる かとうけうそう (労働条件の切下げに
よる過当競争) ……同音語 下等・寡頭
- ⑧ きぜうでんわの けいかく 日こうで てすと (機上電話の計画, 日航でテス
ト) ……同音語 机上
- ⑨ のうちひばいしうしやもんだい ちようさかい (農地被買収者問題調査会) ……
同音語 非買収者
- ⑩ がらすまどや かぐが ほとんど ひさんして そうとうの ひがいを うけ
(ガラス窓や家具がほとんど飛散して相当の被害を受け) ……同音語 悲惨
- ⑪ けんぎかい は ふくぎてうに ××うじを せんになした (県議会は副議長に×
×氏を選任した) ……同音語 専任・先任
- ⑫ このうち げうせいぎかん しよくいん ていいんほう ゆうせいしいうせつち
ほうの れうかいせいあんは しやかいとうの きほうを いれて しうせい か
けつした (このうち行政機関職員定員法・郵政省設置法の両改正案は社会党の希
望をいれて修正可決した) ……同音語 了解成案

この類は、(i)に比べれば、手がかりになる語がより明確であるが、正解に

導かれるまでには多少の推理を必要とする。たとえば、⑥は「鳴門」が「渦潮」をよび起こし、⑦でも「労働条件の切下げ」が縁となって「過当」が思い出される。⑧では「日航」を思い出さず、また、「机上」を思い起こしても、「机上電話」という言い方は普通ではなく、「卓上」となるはずだという反省、⑪では、議会在副議長を「専任」することはないという反省を経てはじめて、「機上」「選任」にたどりつく。⑨でも「非買収者」という言い方がないであろうという常識、⑩では、もし、爆発などの惨事に思い至らず、同音語として一般的な「悲惨」の方を思い出したとしても、それでは「し(て)」と結びつかないし、「ほとんど」のうけ方も落ち着かないという語法的判断が介在する。⑫は「社会党の希望をいれて」からは「了解」が思い出される可能性があるが、「了解案」ということはあっても、「了解成案」という言い方はないだろう、ということが縁となり、その上、2法案の並立という形式が手がかりとなって、「両改正案」が導かれるという経路をたどる。

(iii) 手がかりの語によって、正解と思われる語が推測されるもの

- ⑬ しみんが せいしんな しせいを きたいしている (市民が清新な市政を期待している)……同音語 施政
- ⑭ さいていちんきんほうの きようこうせいりつ (最低賃金法の強行成立)……同音語 強硬
- ⑮ いずれも せいうごまゑに 50%をこえ そろつて 90%ぜんどの こうりつが きたいされる (いずれも正午前に50%を越え、そろって90%前後の高率が期待される)……同音語 好率
- ⑯ あなたがたの こういをたたえて ××せいをおくりますとの へうせいじょうがよみあげられた (あなたがたの行為をたたえて××賞を贈りますとの表彰状が読み上げられた)……同音語 好意
- ⑰ どうかんは こんど でんちそうちなどを つみこんで こんしうごろ いちおうかんせいし (同艦は今後電池装置などを積みこんで今秋ごろ一往完成し)……同音語 今週
- ⑱ (××うじはよろこびを つぎの ように はなした) これから 6ねんのにんき、こうれいだが にんげん いきている かぎり ぜんりよくを つくさなければ いけないと おもっている (これから6年の任期、高齢だが、人間生きている限り全力を尽くさなければいけないと思っている)……同音語 恒例

この類は、当面の語も、それと同音語になる語も、ともにごく平易な語であ

る上に、相互にまぎれる可能性が強い。わずかに手がかりになる語の力で正解らしいものを選び取ることになる。

(iv) 手がかりになる語がないために判別できないもの

①⑨ わたくしが ても しやないは まかせられる たいせいに あるので、あんしんしている（私が出て社内は任せられる体制があるので、安心している）……同音語 大勢・態勢

②⑩ ぼうふの 13かいきを きねんして しゆつばんする（亡父の13回忌を記念して出版する）……同音語 亡夫

②⑪ きつての えが こうがくてきに まちがつている（切手の絵が光学的にまちがっている）……同音語 工学・鉅学

②⑫ けうこうしてくる きよじんの こうぞくを たつて リードを ゆるさず（強攻してくる巨人の後続を断ってリードを許さず）……同音語 強行

②⑬ こうないが ぼつと あかるくなつた（坑内がぼつと明るくなった）……同音語 校内・構内

②⑭ ××こうせいさくしよ（××光器製作所）……同音語 工機

②⑮ かせんが きれ、とうかいどうせん いちじ ふつう（架線が切れ、東海道線一時不通）……同音語 河川

この類は、この文脈の範囲では判別の根拠がない。

以上(i)～(iv)は、いずれも理解の支障を起こす可能性があり、ただ、ある条件のもとでは正解を得ることができる。その「ある条件」というのが、上に指摘したような「手がかり」である。

3.3 まとめ

どういう手がかりで判別し得たかという点から、以上の例を整理してみると、次のようになる。

(1) 文脈中に有効な手がかりがないもの

(i) 文脈の中には手がかりが全くないもの（例①⑨～②⑤）

(ii) 文内容に関係ある事実を知っていれば、常識的に正解に導かれるもの（例①～⑤）

(iii) 文内容を一往読解したが、そういう事実は実際にはありえないと考えられることから、逆に正解に導かれるもの（例⑥～⑫）

(2) 文脈中に手がかりがあるもの

(i) 同音語の前にあるもの（例②～⑦, ⑨～⑪, ⑬, ⑮）

- (ii) 同音語の後にあるもの (例①, ⑧, ⑭, ⑯～⑳)
- (iii) 並立形式 (例①, ⑫)
- (3) 同音語となるべき語自体に手がかりがあるもの
 - (i) 品詞性の違い (例⑩)
 - (ii) 語結合, つまり造語要素が加わったり, 複合語となるために判別し得るもの (例⑫)
 - (iii) 専門語であること (例①, ③)

具体的な文にあっては, 上に見るように判別の条件は当然いくつか重なっているものであるが, それらを個別的に見るならば, (1)の類の手がかりは, 同音語の判別にはあまり効力がない。もし, これで同音語を判別しようとするならば, (1)(i) (文脈中に手がかりのないもの) の類は, さらに前または後に手がかりが得られるまで文脈をたどってゆかなければならない。(1)(ii) (文内容の事実を知っていること) の類では, その事実に対する経験・知識の有無は, 読者の年齢・職業等によって大きく左右されるであろう。(1)(iii) (読解した事実の非存在) は(1)(ii)と表裏をなすもので, その事実の存否を判別するのは, やはり読者の経験・知識による。これに反し, (2)および(3)の手がかりは, 同音語の判別に有効な条件といえる。しかし, その大部分は, すでにわれわれが想定した条件である。ただ, 新しく条件に加えるのは, 並立形式である。これは, われわれの採った推定法によっては容易に発見できないものであって, 具体的文脈から得た収穫である。

テレタイプ資料によって, 同音語を判別する条件を確認し, また追加した。つぎには, この条件にどの程度の客観性が見いだされるかを調べるのが順序であろう。そのために, いくつかのテストを実施した。

Ⅵ 同音語の判別とその要因についての調査

——実験テストによる——

1. 調査のあらまし

1.1 調査のねらい

同音語の判別が、どのように進められていくか、その実態を調べ、そして、判別の能率を高める方法を見いだすことを、おもなねらいとして、実験テストによる調査を試みることにした。

同音語の判別状況をテストによって調査するということは、きわめて珍しいことなので、テストを企画するための資料も得られず、調査の見通しをたてることも、かなりむずかしかった。そこで、2に述べるような、予備テストを実施した。その結果、予想以上に、分析にたえられそうなテスト結果(2.3参照)が得られたので、調査のねらいとして、あらたに「同音語の判別に影響のありそうな種々の要因を明らかにすること」や「特殊な専門的なことばの場合の判別の進みぐあいを調べること」などを、つけ加えた。(くわしくは、3.1を参照されたい。)

この調査は以上の観点から、社会一般における同音語による支障の解決法の発見をめざす調査である。

1.2 調査の方法

同音語の判別の過程を忠実に追求したり、同音語によってひき起こされる支障を細かく観察したりするためには、面接法による調査が、もっとも望ましい。しかし、同音語のこうした問題は、かなり個人差が予想されることがらなので、ある程度、多人数にわたって調査する必要がある。そうなると、全般的な傾向をとらえて、だいたいの見通しを立てる意味からは、ひとまず、ペーパーテストを採用したほうが効果的と考え、被験者の漢字能力からみて無理のない範囲のペーパーテストによって実施することにした。

今回の調査は、社会一般における同音語による支障の解決法を発見するためのものなので、なるべく一般性のある同音語について調査しなくてはならな

い。また、問題文も、自然で具体的な文脈によったほうが望ましい。この二つの点を考えて、テスト問題は、朝日新聞社提供のテレタイプ資料に基づいて作成することにした。テレタイプ資料は第Ⅴ章に述べるように、全文かながきになっている。全文かな書きの形式のままで、このテストを試みることも意味があると思われる。しかし、実際には、テレタイプ資料そのままのかな書きは、慣れないと、かなり読みにくいので、これを読みやすいように修正して、テスト問題のモデルを作成した。

この全文かな書きのテスト問題の問題文の読解には、どの程度の抵抗を伴うかということと、50分のテスト時間で、どのくらいの量のテストが実施できるかということとを調査するために、東京都立城南高校の第2学年男女生徒93名を対象として、テストを試みた。その結果は、問題文の読解に予想以上の時間が費やされ、テスト能率が著しく落ちた。このため、今回の調査の実験テストには、全文かな書きのテストは行なわないことにした。

以上の経過をたどって、今回の調査の実験テストには、「テレタイプ資料に基づいて作成した、漢字かなまじり文のテスト問題によるペーパーテスト」を採用することにした。

1.3 調査の対象

今回の調査は、社会一般における同音語の支障の解決法の発見に眼目があって、特定の職業分野におけるそれではない。したがって、調査の対象も、社会一般の人々の知識程度をほぼ推定するに足る年齢層が望ましい。しかし社会一般の知識の程度を義務教育修了程度ということでおさえるならば、満足すべき結果を得ることは、おそらくできないであろう。義務教育修了者の学力は、同音語の判別に苦しむほどに高くはないと予想されるからである。このことは、この十余年間に行なわれた、再度にわたる「読み書き能力調査（昭和23年、昭和30年）^注」の結果が証明している。その語の意味を理解し得ないために、テスト用紙が白紙に近い状態でもどってくるようなことがあってはならない。

同音語の判別に迷う程度の知識をもっていると思われるのは、やはり高校生以上であろう。この理由から、高校生を対象とする予備テストを実施し、その

結果に基づいて作成したテスト問題によって、高校生と大学生を対象として、今回の調査を行なうことにした。

注 「日本人の読み書き能力（読み書き能力調査委員会・昭31・東京大学出版部刊）」
の「6 結果の記述」
「国民の読み書き能力（文部省・昭36）」

2. 予備テスト——「同音語判別テスト」の問題作成のための

2.1 テストの目的

このテストは、「同音語判別テスト」に出題することばと、その出題形式を選定するために、行なった予備テストである。

2.2 テストの内容と対象

このテストの問題は、「問題イ」と「問題ロ」の2種類に分かれ、それぞれの内容は、つぎのようなものである。

〔イ〕

つぎの問題の傍線の部分のカタカナを適当な漢字になおしなさい。漢字が思い出せない場合は、そこに当てはまる意味を書きなさい。

- 1 カガク（ ）工業
- 2 ギイン（ ）立法
- 3 ジュショウ（ ）式
- 4 労使キョウチュウ（ ）
- 5 シンセン（ ）建造計画
- 6 ケッセン（ ）投票
- 7 標準キカク（ ）
- 8 キカイ（ ）均等
- 9 カイイン（ ）組合
- 10 国連カンコク（ ）案
- 11 講和条約ハッコウ（ ）期日
- 12 政府・ガツカイ（ ）・民間の代表
- 13 ヨウヒン（ ）・雑貨・こまもの
- 14 補導・キョウカ（ ）・育成
- 15 カンショウ（ ）・脅威・攻撃
- 16 カセイ（ ）肥料・配合肥料
- 17 { A フウセツ（ ）にたえる。
B フウセツ（ ）が流れる。

- 18 { A ヒッシン () の努力をする。
B ヒッシン () の情勢になる。
- 19 { A イチドウ () に 会する。
B イチドウ () を 代表する。
- 20 { A コンセン () に おちいる。
B 話が コンセン () する。
- 21 { A ソウイ () を反映する。
B ソウイ () がひらめいている。
- 22 { A カンシン () をもつ。
B 努力にカンシン () する。
- 23 { A カンシヨウ () にひたる。
B 庭をカンシヨウ () する。
- 24 ユウリョウ () な映画を見せる。
- 25 原稿のヒッシヤ () をすすめる。
- 26 キョウコウ () な決意をかためる。
- 27 二つのクラスをタイシヨウ () として調べる。
- 28 憲法問題にキョクゲン () して話し合う。
- 29 大学にコウギ () する。
- 30 正午前に、50%を越え、そろって90%前後のコウリツ () が、期待されそうだと。
- 31 混乱をシュウシユウ () する。
- 32 今年はFWの整備で、コウシユ () のバランスがよくなっているところに、望みがある。
- 33 行政機関職員定員法・郵政省設置法の、リョウカイセイアン () は、修正可決された。
- 34 コウジ () 二日目に立候補した田辺氏。
- 35 元オリンピック選手ふたりは、共にケンガイ () に落ちた。
- 36 4F・Bフジン () も昨秋からようやく身についてきた。
- 37 辺地の医師のシテイ () のため、都会に遊学の寮をつくる。
- 38 農繁期のため、大阪府などでは、宣伝カーやヘリコプターをかり出してキケン () 防止を呼びかけた。
- 39 キョウギ () に理解する。
- 40 最低賃金法のキョウコウ () 成立。
- 41 コウセイ () 施設を充実して、従業員の勤務意欲をたかめる。
- 42 これから6年の任期、コウレイ () だが、人間生きている限り、全力を尽さなければいけないと思っている。
- 43 集団交渉のコウセイ () は、十大労務使代表・日本紡績協会・全織同。

盟綿紡部会代表とする。

- 44 自然ゲンショウ（ ）の一途をたどっている。
- 45 レンメイ（ ）で申し込む。
- 46 ニッセキ（ ）本社。
- 47 ニッコウ（ ）を利用する観光客。
- 48 サンインセン（ ）で西下中の岸首相。
- 49 キセイセン（ ）が開通した。
- 50 チュウキョウ（ ）の工業の発展はめざましい。
- 51 市民は新鮮なシセイ（ ）を期待している。
- 52 会社を新設するのはむずかしいので、キセイ（ ）会社のうち、××銀行とつながりのある〇〇火災と関係を深めたい。
- 53 青年に技術をつけて、移民をシンコウ（ ）する。
- 54 諸外国における原子力船のシュウコウ（ ）問題についての研究状況。
- 55 この潜水艇は、今後電池装置などを積み込んで、コンショウ（ ）ごろ一応完成する。

〔ロ〕

つぎの問題の傍線の部分のカタカナを適当な漢字になおしなさい。漢字が急に思い出せない場合は、そこに当てはまる意味を書きなさい。

- 1 カガク（ ）工業の発展が、日本の輸出を伸ばした。
- 2 革新系3氏によって、ギイン（ ）立法として次の国会に提出される。
- 3 陛下は、文化勲章のジュショウ（ ）式に御出席になった。
- 4 産業の健全な発展は、労使キョウチョウ（ ）の上にすめられて行くべきである。
- 5 海運業界は、今年度のシンセン（ ）建造計画を注目している。
- 6 委員長のケッセン（ ）投票が行なわれた。
- 7 工業製品の標準キカク（ ）を早急に定める必要がある。
- 8 教育のキカイ（ ）均等は、憲法が保障している。
- 9 カイイン（ ）組合の団体交渉は、一部をのぞいて妥結した。
- 10 内戦防止のための国連カンコク（ ）案を送った。
- 11 両国間の戦争状態は、法律上は講和条約ハッコウ（ ）期日まで継続している。
- 12 原子炉設置計画は、政府・ガツカイ（ ）・民間の代表8氏によってすめられている。
- 13 ヨウヒン（ ）・雑貨・こまものの売り場をまわってネクタイ・石け

- ん・くしなどを買った。
- 14 青少年の補導・キョウカ（ ）・育成について、対策を協議する。
- 15 他国のカンショウ（ ）・脅威・攻撃を排除する。
- 16 最近、非常に種類が多くなっているカセイ（ ）肥料・配合肥料など複合肥料のなまえを、統一したいという考えをもっている。
- 17 { A 数百年のフウセツ（ ）にたえた石仏が並んでいる。
B 田中氏のその後の消息については、いろいろなフウセツ（ ）が流れている。
- 18 { A 遭難者の救助に、ヒッシン（ ）の努力をしている。
B 明朝始発電車からのスト突入は、ヒッシン（ ）の情勢になった。
- 19 { A 世界各国の物理学者が、イチドウ（ ）に会して意見をかわすことになっている。
B 従業員イチドウ（ ）を代表して、お見舞いにあがりました。
- 20 { A 両チーム入り乱れてのコンセン（ ）におちいった。
B めいめいが自分勝手な意見を述べては、話がコンセン（ ）してしまう。
- 21 { A 国民のソウイ（ ）を反映する。
B 子供の作品ながら、ソウイ（ ）がひらめいている。
- 22 { A 政治問題にカンシン（ ）をもつ。
B 長い間の努力にカンシン（ ）した。
- 23 { A 少女らしいカンショウ（ ）にひたっていた。
B 庭の美しさをカンショウ（ ）した。
- 24 { A ユウリョウ（ ）な映画を見せる。
B ユウリョウ（ ）で映画を見せる。
- 25 依頼された原稿のヒッジャ（ ）をすすめている。
- 26 国境侵犯問題について、キョウコウ（ ）な決意をかためた。
- 27 { A 二つのクラスをタイショウ（ ）として調べる。
B 二つのクラスをタイショウ（ ）して調べる。
- 28 { A 憲法問題にキョクゲン（ ）して話し合う。
B 労働争議も、昨年中をキョクゲン（ ）として、次第に平静になってきた。
- 29 大学側にコウギ（ ）する。
- 30 市長・市議の選挙が重なった××市では、正午前に50%を越え、そろって90%前後のコウリツ（ ）が期待されそうだ。
- 31 整理員を増員して、混乱をシュウシュウ（ ）した。
- 32 これまでは守備のチームといわれていたが、今年はFWの整備で、コウシユ（ ）のバランスがよくなっているところに、望みがある。
- 33 持ち越しとなっていた3法案のうち、行政機関職員定員法・郵政省設置法の、リュ

- ウカイセイアン（ ）は、修正可決された。
- 34 他の候補に遅れて、コウジ（ ）二日目に立候補した田辺氏。
- 35 入賞を期待された元オリンピック選手ふたりは、共にケンガイ（ ）に落ちた。
- 36 八幡製鉄チームは、4 F・Bフジン（ ）も昨秋からようやく身につけてきた。
- 37 辺地の医師のシテイ（ ）のため、都会に遊学の寮をつくるなど、優遇策を講じたい。
- 38 農繁期のためお天気がかえって農村地帯の出足をはばむ恐れも見られるので、大阪府などでは、宣伝カーやヘリコプターをかり出してキケン（ ）防止を呼びかけた。
- 39 法律の条文を、キョウギ（ ）に理解する。
- 40 最低賃金法のキョウコウ（ ）成立以来、3度目の「暁の国会」となった。
- 41 レクリエーションのためのコウセイ（ ）施設を充実して、従業員の勤労意欲をたかめる。
- 42 氏は当選のよろこびを次のように語った。これから6年の任期、コウレイ（ ）だが、人間生きている限り、全力を尽さなければいけないと思っている。
- 43 集団交渉協定の要旨は、第一に、集団交渉のコウセイ（ ）は、十大紡労使代表・日本紡績協会・全織同盟綿紡部会代表とする。
- 44 野鳥は、自然ゲンショウ（ ）の一途をたどっている。
- 45 有志のレンメイ（ ）で申し込む。
- 46 慰問品が、ニッセキ（ ）本社に集まった。
- 47 機上電話の計画、ニッコウ（ ）でテスト。
- 48 サンインセン（ ）応援のため遊説中の岸首相。
- 49 キセイセン（ ）が開通して、紀伊半島が一周できることになった。
- 50 氏はホンコンから陸路をとり、チュウキョウ（ ）の工業の発展状況を視察する予定。
- 注意 以下の問題では、下にあげてある四つの意味の中からもっとも適当なものを選んで、その記号を（ ）の中に記入しなさい。
- 51 ××歌劇団は、来春ニューヨークでコウエン（ ）する。
- ① 申し分のないよい演奏・演技をすること。
- ② うしろだてとなって助けること。
- ③ 多数の観客の前で演じること。
- ④ 声に出して演芸をやること。
- 52 思いがけない事態にサイカイ（ ）した。

- ① 出あう。
 - ② 再びあう。
 - ③ 再び開く。
 - ④ 突発する。
- 53 セイシン（ ）の気に満ちた議会になることを期待する。
- ① 正しくまっすぐなこと。
 - ② 静かな心。
 - ③ 清潔で活気のあること。
 - ④ まごころがこもっていること。
- 54 大会前夜、各国選手は××ホテルの夕食会に招かれてユウカン（ ）した。
- ① よい感じ。
 - ② 互に感じ合う。
 - ③ 物品や名刺などを取りかわす。
 - ④ うちとけて楽しむ。
- 55 イデ（ ）の申し立てがない場合は、了承したものと認める。
- ① ことになった意味
 - ② 反対・不服であるという意見
 - ③ 価値や重要さ
 - ④ 礼儀にかなったふるまい。

「問題イ」「問題ロ」とも、55問ずつになっていて、主として、朝日新聞社提供の「テレタイプ資料」などを参考にして出題した。

第1問から第50問までは、「問題イ」「問題ロ」の両方に、共通のことば（または、同音語セット）が、出題してある。そして、各問とも、「問題イ」のほうには、判別の手がかり(判別条件)が、一つだけ与えてあり、「問題ロ」のほうには、この手がかりのうえに、さらに、判別上参考になりそうな文脈まで与えてある。したがって、「問題ロ」のほうが、「問題イ」よりも、同音語を見わけやすくなっている。

「問題イ」の第51問から第55問までは、判別の手がかりが、極めて弱く、特に判別のむずかしいものである。また、「問題ロ」の第51問から第55問までは、問題形式として、選択肢法を試みたものである。このテストは、下記の高등학교の2年生の男女混合クラス、2クラスを対象とし、一方のクラスに「問題イ」を、もう一方のクラスに「問題ロ」を配布して同時に実施した。

都立墨田川高校二年生 92名(男 49名・女 43名)

都立武蔵丘高校二年生 96名(男 49名・女 47名)

計 188名(男 98名・女 90名)

なお、被験者には、前もって、このテストが、書き取り、あるいは、漢字能力のテストではないむねを徹底的に説明し、漢字がわからないときには、必ずしも正確な字体でなくても似ていればよいし、それに当たる意味を記入してもよいなどの注意を与えた。

2.3 テスト結果の集計と整理

まず、「問題イ」「問題ロ」の各問ごとに、どんなことばが、どのくらいの割合で記入されているかを調査した。各問ごとに、なんらかの同音語が記入されている答案を集め、それを、性別にしたがって分類し、どんなことばが、どのくらいの割合で記入されているかを、パーセンテージで示すと、つぎの表6のようになる(この場合、漢字で記入できず、意味を記入したものについては、被験者が思いついたと思われる語を推定して集計した。しかし、記入されている意味に当たる語が、推定できないときには、その意味のまま集計を進めた)。

なお、この表の○印のついていることばが、当てはまることば(正答)である。

表 6

問 題	解答者数	同 音 語	問 題			問題 イ			問題 ロ		
			全	男	女	全	男	女	全	男	女
1 カガク	188人	○化学 科学	% 85	% 89	% 81	% 94	% 94	% 93	% 76	% 83	% 69
			15	11	19	6	6	7	24	17	31
2 ギイン	187	○議員 議院	59	59	60	56	50	63	63	68	58
			41	41	40	44	50	37	37	32	42
3 ジュショウ	149	○授賞 受賞 受章 授章	76	80	71	84	85	82	68	74	61
			19	18	21	16	15	18	24	21	25
			1	1	0	0	0	0	1	3	0
			4	1	7	0	0	0	8	3	14
4 キョウチュウ	149	○協 調 強 調	82	96	64	76	95	48	87	98	76
			18	4	36	24	5	52	13	3	24

問 題	解答 者数	同 音 語	両 問 題			問題 イ			問題 ロ		
			全	男	女	全	男	女	全	男	女
5 シンセン	143人	○新 船	% 65	% 75	% 50	% 48	% 65	% 13	% 82	% 87	% 76
		新 線	11	15	5	21	25	13	1	3	0
		新 泉	1	0	2	1	0	4	0	0	0
		新 選	13	7	21	18	6	43	7	8	6
		新 鮮	10	3	21	11	4	26	10	3	18
6 ケッセン	175	○決 選	65	55	76	60	54	68	69	57	83
		決 戦	35	45	24	40	46	32	31	43	17
7 キカク	145	○規 格	86	92	77	80	87	69	92	97	85
		企 画	14	8	23	20	13	31	85	3	15
8 キカイ	170	○機 会	82	93	68	72	90	52	94	98	89
		機 械	16	7	28	28	10	48	3	2	3
		期 会	1.2	0	3	0	0	0	3	0	6
		器 械	0.6	0	1	0	0	0	1	0	3
9 カイイン	177	○海 員	36	48	23	28	42	14	44	55	33
		会 員	64	52	77	72	58	86	56	45	67
10 カンコク	153	○勸 告	97	99	95	95	98	91	100	100	100
		韓 国	3	1	5	5	2	9	0	0	0
11 ハッコウ	169	○発 効	41	60	21	46	67	22	37	51	21
		発 行	59	40	79	54	33	78	63	49	79
12 ガッカイ	183	○学 界	55	64	45	52	57	47	58	71	44
		学 会	45	36	55	48	43	53	42	29	56
13 ヨウヒン	187	○洋 品	50	49	51	57	54	60	43	45	42
		用 品	50	51	49	43	46	40	57	55	58
14 キョウカ	164	○教 化	31	32	30	27	24	30	35	40	31
		強 化	36	41	30	34	40	28	38	42	33
		教 科	21	15	28	22	18	28	19	12	28
		教 課	11	10	12	16	18	15	5	2	8
		矯 化	1	2	0	0	0	0	3	5	0
15 カンショウ	136	○干 渉	95	98	91	91	95	85	99	100	96
		鑑 賞	2.9	1	6	6	3	12	0	0	0
		観 賞	1.5	1	2	2	3	0	1	0	4
		感 傷	0.7	0	2	2	0	4	0	0	0

問 題	解答者数	同 音 語	両問題			問題イ			問題ロ		
			全	男	女	全	男	女	全	男	女
16 カセイ	127人	○化 成	66	72	57	70	76	62	62	68	52
		苛 性	33	28	41	28	24	35	38	33	48
		家 政	1	0	2	2	0	4	0	0	0
17A フウセツ	178	○風 雪	98	99	98	98	98	97	99	100	98
		風 説	2	1	2	2	2	3	1	0	2
17B フウセツ	149	○風 説	97	95	99	92	89	97	100	100	100
		風 雪	3	5	1	8	11	3	0	0	0
18A ヒッシ	181	○必 死	85	88	81	87	90	84	83	87	79
		必 至	2	1	2	1	0	2	2	2	2
		(一生懸命)	13	11	16	12	10	14	15	11	19
18B ヒッシ	94	○必 至	79	88	64	76	85	65	82	90	62
		必 死	5	2	11	10	4	17	0	0	0
		(せっぱつ) まった	7	5	11	14	11	17	0	0	0
		(さけられ) ない	9	5	14	0	0	0	18	10	38
19A イチドウ	133	○一 堂	87	94	77	90	92	86	85	95	72
		一 同	13	6	23	10	8	14	15	5	28
19B イチドウ	186	○一 同	100	100	100	100	100	100	100	100	100
20A コンセン	117	○混 戦	92	92	92	85	84	88	96	98	94
		混 線	8	8	8	15	16	13	4	2	6
20B コンセン	163	○混 線	99	99	100	100	100	100	99	98	100
		混 戦	1	1	0	0	0	0	1	2	0
21A ソウイ	153	○総 意	46	59	30	35	49	13	58	71	43
		想 意	7	5	9	3	2	3	10	7	14
		相 違	45	34	60	60	47	80	31	20	43
		創 意	2	2	1	3	2	3	1	2	0
21B ソウイ	143	○創 意	64	75	48	54	65	37	72	85	57
		想 意	19	15	24	15	15	15	22	15	31
		相 違	17	10	26	30	20	44	5	0	11
		総 意	1	0	2	1	0	4	0	0	0
22A カンシン	167	○関 心	91	92	90	92	93	90	90	91	90

問 題	解答者数	同 音 語	両 問 題			問題 イ			問題 ロ		
			全	男	女	全	男	女	全	男	女
		感 心 欲 心 (特に注意を すること)	6.6 0.6 1.8	% 8 0	% 5 1	% 6 1	% 7 0	% 5 3	% 7 0	% 9 0	% 5 0
22B カンシン	178 人	○感 心 関 心	98 2	99 1	98 2	99 1	100 0	98 2	98 2	98 2	98 2
23A カンショウ	137	○感 傷 鑑(観)賞 干 渉 完 勝	92 4.4 2.9 0.7	92 4 4 0	92 5 2 2	86 7 6 1	85 8 8 0	87 6 3 3	98 2 0 0	100 0 0 0	97 3 0 0
23B カンショウ	168	○鑑 賞 } ○観 賞 } 観 照	98 2	100 0	96 4	98 2	100 0	95 5	99 1	100 0	97 3
24A ユウリョウ	165	○優 良 有 料	85 15	87 13	84 16	73 27	77 23	70 30	100 0	100 0	100 0
24B ユウリョウ	87	○有 料							100	100	100
25 ヒッシャ	166	○筆 写 筆 者	72 28	73 27	70 30	72 28	77 23	68 33	71 29	69 31	73 27
26 キョウコウ	118	○強 硬 強 行 強 攻	63 36 1	73 27 0	48 50 2	65 33 2	78 22 0	46 50 4	60 40 0	67 33 0	50 50 0
27A タイショウ	172	○対 象 対 照 対 称	41 24 34	43 29 28	39 20 41	31 36 33	26 41 33	36 31 33	53 11 36	61 16 23	43 5 51
27B タイショウ	86	○対 照 対 称 対 象							53 45 1	59 41 0	48 50 2
28A キョクゲン	136	○局 限 極 限 極 減 極 言 曲 言	24 63 1.5 11 0.7	24 65 0 10 1	25 59 3 13 0	14 82 0 4 0	8 89 0 3 0	20 75 0 5 0	38 36 3 21 2	41 38 0 18 3	33 33 8 25 0

問 題	解答者数	同 音 語	両 問 題			問題 イ			問題 ロ		
			全	男	女	全	男	女	全	男	女
28B キョクゲン	75人	○極 限 極 減 局 限	%	%	%	%	%	%	%	%	%
									93	93	94
									4	5	3
									3	2	3
29 コウギ	160	○抗 議 講 義	79	82	76	77	80	74	82	84	78
			21	18	24	23	20	26	18	16	22
30 コウリツ	157	○高 率 効 率 好 率 工 率 公 立	71	74	68	75	82	63	68	65	71
			17	19	13	13	13	13	20	26	13
			11	7	16	11	4	20	11	9	13
			1	0	1	1	0	3	0	0	0
			1	0	1	0	0	0	1	0	3
31 シュウシュウ	99	○収 拾 収 集 蒐 集	81	87	72	79	87	68	83	87	76
			18	12	28	21	13	32	15	10	24
			1	2	0	0	0	0	2	3	0
32 コウシュ	104	○攻 守 巧 守 甲 種 巧 手 好 手	92	92	93	91	94	80	93	91	100
			5	5	4	7	6	10	3	5	0
			1	0	4	2	0	10	0	0	0
			1	1	0	0	0	0	2	2	0
			1	1	0	0	0	0	2	2	0
33 リョウカイ セイアン	142	○両改正案 了解成案 了解政案 了解正案 良改正案 両改制案	78	84	71	76	80	68	81	87	74
			19	15	24	21	17	28	17	13	21
			0.7	0	2	0	0	0	1	0	3
			2.1	1	3	3	2	3	1	0	3
34 コウジ	96	○公 示 後 事 公 事 後 時 工 事	77	88	56	90	97	73	61	74	41
			4	2	9	2	3	0	7	0	18
			5	0	16	6	0	20	5	0	12
			11	9	16	0	0	0	25	22	29
			2	2	3	2	0	7	2	4	0
35 ケンガイ	118	○圏 外	100	100	100	100	100	100	100	100	100
36 フジン	75	○布 陣 婦 人 夫 人	61	77	16	44	64	7	84	89	50
			29	18	63	44	29	73	9	7	25
			9	5	21	12	7	20	6	4	25

問 題	解答 者数	同 音 語	両 問 題			問題 イ			問題 ロ		
			全	男	女	全	男	女	全	男	女
37 シテイ	164人	○子弟 指 定 師 弟 私 邸 姉 弟	% 43 40 15 1.2 0.6	% 51 31 16 1 1	% 34 50 14 1 0	% 47 40 12 0 1	% 60 27 10 0 2	% 30 57 14 0 0	% 39 39 19 3 0	% 40 35 23 3 0	% 38 44 15 3 0
38 キケン	167	○棄 権 危 険	52 48	56 44	47 53	48 52	55 45	38 62	57 43	57 43	57 43
39 キョウギ	114	○狭 義 協 議 競 技 教 義	35 50 13 2	51 39 7 3	11 67 22 0	27 52 20 1	40 47 11 2	7 60 33 0	51 46 0 3	71 25 0 4	20 80 0 0
40 キョウコウ	114	○強 行 強 攻 強 硬 恐 慌	84 4 9 4	83 6 12 0	87 0 4 9	86 2 7 5	85 3 12 0	88 0 0 12	82 5 11 2	81 8 11 0	85 0 10 5
41 コウセイ	161	○厚 生 更 生 構 成 公 正 更 正 校 正	85 8.1 1.9 3.7 1.2 0.6	81 12 1 4 2 0.6	89 4 3 4 0 0	87 8 1 2 1 0	85 10 0 2 2 0	89 6 3 3 0 0	82 8 3 5 1 1	74 13 3 5 3 3	90 3 3 5 0 0
42 コウレイ	147	○高 齢 恒 例 好 例	86 13 1	88 12 0	84 14 2	87 12 1	91 9 0	81 16 3	86 14 0	85 15 0	88 13 0
43 コウセイ	171	○構 成 校 正	99 1	100 0	99 1	100 0	100 0	100 0	99 1	100 0	97 3
44 ゲンショウ	176	○減 少 現 象	58 42	66 34	48 52	49 51	59 41	37 63	68 32	74 26	61 39
45 レンメイ	181	○連 名 連 盟	53 47	58 42	47 53	53 47	58 42	47 53	53 47	59 41	48 52
146 ニッセキ	186	○日 赤 } ○日 石 }				100 100 100					

問 題	解答 者数	同 音 話	両 問 題 全 男 女	問題 イ 全 男 女	問題 ロ 全 男 女
46 ニッセキ	186人	○日 赤 日 石	% % %	% % %	% % % 99 98 100 1 2 0
47 ニッコウ	180	○日 航 日 光 日 交	44 53 34 55 44 66 2 3 0	31 39 21 66 55 79 3 6 0	58 68 47 42 32 53 0 0 0
48 サンインセン	144	○参院選 山陰線 参院戦	43 43 43 56 55 57 1 1 0	15 19 11 85 81 89 0 0 0	82 77 88 17 20 12 2 3 0
49 キセイセン	59	○紀勢線 既成線 帰省船 紀西線 規制船	83 83 83 3 3 4 2 0 4 8 14 0 3 0 8	94 100 88 6 0 13 0 0 0 0 0 0 0 0 0	78 76 81 2 4 0 2 0 6 12 20 0 5 0 13
150 チュウキョウ	186	○中 共 } ○中 京 }		100 100 100	
50 チュウキョウ	186	○中 共 中 京			84 90 77 16 10 23
151 シセイ	84	○市 政 施 政 市 制 市 勢 姿 勢 司 政 至 誠		68 60 82 23 30 12 2 2 3 1 0 3 2 4 0 1 2 0 1 2 0	
51 コウエン	93	○3 公演 4 口演 1 好演 2 後援			98 98 98 2 2 2 0 0 0 0 0 0
152 キセイ	78	○既 成 寄 生 規 制 既 製		76 91 57 15 2 31 8 7 9 1 0 3	

問 題	解答 者数	同 音 語	両 問 題 全 男 女	問題 イ 全 男 女	問題 ロ 全 男 女
㊦52 サイカイ	92人	○1 際会 2 再会 3 再開 4 突発する	% % %	% % %	% % % 43 33 55 53 60 45 1 2 0 2 4 0
153 シンコウ	80	○振 興 新 興 進 行		35 50 17 5 7 3 60 43 79	
㊦53 セイシン	92	○3 清新 4 誠心 2 静心 1 正真			29 44 14 34 25 43 2 2 2 35 29 41
154 シュウコウ	41	○就 航 就 行 周 航 周 行		78 88 29 5 6 0 15 6 43 5 0 29	
㊦54 コウカン	93	○4 交歓 3 交換 2 交感 1 好感			97 100 93 1 0 2 1 0 2 1 0 2
155 コンシュウ	93	○今 秋 今 週		47 65 29 53 35 71	
㊦55 イギ	93	○2 異議 1 異義 3 意義 4 威儀			94 96 91 5 2 9 0 0 0 1 2 0

つぎに、各問ごとの無答傾向を調査した。すなわち、「問題イ」「問題ロ」の各問ごとに、無記入の答案、および、単に漢字を当てただけで、ことばになっていない答案を集め、これらが、全被験者の何パーセントに当たっているかを、男女別に集計すると、つぎの表7のようになる。したがって、この表は、このテストの各問について、同音語を全然思いつくことができなかった被験者が、どのくらい居たかを示す表である。

表7

問 題	両 問 題			問題 イ			問題 ロ		
	全	男	女	全	男	女	全	男	女
1 カガク	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2 ギイン	0.5	1.0	0	2.1	0	4.4	1.1	2.1	0
3 ジュンヨウ	20.9	19.4	22.2	21.1	18.0	24.4	20.4	20.8	20.0
4 キョウチョウ	20.7	15.3	26.7	24.2	14.0	35.6	17.2	16.7	17.8
5 シンセン	23.9	11.2	37.8	25.3	4.0	48.9	22.6	18.8	26.7
6 ケッセン	6.9	2.0	12.2	7.4	0	15.6	6.5	4.2	8.9
7 キカク	22.9	15.3	31.1	22.1	10.0	35.6	23.7	20.8	26.7
8 キカイ	9.6	7.1	12.2	2.1	2.0	2.2	17.2	12.5	22.2
9 カイイン	5.9	8.2	3.3	3.2	4.0	2.2	8.6	12.5	4.4
10 カンコク	18.6	7.1	31.1	14.4	4.0	26.7	23.7	20.8	26.7
11 コウ	10.1	9.2	11.1	8.4	8.0	8.9	11.8	10.4	13.3
12 ガッカイ	2.7	1.0	4.4	3.2	2.0	4.4	2.2	0	4.4
13 ヨウヒン	0.5	1.0	0	0	0	0	1.1	2.1	0
14 キョウカ	12.8	10.2	15.6	10.5	10.0	11.1	15.1	10.4	20.0
15 カンシヨウ	27.7	16.3	40.0	31.6	22.0	42.2	23.7	10.4	37.8
16 カセイ	32.4	20.4	45.6	32.6	24.0	42.2	33.3	16.7	48.9
17A フウセツ	5.3	1.0	10.0	7.4	0	15.6	3.2	2.1	4.4
17B フウセツ	20.7	17.3	24.4	32.6	30.0	35.6	8.6	4.2	13.3
18A ヒッソ	3.7	3.1	4.4	2.1	2.0	2.2	5.4	4.2	6.7
18B ヒッソ	50.0	40.8	60.0	47.4	46.0	48.9	52.7	35.4	71.1
19A イチドウ	29.3	18.4	41.1	38.3	26.0	53.3	1.1	2.1	0
19B イチドウ	1.1	1.0	1.1	1.1	2.0	0	1.1	0	2.2
20A コンセン	37.8	20.4	56.7	57.9	36.0	82.2	17.2	4.2	31.1
20B コンセン	13.3	11.2	15.6	8.4	8.0	8.9	18.3	14.6	22.2
21A ソウイ	18.6	12.2	25.6	21.1	10.0	33.3	16.1	14.6	17.8
21B ソウイ	23.9	17.3	31.1	29.5	20.0	40.0	18.3	14.6	22.2
22A カンシン	11.2	10.2	12.2	11.6	10.0	13.3	10.8	10.4	11.1
22B カンシン	5.3	7.1	3.3	7.4	10.0	4.4	3.2	4.2	2.2
23A カンシヨウ	27.1	23.5	31.1	24.2	20.0	28.9	30.1	27.1	33.3
23B カンシヨウ	10.6	7.1	14.4	9.5	6.0	13.3	11.8	8.3	15.6
24A ユウリョウ	12.2	12.2	12.2	5.3	6.0	4.4	19.4	18.8	20.0
24B ユウリョウ							6.5	4.2	8.9
25 ヒッシャ	11.7	9.2	14.4	8.4	6.0	11.1	15.1	12.5	17.8
26 キョウコウ	37.2	28.6	46.7	33.7	26.0	42.2	40.9	31.3	51.1

問 題	両 問 題			問題 イ			問題 ロ		
	全	男	女	全	男	女	全	男	女
27A タイシ ヨ ウ	8.5%	8.2%	8.9%	4.2%	8.0%	0%	12.9%	8.3%	17.8%
27B タイシ ヨ ウ							7.5	8.3	6.7
28A キョクゲン	27.7	26.5	28.9	18.3	24.0	11.1	37.6	29.2	46.7
28B キョクゲン							19.4	10.4	28.9
29 コウギ	14.9	8.2	22.2	11.6	8.0	15.6	18.3	8.3	28.9
30 コウリツ	16.5	10.2	23.3	21.1	10.0	33.3	11.8	10.4	13.3
31 シュウシュウ	47.3	38.8	56.7	45.3	40.0	51.1	49.5	37.5	62.2
32 コウシュウ	44.7	22.4	68.9	54.7	34.0	77.8	34.4	10.4	62.2
33 リョウカイセイ アン	24.5	19.4	30.0	26.3	18.0	35.6	22.6	20.8	24.4
34 コウジ	48.9	34.7	64.4	45.3	26.0	66.7	52.7	43.8	62.2
35 ケンガイ	37.2	24.5	51.1	41.1	26.0	57.8	33.3	22.9	44.4
36 フジン	60.1	42.9	78.9	54.7	44.0	66.7	65.6	41.7	91.1
37 シテイ	12.8	10.8	15.6	10.5	4.0	17.8	15.1	16.7	13.3
38 キケン	11.2	7.1	15.6	9.5	6.0	13.3	12.9	8.3	17.8
39 キョウギ	39.4	29.6	50.0	21.1	10.0	33.3	58.1	50.0	66.7
40 キョウコウ	39.4	29.6	50.0	38.9	34.0	44.4	39.8	25.0	55.6
41 コウセイ	14.4	12.2	16.7	12.6	4.0	22.2	17.2	22.9	11.1
42 コウレイ	21.8	14.3	30.0	20.0	10.0	31.1	23.7	18.8	28.9
43 コウセイ	9.0	5.1	13.3	5.3	0	11.1	12.9	10.4	15.6
44 ゲンシュウ	6.4	3.1	10.0	3.2	2.0	4.4	9.7	4.2	15.6
45 レンメイ	3.7	2.0	5.6	2.1	0	4.4	5.4	4.2	6.7
46 ニッセキ				1.1	0	2.2	1.1	2.1	0
47 ニッコウ	3.7	2.0	5.6	4.2	2.0	6.7	3.2	2.1	4.4
48 サンインセン	23.4	15.3	32.2	11.6	4.0	20.0	35.5	27.1	44.4
49 キセイセン	68.6	64.3	73.3	81.1	80.0	82.2	55.9	47.9	64.4
50 チュウキョウ				1.1	2.0	0	1.1	0	2.2
51 シセイ				11.6	0	24.4			
51 コウエン							0	0	0
52 キセイ				17.9	14.0	22.2			
52 サイカイ							1.1	0	2.2
53 シンコウ				15.8	16.0	15.6			
53 セイシン							1.1	0	2.2
54 シュウコウ				56.8	32.0	84.4			
54 コウカン							0	0	0
55 コンシュウ				2.1	4.0	0			
55 イギ							0	0	0

以上の集計結果に従って、「同音語判別テスト」の問題作成上、必要な項目について整理すると、つぎの表8のようになる。

〔「男女差」の欄の「*印」は、5%の危険率で有意差あり、「**印」は、1%の危険率で有意差あり。また「男」あるいは「女」は、それぞれ、男子の正答率あるいは女子の正答率が、他方を上回っていることを示す〕

表 8

問 題	正 答	正 答 率			無答 者率	最高頻度の 誤答
		全体	イ～ロ	男女差		
1 カガク	化 学	85%	94% 76%		0	科 学
2 ギイン	議 員	59	56～ 63		0.5	議 院
3 ジュ・シ ョウ	授 賞	76	84～ 68		20.9	受 賞
4 キョウチ ョウ	協 調	82	76～ 87	**男	20.7	強 調
5 シンセン	新 船	65	48～ 82	**男	23.9	新 線
6 ケッセン	決 選	65	60～ 69	**女	6.9	決 戦
7 キカク	規 格	86	80～ 92		22.9	企 画
8 キカイ	機 会	82	72～ 94	**男	9.6	機 械
9 カイイン	海 員	36	28～ 44	**男	5.9	会 員
10 カンコク	勸 告	97	95～100		18.6	韓 国
11 ハッコウ	発 効	41	46～ 37	**男	10.1	発 行
12 ガツカイ	学 界	55	52～ 58	**男	2.7	学 会
13 ヌウヒン	洋 品	50	57～ 43		0.5	用 品
14 キョウカ	教 化	31	27～ 35		12.8	強 化
15 カンシ ョウ	干 渉	95	91～ 99		27.7	鑑 賞
16 カセイ	化 成	66	70～ 62		32.4	苛 性
17A フウセツ	風 雪	98	98～ 99		5.3	風 説
17B フウセツ	風 説	97	92～100		20.7	風 雪
18A ヒッシ	必 死	85	87～ 83		3.7	必 至
18B ヒッシ	必 至	79	76～ 82	**男	50.0	必 死
19A イチドウ	一 堂	87	90～ 85	* 男	29.3	一 同
19B イチドウ	一 同	100	100～100		1.1	
20A コンセン	混 戦	92	85～ 96		37.8	混 線
20B コンセン	混 線	99	100～ 99		13.3	混 戦
21A ソウイ	総 意	46	35～ 58	**男	18.6	相 違
21B ソウイ	創 意	64	54～ 72	**男	23.9	想 意
22A カンシン	関 心	91	92～ 90		11.2	感 心
22B カンシン	感 心	98	99～ 98		5.3	関 心

問 題	正 答	正 答 率			無答 者率	最高頻度の 誤答
		全体	イ～ロ	男女差		
23A カンシ ヨウ	感 傷	92%	86～98%		27.1	鑑(観)賞
23B カンシ ヨウ	鑑(観)賞	98	98～99		10.6	観 照
24A ヌウリ ヨウ	優 良	85	73～100		12.2	有 料
24B ヌウリ ヨウ	有 料	100			6.3	
25 ヒ ッ シ ャ	筆 写	72	72～71		11.7	筆 者
26 キ ヨ ウ コ ウ	強 硬	63	65～60	**男	37.2	強 行
27A タイ シ ヨ ウ	対 象	41	31～53		8.5	対 称
27B タイ シ ヨ ウ	対 照	53			7.5	対 称
28A キ ョ ク ゲ ン	局 限	24	14～38		27.7	極 限
28B キ ョ ク ゲ ン	極 限	93			19.4	極 減
29 コ ウ ギ	抗 議	79	77～82		14.9	講 義
30 コ ウ リ ツ	高 率	71	75～68		16.5	効 率
31 シ ュ ウ シ ュ ウ	収 拾	81	79～83	* 男	49.3	収 集
32 コ ウ シ ュ	攻 守	92	91～93		44.7	巧 守
33 リ ョ ウ カ イ セ イ ア ン	両改正案	78	76～81		24.5	了解成案ナド
34 コ ウ ジ	公 示	77	90～61	**男	48.9	後 時
35 ケ ン ガ イ	圏 外	100	100～100		37.2	
36 フ ジ ン	布 陣	61	44～84	**男	60.1	婦 人
37 シ テ イ	子 弟	43	47～39	* 男	12.8	指 定
38 キ ケ ン	棄 権	52	48～57		11.2	危 険
39 キ ヨ ウ ギ	狭 義	35	27～51	**男	39.4	協 議
40 キ ヨ ウ コ ウ	強 行	84	86～82		39.4	強 硬
41 コ ウ セ イ	厚 生	85	87～83		14.4	更 生
42 コ ウ レ イ	高 齢	86	87～86		21.8	恒 例
43 コ ウ セ イ	構 成	99	100～99		9.0	校 正
44 ゲ ン シ ヨ ウ	減 少	58	49～68	* 男	6.4	現 象
45 レ ン メ イ	連 名	53	53～53		3.7	連 盟
46 ニ ッ セ キ	日赤・日石	100			1.1	
47 ニ ッ コ ウ	日 航	44	31～58	* 男	3.7	日 光
48 サ ン イ ン セ ン	参院選	43	15～82		23.4	山陰線
49 キ セ イ セ ン	紀勢線	83	94～78		68.6	紀西線
50 チ ュ ウ キ ョ ウ	中共・中京	100			1.1	
51 シ セ イ	中 共	84			1.1	中 京
52 キ セ イ	市 政	69		* 女	11.6	施 政
	既 成	76		**男	17.9	寄 生

問 題	正 答	正 答 率			無答者率	最高頻度の誤答
		全体	イ～ロ	男女差		
イ53 シンコウ	振 興	35%	%	%	**男 15.8	進 行
イ54 シュウコウ	就 航	78			**男 56.8	周 航
イ55 コンシュウ	今 秋	47			**男 2.1	今 週
ロ51 コウエン	公 演	98			0	口 演
ロ52 サイカイ	際 会	43		* 女 1.1	1.1	再 会
ロ53 セイシン	清 新	29		**男 1.1	1.1	正 真
ロ54 コウカン	交 歓	97			0	交 換 ^{ナド}
ロ55 イギ	異 議	94			0	異 義

2.4 ことばの選定

この予備テストは、テレタイプを資料にして作成したため、新聞関係の用語や、新聞に使われやすい専門的なことばなど、一般には、あまり、なじみのないことばが、かなりはいっている。たとえば、「5. 新船」「9. 海員」「10. 勸告」「11. 発効」「14. 教化」「16. 化成」「18B 必至」「28A 局限」「31. 収拾」「33. 両改正案」「34. 公示」「35. 圏外」「39. 狭義」「41. 厚生」「45. 連名」「48. 参院選」「152. 既成」「154. 就航」「155. 今秋」などである。これらのことばは、「同音語判別テスト」の出題語としては、不適当と考え、この中からは、出題しないことにした。

また、固有名詞的なことば、——たとえば、「46. 日赤・日石」「47. 日航」「49. 紀勢線」「50. 中共」——も、同音語の問題としては、やや特殊なものなので、「同音語判別テスト」の出題語には、しないことにした。「問題 ロ」の第51問から第55問までは、出題形式を考えるために設けたものなので、この中から出題語の選定は行なわない。

以上のものを除外した上で、「同音語判別テスト」の出題語は、原則として、この予備テストの無答者率（「問題イ」「問題ロ」の両方に出題したものについては、両問題を合わせた無答者率による）が、30%未満のことばの中から選定することにした。これらのことばは、この予備テストにおいて、7割以上の被験者が、なんらかの同音語を記入することができたものなので、少なくとも高校生程度を対象とする同音語テストに出題することばとしては、適当と考えられる。

無答者率30%未満のものの中から、実際に、どれを出題するかについては、「語の結合」「品詞性」「慣用的用法」などの同音語判別条件の設定を中心に考え、さらに「正答率の男女差」なども考慮して選定を進めた。その結果、「1. カガク」「2. ギイン」「3. ジュショウ」「7. キカク」「12. ガッカイ」「17A フウセツ」「19A イチドウ」「20B コンセン」「21A ソウイ」「22A カンシン」「23A カンショウ」「27B タイショウ」「37. シテイ」「38. ケケン」「42. コウレイ」「151. シセイ」「153. シンコウ」を選定した。

しかし、「同音語判別テスト」の問題を作成する段階で、これらのことばに、判別条件や文脈を設定して検討した結果、つぎにあげるものについては、目標語（問題文にあてはまる語）を、「予備テストにおいて、もっともまぎれた語（最高頻度の誤答一表8）」と入れかえた。

予備テスト		判別テスト		予備テスト		判別テスト	
2	ギイン	（議員）	→（議院）	37	シテイ	（子弟）	→（指定）
3	ジュショウ	（授賞）	→（受賞）	42	コウレイ	（高令）	→（恒例）
7	キカク	（規格）	→（企画）	151	シセイ	（市政）	→（施政）
12	ガッカイ	（学界）	→（学会）				

「同音語判別テスト」においては、大学生もテスト対象になるので、予備テストの無解答者率がやや高く、高校生程度には、あまり、なじみがないと推定されたことばも出題することにした。この観点から、無解答者率30%～40%のものの中から、比較的、正答率の高かった「40. キョウコウ（強行）」を、大学生向きの出題語として選定した。

以上の方針とは、全く別に、特殊な使用分野で使われる専門的なことばの場合の、同音語問題を調査するため、スポーツ関係の専門的なことばとして、「32. コウシュ（攻守）」「36. フジン（布陣）」の二つを選定した。

2.4 出題形式の選定

同音語が、判別されていくプロセスを、テストによって追求するためには、被験者の言語意識に、どんな同音語が存在しているかを、まず確かめておく必要がある。予備テストのような問題形式によっても、その誤答傾向から、被験

者の思い出しうる同音語の範囲(種類)を推察して、この点を確認することは、必ずしも不可能ではない。しかし、はじめから判別条件や文脈を与えられてしまっているので、記入する同音語の範囲が、しばられてしまい、こうしたことがらを調査するには、不向きである。もちろん「問題ロ」に設けたような選択肢法(第51問～第55問)では、問題にならない。

そこで、「同音語判別テスト」においては、「判別条件や文脈を与えて目標語を思い出させるテスト」を行なう前に、「思いついた同音語を、すべて書き並べさせるテスト」を行なうことにした。

つぎに「予備テスト」の「問題イ」と「問題ロ」の両方に出題したことばについて、テスト結果を比べてみると、判別の手がかりの多い「問題ロ」の正答率の方が、やや高くなっているが、われわれが予想したほどの違いは見られなかった。これは、ひとつには、「問題ロ」で与えられた判別条件や文脈が、被験者にとって、あまり強い手がかりにならなかったためと考えられる。したがって、高校生程度を対象とする同音語テストにおいて、判別の手がかりが有効に働いたかどうかを調査する場合には、「問題イ」と「問題ロ」のあいだの相違ぐらいでは、はっきりしたテスト結果が、得られない。そこで、「同音語判別テスト」においては、「判別条件を一つだけ与えたテスト問題」と「その前後にかなり手がかりとなる文脈を与えたテスト問題」とを出題し、両者のあいだに、判別の手がかりとしての有効さに、はっきりした違いをつけることにした。

「問題ロ」の正答率があまり伸びなかった、もう一つの原因は、同程度(同学年)の被験者ではあっても、同一人を対象とせず、「問題イ」と「問題ロ」とを、別々の人について調査したためではないかと考えられる。同音語の判別過程という問題は、かなり個人差が予想されることがらなので、やはり、同一人を対象として、調査しないと、はっきりした結果が得られないのではないかと推定された。「同音語判別テスト」においては、さきに述べた3種のテスト、すなわち「思いついた同音語をすべて書き並べさせるテスト」「判別条件を一つだけ与えたテスト」「その前後に文脈を与えたテスト」を同一人について行なうことにした。

予備テストにおいて試みた選択技法（「問題ロ」第51問以下）は、漢字を用いて記入させるテスト方法のように、漢字能力に左右されないために試験的に行なってみたが、選択技法で出題できるような同音語セットを見つけ出すことが、かなりむずかしい上に有効なテスト問題が作りにくいいため、「同音語判別テスト」では、この出題形式は採用しないことにした。しかし、2.3の「テストの結果」によってもわかるように、無答者率が、他の場合よりも、著しく低い点などからみて、漢字能力の低い被験者を対象とする同音語テストにおいては、有力なテスト方法になるものと思われる。

予備テストの第12問から第16問までの5問には、判別の手がかりとして「語の並立」を試みた。「語の並立」は、同音語を判別する手がかりとして、かなり有力なものともみられる（第7章3参照）。しかし、品詞性などの判別条件よりは、その性格が、文脈に近いと考えられる。それゆえ、「同音語判別テスト」では、文脈の中に含めて扱った。

予備テストの第17問から第24問までの7問には、語の用法についての認識が、同音語の判別にどの程度役だつたかを調べるために、同音語をどう使い分けるかを並列の形式で出題してみた。しかし、この方法は、出題形式そのものが、有力な手がかりになってしまうおそれが多分にあるので、判別条件のきき方を調査する方法としては、不適當と考え、「同音語判別テスト」では採用しないことにした。

3. 同音語判別テスト

3.1 テストの目的

同音語の混同、あるいは判別の過程と、その要因をさぐって、同音語についての問題点を見いだすために、以下に述べるような実験テストを行なって、その分析を試みた。

このテストは、つぎのようなことがらについて、一往の見通しを立てる目的で実施したものである。

④ 同音語の判別過程について

- ・ a 判別条件や文脈が加わることによって、同音語の判別は、どのように進んでいくか。
- ・ b 同音語の判別のためには、どんな判別条件が有効に働くか。
- ・ c 同音語の判別過程は、一語一語で、どのように違っているか。
- ⑨ 同音語の判別に関係のありそうな諸要因について
 - ・ a 同音語の判別には、年齢教養の違いが、どのように影響するか。
 - ・ b 同音語の判別には、男女の違いが認められるか、どうか。
- ⑩ 特殊な、専門的なことばを含む同音語セットでは、どんな問題があるか。

3.2 テスト問題の内容とテストの対象

テストの問題は、甲・乙の2系統にわかれ、それぞれの系統は、さらに、A・B・Cの3種類にわかれ、この3種で1組の問題になっている。

甲系統のテストは、主として前項④の「同音語の判別過程」を分析するためのもので、乙系統に比べて、やや判別しにくい同音語セットから出題してある。

乙系統のテストは、主として前項⑨の「同音語の判別と諸要因との関係」を分析するためのもので、甲系統に比べれば、判別の容易な、なじみやすいことばが出題してある。

甲・乙両系統とも、A種の問題は、文脈・判別条件を全く与えずに、ことばだけをカタカナ書きで出題し、それについて、被験者の思いついた同音語をすべて書き並べさせるものである。B種の問題は、A種で出題したことばに、判別の手がかりを一つだけ与えて出題し、それに当てはまることばを書かせたものである。C種の問題は、B種の判別条件をそのまま用い、その前後に、さらにもう一つ手がかりとなる文脈を与えたものである。

被験者には、A→B→Cの順序で記入させ、Aの記入がすんでからB、Bの記入がすんでからCを、配布した。

なお、被験者には、前もって、このテストが、書き取り、あるいは漢字能力のテストではないむねを徹底的に説明し、漢字がわからないときには、必ずしも正確な字体でなくても似ていればよいし、それに当たる意味を記入してもよい、などの注意を与えた。

甲系統のテスト問題

甲一A つぎの問題のカタカナ書きのことばを、漢字で書き表わしなさい。

〔注意〕 1 思い出した順に、いくつでも書き並べなさい。

2 漢字が思い出せない場合は、そのことばの意味を書きなさい。

- | | |
|------------|----------|
| 1 ジュ ショウ…… | 6 キカク…… |
| 2 ガッ カイ…… | 7 フウセツ…… |
| 3 シンコウ…… | 8 イチドウ…… |
| 4 キョウコウ…… | 9 ソウイ…… |
| 5 コンセン…… | 10 フジン…… |

甲一B つぎの問題の傍線の部分の「カタカナ書きのことば」を、適当な漢字で書き表わしなさい。

〔注意〕 1 二つ以上のことばがあてはまると思う場合は、思い出した順に書き並べなさい。

2 漢字が思い出せない場合は、そのことばの意味を書きなさい。

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 文化勲章 <u>ジュ ショウ</u> 者 () | 6 <u>キカク</u> する。() |
| 2 <u>ガッ カイ</u> 開催地 () | 7 <u>フウセツ</u> にたえる。() |
| 3 輸出 <u>シンコウ</u> 策 () | 8 <u>イチドウ</u> に会する。() |
| 4 <u>キョウコウ</u> する。() | 9 <u>ソウイ</u> を反映する。() |
| 5 <u>コンセン</u> する。() | 10 4 F・B <u>フジン</u> () |

甲一C つぎの問題の、傍線の部分の「カタカナ書きのことば」を、適当な漢字で書き表わしなさい。

〔注意〕 漢字が思い出せない場合は、そのことばの意味を書きなさい。

- | | |
|--|--|
| 1 学士院賞・芸術院賞並びに文化勲章の <u>ジュ ショウ</u> 者 () | |
| 2 <u>ガッ カイ</u> 開催地の京都には、各国の物理学者が集まった。() | |
| 3 輸出 <u>シンコウ</u> 策、海外市場開拓策などを考える。() | |
| 4 反対をおしきって、採決を <u>キョウコウ</u> する。() | |
| 5 <u>コンセン</u> した話を整理する。() | |
| 6 <u>キカク</u> 、立案する。() | |
| 7 数百年の <u>フウセツ</u> にたえる。() | |
| 8 <u>イチドウ</u> に会して交歓する。() | |
| 9 希望と <u>ソウイ</u> を反映する。() | |
| 10 八幡製鉄チームは、4 F・B <u>フジン</u> で対戦する。() | |

甲系統のテスト問題に出題したことばのうち、第1問から第9問までのことばは、すべて、高校生を対象にして行なった予備テストにおいて、その無答率

が40%未満のものである(表8参照)。

第1問から第3問までは、B種の問題において、「語の結合」が判別の手がかりになっている。第4問から第6問までは、「品詞性(サ変動詞)」が判別の手がかりになっている。第7問から第9問までは、「慣用的用法」が判別の手がかりになっている。

第10問の「フジン(布陣)」は、特定の使用分野に属する特殊なことばの1例として、スポーツ関係の専門的なことばを出題したものである。これは、予備テストでも、無答者率が著しく高く(60.1%)、個人差が大きく現われたことばである。

同音語が判別されて行くありさまが、分析しやすいように、甲系統のテスト問題では、セツトになる同音語の数が、比較的少ないことばを選んだ。そのため、高校生程度には、ややなじみの薄いことばが、多くなった(表6参照)。

甲系統のテストの対象は、男女大学生143名で、そのうちわけは、つぎの通りである。

日本大学文科系学生	57名
理科大学理学部学生	55名
共立女子短大学生	31名
計	143名

乙系統のテスト問題

乙-A つぎの問題のカタカナ書きのことばを、漢字で書き表わしなさい。

〔注意〕 1 思い出した順にいくつでも書き並べなさい。

2 漢字が思い出せない場合は、そのことばの意味を書きなさい。

- | | |
|---------|-----------|
| 1 シセイ…… | 6 タイショウ…… |
| 2 ギイン…… | 7 コウレイ…… |
| 3 カガク…… | 8 カンショウ…… |
| 4 キケン…… | 9 カンシン…… |
| 5 シテイ…… | 10 コウシュ…… |

乙-B つぎの問題の傍線の部分の「カタカナ書きのことば」を適当な漢字で書き表わしなさい。

【注意】 1 二つ以上のことばがあてはまると思う場合は、思い出した順に書き並べなさい。

2 漢字が思い出せない場合は、そのことばの意味を書きなさい。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 <u>シセイ</u> 方針演説。() | 6 <u>タイショウ</u> する。() |
| 2 <u>ギイン</u> 制度。() | 7 <u>コウレイ</u> の行事。() |
| 3 <u>カガク</u> 工業。() | 8 <u>カンショウ</u> にひたる。() |
| 4 <u>キケン</u> する。() | 9 <u>カンシン</u> を持つ。() |
| 5 <u>シテイ</u> する。() | 10 <u>コウシュ</u> に精彩がない。() |

乙-C つぎの問題の、傍線の部分のカタカナ書きのことばを、適当な漢字で書き表わしなさい。

【注意】 漢字が思い出せない場合は、そのことばの意味を書きなさい。

- 1 首相のシセイ方針演説が行なわれた。()
- 2 ギイン制度は民主政治の基本だ。()
- 3 カガク工業・機械工業。()
- 4 選挙にキケンする。()
- 5 シテイされた場所に、時間通り集まる。()
- 6 比較タイショウして調べる。()
- 7 毎年、秋に行なわれるコウレイの文化祭が近づいた。()
- 8 カンショウにひたっている少女の姿をえがく。()
- 9 興味とカンシンを持つ。()
- 10 投打のバランスがくずれ、コウシュに精彩がない。()

乙系統のテスト問題に出題したことばのうち、第1問から第9問までのことばは、すべて、高校生を対象に行なった予備テストで、その無答率30%が未満のものである(表8参照)。

B種の問題で与えた、判別の手がかりは、甲系統の場合と全く同じように、第1問から第3問までは「語の結合」、第4問から第6問までは「品詞性(サ変動詞)」、第7問から第9問までは「慣用的用法」になっている。

第10問の「コウシュ(攻守)」は、特定の使用分野に属する特殊なことばの1例として、スポーツ関係の専門なことばを出題したものである。これは、予備テストでも、無答率率が高く(44.7%)、個人差が著しく現われたことばである。

乙系統のテスト問題では、種々の要因と同音語の混同・判別の型との関係を分析しやすいように、セットになる同音語の数が、多いことばを選んで出題した(表6参照)。

乙系統のテストの対象は、大学生 112 名、高校生 98 名で、そのうちわけは、つぎの通りである。

(大学生)		(高校生)	
日本大学文科系学生	57 名	東京都立江北高校生	49 名 (男 23 名, 女 26 名)
理科大学理学部学生	55 名	東京都立北多摩高校生	49 名 (男 22 名, 女 27 名)
計		計	98 名 (男 45 名, 女 53 名)

3.3 テスト問題の検討

テスト結果の、細かい分析にはいる前に、このテストで、出題したことが、同音語のテスト問題として、被験者に適当だったかどうかについて、検討しておくことにする。

まず、はじめに、甲・乙両系統の A 種の問題において、同音語を一つも思いつくことができなかった人数と、その被験者総数に対する割合とを調べてみると、表 9・表 10・表 11 のようになる。

A 種の問題は、被験者が思いついた同音語を、すべて書き並べさせる問題だ

表 9 甲系統 A 種問題の無答者数と無答者百分比

被験者総数 143 人		
出 題 語	%	無答者
1 ジュ ショウ	14.0	20 人
2 ガッカイ	0.7	1
3 シンコウ	2.1	3
4 キョウコウ	4.9	7
5 コンセン	9.1	13
6 キカク	10.5	15
7 フウセツ	5.6	8
8 イチドウ	0	0
9 ソウイ	1.4	2
10 フジン	2.1	3
平 均	5.0	
標準偏差	4.49	

表10 乙系統A種問題における無答者数と無答者の百分比

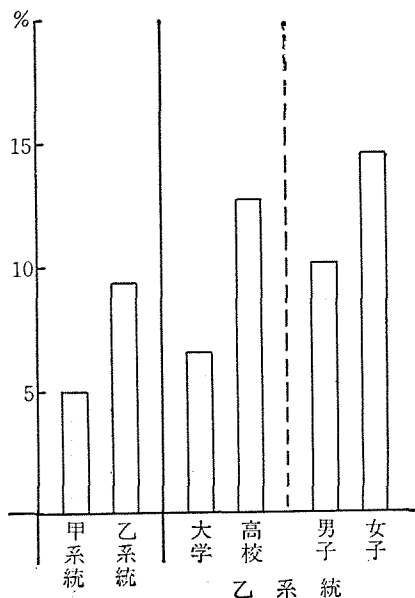
出 題 語	全体 (210人)		高 校						大学 (112人)	
			全(98人)		男(45人)		女(53人)			
	%	無答者	%	無答者	%	無答者	%	無答者	%	無答者
1 シセイ	10.9	23人	17.3	17人	17.8	8人	16.9	9人	5.3	6人
2 ギイン	1.4	3	3.1	3	0	0	5.6	3	0	0
3 カガク	1.4	3	3.1	3	4.4	2	1.8	1	0	0
4 キケン	2.4	5	3.1	3	4.4	2	1.8	1	1.8	2
5 シテイ	2.8	6	2.0	2	4.4	2	0	0	3.5	4
6 タイシ ャウ	0.5	1	0	0	0	0	0	0	0.9	1
7 コウレイ	32.3	68	39.8	39	26.6	12	50.9	27	25.9	29
8 カンシ ャウ	5.7	12	8.2	8	11.1	5	5.6	3	3.5	4
9 カンシン	0.9	2	0	0	0	0	0	0	1.8	2
10 コウシ ャ	34.8	73	50.0	49	33.3	15	64.1	34	21.3	24
平 均	9.3		12.7		10.2		14.7		6.4	
標準偏差	12.66		15.60		11.29		22.14		8.80	

から、A種の問題において、何も記入できない、ということは、われわれが、B種・C種でねらったことばは、もちろんのこと、それと同音のことばについても、被験者は、あまり、なじみをもっていないものと推定される。

表9・表10・表11における、「無解答者（同音語を全く思いつげなかった被験者）の数の、全被験者数に対する比率」からみて、このテストに出題してあることばについて、つぎのようなことが言える。

- ④ 全般的にみて、甲・乙両系統とも、出題してあることばについ

表11



て、同音語を全く思いつけなかった被験者の割合は、平均 1 割以下であった。したがって、被験者のほとんどは、出題してあることばについて、何らかの同音語を思いつくことができたわけで、同音語がまったく思いつけないほど、被験者になじみの薄いことばは、一往なかった、と推定される。

㊤ 乙系統の被験者の層別では、大学生と高校生の間、あるいは、男子高校生と女子高校生の間に、無解答者率の差が、はっきり現われた。したがって、乙系統に出題してあることばについては、大学生の方が、高校生よりも、また男子高校生の方が、女子高校生よりも、なじみをもっていると推定される。

㊦ ことば別では、乙系統の「7. コウレイ」「10. コウシュ」は無解答者の比率が、2 割を越している点からみて、他のことばよりも、同音語を思いつきにくかったように思われる。甲系統には、それほど、思いつきにくいものは、含まれていなかったように推定される。

つぎに、われわれが最終的にねらったことば（以下「目標語」と呼ぶ）を思いついた被験者が、どのくらい居たかについて、甲・乙両系統の C 種問題で調べてみると、表12、表13、表14のようになる。

表13 乙系統 C 種問題における目標語解答数とその百分比

目 標 語	被験者		高 校						大学(112名)	
	全体(210名)		全(98名)		男(45名)		女(53名)			
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数
1 施政	48.1	101	23.5	23	37.8	17	11.3	6	69.6	78
2 議院	42.9	90	35.7	35	42.2	19	30.2	16	49.2	55
3 化学	87.1	183	87.8	86	93.3	42	83.0	44	86.6	97
4 棄権	75.2	158	62.2	61	73.3	33	52.8	28	86.6	97
5 指定	98.6	207	99.0	97	100.0	45	98.1	52	98.2	110
6 対照	53.3	112	50.0	49	53.3	24	47.2	25	56.2	63
7 恒例	59.5	125	53.1	52	68.9	31	39.6	21	65.0	73
8 感傷	67.6	142	49.0	48	37.8	17	58.5	31	83.9	94
9 関心	64.8	136	58.2	57	62.2	28	54.7	29	70.5	79
10 攻守	61.0	128	40.8	40	71.1	32	15.1	8	78.6	88
平 均	65.8		55.9		64.0		49.1		74.4	
標準偏差	16.37		21.76		20.69		25.92		14.37	

表12 甲系統C種問題における目標語解答者数とその百分比

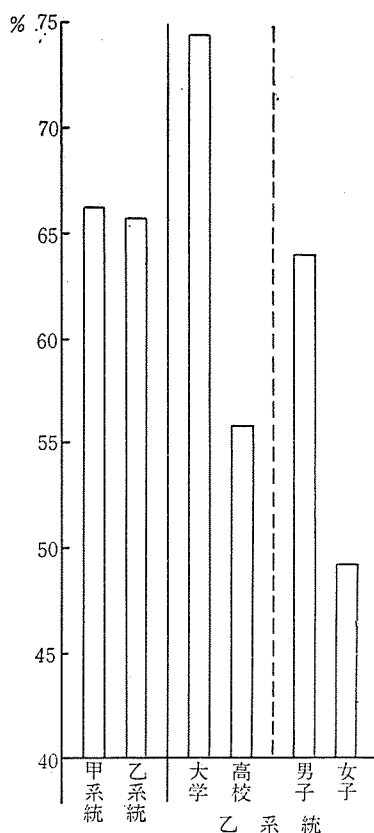
目 標 語	被験者 全体 143名	
	%	人数
1 受 賞	62.2	89
2 学 会	69.2	99
3 振 興	44.7	64
4 強 行	95.8	137
5 混 線	83.9	120
6 企 画	76.9	110
7 風 雪	87.4	125
8 一 堂	55.9	80
9 総 意	33.6	48
10 布 陣	52.4	75
平 均	66.2	
標準偏差	18.10	

一般にC種の問題においては、被験者が、目標語になじみがあれば、容易に目標語を思いつくはずである。したがって、C種の問題で、目標語を思いつかなかった被験者は、その語になじみが薄いものと推定して、ほぼ、まちがいはないと思われる。

表12、表13、表14の「目標語を思いついた被験者数の、全被験者数に対する比率」からみて、出題した目標語の難易度について、つぎのようなことがいえる。

- ① 全般的にみて、甲・乙両系統とも、被験者の平均66%程度が、目標語を思いついている。したがって、目標語のなかには、被験者に、それほど、なじみの薄いことばは含まれていなかった、と推定される。
- ② 甲系統（大学生のみが受験）の平均と、乙系統の大学生の平均とを比べてみると、乙系統の方が平均値が高い。したがって立案どおり（3.2参照）甲系統

表14



で出題した目標語の方が、乙系統のものよりも、全般的に思いつきにくい、なじみの薄いことばだったと推定される。

- ㊦ 乙系統の被験者の層別では、大学生と高校生の間、あるいは、男子高校生と女子高校生の間に、平均値の差がはっきり現われた。したがって、乙系統に出題してある目標語については、大学生の方が、高校生よりも、また、男子高校生の方が、女子高校生よりも、なじみをもっていると推定される。
- ㊧ ことば別では、甲系統の「3. 振興」「9. 総意」および、乙系統の「1. 施政」「2. 議院」は、これらの目標語を思いついた被験者が5割以下だった点からみて、被験者に、あまりなじみのないことばだったように思われる。

被験者が、甲系統・乙系統のテスト問題について、それぞれ、どんな同音語を思いついたかを示すと、つぎの表15・表16ようになる。この表の「○」は、A種問題にだけ見られる語、「◎」は、A種・B種・C種の三問題全体にわたって記入が見られたことばである。

表15 甲系統

1 ジュンショウ	進向 ◎	4 キョウコウ	其角 ○	10 フジン
受賞 ◎	新考 ◎	強行 ◎	7 フウセツ	布陣 ◎
授賞 ◎	信仰 ○	強硬 ◎	風雪 ◎	婦人 ◎
授章 ○	親交 ○	恐慌 ○	風説 ◎	夫人 ◎
樹梢 ○	新香 ○	強攻 ○	8 イチドウ	不尽 ◎
2 ガツカイ	深更 ○	狭行 ○	一堂 ◎	富人 ○
学会 ◎	深考 ○	凶行 ○	一同 ◎	不仁 ○
学界 ◎	新講 ○	教皇 ○	一道 ○	
楽会 ○	新校 ○	5 コンセン	9 ソウイ	
学海 ○	深耕 ○	混線 ◎	総意 ◎	
3 シンコウ	進講 ○	混戦 ◎	相違 ◎	
振興 ◎	深紅 ○	6 キカク	創意 ◎	
進行 ◎	深厚 ○	企画 ◎	層位 ○	
新興 ◎		規格 ◎	僧位 ○	

表16 乙系統

1 シセイ	2 ギイン	貴県 ○	7 コウレイ	9 カンシン
施政 ◎	議院 ◎	5 シテイ	恒例 ◎	関心 ◎
市政 ◎	議員 ◎	指定 ◎	好例 ◎	感心 ◎
市制 ◎	偽印 ○	師弟 ◎	高齢 ○	寒心 ○
市井 ◎	3 カガク	子弟 ○	高冷 ○	餓心 ○
市勢 ○	化学 ◎	私邸 ○	高嶺 ○	韓信 ○
姿勢 ○	科学 ◎	姉弟 ○	8 カンシ ャウ	奸臣 ○
私生 ○	価額 ○	6 タイシ ャウ	感傷 ◎	10 コウシ ャ
雌性 ○	加額 ○	対照 ◎	鑑賞 ◎	攻守 ◎
私製 ○	過額 ○	対象 ◎	観賞 ◎	好守 ◎
氏姓 ○	歌学 ○	対称 ◎	感賞 ◎	好手 ◎
至誠 ○	下顎 ○	隊商 ○	干涉 ○	巧手 ○
死生 ○	家学 ○	大勝 ○	完勝 ○	工手 ○
紙製 ○	課額 ○	大将 ○	環礁 ○	甲種 ○
司政 ○	4 キケン	大正 ○	官省 ○	紋首 ○
脂性 ○	棄権 ◎	大笑 ○	観象 ○	公主 ○
四聖 ○	危険 ◎	大賞 ○	緩衝 ○	核主 ○
四声 ○	気悶 ○		観照 ○	興趣 ○

表15・表16でわかるように、甲系統のテストにおいても、乙系統のテストにおいても、出題したすべてのことばに対して、2種以上の同音語が、テスト結果に現われている。したがって、セットになる同音語が、テスト結果に現われていないようなことばは、一つも出題されていないかったということになる。

さらに、これらの表によれば、出題したことばには、すべて、A種問題からC種問題にいたるまで終始対立する同音語がみられる。したがって、出題したことばには、すべて、きわめてまぎれやすい判別しにくい同音語セットが、一往、存在していたことになる。

つぎに、乙系統のテストについて、大学生と高校生、および男子高校生と女子高校生が、それぞれどんな同音語を思いついたかを、前と同じように表に示

してみる。

表17 乙系統大学・高校別

同音語	大学	高校	同音語	大学	高校	同音語	大学	高校	同音語	大学	高校	同音語	大学	高校
1 シセイ			2 ギイン			貴県 ○			7 コウレイ			9 カンシン		
施政 ◎ ◎			議院 ◎ ◎			5 シテイ			恒例 ◎ ◎			関心 ◎ ◎		
市政 ◎ ◎			議員 ◎ ◎			指定 ◎ ◎			好例 ◎ ◎			感心 ◎ ◎		
市井 ◎ ◎			偽印 ○			師弟 ◎ ◎			高齢 ○ ○			寒心 ○ ○		
市制 ◎ ○			3 カガク			子弟 ○ ○			高冷 ○ ○			観心 ○ ○		
市勢 ○ ○			化学 ◎ ◎			私邸 ○ ○			高嶺 ○ ○			奸臣 ○ ○		
姿勢 ○ ○			科学 ◎ ◎			姉弟 ○ ○			8 カンシ ョウ			韓信 ○		
私製 ○ ○			価額 ○ ○			6 タイシ ョウ			感傷 ◎ ◎			10 コウシュ		
至誠 ○ ○			加額 ○ ○			対照 ◎ ◎			鑑賞 ◎ ◎			攻守 ◎ ◎		
死生 ○ ○			過額 ○ ○			対称 ◎ ◎			観賞 ◎ ◎			好守 ◎ ◎		
紙製 ○ ○			下額 ○			対象 ◎ ◎			感賞 ◎ ◎			好手 ◎ ○		
司政 ○			家学 ○			隊商 ○ ○			干渉 ○ ○			巧手 ○ ○		
脂性 ○			課額 ○			大勝 ○ ○			完勝 ○ ○			工手 ○ ○		
四聖 ○			歌学 ○			大将 ○ ○			緩衝 ○			甲種 ○ ○		
四声 ○			4 キケン			大正 ○ ○			観照 ○			絞首 ○ ○		
私生 ○			乗権 ◎ ◎			大笑 ○			環礁 ○			公主 ○ ○		
雌性 ○			危険 ◎ ◎			大賞 ○			官省 ○			校主 ○ ○		
氏姓 ○			気圏 ○ ○						観象 ○			興趣 ○		

表17・表18の乙系統のテストの層別（大学・高校，男子・女子）の結果においても，出題されていることばに対して，すべて，2種以上の同音語がみられる。さらに，高校男子の層の，「5. シテイ」「10. コウシュ」の二つを除いては，すべてにわたってA種問題からC種問題にいたるまで，終始対立する同音語がみられる。したがって，出題されていることばに対して，セットになる同音語が現われなかった層は全然なく，さらに，まぎれやすい判別のむずかしい同音語セットが現われなかった層は，ほぼなかったものと認められる。

表18 乙系統高校男・女別

同音語 男 女	同音語 男 女	同音語 男 女	同音語 男 女	同音語 男 女
1 シセイ	議員 ◎ ◎	子弟 ○ ○	高嶺 ○ ○	韓信 ○
施政 ◎ ◎	偽印 ○ ○	私邸 ○ ○	8 カンショウ	奸臣 ○
市政 ◎ ◎	3 カガク	姉弟 ○ ○	感傷 ◎ ◎	10 コウシュ
市井 ○ ◎	化学 ◎ ◎	6 タイショウ	鑑賞 ◎ ◎	攻守 ◎ ◎
市制 ○ ○	科学 ◎ ◎	対照 ◎ ◎	観賞 ◎ ◎	好守 ○ ◎
姿勢 ○ ○	価額 ○ ○	対称 ◎ ◎	感賞 ◎	好手 ○ ○
私生 ○ ○	加額 ○ ○	対象 ◎ ◎	干渉 ○ ○	甲種 ○ ○
氏姓 ○ ○	歌学 ○	大将 ○ ○	完勝 ○	紋首 ○ ○
雌性 ○	過額 ○	隊商 ○ ○	環礁 ○	巧手 ○
私製 ○	4 キケン	大正 ○ ○	官省 ○	工手 ○
至誠 ○	棄権 ◎ ◎	大勝 ○	観象 ○	公主 ○
市勢 ○	危険 ○ ◎	7 コウレイ	9 カンシン	校主 ○
死生 ○	気圏 ○	恒例 ◎ ◎	関心 ◎ ◎	
紙製 ○	5 シタイ	好例 ◎ ○	感心 ◎ ◎	
2 ギイン	指定 ◎ ◎	高齢 ○ ○	寒心 ○ ○	
議院 ◎ ◎	師弟 ○ ◎	高冷 ○ ○	観心 ○ ○	

以上の検討の結果、このテストに用いたテスト問題は、甲・乙両系統とも、同音語のテスト問題として、テストの目的(3.1参照)、および立案の条件(3.2参照)を、一往、満足し、適切なものと推定される。

3.4 テスト結果の分析(1)——同音語の判別過程について

テストの結果は、原則として、「各問題に記入されていることばの総数(*総解答数)」に対する「目標語が記入された度数(目標語解答数)」の百分比を、「被験者が目標語を思いついた割合」という意味で、「目標語想起率」と呼び、これによって分析を進めて行くことにする。

$$\text{目標語想起率} = \frac{\text{目標語解答数}}{\text{総解答数}*} \times 100$$

*「総解答数」では、無解答(白紙)も度数1に数える。

この方法によって分析を進めた理由は、B種問題に設定してある判別条件や、C種問題に与えてある文脈などを手がかりにしながら、それに当てはまることば（目標語）を、被験者が思いついて行く状況を明らかにすることに、この調査の主眼をおいたからである。したがって、以下に述べる調査結果も、それに基づく立論も、主として、この「被験者の、目標語への接近の度合い」という方向からみたものである。

言うまでもなく、いくつもの同音語の中から、判別条件や文脈を手がかりにしつつ、それに当てはまることば（目標語）を思いついて行く過程、すなわち「同音語の判別過程」全体の姿を明らかにするためには、目標語の想起率だけを調べる方法では、不十分であろう。少なくとも、表15・表16にあげてある「被験者の記入したことば」については、その現われ方を、すべて分析し、これに基づいて、目標語の現われ方（想起率）と、目標語とセットになる同音語の現われ方との関係をとらえる必要がある。そして、この関係が、判別条件や文脈の設定によって、どのように動いてくるかを調べ、被験者が目標語を思いついて行く過程において、どんな同音語が、どの程度支障になったかを明らかにすることが望ましい。それによって、はじめて、表15・表16の◎印の同音語（A種・B種・C種の3問題にわたって記入がみられたもの）のように、判別条件や文脈を与えても、なお、まぎれる可能性のある同音語によってひき起こされる支障の程度が、わかってくるわけである。

さきに述べたように、今回のテスト結果の調査では、主として「目標語想起率」によって分析を進めるために、「目標語とセットになる同音語」の実態については必ずしも満足な分析が期待できないかもしれない。しかし、同音語の判別とその要因についての調査の手始めとしては、「目標語を、どの程度判別できるか」という点に、一往焦点をしばって、判別の進みぐあいを、なるべく数多く分析することも、一つの方法であろうと考えた。

「テスト結果の分析(I)」では、主として甲系統のテストを採り上げ、必要に応じて、乙系統のテスト結果も用いる。

3.4.1 判別条件が加わることによって、同音語の判別は、どのように進んでいくか。

甲系統のテストのB種問題、C種問題で与えておいた判別の手がかりが、目標語を思いついて行くうえに、どの程度の効果をもたらしたかについて、調べてみることにする。

まず、甲系統のテスト全体について、目標語想起率を調べてみると、つぎの表19、表21のようになっている。

表19 甲系統問題別想起率表

	想起率	目標語 度数	総解答数	有意差
A種	34.6	747	2156	
B種	55.5	873	1572	**
C種	65.0	947	1456	**

(有意差の表わし方)

** 危険率1%で有意差あり

* 危険率5%で有意差あり

すなわち、判別の手がかりがまったく与えられていないA種の問題において目標語が記入されている割合（想起率）は、

表21

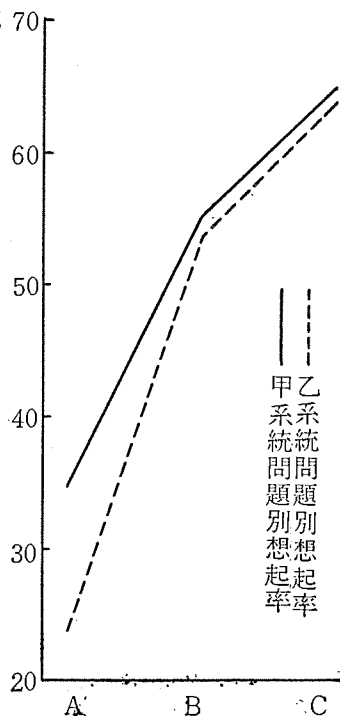
全解答数の34.6%であった。それが、判別条件が一つだけ与えられているB種の問題では、55.5%に上がっている。さらに文脈まで与えられているC種の問題に至ると、65.0%とはね上がっている。そして、これらの間には、明らかに有意差（危険率1%）が認められた。参考として、乙系統のテストのテスト結果をあげると、表20、表21のようになっている。

表20 乙系統問題別想起率表

	想起率	目標語 度数	総解答数	有意差
A種	23.9	930	3892	
B種	53.3	1245	2335	**
C種	64.8	1382	2131	**

これは、甲系統以上に、目標語想起率の昇が著しい。

以上の結果から見て、われわれが、テス



ト問題に設定した判別条件や文脈は、被験者が目標語を思いついて行くうえに、かなり有力な手がかりになっていると考えられる。また、判別の手がかりがふえるほど、目標語は思いつきやすくなる、ということが推定される。

さらに、目標語想起率が、A種問題からB種問題への過程で、著しく上昇することから、B種問題に設定したような判別条件（語の結合、品詞性、慣用的用法など）だけでも、かなり有効な、判別の手がかりになるのではないかと思われる。

3.4.2 同音語の判別のためには、どんな判別条件が有効に働くか。

すでに、3.2において、説明しておいたように、このテストでは、甲・乙両系統とも、B種問題に、つぎのような判別条件を与えた。

(甲系統)	(判別条件)	(乙系統)
1 受賞（文化勲章一者）	語の結合形式	1 施政（一方針演説）
2 学会（一開催地）		2 議院（一制度）
3 振興（輸出一策）		3 化学（一工業）
4 強行（一する）	品詞性（サ変動詞）	4 棄権（一する）
5 混線（一する）		5 指定（一する）
6 企画（一する）		6 対照（一する）
7 風雪（一にたえる）	慣用的用法	7 恒例（一の行事）
8 一堂（一に会する）		8 感傷（一にひたる）
9 総意（一を反映する）		9 関心（一をもつ）

（甲・乙両系統とも、「10. 布陣」「10. 攻守」は、ここでは採り上げない。）

B種問題の判別条件が、全般的に見て、有効に作用したことは、3.4.1の分析によってわかったが、これら三つの判別条件別に、甲乙両系統の、A種から

表22 甲・乙両系統条件別想起率表

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
語の結合	26.3	503	1911	50.4	628	1246	58.0	626	1080
品詞性	35.4	650	1838	65.3	759	1162	78.9	844	1070
慣用的用法	25.4	446	1753	52.4	597	1139	60.5	656	1085

B種へ、さらにC種問題への想起率の変化を整理すると、表22、表23のようになる。

表23のグラフに示したように、いずれの条件の場合にも、A種問題から、B種問題への過程で目標想起率は、大きく上昇する。したがって、われわれが、B種問題に設定しておいた3種の判別条件は、いずれも、きわめて有効に作用したと推定される。

また、B種問題から、C種問題への過程でも、すべて上昇している。ということは、いずれの条件の場合も、C種問題に設定した文脈が、加わることによって、目標語の判別は、さらに容易になると考えられる。

しかし、B種問題に設定した3種の判別条件（語の結合、品詞性、慣用的用法）のうちで、どの条件が、もっとも有効な手がかりになったか、ということは、この結果からは、判断できない。A種→B種の過程における目標語想起率の進みぐあ

いは、「品詞性」の場合が、他よりも、やや著しいが、「語の結合」と「慣用的用法」との間には、ほとんど差が認められない。したがって、しいて言うならば、あるいは、「品詞性」が、他の条件よりも、いくらか有効だったかもしれない、という程度である。

3.4.3 同音語の判別過程は、一語一語で、どのように違っているか。

各語別に、想起率の進み方を調べてみると、つぎの表24、表25のようになる。

この結果、このテストに出題したことばの判別過程には、以下に述べるよう

表23

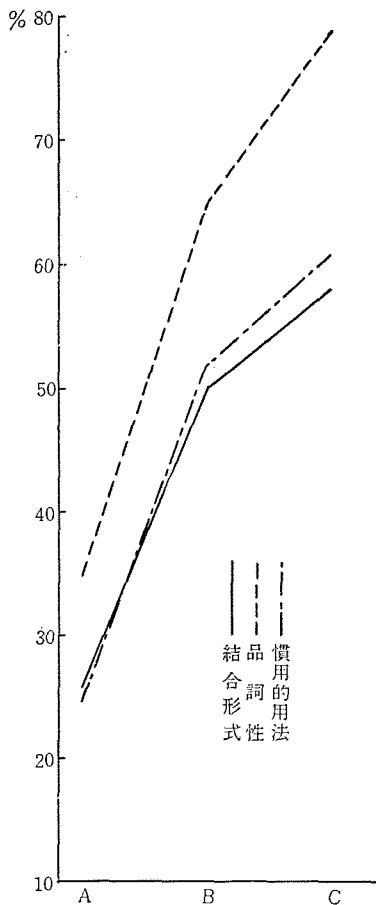


表24 甲系統各語別目標語想起率表

		A			B			C		
		想起率	目標語 度数	総解答 数	想起率	目標語 度数	総解答 数	想起率	目標語 度数	総解答 数
1	受賞	59.0	89	151	60.2	92	153	61.0	89	146
2	学会	54.2	98	183	65.6	103	157	68.3	99	145
3	振興	3.3	10	305	34.6	56	162	45.4	64	141
4	強行	50.5	106	210	81.3	126	155	95.8	137	143
5	混線	63.2	117	185	67.3	113	168	78.9	120	152
6	企画	48.0	93	194	68.7	103	150	77.5	110	142
7	風雪	63.2	115	182	84.6	132	156	87.4	125	143
8	一堂	21.4	46	215	39.6	61	154	52.3	80	153
9	総意	17.4	49	282	32.1	54	168	31.8	48	151
10	布陣	9.6	24	249	22.2	33	149	53.5	75	140

表25 乙系統各語別目標語想起率表

		A			B			C		
		想起率	目標語 度数	総解答 数	想起率	目標語 度数	総解答 数	想起率	目標語 度数	総解答 数
1	施政	4.6	21	460	36.9	87	236	47.4	101	213
2	議院	25.6	91	356	36.5	93	255	41.5	90	217
3	化学	42.5	194	456	69.6	197	283	83.9	183	218
4	棄権	35.1	123	350	65.3	139	213	74.5	158	212
5	指定	33.6	121	360	83.3	179	215	98.6	207	210
6	対照	16.7	90	539	37.9	99	261	53.1	112	211
7	恒例	22.8	69	302	53.7	117	218	58.4	125	214
8	感傷	16.3	65	398	48.9	110	225	67.0	142	212
9	関心	27.3	102	374	56.4	123	218	64.2	136	212
10	攻守	18.2	54	297	47.9	101	211	60.4	128	212

な、5種類の型が認められる。

① $A \rightarrow B \rightarrow C$ と、想起率が順次上昇していくもの。

イ) $A \rightarrow B$ の過程で大きく上昇し、 $B \rightarrow C$ では、ゆるやかに上昇するもの
(表26, 表27)。

これは、もっとも一般的な型であって、つぎのことばがこれに属する。

「甲—2. ガッカイ(学会)」 「甲—3. シンコウ(振興)」 「甲—4. キョ
ウコウ(強行)」 「甲—6. キカク(企画)」 「甲—7. フウセツ(風雪)」 「乙

表26

甲

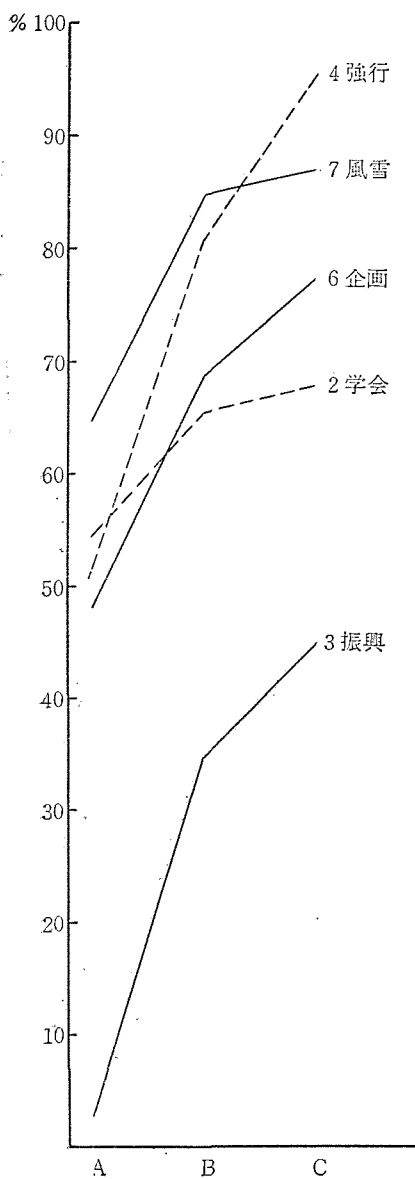
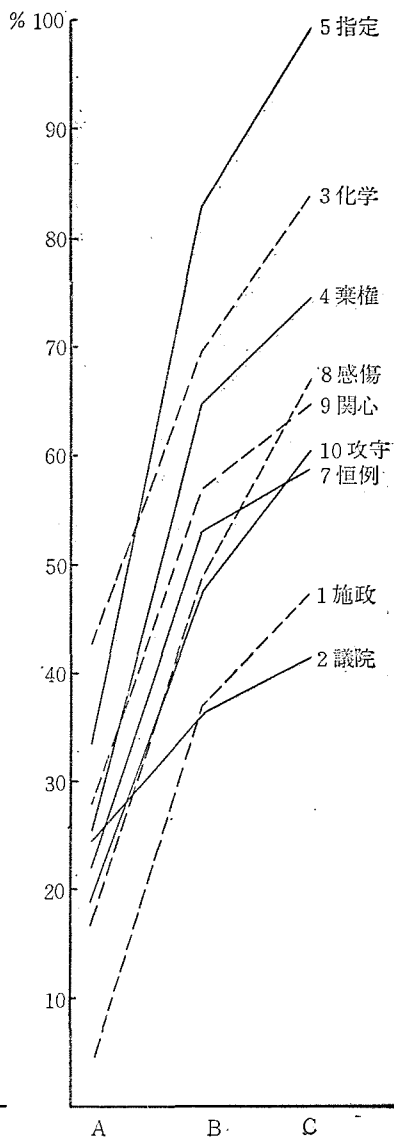


表27



- 1. シセイ(施政)」「乙—2. ギイン(議院)」「乙—3. カガク(化学)」「乙—4. キケン(棄権)」「乙—5. シテイ(指定)」「乙—7. コウレイ(恒例)」「乙—8. カンショウ(感傷)」「乙—9. カンシン(関心)」「乙—10. コウシュ(攻守)」

表26,表27のグラフから、これらのことばでは、われわれがB種問題にあらかじめ設定しておいた判別条件が、きわめて有効に作用し、さらに、C種問題に与えておいた文脈も、かなり判別の手がかりになったと認められる。このことは、出題してある目標語を知っていた被験者は、その用法についても、しっかり理解していて、確実に目標語に近づいて行けたものと推定される。

ロ) A→Bの過程での想起率の進

表28

みぐあいと、B→Cの過程での

進みぐあいの間に、ほとんど

差が認められないもの(表28)。

「甲—8. イチドウ(一堂)」と

「乙—6. タイショウ(対照)」

とが、これに属する。

これらのことばでは、B種問題に設定された判別条件も、C種問題に与えられた文脈も、ともに有効に作用したと認められる。したがって、これらのことばも、出題してある目標語を知っている被験者は、その用法についても、一往の理解をもっていたものと推定される。

ハ) A→Bの過程では、ゆるやか

に上昇し、B→Cの過程で大きく

上昇するもの(表29)。

甲系統の「5. コンセン(混線)」と「10. フジン(布陣)」の二つが、これに属する。

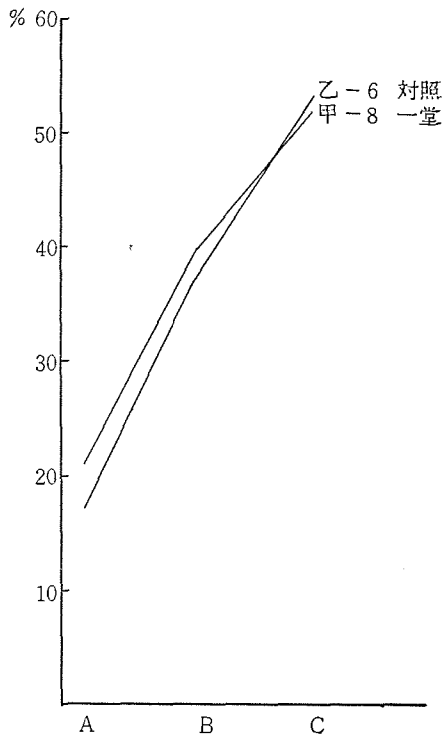


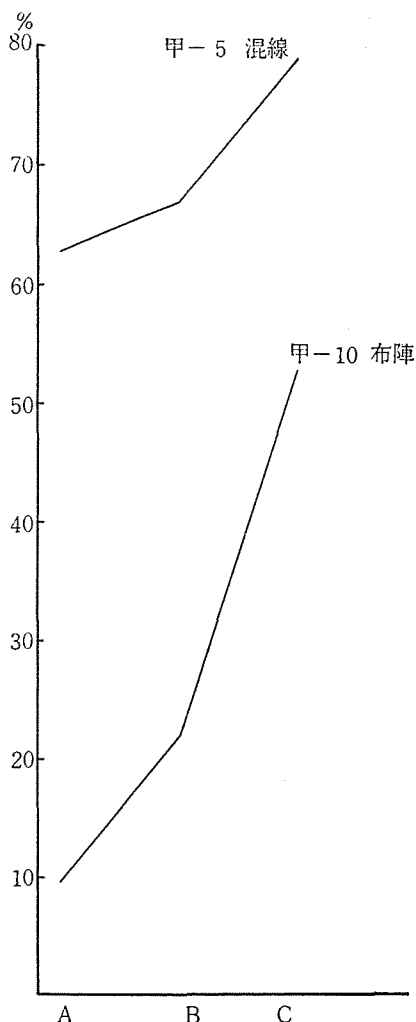
表29のグラフからもわかるように、これらのことばの場合には、B種問題に設定されていた判別条件は、あまり手がかりにならず、C種問題に与えられていた文脈の方が、より有効に作用したものと認められる。したがって、これらの場合、目標語を知っていた被験者も、多くはその用法について、あまり理解していないのではないかと推定される。

また、これらのことばのうち、「10. フジン（布陣）」は、スポーツ関係の特殊なことばの1例として出題したもの（3.6参照）であり、「5. コンセン（混線）」も、A種問題における目標語想起率が、きわめて高く、やはり特別なことばと認められる。したがって、いずれも、特殊なことばの場合にもたらされた結果である点、注意する必要がある。（A種問題の目標語想起率が、きわめて高いということは、目標語（「混線」）そのものが、判別条件や文脈の助けを借りなくとも、たいへん思いつきやすい語だ、ということである。同音となる語が「混戦」ただ一つで、きわめて限られていることが、その一因と推定される。）

② A→Bの過程では上昇し、B→Cの過程では、ほとんど変化のないもの（表30）。

甲系統の「9. ソウイ（総意）」が、これに属する。

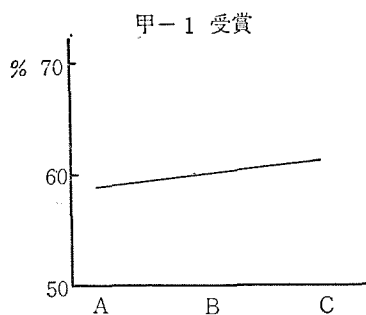
表29



この場合は、C種の問題に与えておいた文脈は、全く手がかりにならなかったものと認められる。一方、このことばの場合には、目標語想起率が全般的にきわめて低いところからみて、目標語「総意」そのものが、被験者にとってあまりなじみがなかったものと推察され、わずかに、この目標語を知っていた被験者は、ほとんど全員、B種問題の判別条件だけで、目標語を思いついたのではないかとと思われる。

③ 目標語想起率が、ほとんど上昇しなかつ

表31



たもの(表31)。

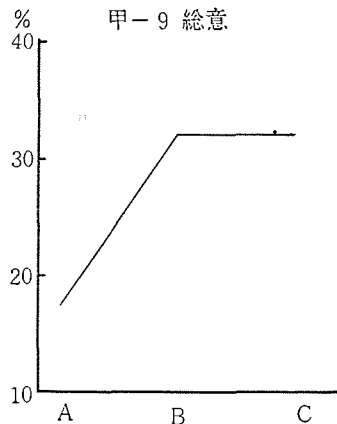
甲系統の「1. ジュショウ (受賞)」が、これに属する。

この場合は、B種問題の判別条件も、C種問題の文脈も、ともに判別の手がかりとして、あまり有効に作用しなかった。また、このことばの場合の特色は、A種問題における目標語想起率が、きわめて高いことである。したがって、目標語「受賞」を

知っていた被験者は、ほとんど全員、A種問題において、「受賞」を思いつき、B種・C種問題において、あらたに思いついた被験者は、ほとんど居なかったと推定される。これは、ひとつには、この場合、同音となることばが、限られていて、それがみな、被験者に、なじみの薄い語だったからではないか、と推定される。(表15参照)

結局、この「1. ジュショウ (受賞)」の場合は、判別条件や文脈などよりも、この語(目標語)を知っているか、否か、だけが問題となったことばの1例と言えよう。

表30



以上の分析の結果、つぎのようなことが推定される。

- 一般には、判別条件や文脈など、判別の手がかりが、ふえるほど、同音語の判別は容易になり、目標語が、思いつきやすくなる。
- 多くの場合は、B種問題で設定したような判別条件（語の場合、品詞性、慣用的用法）だけでも、かなり有効な手がかりになりうる。
- 目標語になじみが薄いときには、文脈は判別の手がかりになりにくい。
- 同音となる語がきわめて限られていて、目標語が思いつきやすい場合、および特殊な専門的な語の場合（くわしくは、3.6参照）には、必ずしも、B種問題に設定したような判別条件は有効な手がかりにならず、むしろ、文脈に依存する傾向が強いことがある。
- 同音となる語になじみが薄い場合には、目標語を知っているかどうかだけが問題となり、判別条件や文脈が有効に作用しないことがある。

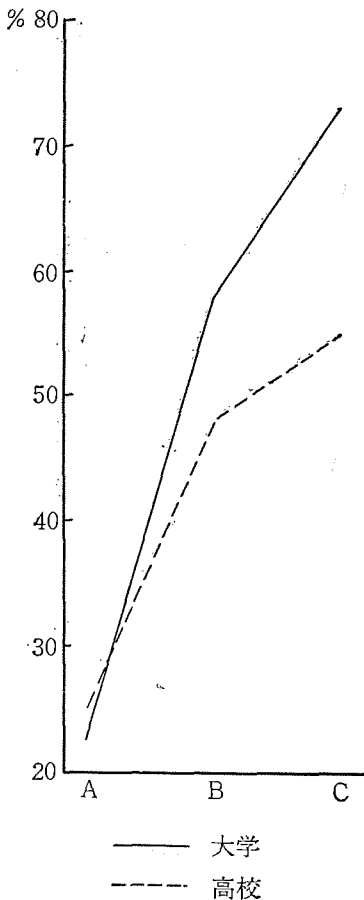
表15・表16を見ると、このテストに出題したことばは、セットになる同音語の数も多く、たいへんまぎれやすいのではないと思われる。しかし、ここに述べた「テスト結果の分析（Ⅰ）」によると、こうした同音語 セットにおいてさえ、きわめて単純な判別条件や文脈を設けただけで、かなりの程度に判別が進みうるということが立証された。たしかに、A種問題からC種問題への目標語想起率の伸びは、単純な手がかりの割りには、予想外に著しい。とは言っても、甲系統においても、乙系統においても、それがほぼ65%程度でとどまっていることは、いろいろな問題を投げかけている。このテストは、われわれが、第Ⅱ章・第Ⅲ章・第Ⅴ章の3章にわたる同音語の諸問題の分析によって得た「判別の手がかり」を、個別的に適用したものであるが、この「手がかり」の与え方を変えることによって、判別の進みぐあいが、どのように変わってくるかということなども、今後の問題の一つとして考えられよう。そして、それは、同音語の判別を、最も効果的に進めるためには、どんな判別の手がかりを、どのように与えるべきか、という問題に近づいて行くものと予想される。

また、一方、無解答（無記入）率や目標語以外の同音語に対する想起率などが、目標語想起率の上昇に伴って、 $A \rightarrow B \rightarrow C$ の過程で、どのように変化しているかを調べることも、目標語を思いついて行く際に、それと同音の語が、ど

表32

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
大学	23.3	501	2147	57.9	728	1257	73.0	834	1142
高校	24.6	429	1745	47.9	517	1078	55.4	548	989
有意差	* *			* *			* *		

表33



の程度障害になったかを明らかにするために重要なことがらであろう。

3.5 テスト結果の分析(Ⅱ)——同音語の判別と種々の要因との関係

「テスト結果の分析(Ⅱ)」では、乙系統のテスト結果を、大学・高校別、男・女別に整理して、年令・教養・性別の違いが、同音語の判別、あるいは混同にどんな関係をもつか、について調べた。

3.5.1 同音語の判別には年令・教養の違いが、どのように影響するか。

乙系統のテストにおける、大学生のテスト結果と高校生のテスト結果とを比較・検討してみることによって、一般に年令や教養の違いが、同音語の判別過程に、どんな影響をもっているかについて見通しをたてる目的で、以下のような分析を試みた。

まず、乙系統のテスト全体について、大学生と高校生の「目標語想起率」を示すと、表32・表33のようになる。

表33のグラフから、A種問題においては、大学生・高校生の差は、あまりないが、B種・C種の問題では、大きな差が現われ、いずれも、大学生の方が、高校生よりも、目標語想起率が高い。したがって、大学生の方が高校生よりも、同音語を判別する能力が、一般に高いと推定される(いずれも1%の危険率で有意差あり)。

さらに、大学生のテスト結果では、B種問題の目標語想起率が、すでに、高校生がC種問題においてようやく到達した目標語想起率を上回っている。したがって、大学生においては、B種問題に設定されている判別条件だけで、高校生が文脈をも手がかりとした結果よりも高い判別結果を示しているわけである。このことから、大学生では、高校生に比べてB種問題の判別条件のきき方が、きわめて有効で、判別が確実に進められていると推定される。

つぎに、B種問題に、あらかじめ設定しておいた判別条件(3.4.2参照)別に、高校生と大学生の目標語想起率を整理すると、つぎの表34、表35、表36のよう

表34 語の結合

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
大学	24.8	175	707	54.4	225	414	66.3	230	347
高校	23.2	131	565	42.2	152	360	47.8	144	301

表35 「品詞性」

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
大学	24.1	163	675	62.3	232	372	79.6	270	339
高校	29.8	171	574	58.4	185	317	70.4	207	294

表36 「慣用的用法」

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
大学	22.2	131	591	56.4	202	358	71.7	246	343
高校	21.7	105	483	48.8	148	303	53.2	157	295

表37

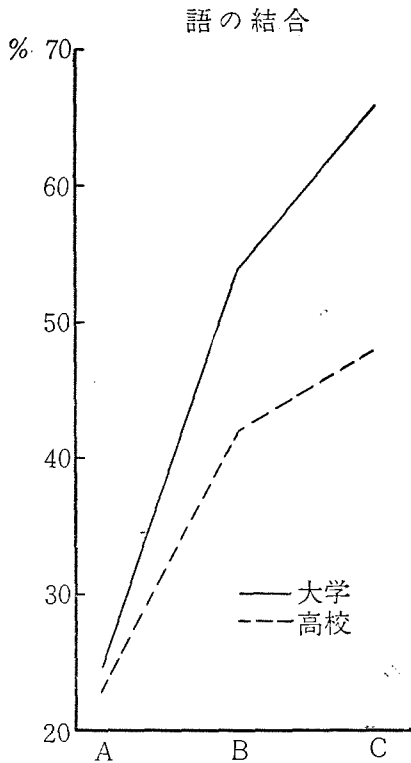
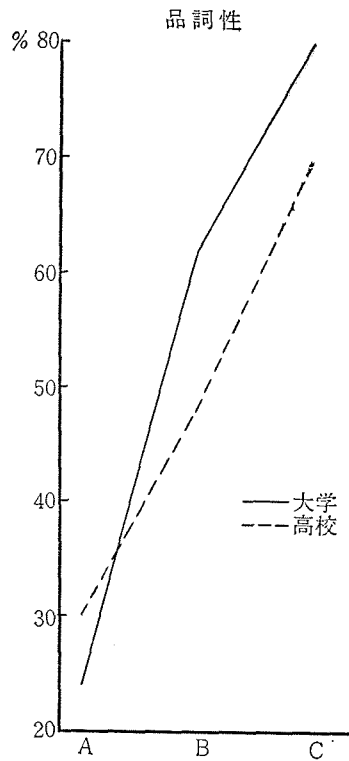


表38



になる。

まず、表 37、表 38、表 39 で判別条件別に、A 種問題から、B 種問題にかけての目標語想起率の進みぐあいを、大学生と高校生のテスト結果で比較すると、いずれの条件の場合も、大学生の想起率の上昇度のほうが、高校生の上昇度よりも著しい。したがって、B 種問題の判別条件は、いずれも、高校生よりも、大学生に対して、有効に作用したのではないかと推定される。また、三つの条件の中では、「語の結合」の場合に、大学生の上昇度と高校生の上昇度の違いが、もっとも著しく、ついで、「慣用的用法」「品詞性」の順になっている。このことから、「語の結合」が、高校生よりも、大学生に対して、有効に作用し、「慣用的用法」が、これにつき、「品詞性」が、いちばん、差の少ない

表40

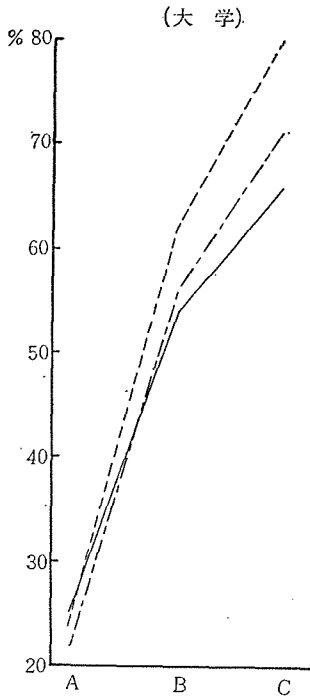
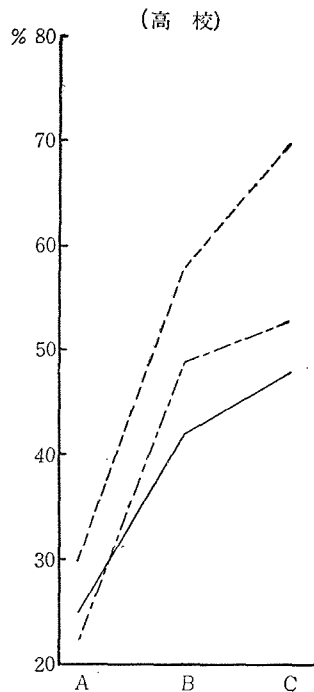


表41



—— 語の結合
 ---- 品詞性
 - · - 慣用的用法

条件ではないかと推定される。

表40に示した大学生のテスト結果では、いずれの判別条件でも、A→Bの過程における目標語想起率の上昇のしかたは、ほとんど変わらない。しかし、表41の高校生のグラフでは、「語の結合」の場合の上昇度が、他の条件の場合に比べて、やや鈍い。したがって、大学生に対しては、どの判別条件も、ほぼ一様に作用したが、高校生に対しては、「語の結合」という判別条件は、他の条件ほど有効に作用しないのではないかと推定される。

つぎに各語別に、大学生と高校生の目標語想起率を示すと、表42のようになる。

この表42によって、大学生と高校生の判別の進みぐあいを、各語別に比べてみると、3種類の型に分けられる。

① 大学生の想起率と高校生の想起率との間に、著しい違いがあるもの（有意差あり）
——「1. 施政」「4. 棄権」「8. 感傷」「10. 攻守」

② 想起率の違いが、はっきり現われなかったもの（有意差なし）

i) A→B→Cの過程における想起率の変化のしかたが著しく異なるもの——「2. 議院」「6. 対照」「7. 恒例」「9. 関心」

ii) 変化のしかたも、ほとんど同一のもの——「3. 化学」「5. 指定」

以上の分析の結果から、つぎのようなことが推定される。

○ 一般に、大学生の方が、高校生よりも同音語判別能力が高い。

表39

慣用的用法

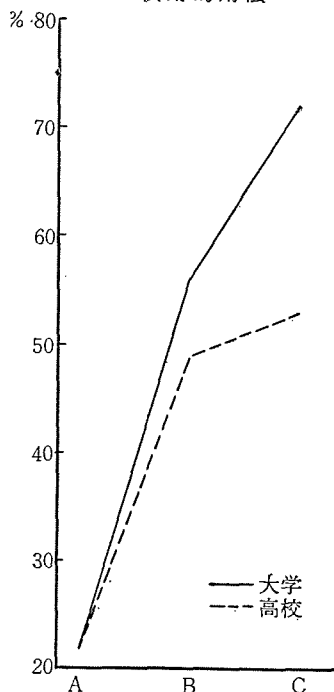


表42 乙系統大学・高校別目標語想起率表

	A						B						C					
	高校			大学			高校			大学			高校			大学		
	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数
1 施政	2.6	5	195	6.0	16	265	19.6	21	107	51.1	66	129	23.2	23	99	68.4	78	114
2 議院	23.9	39	163	26.9	52	193	35.0	42	120	37.8	51	135	35.0	35	100	47.0	55	117
3 化学	42.0	87	207	43.0	107	249	66.9	89	133	72.5	108	150	84.3	86	102	83.6	97	116
4 棄権	35.6	58	163	34.8	65	187	50.5	50	99	78.1	89	114	62.2	61	98	85.1	97	114
5 指定	38.5	65	169	29.3	56	191	85.0	85	100	81.7	94	115	99.0	97	98	98.2	110	112
6 対照	19.8	48	242	14.1	42	297	42.4	50	118	34.3	49	143	50.0	49	98	55.8	63	113
7 恒例	27.6	35	127	19.4	34	175	54.5	54	99	52.9	63	119	53.1	52	98	62.9	73	116
8 感傷	13.6	24	176	18.5	41	222	35.9	37	103	59.8	73	122	48.5	48	99	83.2	94	113
9 関心	25.6	46	180	28.9	56	194	56.4	57	101	56.4	66	117	58.2	57	98	69.2	79	114
10 攻守	17.9	22	123	18.4	32	174	32.7	32	98	61.1	69	113	40.4	40	99	77.9	88	113

- ただし、高校生にとって、なじみの深い目標語の場合は、大学生・高校生の同音語判別能力に差がない。
- 大学生の場合には、高校生に比べてB種問題に設定した判別条件のきき方が著しい。
- C種問題に与えたような文脈も、大学生のテストの結果の方が、やや有効に作用する。

3.5.2 同音語の判別には、男女の違いが、認められるか、どうか。

表43

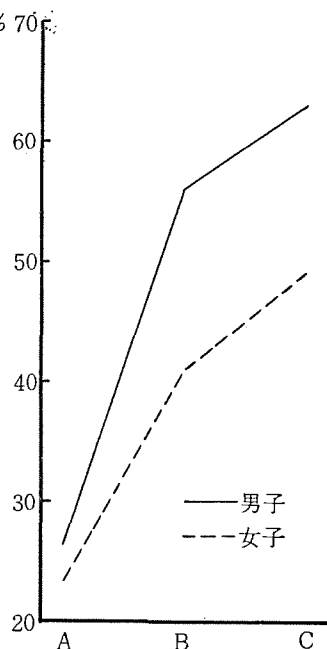
	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
男子	26.1	220	842	56.2	276	491	63.3	288	455
女子	23.1	209	903	41.1	241	587	48.7	260	534
有意差	ナシ			* *			* *		

乙系統のテストにおける、高校生のテスト結果を、男・女別に整理して、比較・検討することによって、一般に、男・女の違いが、同音語の判別過程に、どんな影響をもつかについて見通しをたてることを試みた。

まず、乙系統のテスト全体について、男子と女子の「目標語想起率」を調べると、表43のようになる。

表44のグラフからわかるように、A種問題においては、男女差がほとんどない（有意差なし）が、B種・C種の問題では、大きな差が現われ、いずれも男子の方が、女子よりも、目標語想起率が高い（有意差あり）。したがって、男子の方が、女子よりも、同音語を判別する能力が高いと推定さ

表44



れる。

また、男子のテスト結果では、B種問題の目標語想起率が、すでに、女子がC種問題においてようやく到達した目標語想起率を上回っている。すなわち、男子は、B種問題に設定されている判別条件だけで、女子が文脈をも手がかりとした判別結果よりも高い結果を示したわけである。したがって、男子では、女子に比べて、B種問題に設定された判別条件のきき方が、きわめて有効であると推定される。

つぎに、B種問題に、あらかじめ与えておいた判別条件別（3.4.2参照）に、男子と女子の目標語想起率を整理すると、表45、表46、表47のようになる。

表45 「語の結合」

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
男子	25.6	69	269	52.4	86	164	55.7	78	140
女子	20.9	62	296	33.7	66	196	41.0	66	161

表46 「品詞性」

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
男子	29.3	81	276	60.6	86	142	75.6	102	135
女子	30.2	90	298	56.5	99	175	66.0	105	159

表47 「慣用的用法」

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
男子	21.4	50	234	53.6	75	140	56.3	76	135
女子	22.1	55	249	44.8	73	163	50.6	81	160

まず表48、表49、表50のグラフによって判別条件別に、A種問題から、B種問題へかけての目標語想起率の進みぐあいを、男子と女子のテスト結果と比較すると、いずれの条件の場合も、男子の想起率の上昇度のほうが、女子の上昇

表48

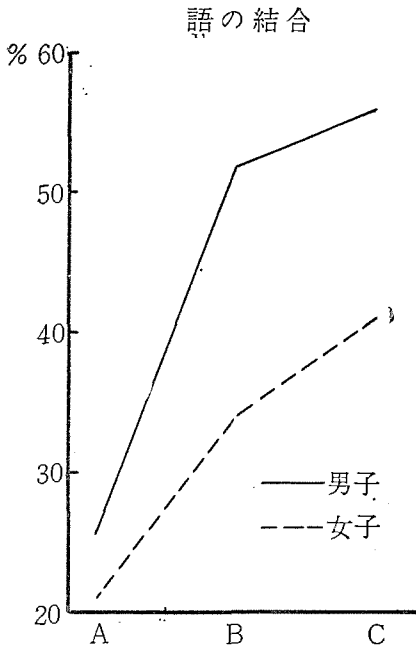
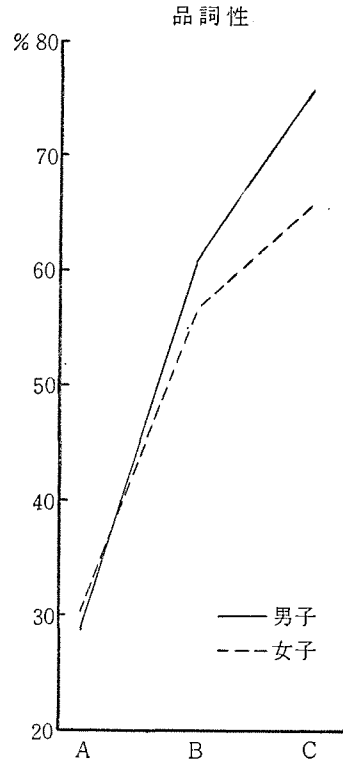


表49



度よりも著しい。したがって、B種問題の判別条件は、いずれも、女子よりも、男子に対して、有効に作用したのではないかと推定される。

また、3種の条件のなかでは、「語の結合」の場合に、男子の上昇度と女子の上昇度との違いが、もっとも著しく、ついで「慣用的用法」、「品詞性」の順になっている。このことから、「語の結合」が、女子よりも、男子に対して、有効に作用し、「慣用的用法」が、これにつぎ、「品詞性」が、いちばん、差の少ない条件ではないかと推定される。

表51に示した男子のテスト結果では、いずれの判別条件でも、A→Bの過程における目標語想起率の上昇のしかたは、ほとんど変わらない。女子（表52）では、「語の結合」の場合の上昇度が、他の条件の場合に比べて、やや鈍い。

表51

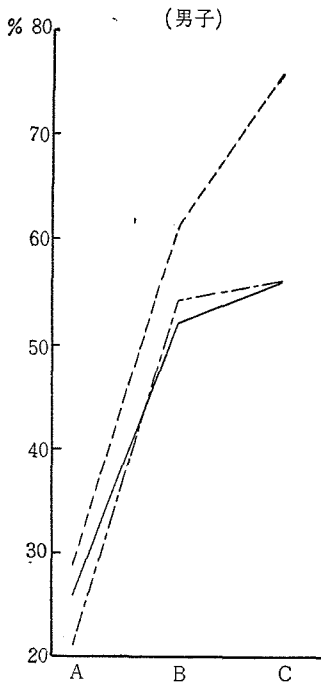


表52

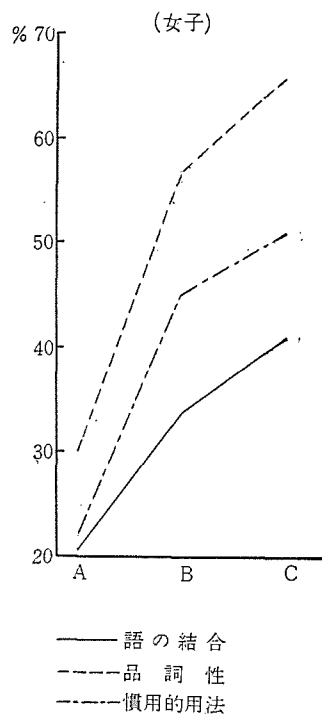


表53 乙系統男女別目標語想起率表

		A						B						C					
		男			女			男			女			男			女		
		想起率	度数	総数	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数	想起率	度数	総数
1	施政	5.2	5	96	0	0	99	36.2	17	47	6.7	4	60	34.7	17	49	12.0	6	50
2	議院	28.6	22	77	19.8	17	86	43.9	25	57	27.0	67	63	42.2	19	45	29.1	16	55
3	化学	43.7	42	96	40.5	45	111	73.3	44	60	61.6	45	73	91.3	42	46	78.6	44	56
4	乗権	40.2	33	82	30.9	25	81	64.4	29	45	38.9	21	54	73.3	33	45	52.9	28	53
5	指定	34.7	26	75	41.5	39	94	80.0	36	45	89.1	49	55	100.0	45	45	98.1	52	53
6	対照	18.5	22	119	21.1	26	123	40.4	21	52	43.9	29	66	53.3	24	45	47.2	25	53
7	恒例	30.6	19	62	24.6	16	65	71.1	32	45	40.7	22	54	68.9	31	45	39.6	21	53
8	感傷	8.5	7	82	18.1	17	94	29.2	14	48	41.8	23	55	37.8	17	45	57.4	31	54
9	関心	26.7	24	90	24.4	22	90	61.7	29	47	51.8	28	54	62.2	28	45	54.7	29	53
10	攻守	31.7	20	63	3.3	2	60	64.4	29	45	5.7	3	53	71.0	32	45	14.8	8	54

したがって、男子に対しては、どの判別条件も、ほぼ一様に作用したが、女子に対しては、「語の結合」という条件は、他の判別条件ほど有効に作用しないのではないかと推定される。

つぎに、各語別に男子と女子の目標語想起率を示すと、表53のようになる。この表から、つぎのようなことがわかる。

「8. 感傷」だけは例外的に女子の想起率が高い。男女差は「施政」「棄権」「恒例」「攻守」で著しい。各語別に見ると、女子は男子よりもC種問題の文脈にたよる傾向が強い。

以上の分析の結果、つぎのようなことが、推定される。

- 一般に、男子の同音語判別能力のほうが、女子の判別能力よりもすぐれている。
- 男子の方が、女子よりも、判別条件に従って確実に判別を進める。
- 一般に、女子は、男子よりも、文脈に依存する傾向が強い。

3.6 テスト結果の分析(Ⅲ)——特殊なことばを含む同音語セット

甲系統のテストで出題した「10. フジン(布陣)」と、乙系統で出題した「10. コウシュ(攻守)」は、ともに、スポーツ関係の特殊なことばの1例として、出題したものである。このように、特定の使用分野に属する、専門的なことばを含む同音語セットでは、他の一般の同音語セットを判別して行く場合と、どのような点が異なり、どんな問題を含んでいるかを推定して行くことにする。

まず、甲系統のテストについて、「10. フジン(布陣)」の目標語想起率と、それ以外の9題(問題1から9まで)のことばの想起率を比較すると、つぎの表54のようになる。

表50

慣用的用法

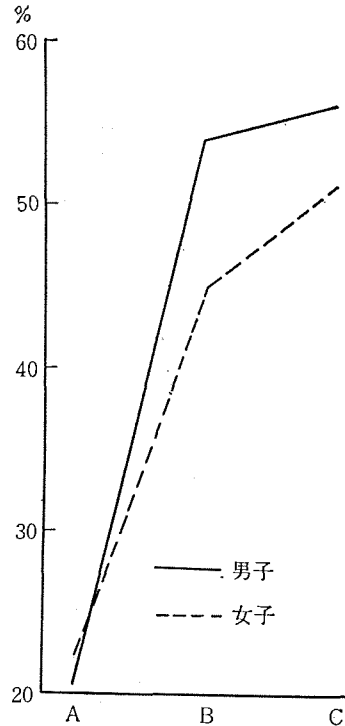


表54

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
⑩ 布陣	9.6	24	249	22.2	33	149	53.5	75	140
甲系統①～⑨	37.9	723	1907	59.1	840	1423	66.3	872	1316
有意差	* *			* *			* *		

表55のグラフから、わかるように、「10. フジン（布陣）」の目標語想起率と、他の9題のことばの想起率との間には、A種問題においても、B種・C種問題においても、著しい差が認められる（有意差あり）。したがって、「布陣」よりも、他の9題の場合の目標語の方が、被験者になじみが深く、判別も容易だったということが、まず推定される。

その上、A種からB種へ、さらにC種問題への過程での想起率の変化のしかたも、「10. フジン（布陣）」は、他の9題のことばと、大きく異なっている。他の9題のことばの場合には、A→Bの過程で、目標語想起率が、大きく上昇し、B→Cの過程では、ゆるやかに上昇している。したがって、この場合には、B種問題に設定されていた判別条件が、きわめて有効に働き、C種問題に与えられている文脈が加わることによって、さらに判別が容易になったものと推定される。

これに対して、「10. フジン（布陣）」の場合には、A→Bの過程では、目標語想起率が、あまり上昇せず、B→Cの過

表55

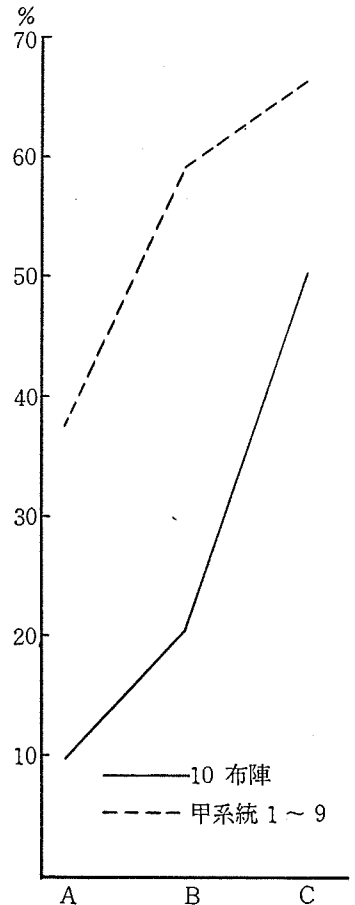


表56

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
⑩ 攻守	18.2	54	297	47.9	101	211	60.4	128	212
乙系統①～⑨	24.4	876	3595	53.9	1144	2124	65.3	1254	1919
有意差	ナシ			ナシ			ナシ		

程にいたって、はじめて、大きく上昇する。このことは、他の9題のことばの場合とは逆に、B種問題の判別条件（語の結合）は、あまり有効な手がかりにならず、かえって、C種問題の文脈に大きく依存して、判別が進められたことを示している。

表57

以上の結果から、「10. フジン（布陣）」の場合は、他の9題のことばの場合に比べて、目標語に対する被験者のなじみが薄く、その用法についての理解も不十分なために、確実な判別を進められなかったのではないかと推定される。

つぎに、乙系統の「10. コウシュ（攻守）」について、分析を試みることにする。

はじめに、「10. コウシュ（攻守）」と、それ以外の9題（問題1から9まで）のことばとの目標語想起率を比較してみると、表56のようになる。

表57のグラフからわかるように、「10. コウシュ（攻守）」の目標語想起率と、他の9題の想起率との間には、A種・B種・C種のいずれの問題においても、差異が認められない（有意差なし）。また、想起率の変化のしかたも全く同一である。したがって、被験者全体については、目標語に対す

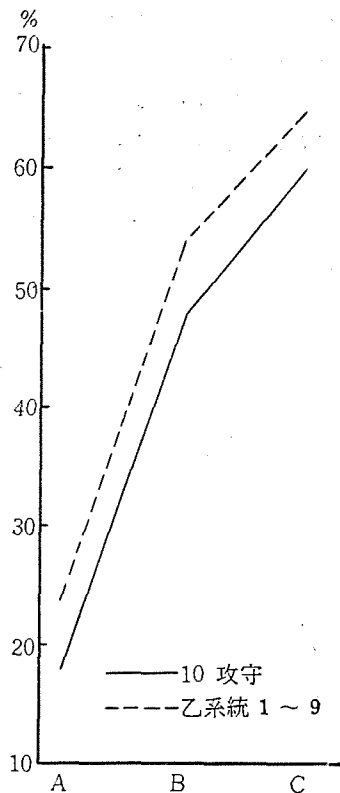


表58

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
⑩ 攻守	18.4	32	174	61.1	69	113	77.9	88	113
乙①～⑨	23.9	469	1963	57.6	659	1144	66.1	746	1129
有意差	ナシ			ナシ			* *		

るなじみの程度も、判別の過程も、両者、ほとんど変わりがなかったものと推定される。

そこで、これを、被験者の層別に分けて分析すると、つぎようになる。

大学生

大学生について、前と同じように、「10. コウシュ（攻守）」の目標語想起率と、他の9題のことばの場合の想起率とを比べてみると、表58、表59ようになる。

この結果、大学生では、A種問題・B種問題における、両者の想起率には、ほとんど差がない（有意差なし）。また、想起率の変化のしかたも、両者、ほとんど同一である。しかし、C種問題における目標語想起率は、「攻守」が、他の9題のことばの場合を上回っている（有意差あり）。したがって、大学生にとっては、「攻守」という目標語は、他の9題の場合の目標語よりも、なじみが深く、判別も、文脈まで手がかりにすれば、むしろ容易であると推定される。

高校生（全体）

表59

大 学

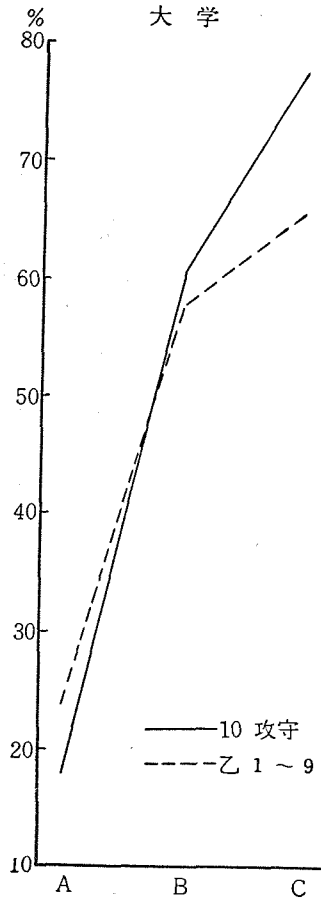


表60

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
⑩ 攻守	17.9	22	123	32.7	32	98	40.4	40	99
乙 ①～⑨	25.1	407	1622	48.5	475	980	57.1	508	890
有意差	ナシ			* *			* *		

表60, 表61の高校生(全体)の場合は、A種問題においては、両者の想起率に有意差が認められないが、B種・C種の問題においては、有意差が認められる。いずれも「10. コウシュ(攻守)」の場合の目標語想起率が低く、他の9題のことばの場合の想起率を、かなり下回っている。このことから、高校生にとっては、「攻守」ということばは、あまりなじみのないことばで、他の9題のことばの場合よりも、判別が困難だったと推定される。

高校生の男女について、同じように比較してみると、つぎのようになる。

男子(高校生)

表62, 表63の男子高校生については、A種問題・B種問題・C種問題とも、すべて両者の想起率に有意差は認められ

表61

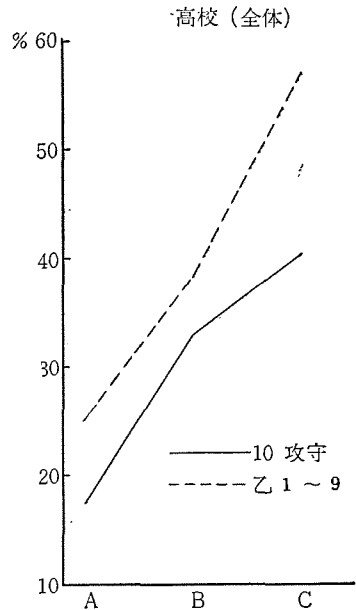
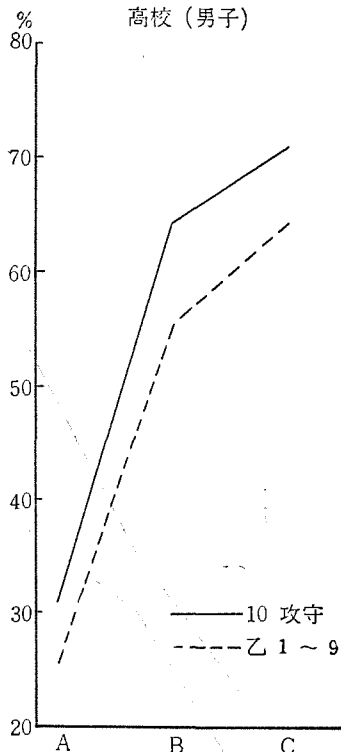


表62

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
⑩ 攻守	31.7	20	63	64.4	29	45	71.0	32	45
乙 ①～⑨	25.7	200	779	55.4	247	446	62.4	256	410
有意差	ナシ			ナシ			ナシ		

表63

高校 (男子)



も、判別の難易度も、ほとんど変わりがなかったものと推定される。

女子 (高校生)

表65の女子高校生のグラフは、この項

ず、そのうえ、想起率の変化のしかたも、まったく同一である。したがって男子高校生の場合には、「10. コウシュ (攻守)」と「その他の9題のことば」との間には、目標語に対するなじみの程度

表65

高校 (女子)

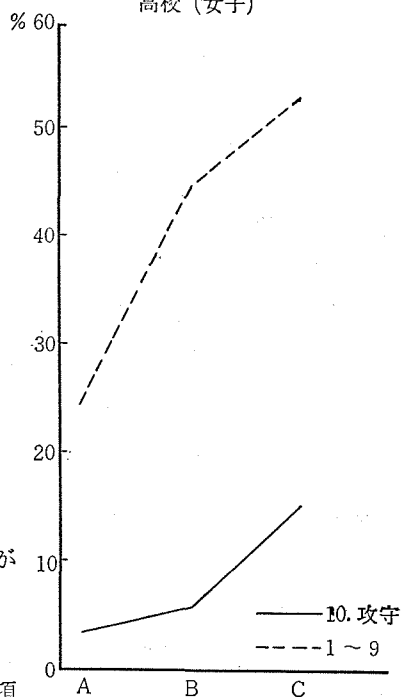


表64

	A			B			C		
	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数	想起率	目標語 度数	総解答数
⑩ 攻守	3.3	2	60	5.7	3	53	14.8	8	54
乙 ①~⑨	24.6	207	843	44.6	238	534	52.5	252	480
有意差	**			**			**		

3.6の最初に採り上げた甲系統の「10. フジン (布陣)」のグラフ (表55) とよく似ている。表65で「10. コウシュ (攻守)」の想起率と他の9題の想起率とを比べると、A種・B種・C種の全問題において、著しい差違が認められ、そのうえ、変化のしかたも、両者は、まったく異っている。

まず、「10. コウシュ (攻守)」のC種問題における想起率が、他の9題の想起率よりも著しく低いところからみて、女子高校生にとっては、「攻守」ということばに対するなじみが、他の9題のことばに対するなじみよりも、ずっと薄いと思われる。

また、判別過程を比べると、A→Bの過程においては、他の9題の上昇度に比べて、「10. コウシュ (攻守)」の想起率の伸びは、きわめてゆるやかである。B→Cの過程においては、両者の想起率の上昇のしかたは、あまり変わらない。このことから、他の9題の場合には、B種問題の判別条件が手がかりとなって判別が進められているのに対し、「10. コウシュ (攻守)」の判別においては、B種問題の判別条件 (慣用的用法) は、ほとんど手がかりにならず、C種問題に与えられている文脈だけに依存して判別が進められたものと認められる。

したがって、「10. コウシュ (攻守)」においては、目標語に対するなじみの程度も、その用法についての理解の程度も、他の9題のことばの場合よりは、はるかに劣っている。そのため、女子高校生にとって、「10. コウシュ (攻守)」は、他の9題のことばに比べて、きわめて判別の困難な同音語セットであったと推定される。

3.5.1の表42、および3.5.2の表53でわかるように、「10. コウシュ (攻守)」は、年令差 (教養差)・男女差が、きわめて、はっきりと現われたことばの一つであり、このことばの場合の判別能力は、大学生の方が、高校生よりもすぐれ、また、男子高校生の方が、女子高校生よりも、すぐれている。

これらのことから、「10. コウシュ (攻守)」についての判別能力が比較的高いグループ (大学生・男子高校生) においては、「他の9題のことば」の場合と同様または、それ以上に判別が進められるが、「10. コウシュ (攻守)」についての判別能力が低いグループ (高校 (全体)・女子高校生) では、「他の9題のことば」の場

合」の判別とは、著しい違いが見られると言うことができる。

これまで、特殊なことばを含む同音語セットの判別過程について、種々の面から分析を試みたが、その結果、つぎのようなことが推定される。

- 一般に、特殊なことばを同音語セットの中から判別することは、普通のことばの場合に比べて、きわめてむずかしい。
- 特殊なことばの判別においては、判別条件は、普通のことばの場合ほど有効に作用しないで、むしろ、文脈のほうが有効に作用する傾向がある。
- 特殊なことばについての判別能力の高い人々は、普通のことばとほぼ同じように判別を進めることができ、判別条件や文脈も普通のことばの場合とほぼ同程度に作用する。
- 特殊なことばについての判別能力の低い人では、判別の進み方が普通のことばよりも、著しく劣り、判別条件は、ほとんど手がかりにならない。文脈のほうが、むしろ手がかりになる。
- 特殊なことばについての判別能力には、年令差・教養差・男女差などが著しく現われるところからみて、個人差が激しいのではないかと考えられる。

3.7 まとめ

きわめて小規模な調査ではあったが、「同音語判別テスト」によって、いろいろなことがわかった。そこで、このテストによってわかったことがら、および、このテストでは、まだ解明できなかったことがらなどのうち、おもなものを、ここにまとめておく。まとめかたは、3.1に「テストの目的」として掲げた七つの項目に従って進めていく。

① 同音語の判別過程について

- a. 判別条件や文脈が加わることによって、同音語の判別は、どのように進んでいくか。

判別条件が加わるだけでも、かなり有力な手がかりになって同音語の判別は著しく進展するが、それに文脈も加わると、さらに判別が容易になる。

(しかし、どんな文脈が有効かは、このテストでは調べていない。)

- b. 同音語の判別のためには、どんな判別条件が有効に働くか。

語の結合形式・品詞性・慣用的用法などの判別条件は、いずれも、きわめて有効な、判別の手がかりになる（しかし、これらの判別条件の中では、どの判別条件がもっとも有効かは解明できなかった）。

- c. 同音語の判別過程は、一語一語で、どのように違っているか。

なじみのあることばの場合には、判別条件や文脈が手がかりになって確実に判別が進められるが、なじみの薄いことばの場合には、あまり手がかりにならない。またセットになる同音語が限られている場合やなじみの薄いことばがセットになる場合なども、判別条件や文脈は有効に働かない。

㊤ 同音語の判別に関係のありそうな諸要因について

- a. 同音語の判別には、年齢教養の違いが、どのように影響するか。

判別の進みぐあいからみても、判別条件・文脈などのきき方からみても、高い年令層（大学生）の方が、判別能力が高い。しかし、低い年令層（高校生）においても、なじみの深いことばの場合には、高い年令層と同程度の判別能力を示す（教養の質的な相違との関係は調べなかった）。

- b. 同音語の判別には、男女の違いが認められるかどうか。

判別の進みぐあいからみても、判別条件のきき方からみても、男性のほうが、判別能力が高い。しかし、女性になじみ深いことばの場合には、男性よりも高い判別能力を示すことがある。女性は、同音語の判別において、文脈にたよる傾向が強い。

㊦ 特殊な、専門的なことばを含む同音語セットでは、どんな問題があるか。

普通のことばに比べて、判別がきわめてむずかしく、判別条件もあまり手がかりにならない。むしろ、文脈のほうが有効に働く傾向がみられる。特殊なことばの判別では、個人差が著しく現われる。

む す び

われわれの研究は、ここで一段落した。

最後に、この調査の結果に基づいたならば、同音語のまぎれやすさをどの程度防ぐことができるかを考えてみよう。

(1) 語結合・品詞性・慣用的用法等の判別条件と文脈や位相が、二重に働く文を作れば、理解しやすい。これは当然のことであるが、そのためにはある程度の長さの文が必要となる。逆に文脈や位相だけを手がかりとする文を作ると、その手がかりに対する読者の経験・知識の有無に左右されるので、誤解をまねく可能性がある。

(2) 語結合・品詞性・慣用的用法等の判別条件を活用する。

(i) たとえば、造語要素を加えたり、複合語にしたりして語形を長くする。

啓培→啓発培養

(ii) 語結合では、その語の構成法の違いを表記のしかたを変えて示す。

しかい(市会)——しか い(歯科 医)

(iii) 専門語がつくる同音語は、一定の職業分野で使われている間はあまり問題にならないが、一般語化したときは、適当な手がかりを文脈に与える必要がある。

(iv) 略称はつとめて避けるか、または、他の配慮を要する。

日航→日航機または日航KK

(v) 固有名詞は、原則的には注記を必要とする。

このようなことが考えられるが、いずれも一長一短がある。すなわち、(1)では長い文を必要とし、(2)(i)では、結合した語や造語要素が他の同音語をもっていないことが必要条件となる。さもないと、造語力の強い語や造語要素が、次々に新しい同音複合語を生み出す可能性がある。(2)(ii)はすでに火災保険関係で利用しているが、簡潔な事務書類では、その効力があっても、一般文章の中にはいると、助詞などとの混乱をひき起こす場合があるから、前提として句とう法やわからし書きが十分に工夫されていなければならない。前述のように、

同音語の問題は、読者の年令・知識・経験に依存することがかなり大きな部分を占めるから、上のような方法では、問題の一部の解決が期待されるだけである。これに対し、われわれが推定した（Ⅱ. 3. 5）最もまぎれやすい類の同音語（A 1, A 2）は、その語自身には何らの判別のための手がかりをもっていない。この類には適切な文脈の手がかりを与えたり注記をしたりするとか、その中のあるものには言いかえを準備するとかの必要があるようである。しかし、その場合、安易な便法によって言いかえ語を作ると、それがまた新たな混乱を起こす可能性も考えられる。言いかえ語は、その語と類義関係にある、いくつかの語との関係を慎重に見きわめた上で決めるべきではないだろうか。

反省してみると、まだ考え足りない点や、もっと立ち入って調査しなければならない点が目につく。たとえば、社会一般を対象とする文においては、どの程度のやさしさの文脈を与えたら、同音語の理解を導くことができるかということも、その一つである。また、文脈の中で手がかりになる語が当面の同音語より前にある方が、後にある場合よりも有効度が高いのではないかということも、常識的に考えられるが、今回のテストでは、この点を確かめることができなかった。また、連語と単一語との間の同音語のように、資料の関係で、はじめから手をつけなかった問題も残っている。しかし、この小規模の調査の範囲でも、同音語にはどのような問題があるかということは、ほぼ明らかにし得たのではないかと思うのである。

同 音 語 集

使用上の注意

- 1 この「同音語集」は、今回の調査資料の中から、現代の用語と認められるものを選んで収録した（ただし、略語は広く行なわれているもの以外は載せなかった）。
- 2 資料とした文献は、3 ページ参照。
- 3 見出し語は、表音式を採ったが、「エイ」「ケイ」「セイ」「テイ」「ネイ」「ヘイ」「メイ」「レイ」は、長音（「エー」等）の表記を採らない。
- 4 配列は、次の原則による。
 - (i) まぎれやすいと思われる同音語の組を先にする。
 - (ii) まぎれる可能性がないと思われる語については、
 - (a) アクセントの違いで分ける。（アクセント文献に、その語が採録されていない場合は、適宜推定した。）
 - (b) アクセントを同じくする語の中では、名詞・動詞・形容動詞（形容詞）・副詞の順にする。
 - (c) 学術用語は、(i) に属するものを除き、原則として最後に置く。
- 5 略号は、次のとおり。
 - (i) 学術用語集から収録したもの
動……動物学 植……植物学 数……数学 理……物理学・化学
鉱……採鉱や金学 建……建築学 図……図書館学
工……機械工学・船舶工学・電気工学・土木工学
 - (ii) その他の位相
法 法律 経 経済 農 農業 生 生理 音 音楽
美 美学・美術史 言 言語 文 文学 史 史学 心 心理
哲 哲学 医 医学 宗 宗教 仏 仏教 天 天文・気象
地 地質 軍 軍事 料 料理 裁 裁縫 運 スポーツ一般ただし、(i)(ii) のような専門的な分野に属する語でも、その語が、一般語と一致する場合、または一般社会にも用いられるようになっていると思われる場合には注記しない。
- 6 記号は、次のとおり。

()	(a)類義語 (b)その語の用字法に関する注意
[]	誤用であるが、一般的に使われているもの
< >	(a)その語の使用分野 (b)難解な専門語または外来語についてはその語の原語 (c)その語に関する注釈、または使用例
×	当用漢字外の字
⊗	当用漢字音訓にはずれる読み方
△	あて字

なお、送りがなは、「送りがなのつけ方」（昭和 34.7.11 内閣告示第 1 号）の通則に従い、その少ない送り方のほうを採った。

<ア>

ア 亜<南> *阿<南>

アア ああ<~いう人> *嗚呼

*啞々

アイ 愛 *藍 *間(合い) [*鮎]

アイ<eye><工>

アイエン 合縁 愛縁 哀婉

アイカタ 合方 相方

アイガン 哀願 愛玩

アイキュー 愛嬌 愛郷

アイコ あいこ<同じ> 愛願<~をこうむる>

アイコー 愛好 愛校

アイコク 愛国 哀哭

アイシ 哀史 哀詩

アイジャク 愛着 愛惜

アイシュ 愛執 哀愁

アイショ 愛唱 愛誦 哀傷 愛称

合い性 愛姿

アイジョ 愛情 愛嬢

アイジルシ 合い印 合い標

アイズチ 相槌 間土<農>

アイセキ 愛惜<~措く能わざる> 哀惜

アイソ 〔愛想〕<~を言う> 哀訴

アイゾ 愛蔵 愛憎

アイタ 明いた(開いた・空いた)

アイタイ 相對 *蹊蹊

アイチヨ 愛寵 愛重 哀調<~を帯びた>

アイビキ *逢引 合挽き

アイベツ 哀別 愛別

アイボ 愛慕 哀慕

アイレン 哀憐 愛憐 愛恋

アウ 合う 会う(*逢う・*遇う・*遭う)

アオイ *葵 青*菫 青い

アオグ 仰ぐ *扇ぐ

アオリ *煽り 障泥

アカ 赤 *銅 *垢 *閑*伽 アカ
<~水路(limber)><工>

アカアカト 明々と 赤々と

アカシ *証 *燈 明石<衣料>

アカジ 赤字 赤地

アカス 明かす 飽かす *証かす

アカミ 赤身 赤味<~材><工>

アガル 上がる(揚がる・*騰がる)

アキ 飽き(*厭き) 秋 明き(*空き)

アキル 飽きる(*厭きる)

アク 灰汁 悪 明く(*空く・*開く)

アクシツ 悪質 悪疾

アクシュ 握手 悪手 悪酒

アクシュ 悪習 悪臭

アクセイ 悪政 悪制 悪声 悪性

アクセン 悪戦 悪銭

アクソー 悪相 悪僧

アクト 悪投 悪党

アクドー 悪童 悪道

アクバ 悪馬 悪罵

アクビ 欠伸 悪日

アクホ 悪法 悪報

アケ 明け(開け) *朱<~に染まる>

アゲ 上げ 揚げ *挙げ

アケル 明ける(空ける・開ける)

アサ 朝 麻

アザ 字 *痣

アサギ 浅黄 浅葱

アシ 足 *葦

アジ 味 *鯔 アジ<アジテート>

アシガタ 足形 足型

アシゲ 足蹴 *葦毛

アシザワリ 足触り 足障り

アズカル 預かる *与かる

アセル *焦る<氣持が~> *熨せる<

色が～> あせる<田の水が～>
 アダ *徒 *炯*娜 *仇
 アダナ *渾名 *徒名
 アタリ *辺り 当り
 アツイ 厚い *篤い 暑い 熱い
 アッカ 悪化 悪貨 悪果
 アッカシ 悪漢 悪感 圧巻 圧感<～接
 着剤><理>
 アッコ 悪口 悪行
 アツサ 厚さ 暑さ
 アッセイ 圧政 圧制
 アテ *宛 当て
 アテコト 当て言 当て事
 アト *後 跡
 アナ アナ<アナウンサー> アナ
 <アナキスト・アナキズム> 穴
 アナタ *貴*方 *彼*方
 アニ 兄 *豈<～はからんや>
 アブラ 油 *脂
 アブラケ 油け *脂け
 アマ ニ *海[△]人 (*海[△]女) [△]阿[△]媽
 アマ<アマチュア> 亜麻<工>
 アマケ 甘け 雨け
 アマリ あまり<～に> 余り
 アミ 網 アミ<ami> *糠*蝦
 アミド 網戸 網戸 アミド<amido>
 <理>
 アミバリ 網針 編針
 アミメ 網目 編目
 アメ *飴 雨 天
 アメンボ *飴ん棒 *水*腥
 アヤマル 誤る *謝る
 アヤメ *菖*蒲 *文*目
 アユ *鮎 *阿*諛
 アライ 荒い *粗い 洗い 洗*臉
 <刺身の一つ>
 アラウマ 荒馬 *新馬

アラキ *粗木 *新木
 アラシオ *粗塩 荒潮
 アラタ 荒田 *新田
 アラタマル 改まる *革まる
 アラメ 荒目(*粗目) 荒*布
 アラモノ 荒物 *新物
 アラワス 表わす 現わす 著わす
 アワ *泡 *粟
 アワイ 淡い *間
 アワス 合わす *酹す<かきの洗をの
 ぞく>
 アワダツ *泡立つ *粟立つ
 アワユキ 淡雪 *泡雪
 アン 案 *庵 *館
 アンカ 行火 安価
 アンキ 暗記 安危 暗鬼 安気
 アンキョ 暗*渠 安居
 アンヨー *鮫*鰈 暗紅<～色>
 アンゴー 暗号 暗合
 アンザン 安産 暗算
 アンツツ 暗室 *庵室
 アンジュ 安住 *庵住
 アンショ 暗唱 暗礁
 アンシル 案じる *按じる
 アンゼン 安全 *晏然 *黯然
 アンゼンホショー 安全保障 安全保証
 アンテン 暗転 暗点
 アンニ 暗に 案に
 アンバイ *按排 *塩梅
 アンブン 案文 案分<～比例>
 <イ>
 イ 意 異 威 胃 医 *亥 衣
 *閏 易 銕<～バリ><工>
 イアイ 射合い 居合い 遺愛
 イイ *良い 易々 *唯々 *謂い
 イイン 医院 医員 委員
 イエル *癒える 言える

イエン 以遠 胃炎
 イオー 以往 °硫黄
 イオン 異音 イオン<ion><理>
 イカ 医科 医家 易化 異化 以下
 △烏△賊
 イガ *毬 衣*蛾
 イカイ 医界 医会 位階 遺戒
 イガイ 意外 以外 遺*骸 *胎貝
 イガク 医学 異学
 イカケ 鉆掛け *沃*懸
 イカリ *錨 怒り
 イカン 移管 移換 移監 位官 位冠
 尉官 医官 衣冠 偉観 異観
 °如°何 遺憾
 イガン 依願 胃*癌
 イキ °粹 意気 遺棄 行き 生き
 域 *闊 息 位記
 イギ 意義 異議 異義 威儀
 イキガイ 生き*甲*斐 域外
 イキカタ 生き方 行き方
 イキズマル 息詰まる 行き詰まる
 イキョー 異教 遺教 異境 異郷 胃鏡
 位況<~曲線><工>
 イギョー 偉業 遺業 医業 異形
 イキョク 委曲 異曲<~同工> 医局
 異極<~結合><理>
 イクジ 育児 意*氣地<~なし>
 イクヨ 幾世(幾代) 幾夜
 イクン 偉勲 遺訓
 イケイ 異形 *畏敬
 イケル °活ける °埋ける 行ける 生
 ける
 イケン 意見 異見 違憲 遺賢
 イゲン 違言 遺言 威厳
 イゴ 以後 囲碁
 イコー 意向 遺稿 遺功 偉功 威光
 偉効 移行 移項 以降 衣*桁

異香 °憩う
 イコク 異国 °伊国
 イコム 射込む 鎚込む
 イサイ 異彩 偉才 異才 委細
 イザイ 偉材 異材 遺財
 イサン 遺産 遺算 胃酸 胃散
 イシ 意志(意思) 遺志(遺旨) 異
 志 *縊死 遺*屍 遺*址 医師
 遺子 *隕使 石
 イジ 異字 意字 異事 医事 遺事
 異時 遺児 維持 意地
 イシキ 意識 違式 居敷き
 イシツ 異質 遺失
 イシヤ 医者 慰謝<~料>
 イシュ 異種 意趣
 イシュー 異臭 *蜎集
 イジュー 移住 異重<~元素><理>
 イシュク *萎縮 *畏縮
 イショ 遺書 医書 異書
 イショー 意*匠 衣装 異称 囲障<~
 設置櫃><法> 移床<~ストー
 カー><工・理>
 イジョー 異常 異状 移譲 委譲 移乘
 以上 囲*繞
 イショク 依嘱 委嘱<法> 遺嘱 衣食
 異色 移植
 イシン 維新 遺臣 威信 異心 以心
 <~伝心> 移審<~の効力>
 移心<~装置><工>
 イジン 偉人 異人
 イセイ 異性 異姓 為政 遺制 威勢
 遺精 医聖 以西
 イセキ 遺跡 移籍 偉績 医籍 井
 *堰
 イセツ 異説 移説
 イセン 医専 緯線 胃腺 異線<~侵
 入><工>

イゼン 依然 ×怡然 以前
 イソー 位相 異相 意想<〜外> 遺
 草 移送 移相<〜器><理・
 工>
 イゾー 遺像 遺贈
 イゾク 遺族 異族 遺俗 異俗 依属
 イソン 依存 遺存 異損<農>
 イゾン 依存 異存
 イタイ 遺体 異体 移替 痛い
 イダイ 偉大 医大
 イタク 委託 依託 遺沢 痛く
 イタズラ *徒 △悪△戯
 イタム 痛む *傷む *悼む
 イタメル *炒める 痛める *焼める
 イチ 一 位置 市
 イチイ 一位 *櫟 一意<〜専心>
 一衣<〜帯水>
 イチイン 一員 一院<〜制> 一因
 イチガン 一眼 一丸
 イチギ 一義 一議<〜に及ばず>
 イチゲン 一元 一言 一弦<〜器・〜
 琴><理・音>
 イチゴ 一期 一語 *苺
 イチゴー 一合 一号 一*毫
 イチジ 一次 一時 一事 一字
 イチジュン 一句 一巡
 イチジョ 一女 一叻
 イチジョー 一*帖 一疊 一丈 一条
 一城 一場
 イチダイ 一代 一大<〜事件> 一台
 イチダン 一段 一団
 イチドー 一同 一堂<〜に会する> 一
 道<〜の光明>
 イチナン 一難 一男
 イチニン 一人 一任
 イチネン 一年 一念
 イチブ 一部<〜始終> 一分<〜が立

たぬ>
 イチベツ 一別 一*瞥
 イチマツ 一*抹<〜の不安> 市松<〜
 模様>
 イチメイ 一命 一名
 イチモー 一毛 一網<〜打尽>
 イチモツ 一物 逸物
 イチモン 一文<〜惜しみ> 一間
 <〜一答> 一門
 イチュー 意中 移駐
 イチヨー 一様 一葉<〜跳開橋><工>
 イチョー 移*牒 移調 胃腸 △銀△杏
 異朝 医長 イ調<音>
 イチリ 一理 一利<〜一害> 一里
 イチリツ 一律 一率<各税の〜減免>
 イチリュ 一流 一*旋 一粒
 イチリョー 一両 一領
 イチリン 一輪 一厘
 イテルイ 一壘 一類
 イチレイ 一例 一礼
 イチレン 一連 一*蓮<〜託生>
 イツ △何△時 一
 イツカ 五日 △何△時か
 イッカ 一家 一下 一過 一荷 一価
 一*願 一化 一箇
 イッカイ 一回 一階 一介 一塊
 イッカク 一郭 一画 一角 一*攫<〜
 千金>
 イッカツ 一括 一*喝
 イッカシ 一卷 一貫 一環<〜として>
 一管<〜の笛>
 イッキ 一期 一季 一基 一機 一騎
 <〜当千> 一氣<〜に> 一喜
 <〜一憂> 一*撲<百姓〜>
 逸機
 イッキュー 一級 逸球
 イッキョー 一驚<〜を喫した> 一興

イッキョク 一曲 一局
 イツク 居着く ◎齋く
 イック 一区 一句
 イッケイ 一系 一計<～を案じて>
 イッケツ 一決 一穴 *溢血
 イッケン 一見 一件 一県 一軒 一間
 イッコ 一個 一願<～をも与えず> 一己 一戸
 イッコー 一行 一校 一考<～を促す> 一項 一口 一向
 イッコク 一国 一刻<～者> 一石
 イッサイ 一切 一歳 一菜 逸才 一再<～ならず>
 イッサク 一策 一作 一昨<～七日>
 イッサツ 一冊 一札
 イッサン 一山 一*薺 一散 (逸散)<～に>
 イッシ 一子 一枝 一紙 逸史 逸詩 一指<～も触れない> 一視<～同仁> 一糸<～乱れず> 一死<～報國> 一矢<～を報いる>
 イッシキ 一式 一色
 イッシツ 一室 一失<千慮の～>
 イッシヤ 一社 一*瀉<～千里>
 イッシヤク 一勺 一尺 一*酌
 イッシュ 一種 一首
 イッシュー 一周 一週 一*蹴 一宗
 イッショ 逸書 一書 一所<～不住> 一緒
 イッショー 一勝 逸勝 一生 一省 一称 一笑<～に付す> 一将<～功成て> 一升
 イッショク 一色 一食 一触<～即発>
 イッシン 一身 一審 一進<～一退> 一新 一心
 イッスイ 一睡<～もしない> 一炊<～の夢>

イッセ 一世 一*畝
 イッセイ 一世 一*齊
 イッセキ 一隻 一勺 一タ 一席 一石<～二鳥>
 イッセツ 一説 一節
 イッセン 一銭 一*閃 一線<～を画す> 一戦<～を交える>
 イッソー 一双 逸走 一掃 一層 一*艘
 イッソク 一足 一束 逸足
 イッタイ 一带 一体 一隊
 イッタン 一反 一端 一*旦
 イッチ 一致 一知<～半解>
 イッチュー 一中 一*鑼<～を輪する>
 イッチョー 一丁 一町 一張<～一弛> 一朝
 イッテキ 一滴 一*擲
 イッテン 一点 一天 一転
 イット 一斗 一途 一*兎
 イットー 一党 一統 一等 一頭 一刀 一盞<貧者の～>
 イッパ 一派 一羽
 イッパイ 一敗 一杯
 イッパク 一泊 一白 一拍
 イッパツ 一発 一髪<危機～>
 イッパン 一般 一半 一斑 一*斑<～を推して全豹を知る> 一飯<一宿～>
 イッピン 一品 逸品 一*顰<一笑～>
 イップ 一夫 一婦
 イッブー 一風 一封
 イッブク 一服 一幅 一腹
 イツブン 逸文 逸聞
 イッベン 一片 一編 一辺 一変 一*遍
 イッポー 一法 一報 一方
 イッポン 一本 一*品

イト 意図 糸
 イド 緯度 井戸 異土
 イトー 以東 *厭う
 イドー 異同 移動 (異動)
 イトク 遺徳 威徳
 イトコ [△]従[△]兄[△]弟 ([△]従[△]姉[△]妹)
 イトメ 糸目<～をつけない> 厭*目
 いとめく動物名>
 イナ *鯛 否 異な
 イナダ いなだ<魚名> 稲田
 イニョー 遺尿 困*繞
 イニン 委任 委認
 イヌ 犬 *戌
 イハイ 位*牌 違背
 イハク 医博 威迫
 イハツ 遺髪 衣*鉢
 イバラ *茨 *薔*薇
 イハン 違反 違犯
 イフ 委付<法> 移付 *畏怖 異父
 イブ 威武 イブ<Eve> 慰*撫
 イフー 遺風 異風 威風<～堂々>
 イフク 異腹 遺腹 *畏服 威服 衣服
 イブツ 遺物 異物
 イブン 異聞 遺聞 遺文
 イヘン 異変 移変 遺編
 イボ *疣 異母
 イホー 違法 遺法 異邦 *彙報 遺
 芳 異砲<～塔><工> 異方
 <～性><工・理>
 イボー 威望 異望 遺忘
 イマ 居間 今
 イミ 意味 異味 忌み
 イミビ 忌日 *斎火
 イム 医務 忌む *斎む
 イメイ 異名 威名 違命 遺命 依命
 <～通牒>
 イヤク 違約 意識 医薬

イヤリング イヤリング<earring> イ
 ヤリング<earing (帆船)><工>
 イヨー 威容 偉容 移用 異様
 イライ 依頼 以来
 イリ 入り *炒り (*煎り・*熬り)
 遺利
 イリアイ 入会 入相<～の鐘>
 イリコ [△]海[△]参<なまこ> *炒粉 *熬
 子<いわし>
 イリュー 慰留 遺留
 イリョー 医療 衣料 衣糧
 イリョク 威力 偉力 意力
 イル 居る *要る 入る 射る 鏝
 る *炒る (*煎る)
 イルイ 衣類 異類 *彙類
 イレイ 異例 違例 違令 違*戻 威
 令 慰霊 威霊 遺霊
 イレル 入れる *炒れる (*煎れる)
 イロー 慰勞 遺漏
 イワ 岩 違和
 イワバ 岩場 言わば
 イン 印 陰 因 院 韻
 インイツ 隱逸 *淫*佚
 インエイ 陰影 印影
 インカ 印可 *允可 姻家 引火 印
 加<～電圧><工>
 インガ 印画 陰画 因果
 インガイ 院外 員外
 インカン 印鑑 印款 *殷鑑<～違から
 ず>
 インキ インキ 陰気
 インキョ 隱居 *允許
 インケン 引見 隱頭 隱見 陰險
 インゴ 隱語 韻語
 インコー *咽*喉 印行 *淫行
 インゴー 因業 院号
 インコク 印刻 陰刻

インシ 印紙 因子 陰子<理> 隠士
 ×淫×祠
 インジ 韻字 ×淫事 隠事 陰事 印
 字 印璽
 インジュ 印×綬く〜を帶ぶ> 院主 陰
 樹<農>
 インショ 韻書 ×淫書
 インショ- 印象 印章 引証 印床
 インシン 殷×賑× 音信 陰×脣
 インスル 印する ×淫する
 インセイ 陰性 隠×棲 ×殷盛 陰晴 院
 政<史> ×隕星
 インセキ 姻×戚 ×隕石 引責 引赤
 <医>
 インタイ 引退 隠退
 インチ 引致 印池 ×吋
 イント- ×咽頭 ×淫×瀉
 イントク 陰徳 隠匿
 インビ ×淫×靡 隠微
 インブ ×淫婦 印譜
 インブ- ×淫風 陰風
 インブン 韻文 陰文 ×允文
 インボン ×淫奔 院本
 インユ 隠×喩 引×喩 因由
 インヨー 引用 飲用 陰陽
 インリョ- 飲料 飲量
 <ウ>
 ウ ×鶉 ×兎く〜の毛> ×卵
 ウイ 有為 雨衣 ×憂い
 ウエ 上 飢え ×筌
 ウエル 植える 飢える
 ウエン 有縁 ×迂遠
 ウカ 羽化 雨下
 ウカイ ×鶉飼い ×迂回
 ウカガウ 伺う ×窺う
 ウキ 雨期(雨季) 雨氣 浮き
 ×泛×子(×浮×標)

ウキス 浮き州 浮き巢
 ウケ 受けく〜がいい> 有×卦く〜
 に入る> ×筌
 ウゲン 右玄(右×絃)<工> ×迂言
 ウシ 牛 ×丑 ×齟齬
 ウジ ×蛆 氏
 ウジョ- 有情 羽状
 ウスイ 雨水 薄い
 ウズキ ×疼き ×卯月
 ウスギス 薄絹 薄×衣
 ウスバ 薄刃 ×白齒 薄羽
 ウスメ 薄め 薄目
 ウセイ ×迂生 雨声
 ウセツ 右折 雨雪
 ウソ ×嘘 うそく〜寒い> ×驚く動
 物名> ×類<動物名>
 ウソク 右側 右足
 ウタウ 歌う ×謳う
 ウチアゲ 打ち上げ 内揚げ
 ウチトメル 討ち止める 打ち留める
 ウチヌク 打ち抜く 撃ち抜く
 ウチュ- 宇宙 雨中
 ウチワ °団°扇 内輪
 ウチワケ 内訳 打ち分け<囲碁>
 ウツ 打つ(討つ・撃つ)
 ウツウツ うつつくうつらうつら>
 ×鬱々
 ウッケツ ×鬱血 ×鬱結
 ウツス 写す(映す) 移す(×遷す)
 ウツリ 映り 移り
 ウツル 写る(映る) 移る
 ウマ 馬 °午 ×苧麻<農>
 ウミ 生み 産み ×膿
 ウム 有無 ×膿む °熟む ×倦む
 生む 産む
 ウメキ ×呻き 埋め木
 ウラ 裏 浦

ウラジ 裏地 浦路
 ウラム 恨む (°憾む・°怨む)
 ウラモン 裏門 裏紋
 ウラヤマ 浦山 裏山
 ウリ 売り °瓜
 ウル 売る °得る
 ウレル 売れる °熱れる
 ウロ °洞 °迂路 雨露<～をしのぐ> °鳥°驚<～を闘わす> 有°漏<仏>
 ウワズミ 上澄み 上積み
 ウワバ 上歯 上葉
 ウンエイ 雲影 (雲°翳) 運営
 ウンカ 雲°霞<～のごとき> °浮°塵子
 ウンキ °温気 運氣 雲気
 ウンキュー 連休 雲級<天>
 ウンコー 運行 運航 雲高 雲向
 ウンジョー °醞釀 雲上 雲°壤
 ウンセイ 運性 運勢
 ウンソー 運送 (運°漕)
 <エ>
 エ 絵 柄 °餌
 エイイ 栄位 營為 英偉 銳意
 エイカ 英貨 詠歌
 エイガ 映画 榮華
 エイカン 榮冠 °觀感
 エイキ 銳氣 英氣 °盈°虧
 エイキュー 永久 A級
 エイキョー 影響 英京<ロンドン>
 エイゴ 英語 英悟 (°頓悟)
 エイコー 榮光 °曳航 °曳光
 エイゴー 永°劫 A号
 エイシ 英紙 英誌 A氏 英姿 英資
 衛視 英詩 °觀旨
 エイジ 英字 °嬰兒
 エイシャ 映画 營舍 泳者

エイショ 營所 衛所 英書
 エイシン 榮進 詠進 映進<～面>
 <理>
 エイセイ 永世 永生 衛星 衛生
 永°逝
 エイソー 營倉 營巢 詠草
 エイゾー 映像 影像 營造
 エイダン 英断 °觀断 營団
 エイテン 榮典 榮転
 エイブン 英文 °觀聞
 エイヘイ 銳兵 衛兵 英兵
 エイホー 銳°鋒 英法 泳法
 エイメイ 英名 英明 榮名
 エイヨー 榮養 榮°耀
 エイリ 營利 英里 銳利
 エイリン 營林 映倫
 エキ 駅 液 益 役<後三年の～>
 疫 易
 エキカ °腋下 °腋°窩 液化
 エキシヤ 易者 駅舎
 エキスル 益する 役する
 エキチャー 駅長 益鳥
 エキベン 駅弁 液便
 エコー 回向 エコー<echo>
 エシ 絵師 °壊死
 エス エス<Es> エス<イエスのなまり>
 エツ 悦<～に入る> 謁<～を賜う> 越<吳～同舟>
 エッカ °腋下 °腋°窩 液化
 エッケン 越権 謁見
 エッスル 謁する 閱する
 エツボ °餌°壺 °笑°壺<～に入る>
 エテ 得手 えて<～して>
 エビ °海°老 °葡°菴<～色>
 エモノ 獲物 得物
 エライ 偉い °豪い

エル 得る *選る
 エン 円 縁 宴 *寃 塩 *艶
 エンイン 遠因 延引 援引
 エンエン 炎々 *蜿*蜒 *奄々<氣息~>
 エンカ 円貨 円価 *艶歌<~師>
 縁家 *嚙下 塩化 煙火 煙*霞
 炎火<工>
 エンカイ 沿海(縁海) 遠海 宴会 延会
 エンガイ 煙害 塩害 *掩*蓋 円*蓋
 エンカク 沿革 遠隔
 エンカン 鉛管 煙管
 エンガン 沿岸 遠岸
 エンキ 延期 遠忌 塩基<理>
 エンギ 演義 *衍義 演技 縁起
 エンケイ 円形 遠景 煙景
 エンゲイ 園芸 演芸
 エンゲン *淵源 *怨言
 エンゴ 縁故 円弧 塩湖
 エンゴ 援護<~施設> 縁語 *怨語
 *婉語
 エンコー 遠郊 遠交<~近攻> 円光
 鉛工<~接続><工> 炎光<~
 分析><工>
 エンザ 円座 宴座
 エンザン 遠山 演算 鉛*槩<~に付す
 る> 遠*窠
 エンジ 園児 *膳脂 *衍字
 エンシュ 演習 円周
 エンショ 炎暑 *艶書
 エンショ 延焼 炎症 煙硝 遠称
 <言>
 エンジル *怨じる 演じる
 エンシン 遠心 円心 炎心
 エンジン *厭人 *猿人 円陣 煙*塵
 エンジン<engine>
 エンスイ 円*錘 塩水
 エンセイ 遠征 *厭世 延性

エンセキ 宴席 遠*戚 塩析<理>
 エンセン 沿線 沿川 *厭戦 塩泉 円
 *癖 円線<~図><工>
 エンゼン *婉然 *嫣然 *宛然
 エンソ 遠祖 塩素
 エンソー 演奏 遠*漕 *淵*藪 *燕巢
 エンタイ 延滞 *淹滞 援隊
 エンダイ 縁台 演台 演題 遠大
 エンタク 円タク 円卓
 エンダン 縁談 演壇
 エンチ 園池<法> 遠地
 エンチャー 園長 延長 円頂
 エンテイ *堰堤 園丁
 エンテン 円転<~滑脱> *宛転 炎天
 遠点 延展<~機><理・工>
 エントー 円筒(円*壱) 煙筒 遠島
 エンドー 沿道 煙道 *豌豆
 エンドク 煙毒 鉛毒
 エンバン 円板 円盤 鉛版 鉛板 塩盤
 炎板<工> 縁板<工>
 エンビ *婉美 *艶美
 エンピ 円*匙 *猿*臂 鉛皮<~線>
 <工> 鉛被<~ケーブル・~
 線><工>
 エンブ 演舞 円舞 演武
 エンブシ 塩分 鉛分 *艶聞 *艶文
 *衍文
 エンベイ 援兵 *掩*蔽
 エンボー 遠謀 遠望
 エンヨ 遠洋 援用 *艶容 *婉容
 エンライ 遠来 遠雷
 エンルイ 遠類 縁類 塩類
 エンレイ *婉麗 *艶麗
 エンロ 遠路 沿路 円*顧
 <オ>
 オ 尾 緒 *芋 雄<~牛>
 オイ *甥 老 *笄

オイコム 追い込む 老い込む
 オイテ 置いて ◎措いて<彼を〜>
 ◎於いて<に〜> 追手 追[○]風
 オイル 老いる オイル<oil>
 オウ 追う (◎逐う) 負う
 オー 王 翁
 オーイ 王位 王威 横位 *蔽い 多
 い
 オーイツ 横[×]溢 *汪[×]溢 横逸
 オーイン 押印 押韻
 オーエン 応援 黄鉛<理>
 オーオー 往々 *挾々
 オーカ 欧化 王化 謳歌 応化<応用
 化学> 桜花 黄化<植>
 オーガネ 大金 *巨鐘 大[×]矩
 オーガタ 大型 大形 O型
 オーカワ 大川 大皮 (大[○]鼓)
 オーカン 往還 横貫 王冠
 オーギ 扇 横議 奥義
 オーキュー 応急 王宮
 オーコー 王侯 王公 横行 往航
 オーサイ *殃災 横災 往歳
 オーサツ *毆殺 *塵殺
 オーシ 横死 王師 横[×]恣
 オージ 往時 往事 王事 王子 皇子
 大路 押字
 オーシュー 応酬 押収
 オージョ 王女 皇女
 オーショ 応召 応招 *鞅掌 *毆傷
 ♫ 王将<将棋>
 オージョー 往生 王城 *凹状
 オーシン 応診 往診 往信 王臣
 オースイ 王水 黄水
 オーセ 仰せ *逢う瀬
 オーセイ 王政 王制 横政 *旺盛
 オーセン 横線 応戦
 オータイ 応対 横隊 横体<水泳> 黄

体<〜ホルモン>
 オーダン 横断 黄[×]疸
 オーテ 追手 大手 王手
 オード 大戸 王土 黄土<理>
 オートー 王統 王党 応答 桜桃
 オードー 王道 黄銅 黄道<〜吉日>
 横道
 オーノー 応能<〜負担> *懊惱
 オーバン 大判 大番
 オーブリ 大降り 大振り
 オープン 欧文 横文 応分
 オーヘン 往返 応変<臨機〜>
 オーボ 王母 応募
 オーホー 応報<因果〜> 王法 往訪
 オームネ 大旨 (概ね) 大[×]棟
 オーモン 大門 応問
 オーヨー 応用 *鷹揚 大様
 オーライ 往来 オーライ<all right>
 オカ 丘 (岡) 陸
 オカス 犯す (侵す・冒す)
 オカミ お上 [△]女[△]将 (お[△]内[△]儀)
 オカン お[×]燭 *惡寒
 オキ 沖 *燠
 オキカエル 起き返る 置き換える
 オク 置く (◎措く・*擱く) 奥 屋
 <〜上屋を架す> 億
 オクシャ 奥社 屋舎
 オクチ 奥地 お口
 オクル 送る 贈る
 オクレル 遅れる 送れる
 オケ *桶 *席[○]筥
 オコシ *粗[×]粉 お腰 お越し
 オコス 起こす (興す)
 オコリ 起こり *瘡<医>
 オコル 起こる (興る) *怒る *熾る
 <火が〜>
 オサ *長 *箴

オサマリ 治まり 納まり (収まり)
 オサマル 治まる 納まる (収まる) 修
 　　まる
 オサメ 治め 納め (収め)
 オサメル 治める 納める (収める) 修
 　　める
 オシ 押し (°圧し) *匿
 オジ °伯°父 °叔°父 (小°父)
 オンアテル 押し当てる 推し当てる
 オンエ 教え 押し絵
 オンユー 汚臭 汚習
 オス 押す (°圧す) 推す 雄
 　　(*牡)
 オセン 汚染 お°煎<煎餅>
 オンバ °遅場 お°側 お°蕎°麦
 オソレ 恐れ (虞れ)
 オッタテル 追っ立てる 押っ立てる
 オッテ 追手 追って (追°而)
 オトリ *閑 劣り
 オバ °伯°母 °叔°母 (小°母)
 オバナ 雄花 尾花
 オハライ お°蔽い お払い
 オビカワ 帯皮 帯側
 オモイ 思い 重い
 オモダカ 面高 °沢°瀉<植物名>
 オモテ 表 面<~を冒して>
 オモニ 重荷 °主に
 オモリ °鍾 お°守り
 オヤ 親 おや
 オヤキ 親木 お焼き
 オリ 折 *檻 織り *澱 汚吏
 オリコム 折り込む 織り込む
 オリメ 折り目 綴目
 オリモノ 織物 °下り物
 オリヤ 織屋 折り屋
 オル 折る 織る °居る
 オレ 折れ °已

オロシ 卸 °下ろし
 オロス 降ろす (°下ろす) 卸す
 オン 恩 音
 オンイ 思威 音位<~計><工>
 オンガ 音画 温雅
 オンギ 恩義 (恩°誼) 音義<言>
 オンキュー 恩給 温°炙
 オンコ 恩願 温故<~知新>
 オンコー 温厚 音°溝<理>
 オンシ 恩師 恩賜 音子<理>
 オンシツ 温室 音質 温湿
 オンシュ 恩°讐 *怨°讐 温習
 オンショ 恩賞 恩詔 温床
 オンジョ 温情 恩情 音°声
 オンショク 温色 *温色 音色<理>
 オンセイ 音声 音勢
 オンタイ 温带 御大
 オンチ 御地 音痴
 オンチュ 恩°寵 音調
 オンテン 恩典 温点
 オンド 温度 音°頭 音度
 オント 温湯 穩当
 オンパ 音波<理> 温波<理>
 オンビン 穩便 音便<言>
 オンブ 音譜 音符
 オンメイ 恩命 音名
 オンヨー 温容 °陰陽<~道>
 オンリョ 温良 音量 *怨°靈
 オンワ 温和 (穩和)
 <カ>
 カ 課 科 火 香 蚊 架<通信
 　　機などの><工> 荷<負~担
 　　~><農>
 ガ 賀 我 *娥
 ガード ガード<girder bridge> ガ
 　　ード<guard>
 カール カール<curl> カール

<Kar><地>

カイ 会 回 怪 快<～とする>
貝 *襪 *映 下位 下意<～上
達> 歌意 解 戒 *甲*斐 買
い<経> 開<工> 界<工>
塊<理>

ガイ 賀意 雅意 害 我意 該<～
決議> 咳<～～>

カイイ 怪異 *魁偉<容貌～> 介意
会意<言>

ガイイ 害意 外衣 外厩 外*夷

カイイン 会員 海員 改印 開院 会飲

カイウン 開運 海運

カイエン 開演 開園 海*淵<地>

ガイエン 外*苑 外援 外延<哲> 外
炎<理>

カイカ 開化 開花 階下 怪火 開架
<図> 改過<～遷善>

カイガ 絵画 怪*訝<～の念>

ガイカ *凱歌 外貨

カイカイ 開会 *恢々<天網～> 怪々
<奇々～>

ガイカイ 外海 外界

ガイカク 外郭 外*殻 外角<野球>

カイカン 怪漠 快漠 開館 開巻 会館
快感 海関

カイガン 海岸 怪*巖 開眼

ガイカン 概観 外観 外患 がい(*碍)
管<工>

カイキ 会期 会規 開基 快気 回帰
怪奇 買い気 回忌 皆既<～
食><天>

カイギ 会議 回議 懷疑 快技 海技
<～免状> 解義 かい木<建>

カイキョー 階級 懷旧

カイキョ 快挙 開*渠

カイキョー 海峡 回教 懷郷 開橋 海

況 改*缺

カイギョー 開業 改業 改行

カイキン 解禁 皆勤 開*襟

カイク 海区 化育

カイケイ 会計 会*稽<～の恥> 塊茎
<植>

ガイケイ 外形 概形 概計 外径

カイケツ 解決 怪傑 壊血

カイケン 会见 開頭 改憲 懷剣 海権
開闢<理>

カイゲン 改元 開眼 戒嚴

ガイケン 外見 概見

カイコ 回顧 懷古 解雇 蚕

カイゴ 戒護 介護 悔悟 開悟 改悟

カイコー 開校 開講 海港 開港 回航
海*溝 開口 開坑 改稿 *恢弘
*遑*迢 怪光 塊坑<鉦> 解こ
う<deflocculation><理>

カイゴー 会合 改号

ガイコー 外交 外*寇 外港 外航 外
向 外光 外項<数>

カイコク 海国 開国 回国 戒告<法>

カイコム *掻い込む 買い込む

カイコン 開墾 悔恨 塊根<植>

カイサイ 快*哉 開催 皆済

カイサク 改作 開削 快削<鉦>

カイサツ 改札 開札

カイサン 解散 *潰散 海産 改算 改
*刪 開山<仏> 改さん<～機
(translator)><工>

カイシ 開始 開示<法> 介し<人を
～> 怪死 懷紙 界紙

カイジ 怪事 快事 海事 界磁<理>
開磁<～路><工>

ガイシ 外資 外紙 該紙 該誌 外史
がいし(*碍子)<工>

ガイジ 外事 外字 外耳

カインヤ 会社 *膾炙く人口に〜> 回
 車<工> 灰砂く〜レンガ>
 <理>
 ガインヤ 外車 *蓋車
 カインヤク 解釈 介⁹錯
 カインシュ 会主 *魁首
 カインシュ 回収 改修 改宗 会衆
 カインシュ 海獣 怪獣 懷柔 *晦洪
 ガインシュヒ 外珠皮<植> 外種皮<植>
 カインシュン 改⁹俊 回春
 カインヨ 開所 回書 *楷書
 カインヨ 解除 *刈除
 カインヨ 快勝 快⁹翔 海象 海⁹嘯
 海床 解消 改称 回章 会商
 海相 快⁹捷 回照<〜機><
 工> *甲⁹斐性
 カインジョー 会場 階上 海上 開場 開
 城 回状 塊状 解錠<鉄道信
 号><工> 階乗<数>
 ガインヨ 外相 外商 街商 街⁹娼
 外⁹妾 外傷
 カインヨク 会食 解職 [戒⁹飭] 改植
 海⁹蝕<地> 灰色<〜体>
 <工・建> 壤食<鉦>
 カインシン 改新 改進 戒心 改心 戒慎
 会心 回診 回心 海震<天>
 開心<工> 界浸<〜レンズ>
 <工>
 ガインシン 外臣 害心 外信 外心
 カイズ 海図 かいずく魚名>
 カイスル 介する<意に〜> 解する 会
 する
 カイセイ 改正 改制 改姓 快晴 回生
 <起死〜>
 ガイセイ 外政 外征 慨世 *蓋世<〜
 の英雄>
 カイセキ 会席 懷石 怪石 解析<数>

カイセツ 解説 開設 回折<理・工・建
 ・鉦>
 ガイセツ 概説 外切<数> *割切
 カイセン 回線 回船 怪船 会戦 海戦
 開戦 快戦 改選 回旋<植>
 *疥⁹癬 界線<数> 開織
 <opening><工>
 カイゼン 介然 快然 改善
 ガイゼン 外船 外線 *凱旋 外戦
 ガイゼン *蓋然 慨然 *駭然
 カイソ 改組 開祖
 カイソー 海⁹藻 海⁹葱<植物名>
 会葬 改葬 回⁹漕 回送 改裝
 *潰走 快走 回想 階層 界層
 カイゾー 改造 皆増<予算の〜> 海象
 解像<〜力><理・図・鉦>
 ガイソー 外装 [外相] 外層 *咳⁹嗽
 外⁹挿<天>
 カイソク 快速 快足 会則
 ガイソク 概則 概測 外側
 カイタイ 解体 *拐帶 懷胎 海退
 <天>
 カイダイ 改題 解題 海内
 カイダシ 買い出し *掻い出し
 カイダス 買い出す *掻い出す
 カイダン 怪談 会談 快談 階段 戒壇
 <仏>
 ガイタン *骸炭 外炭 慨嘆
 ガイチ 外地 該地
 カイチュー 回虫 海中 懷中 改鑄
 ガイチュー 害虫 外注
 カイチャー 会長 海鳥 *諧調 快調
 開庁 開帳<仏> 回腸<生・
 動>
 カイツケ 買付け 飼付け
 カイテイ 改訂 改定 海底 海程 開廷
 階⁹梯

ガイテキ 外敵 外的
 カイテン 回転 開展 開店 回天<~の
 大事業>
 ガイデン 外電 外伝
 カイトー 会頭 怪盗 解答 回答 解党
 快投 快刀<~乱麻> 解凍
 <~室><工>
 カイドー 街道 海道 皆働 皆動 会同
 会堂 海*棠
 ガイトー 街頭 街燈 外燈 外*套 該
 当 外糖
 カイドク 解読 回読 会読 買い得
 カイニュー 介入 回入
 カイニン 解任 懷妊
 カイツシ 買い主 飼い主
 カイバ 飼い葉 海馬
 カイハイ 壊廃 壊敗(*潰敗) 改廃
 ガイハク 外泊 該博
 カイバツ 海拔 皆伐
 カイハン 改版 開板 解版
 カイヒ 会費 回避 開*披 開*扉
 <仏>
 ガイヒ 外被 外皮<植>
 カイヒョー 海水 解氷 開票 界標 海
 *豹 塊氷<工> 開俵<~機>
 <工>
 ガイブ 外部 外侮
 カイフク 回復(快復) 開腹
 カイブン 怪聞 灰分 回文
 ガイブン 外聞 外分<数>
 カイヘイ 海兵 皆兵<国民> 開閉
 開平<数>
 カイヘン 改編 改変 海辺 塊片<理>
 壊変<理・工>
 カイホー 解放 開放 快報 会報 回報
 快方 海*棚<地> 懷抱 介抱
 改封<史> 海*堡<軍>

カイボー 解剖 海防
 ガイホー 外報 外方 外邦
 ガイボー 外*貌 概*貌
 カイム 怪夢 快夢 会務 海務 海霧
 皆無
 カイメイ 会名 改名 解明 開明 階名
 <音> 海*狸<モルモット>
 *晦*冥
 カイメン 海面 海綿 解綿<紡績> 界
 面<~張力><理・鉦>
 カイモノ 買い物 かいもの<liner>
 <工>
 カイモン 海門 開門 階紋<~道管>
 <植>
 カイヤク 解約 改訳
 カイユウ 会友 回遊 回*游
 カイヨウ 海洋 海容 *漬*瘍
 ガイヨウ 概要 外洋 外用
 カイライ *愧*儡 界雷<天>
 カイラン 壊乱<風俗> 回覧 解*纜
 カイリ 海里 *乖離 海*狸<動物名>
 解離<理・鉦>
 カイリュウ 海流 回流
 カイリョウ 改良 飼い料
 カイロ 海路 懷炉 回路<理・鉦>
 開路<~電圧><工>
 カイロー 回廊 皆勞 *偕老<~同穴
 の>
 カイワン 怪腕 海湾
 カイン 課員 下院 過員 禍因 過飲
 下引<~筋><動>
 カウ 買う 飼う *支う
 カエ 代え(替え) 換え
 カエス 返す 帰す *解す *反す
 カエル 変える(代える・替える・換え
 る) 買える *蛙 帰る 返る
 *反る かえる<卵><~くず湯>

が～>
 カエン 火炎 佳宴 下縁 加鉛<～効
 果><理>
 ガエン 賀宴(賀*筵) 雅宴
 カオク 家屋 仮屋
 カガ 花芽<植> 果芽<植> 夏芽
 <植>
 ガカ 画家 画架
 カカイ 歌会 花会 下界<数> 可解
 <～群><数> 河海
 カガイ 加害 禍害 火害 課外
 ガカイ 画会 雅懷 *瓦解
 カカク 価格 貨客 華客 家格 歌格
 果核<植>
 カガク 化学 科学 価額 課額<課税
 ～> 歌学 家学 下学 下*顎
 ガカク 賀客 雅客 画角<理>
 カガミ 鏡(*鑑)
 カガヤク 輝く(*赫く)
 カガリ *篝 *膝り
 カカル *懸かる(掛かる) *罹る 係
 る<提出に～> *斯かる
 カカン 加冠 果敢 花冠<植> 加換
 <～群><数>
 カキ 夏季(夏期) 下期 下記 花
 期 花器 花*卉 火氣 火器
 *牡*蠣 *柿 *垣
 カキアツメル 書き集める *掻き集める
 カキイレ *掻き入れ 書き入れ
 カキオコス *掻き起す 書き起す
 カキダス 書き出す *掻き出す
 カキタテル 書き立てる *掻き立てる
 カキツケル 書き付ける *掻き付ける
 カキミダス 書き乱す *掻き乱す
 カキュー 下級 加給 加級 火急
 カキューヒン 下級品 加給品
 カキョー 佳境 架橋 華*僑 家郷 火

橋<反射炉の～><工・鉱> 過
 共<～折><工・鉱>
 カギョー 家業 課業 *稼業
 カキョク 歌曲 佳局 加極<～性>
 <工>
 カキワケル 書き分ける *掻き分ける
 カキン 家*禽 *瑕*瑾 課金
 カク 核 殻 書く(*描く) *掻く
 *斯く<～して> 欠く 客 佳
 句 各 角 格 画
 カグ 家具 下愚 *嗅ぐ
 ガク 学 樂 額 がく(*専)<植>
 カクイ 各位 隔意<～なく>
 カクイン 客員 閣員 各員
 ガクイン 学院 樂員
 カクカ 各科 各課 閣下 隔*靴<～
 搔痒の感>
 カクカイ 各界 各階 角界
 カクガイ 閣外 格外
 ガクカイ 学界 学会 樂界
 カクカク *斯々 *赫々
 ガクガク がくがく<～する> *諤々
 カクゲツ 各月 隔月 客月
 カクゲン 格言 確言
 カクコ 各戸 各個 確固
 カクゴ 覚悟 客語<言>
 カクコー 各校 各港 角鋼<工・建>
 核こう(*腔)<植>
 カクサ 格差 較差
 カクザ *摺座 各座
 ガクサイ 学才 樂才
 カクサン 拡散<理・鉱> 核酸<植>
 カクシ 各紙 各誌 各氏 核子<理>
 隠し 客死 核糸<動・植>
 ガクシ 樂士 学士 学資
 カクシキ 各式 格式 核糸期<植>
 カクシツ 角質<理・動> 革質 確執

各室 隔室<～発電所><工>

核質<植・動>

カクジツ 隔日 各日 確実

カクシヤ 客車 各車 各社 客舎

ガクシヤ 学者 学舎

カクシユ 確守 *恪守 各種 *誠首

*鶴首

カクシュ- 各週 隔週 客秋 客愁

カクショ- 確証 客将 各省

ガクショ- 学匠 楽匠 楽章<音>

カクシン 確信 隔心 核心 革新

カクス 隠す 画す<一線を～>

カクセイ 郭清 革正 覚*醒 隔世<～

の感> 拡声 客星<天> 較正

<理・工>

ガクセイ 学生 学制 楽聖

ガクセキ 学籍 学績

ガクセツ 学説 楽節<音>

カクゼン 画然 確然 *赫然

ガクソー 学窓 学僧 楽想<音>

ガクダン 楽団 楽壇

カクチ 各地 隔地 客地 確知 覚知

<建> 画地<工・建>

カクチュ- 格調 拡張 各庁

ガクチュ- 学長 楽長 楽調<音>

カクツ- 角通 各通

カクテイ 確定 画定

カクテン 各点 格点<工> 角点<数>

カクド 角度 確度 客土 *赫怒

ガクト 学徒 学都

カクト- 確答 格闘 角燈 客冬 各党

ガクド- 学童 学堂

カクナイ 関内 郭内 核内<～学>

<理>

カクネン 各年 隔年 客年

カクハン 各般 [*攪*拌] 隔板<船

燈><工> かくはん<～棒

(poker)><鉦> かくはん

<raffle><鉦>

カクヒツ *擲筆 各筆<土地の～>

ガクフ 楽譜<音> 岳父 学府

カクベツ 格別 各別

カクホ- 確報 各方

カクマク 角膜<生> 隔膜<生・植・

動> 核膜<植>

カクリツ 確立 確率<数> 格率<哲>

カクロ- 客*臘 閑老<史>

カクロン 各論 確論

カケ *賭け 掛け 欠け

カゲ 影(陰・*蔭・*庇) *鹿毛

カケアワセル 掛け合わせる 駆け合わせ

る<乗馬を～>

カケイ 家計 家系 *筭 佳景 下掲

科刑 火刑 家兄 河系 花茎

<植> 可傾<～式><工>

カゲキ 歌劇 *罅*隙 過激

カケゴ *懸子 *賭碁

カケゴニ 掛け声 掛け肥

カケジ 掛け字 欠け字

カケメ 掛け目 欠け目

カケモノ *賭物 掛け物

カケル 掛ける(*懸ける・*架ける)

*課ける 駆ける *翔ける *賭

ける *繋ける 欠ける

カゲロー [△]陽[△]炎 *蜉[△]蝂

カゲン 加減 過言 寡言 *訛言 下

限<数> 下弦 家言<一～>

過現 仮言 仮現 *嘉言

カコ 過去 [△]水[△]夫

カゴ *籠 *鴛*籠 過誤 *訛語 華

語 加護

カコ- 河口 河港 河江 火口 化工

*靴工 仮構 加工 *移行 可耕

可航 下降 下向 歌稿 花香

佳^{*}肴（^{*}嘉^{*}肴） 華甲 火工
 <～術><工>
 カゴー 化合<理> 加号<数> 下合
 <天>
 ガコー 画工 画稿
 カコク 過酷（^{*}苛酷） 河谷<地>
 カコン 禍根 仮根<植>
 カサ ^{*}笠（^{*}傘・^{*}量） ^o量 ^{*}瘡
 カサイ 火災 果菜 歌才
 カザイ 家財 貨財 歌材 花材 夏材
 <植>
 カサク 家作 佳作 仮作 寡作
 カサン 加算 加^{*}餐 家産 寡産<～
 鶏> 家蚕<農> 過酸<理>
 ガサン 画賛 ^{*}臥蚕<農>
 カシ 貸し [△]河[△]岸 菓子 歌詞
^{*}攄 下士 下賜 仮死 下^{*}肢
 華氏 家資<～分散> 可視<～
 光線><理・建> 花糸<植>
 カジ 火事 家事 ^{*}梶（^{*}楫・^{*}舵）
^o鍛^{*}冶 加持<仏> 華字<～
 紙>
 ガシ 画紙 画師 餓死 賀詞
 カジカ 河^{*}鹿 ^{*}鯀
 カシキ 菓子器 花式<植>
 カシグ ^o傾ぐ ^o炊ぐ
 カシグラ 貸し蔵 河^o岸蔵
 カシコシ 貸越し ^{*}畏し
 カシツ 過失 火室<理>
 カジツ 果実 花実 過日 佳日 夏日
 カシヤ 貸家 菓子屋
 カシヤ 貨車 華^{*}奢 仮借<言>
 カシヤク ^{*}呵^o責 仮借
 カシユ 歌手 火手 火酒 佳酒 貨主
 ガシユ 雅趣 画趣 芽株<動>
 カシユー 歌集 家集
 カシユー 過重 加重 過充<資本の～>

荷重<建> 果^{*}汁 家^{*}什
 カシヨ 歌書 家書 個所
 カシヨ 加除 加叙 花序<植>
 カシヨー 河床<地> 火床 過少（過
 小） 寡少 寡照 可照<～時
 間><建> 過賞 ^{*}嘉賞 仮象
 火傷 仮称 ^{*}訛称 か（^{*}燬）焼
 <理・鉦> 仮晶<理・植> 花
 床<植> 架渉<～線><工>
 カジヨー 個条 下情 過剩 ^{*}過状
 ガシヨー 画商 賀正 雅称 ^{*}臥床
 ガシヨー 賀状 画^{*}帖 ^{*}牙城
 カシヨク 貨殖 過食 華^{*}燭<～の典>
 仮色<鉦> 加色<～法><理>
 カシワ ^{*}柏 [△]黄[△]鵪
 カシン 過信 河心 佳^{*}辰 家臣 下
^{*}脣 可浸<～長><工> 河身
 <～改良><工> 加振<～力>
 <工>
 カジン 家人 歌人 華人 佳人
 カス ^{*}粕（^{*}糟・^{*}滓） ^{*}藉す（仮す）
 科す 課す 嫁す 化す 架す
 貸す
 カズ 数 下図
 ガス ガス<gas> ^{*}臥す
 カスイ 河水 仮匪 下垂 加水<～分
 離><理・工> 花穂<植>
 カスー 仮数<数> 加数<数>
 カズラ ^{*}蠶 ^{*}葛
 カスリ ^{*}緋 ^{*}掠り
 カスル 科する 課する ^{*}掠る 化す
 る 嫁する
 カセ ^{*}枷 ^{*}紹 ^{*}梲 加背<工>
 カセイ 化成 カセイ（^{*}苛性）<理>
 家政 火勢 火星 歌声 歌聖
^{*}苛政 加勢 河清<百年～を待
 つ> ^{*}呵成<～氣～> 仮性

化性<動> 化生<動>
 カゼイ 課税 寡勢
 ガセイ 画聖 芽生<植>
 カセキ 化石 河積<工>
 カセギ *稼ぎ *梓木
 カセツ 架設 仮設 仮説 佳節
 カセン 河川 架線 河船 化繊 火線
 歌*仙 可選<~曲線><鉦>
 ガセン 画仙 画線<~密度><工>
 カソ 可塑 果*蔬
 カソー 仮装 仮想 火葬 仮相 家相
 下層 過走<~余裕距離><工>
 カゾー 家蔵 加増 仮像<鉦>
 カソク 加速 仮足<動> 可測<数>
 カゾク 家族 華族
 カタ 過多 *夥多 形(型) *渦
 カタイ 固い(堅い・硬い) 難い 過
 怠 下*腿 歌体 化体<法>
 カダイ 課題 歌題 過大
 カタガタ 方々 *旁
 カタギ ^気^質 堅気 堅木<建>
 カタク 家宅 仮託 火宅 果たく
 (*托) <植>
 カタツキ 肩付き 型付き
 カタハ 片葉 片刃 片羽
 カタハバ 肩幅 型幅<工>
 カタミ 肩身 片身 形見
 カタメ 固め 片目
 カタユキ 片*桁<裁> 肩*桁<裁>
 カタヨリ 片寄り(°偏り) 片*縊り
 カタル 語る *騙る カタル<医>
 カタン 下端 荷担 可鍛<理・鉦>
 加炭<~帯><鉦> カタン<~糸>
 カダン 花壇 華壇 歌壇 下段 果断
 家団<農>
 ガダン 画壇 画談

カチ 価値 勝ち
 カチュー 火中 *渦中 家中 華*宵 花
 柱<植> 可鑄<~性><鉦>
 カチャ 課長 家長 過重 加重 過長
 課徴<~金> 歌詞 家鳥 花鳥
 <~山水> 可聴<~音・~ラジ
 オレンジ><理・工> 河潮
 <工>
 カツ カツ<カツレツ> 勝つ *且
 つ 活<~を入れる> 渴<~を
 医す> *喝<~をくらわす>
 カッカ 各科 各課 閣下 隔*靴<~
 搔痒の感> 核果
 カッカイ 各階 各界 角界
 ガッカイ 学界 学会 衆界
 カッキ 活気 客気 画期<~的>
 ガッキ 学期 楽器
 ガッキュー 学究 学窮 学級
 カッコ 各戸 各個 括弧 確固(確*乎)
 カッコー 各港 各校 各項 *恰好 滑
 降<スキー> 角行<将棋>
 ^郭^公
 カッシャ 滑車 活写
 ガッショー 合唱 合掌 合*従<~連衡>
 カッスイ 渴水 活水<宗>
 カッセキ 滑席<運> 滑石<鉦>
 カッセン 合戦 割線<数> 活線<~作
 業><工>
 カツゼン *豁然 *憂然
 カッソー 滑走 かっそう (*褐*藻)
 <植>
 カッタ 買った 刈った 勝った 飼っ
 た
 カッテ 勝手 かつて<~な> *曾て
 ガット ガット<GATT> ガット
 <gut>
 カッパ ^合^羽 ^河^童 *喝破

カップ カップ<cup> 割賦
 カップク *恰幅 割腹
 カツベン 滑弁 活弁
 カツヤク 活躍 括約<~筋><医・動>
 カツラ *蠶 *桂
 カタイ 過程 課程 家庭 假定 河底
 仮底<鉦>
 カテン *嘉典 火点<軍> 可展<~
 面><数>
 カデン 家伝 *訛伝 火田 *瓜田 荷
 電<理>
 カト 過渡<~期> 家*兎 *蛎*蚪
 カド 門 角 *廉 過度
 カトー 寡頭 下等 過当 果糖<理>
 可とう<~ひも (flexible cord)>
 <工>
 カドー 華道 歌道 可動 *稼働 *渦
 動<理> 化導 河道<工>
 カドーキュー 可動橋 架道橋
 カナイ 家内 科内 課内 花内<植>
 カネ 金 鐘 *鉄 *矩 *鉄*鋳
 カネツ 加熱 過熱 火熱
 カネン 過年 可燃<~性><建>
 カノー 可能 過納 化*膿 *嘉納 加
 農<~砲>
 カバ *樺 [*蒲] 河馬
 カハク 仮泊 下*膊 科白
 カバツ 科罰 可罰<~評價> 過伐
 カバネ *屍 *姓<史>
 カハン 過半 下半 過般 河畔 可搬
 <工>
 カバン *鞆 下盤<工>
 カヒ 果皮<植> 花被<植> 可否
 歌碑 下皮<動>
 カビ *黴 華美
 カビン 花*瓶 過敏
 カフ 家父 家扶 寡婦 火夫 家譜

花譜 下付

カブ 株 *蕪 下部 歌舞
 ガフ 画布 画譜
 カフー 家風 歌風 下風
 カブキ 歌舞*伎 かぶき<~門>
 <建>
 カフク 下腹 禍福
 カブリ *被り *頭 かぶり<~付き>
 過振り<経>
 カブン 過分 寡聞 可分<数>
 カヘイ 貨幣 寡兵 果柄<植>
 カヘン 河辺 佳絹 可変<理・建>
 カホ 火保<火災保険> 貨保<貨物
 保険> 花*圃
 カホー 家宝 家法 果報 下方 過
 *褒 加俸 加法<数> 火砲
 ガホー 画法 画報
 カマ *釜 (*汽*罐・*窯・*竈) *鐻
 ガマ *蝦*蟄 *蒲
 カマス *呎 *師
 カマチ *框 *轄
 カミ 紙 髪 上 神 加味 *頭
 <史> *守<史>
 カミガタ 上方 髮型
 カミキリ 紙切り 髪切り
 カミスキ 紙*漉き 髪*梳き
 カミバサミ 紙*挟み 紙*鋏
 カミン 下民 仮眠 夏眠<動>
 カム かむ<鼻を~> *噛む カム
 <cam><理>
 カメ *亀 *瓶
 カメイ 仮名 家名 下名 加盟 下命
 ガメイ 雅名 画名
 カメン 仮面 下面
 カモク 科目 課目 寡黙
 カモン 家門 家紋 花紋 *渦紋 下
 関

カヤ *茅 *榧 蚊*帖
 カヤク 火薬 加薬 可約<数>
 カヨー 火曜 歌謡 加養 *ス様 通
 う 花葉<植> 可溶<理・鉦>
 河用<~砲艦><工>
 カラ *空 *殻
 ガラ 柄 がら △瓦△落
 カラー カラー<collar> カラー
 <colour>
 カライリ *乾*煎り *殻*煎り
 カラガル *絡がる 辛がる
 カラス *烏 枯らす (*涸らす・*喰ら
 す)
 カラミ 辛味 *空身 *緩<鉦> から
 み<~いかり><工>
 ガラリ がらり<~と> がらり<建>
 カラン 禍乱 カラン<蛇口> 夏卵
 <動>
 カリ 借り 仮 狩り *雁 刈り
 カリ (△加△里) <~肥料><農>
 カリイレル 借り入れる 刈り入れる
 カリカブ 刈り株 仮株<経>
 カリコミ 刈り込み 狩り込み
 カリコム 刈り込む 狩り込む 借り込む
 カリズマイ 仮住居 借り住居
 カリタク 仮宅 借り宅
 カリダス *駆り出す 借り出す
 カリテ 刈り手 借り手
 カリナ 仮名 借り名
 カリネ 仮寝 刈り根
 カリヤ 借り家 仮屋
 カリュウ 下流 河流 渦流 花柳 *顆
 粒 加硫<~ゴム・~係数><理
 ・工> 果粒<動> 火流<建>
 カリョウ 科料 過料 過量 下僚 加療
 佳良
 ガリョウ 雅量 画*龍<~点晴>

カル 刈る 狩る *駆る
 カレイ 華麗 佳麗 家令 家例 *嘉
 例 *鰈 過冷<理・工・鉦>
 カレル 枯れる *涸れる *喰れる
 カレン *苛*斂<~誅求> 可*憐
 カロー 過労 家老
 ガロン 画論 ガロン<gallon>
 カワ 川 皮(*革) 側 佳話 歌
 話
 カワク *乾く(*渴く) 架わく<工>
 カワセ △為△替 川瀬
 カワヤ 皮屋 *厩
 カワラ *瓦 川*原
 カワリ 変わり(代わり・替わり)
 カワル 変わる(代わる・替わる)
 カン 観 感 管 環(*鑲) *爛
 *瘤 *鐘 官 棺 寒 體 *絨
 卷 *奸<君側の~> 簡<~に
 して要を得る> 閑<忙中~あ
 り> 寛<~にする> 緩 飲
 <~を尽くす> 冠<世界に~た
 る> 貫<~当り> 刊 完 款
 勘 *瘡
 ガン 願 *雁 眼 *癌
 カンイ 簡易 敢為 官位 冠位<史>
 カンイン 館員 官印 *姦*淫
 カンエツ 観閲 簡閲
 カンオン 感恩 漢音<言> 感温<~
 期><植>
 カンカ 乾果<植> 管下 閑暇 患家
 感化 看過 換価 干*戈<~を
 交える> *輓*軻<~不遇>
 *鰥寡<~孤独> 環化<理>
 カンガ 官*衙 閑雅
 ガンカ 眼科 眼下 元加<~利子>
 眼*窠
 カンカイ 官界(官海) 管海 環海 寒

海 感懷 緩解<医>
 カンガイ *灌*溉 干害 寒害 感慨 館
 外 管外 監外
 ガンカイ 眼界 眼科医
 カンカク 観客 間隔 感覚 *扞格
 カンガク 漢学 勧学 官学
 カンカツ 管轄 寛*闊
 カンカン 感官 漢*奸 観艦<~式>
 看貫 *侃々<~譁々> 閑々
 <悠々~> 管間<~斜め距離>
 <工>
 カンガン 汗顔 *宦官<史>
 カンキ 寒氣 乾季 勘氣 官紀 官記
 喚起 換氣 歛喜
 カンギク 観菊 寒菊
 カンキョク 観客 閑却
 カンキュー 緩急 緩球<速> 感泣 官
 給 乾球<~溫度計・~法>
 <理・工・建>
 カンキョ 閑居 官許 管きょ<~掃除
 機><工>
 カンキョー 環境 感興 艦橋
 カンギョー 官業 勧業 寒行
 カンキン 官金 換金 監禁 看*經
 <仏> *桿菌<医>
 ガンキン 元金 *賈金
 カンク *艱苦 甘苦 管区
 ガング *玩具 *頑愚
 カンケイ 寛刑 *奸計 艦型 関係 還
 啓 簡*勁 管系<~図><工>
 カンゲキ 間*隙 感激 観劇
 カンケツ 完結 間欠 簡潔 緩結<~
 剤><建>
 カンゲツ 観月 寒月
 カンケン 官憲 官権 管見 乾藹<農>
 カンゲン 換言 甘言 *諫言 閑言 還元
 管弦 寛政 乾玄(*舷)<工>

ガンケン 眼*瞼 *頑健
 カンコ 歛呼 *鹹湖<地>
 カンゴ 看護 観護 閑語 漢語
 カンコー 慣行 敢行 官公 刊行 勘考
 勘校 観光 感光 完工 還幸
 緩行 *箱口 勧降 寛厚 寛*宏
 甘*永<理> 貫孔<~作用>
 <工> 緩硬<~性熱硬化物>
 <理・工> 寒向<~期><天>
 環孔<~材><植・建>
 カンゴー *嵌合 勘合
 ガンコー 眼光 眼孔 *雁行
 カンゴエ 寒肥 *膺声(甲声) 寒声
 カンコク 寒国 官刻 勧告
 カンコツ 換骨<~奪胎> *顚骨
 カンコン 冠婚<~葬祭> 還魂 間混
 <~作><農>
 カンサ 鑑査 監査 勘査 *奸詐
 カンサイ 関西 艦載 漢才 完済
 カンザイ 管財 官財 寒剂<理>
 カンサク *奸策 間作<農>
 カンサツ 鑑札 観察 監察
 カンサン 換算 閑散 甘酸
 カンシ 監視 環視 *瞰視 看視 *諫
 止 *諫死 干支 敢死 *鉗子
 <医> 冠詞 漢詩
 カンジ 幹事 監事 感じ 漢字 *莞
 *爾 冠辭<文>
 カンシキ 鑑識 乾式<~構造><鉦・
 建> 漢式<建> カン式<~氷
 (canice)><工>
 カンシツ 乾湿 乾漆
 カンシャ 官舎 感謝 甘*蔗
 カンジャ 患者 問者 観者
 カンシャク *癰*癰 官爵
 カンシュ 看守<法> 看手 看取 艦首
 卷首

カンジュ 甘受 感受 官需 汗^{*}濡<〜
 の危険(船荷)> 貫首<仏>
 ガンシュ 願主 ^{*}癌^{*}腫
 カンシュ 監修 官修 慣習 観衆 官
 臭 環周<〜抗力係数><工>
 カンシュク 慣熟 完熟
 カンショ 甘^{*}諸 甘^{*}蔗 寒暑 官署
 カンジョ 寛^{*}恕 緩徐 官女 漢書
 ガンショ 願書 願所
 カンショ 感傷 鑑賞(觀賞) 感賞
 観照 干涉 勧奨 勧商 完勝
 観象 冠省 緩衝 環礁 ^{*}奸商
 官省<諸へ> ^{*}疳症 簡^{*}捷
 カンジョー 冠状 環状<〜線> 管状
 <〜表示器><工・鉦> 感情
 感状 艦上 干城 勧[◎]請 勘
 定
 ガンショ 岩礁 岩^{*}漿<地> 岩床
 <地> 含晶<〜油><理>
 カンショク 官職 閑職 間色<理> 寒
 色<理> 感触 間食
 カンジル 感じる 観じる
 カンシン 歡心(甘心) 関心 感心 寒
 心 ^{*}奸臣 ^{*}諫臣
 カンジン 閑人 漢人 ^{*}韓人 勧進 肝
 心 寛仁 観心<仏>
 カンスイ 冠水 ^{*}灌水 換水<〜ロ>
 <工> ^{*}鹹水 完遂 寒水<〜
 石><建・農>
 カンスー 巻数 関数<数>
 カンスル 関する 冠する ^{*}爛する ^{*}減
 する ^{*}姦する
 カンセイ 完成 管制 喚声(^{*}喊声)
 歓声 ^{*}軒声 官製 監製 艦政
 官制<法> 感性 慣性<理>
 乾性<理> 乾生<植> 間性
 <動・植> 緩性<理> 貫生

<植> 乾製 管井<水道>
 <工> 閑静
 カンゼイ 関税 間税<間接税>
 ガンセイ 眼精<医> 眼^{*}睛
 カンセキ 漢籍 艦籍<軍>
 カンセツ 関節 間節<工> 環節 間接
 カンセン 幹線 幹川 艦船 管船 官選
 (官^{*}撰) 感染 観戦 汗せん
 (^{*}腺)<動>
 カンゼン 勧善<〜懲惡> 完全 敢然
 間然
 カンソー 感想 観相 観想<仏> 間奏
 <音> 乾草 乾燥 歓送 完走
 換装<工> 還送
 カンゾー 甘草 ^{*}萱草 肝臓
 カンソク 観測 緩速<理> 管足<動>
 管束<植>
 カンソン 寒村 官尊<〜民衆>
 カンタイ 艦隊 艦体 緩怠 寛怠 歓待
 寒帯<地> 環帯<植>
 カンタク 干拓 官宅
 カンタン 感嘆 簡単 肝胆<〜相照す>
^{*}邯^{*}鄲<〜の夢>
 カンダン 閑談 歓談 寒暖 間断
 カンチ 閑知 感知 換置 換地<法>
 官地 寒地 閑地 乾地 官治
 監置<法> ^{*}奸知
 カンチュ 寒中 閑中 巻中
 カンチャ 艦長 館長 干潮 冠潮 感
 潮<工> 官長 ^{*}翰長 管長
 <仏> 貫長<仏> 間^{*}諜 ^{*}浣
 腸 勧懲 ^{*}灌頂<仏>
 カンツ 貫通 ^{*}姦通
 カンテイ 官邸 艦艇 艦底 鑑定 ^{*}戡
 定
 カンテツ 貫徹 環鉄<〜法><工>
 カンテン 干天 寒天 観点 官展 乾点

<理>
 カンデン 感電 乾電 乾田
 カント 官途 カント<cant><工>
 カンド 感度 乾土 漢土
 カントー 完投 敢闘 官等 関東 巻頭
 関頭<〜に立つ> 竿頭<百尺
 〜> 間投<〜詞> 乾稻 管頭
 <〜金物><工> 寒冬<〜多
 雪><天>
 カンドー 間道 官道 貫動<動> 緩動
 <工> 勘当 感動 管胴<〜
 村><工>
 ガントー 岸頭 *巖頭
 カントク 監督 感得
 カンナ *鉋 カンナ<canna>
 カンナイ 管内 館内 艦内 棺内
 カンナン *艱難 患難
 カンニュー 貫入<鉋> *嵌入 陥入
 <動> 観入
 カンネン 觀念 緩然<〜性・〜導火線>
 <建・工> 刊年<図> 乾燃
 <〜室><工>
 カンノー 官能 勸農 完納 感応 堪能
 間脳<生・動>
 カンノムシ *瘡の虫 *痢の虫
 カンパ 寒波 カンパ<資金〜> 看破
 カンバイ 観梅 寒梅
 カンパイ 乾杯 完敗 完配 感*佩
 カンパツ *旱*魃 間伐 簡拔
 カンパツ *煥発<才気〜> *煥発
 カンパン 看板 *欄番 甲板<工> 管
 板<工>
 カンパン 甲板 乾板<理> 乾パン 官
 版 干犯
 カンビ 巻尾<図> 艦尾 完備 甘美
 カンビ 官費 乾皮
 カンブ 患部 幹部

カンブ *姦夫 *姦婦 *奸婦 *焊婦
 *裸夫 官府 乾布 完膚<〜な
 きまで> 還付
 カンブー 寒風 観*楓 乾風<鉋> 完
 封
 カンブク 官服 感服
 カンブツ 乾物 官物 *奸物 換物 *灌
 仏<仏>
 ガンブツ *賈物 *玩物
 カンベイ 観兵 官幣
 カンベキ *完壁 *痼癖
 ガンベキ 岸壁 岩壁
 カンベン 勘弁 簡便
 カンボー 官房 監房 感冒 間紡<工>
 観望
 カンボー 官報 漢方 簡法 艦砲 観法
 <仏>
 ガンボー 願望 顔*貌
 カンボツ 陥没 官没
 カンボン 完本 刊本 官本 監本
 カンマン 干満 緩慢
 カンミ 甘味 *鹹味
 カンメイ 官名 艦名 官命 漢名 簡明
 感銘
 ガンメイ *頑迷 (*頑*冥)
 ガンメン 顔面 岩綿<理>
 カンモチ 寒*餅 *痲持ち
 カンモン 関門 喚問 環紋<植> 肝門
 <動>
 カンヤク 完訳 簡訳 漢訳 簡約
 カンユ 肝油 乾油 換*喻
 カンユー 官有 勧誘
 カンヨー 慣用 *涵養 肝要 寛容 官
 用 換用 簡要 観葉<〜植物>
 間葉<動> 管用<工>
 カンラク 歛楽 陥落 乾酪
 カンラン 甘*藍 *瞰*觀 観覧

カンリ 管理 官吏
 ガンリキ 眼力 願力
 カンリュウ 寒流 緩流 貫流 還流 環
 流 乾留<理・鉱>
 カンリョウ 官僚 完了 管領<史>
 カンリン 官林 *翰林
 カンレイ 慣例 寒冷 艦齡 *函*嶺
 カンレキ 還曆 官歴
 カンロ 甘露 管路<工>
 ガンロー *玩*弄 *頑*陋 含ろう(*蠟)
 <~油><理>
 カンワ 漢和 緩和 閑話 官話
 <キ>
 キ 己 *癸 木 季 期 記 紀
 軌(*揆)<~を一にする> 氣
 <~がつく> 奇<~をてらう>
 基<理> 黄
 ギ 議 義 技 *誼 儀<その
 ~>
 キアツ 氣圧 汽圧
 キイ 奇異 貴意 忌*諱<~にふれ
 る>
 キイン 基因 起因 氣韻 棋院 貴院
 ギイン 議院 議員 偽印
 キウルシ 生漆 黄漆
 キウン 氣運(機運)
 キエイ 機影 鼎常 *虧*盈 氣鋭
 キエン 機縁 奇縁 氣炎 輝炎<理・
 工>
 キオー 既往 氣負う
 キオン 氣温 基音<音>
 キカ 貴下 貴家 机下 奇禍 奇貨
 帰化 旗下 幾何 氣化 奇価
 <~元素><理>
 キガ 起*臥 帰*臥 飢餓
 キカイ 機械(器械) 機会 貴会 奇
 怪 氣塊<天>

キガイ 氣概 危害 機外
 ギカイ 議會 義解
 キカク 規格 企画 棋客 奇核<理>
 キガク 器楽 貴学
 キカン 汽*罐 機関 既刊 季刊〔希
 *観〕 氣管<生・動> 器官
 <生・動> 帰還 帰艦 帰館
 貴官 貴*翰 貴館 旗艦 期間
 基幹 *亀鑑 奇観 飢寒 軌間
 <工> 氣乾<~性セメント>
 <工>
 キガン 奇岩(奇*巖) 輝岩<鉱>
 帰*雁 祈願
 キカンシ 機関士 汽*罐士 機関紙 機
 関誌 季刊誌 氣管支
 キキ 機器 汽機 危機 鬼氣 *利
 き 既記 記紀<~万葉> *嬉
 ヌ 奇々
 キギ 木々 機宜
 ギギ 疑義 擬議 *巍々
 キキテ 聞き手 *利き手
 キキドコ 聞き*所 *利き*所
 キキヤク 棄却<法> *毀却<法> 棋
 客
 キキュー 希求 企及 帰休 危急 氣球
 既給 *欸泣
 キキョ 起居 寄居 帰居 *跪居
 キキョウ 帰京 帰郷 氣胸 *桔*梗 奇
 *矯
 キギョウ 企業 機業 起業 基業
 キキョク 危局 貴局 棋局
 キキン 飢*饉 基金
 ギキン 義金 偽金
 キキンゾク 貴金属 希金属
 キク 起句 奇句 規*矩 菊 危*懼
 聞く(*聴く) *効く(*利く)
 キグ 機具(器具) 危*惧

キグー 奇遇 寄[×]寓
 キクズレ 着[×]崩れ 気[×]崩れ[<]経[>]
 キグミ 気組み 木組み
 キケイ 奇形 奇警 奇計 [×]詭計 貴
 兄
 ギゲイ 技芸 ([×]伎芸)
 キケツ 帰結 既決 起結
 キゲツ 期月 [×]虧月 忌月
 キケン 危険 棄権 貴顕 気圏 帰県
 キゲン 起源 紀元 期限 機[×]嫌
 ギゲン 偽言 戲言
 キコ 騎[×]虎[<]〜の勢い[>] 旗鼓[<]〜
 堂々[>]
 キゴ 奇語 季語 [×]綺語
 キコー 寄港 寄航 帰港 帰航 起工
 帰校 騎行 紀行 奇行 奇効
 奇功[<]〜を奏する[>] 寄稿 起稿
 気候 季候 貴校 貴公 帰降
 帰耕 機構 紀綱 希[×]観 機甲
 機工[<]機械工業[>] [×]亀甲 氣孔
[<]生・植[>] 氣硬[<]〜性セメン
 ト[>][<]工[>]
 キコーチ 寄港地 既耕地
 キゴー 記号 帰郷 揮[×]毫
 ギョー 技巧 技工[<]齒科^{〜>}
 キコク 貴国 帰国 鬼[×]哭[<]〜啾々[>]
 キコツ 奇骨 氣骨
 キコン 既壘 既婚 氣根 機根 基根
 キザ 起座 帰座 危座 [△]氣[△]障
 キサイ 起債 既済 既裁 記載 鬼才
 奇才
 キザイ 機材 (器材) 器財
 キサキ [◎]后 氣先[<]経[>]
 キサク 奇策 [×]詭策 氣さく[<]〜な[>]
 キサン 起算 帰参 帰山 揮散[<]〜物
 質・〜力[>][<]理・工[>]
 キシ 貴紙 貴誌 棋士 騎士 奇士

[×]愧死 起死[<]〜回生[>] 旗[×]幟
[<]〜鮮明[>]
 キジ 生地 ([◎]素地) 木地 記事
[×]雉子
 ギシ 義[×]肢 義齒 義姉 義子 義
 士 技師 擬死[<]動[>]
 ギジ 議事 疑似 擬[×]餌
 キシツ 氣質 基質 氣室[<]植[>]
 キジツ 期日 忌日
 キシヤ 貴社 記者 汽車 帰社 喜捨
 騎射
 キジャク 着尺 帰寂[<]仏[>]
 キシュ 騎手 旗手 奇手 帰趣 機首
 起首
 キジュ 喜寿 [×]耆儒
 ギシュ 義手 技手
 キシュ一 奇習 既習 奇襲
 キシュ一 機銃 騎銃 帰從 寄住
 キシュク 寄宿 帰宿 [×]耆宿
 キジュツ 記述 既述 奇術 [×]詭術
 キジュン 基準 (規準) 帰順
 キシヨ 貴書 奇書 希書 棋書 寄書
 帰所 貴所
 キシヨ 貴女 鬼女 機[×]杼
 ギシヨ 偽書 戲書
 キシヨ一 氣性 氣象 記章 奇勝 起床
[×]毀傷 起[◎]請 奇[×]捷 希少
 キシヨ一 机上 機上 軌条 騎乗 帰城
 氣丈 汽釀[<]〜試験[>][<]工[>]
 ギシヨ一 偽称 偽証
 ギシヨ一 議場 議定 儀[×]仗
 キシヨク 喜色 氣色 基色 機織 寄食
 キシン 貴信 鬼神 貴紳 帰心[<]〜矢
 のごとし[>] 寄進
 キジン 貴人 奇人 [×]杞人[<]〜の憂
 い[>] 帰陣
 ギシン 疑心 義心

ギジン 義人 擬人
 キス *鱗 キス<kiss> 期す 帰す
 キズ 生酢 木酢 傷
 キスイ 既遂 汽水<～分離器><工>
 キズイ 氣随 奇*瑞
 キスー 奇数 基数 記数<～法><数> 帰*趨
 キズク 氣づく 築く
 キズリ 木*摺り 生*磨り
 キスル 期する 帰する
 ギスル 擬する 議する
 キセイ 規制 期成 既成 既製 棋聖
 棋勢 奇声 氣勢 祈誓 祈請
 希世 寄生 帰省
 ギセイ *犠牲 擬制 擬勢 擬声 擬製
 キセキ 奇跡 鬼籍 奇石 軌跡<数> 輝石<鉱>
 キセツ 季節 氣節 既設
 キゼツ 氣絶 奇絶
 キセル △煙△管 着せる *被せる
 キセン 汽船 機船 貴*賤 機先<～を制す> 輝線<理> 基線<工>
 キゼン *毅然 *喟然
 ギゼン 偽善 *巍然
 キソ 基礎 起訴
 キソー 貴相 奇相 貴僧 奇想 起草
 氣相<理> 氣送<工> 貴層<工>
 キゾー 寄贈 寄藏<(受寄藏匿)～罪>
 ギゾー 偽装 (擬装) *鏡装
 キソク 規則 氣息 *驥足<～を伸ばす>
 キゾク 貴族 帰属
 ギソク 義足 偽足<動>

キソン 既存 帰村 *毀損 *虧損
 キタイ 希代 奇態 氣体 機体 期待
 危*殆<～に瀕する> 基体<理・植>
 キダイ 季題 寄題 希代
 キタク 貴宅 帰宅 寄託
 キダス 来出す 着出す
 キタン 忌*憚 輝炭<鉱>
 キダン 奇談 氣団<天> 基壇<建>
 キチ 基地 危地 貴地 機知 既知
 *竊知 吉
 キチヨー 帰朝 帰庁 記帳 基調 貴重
 機長
 キチン キチン<kitchen> キチン
 <chitin><植>
 キツケ 着付け 氣付
 キッコー *亀甲 *拮抗
 キッサ 喫*茶 *譎詐
 キッスイ *生粹 喫水<工・法>
 キップ 切符 氣*風
 キテイ 規定 既定 基底 汽艇 旗
 *亭 貴弟 起程<～点><工>
 ギテイ 義弟 識定
 キテン 起点 基点 機転 輝点<鉱>
 貴店 岐点<工>
 キデン き(*鎖)電<工> 帰電<～線><工> 起電<工・鉱> 貴殿
 ギテン 疑点 儀典
 キト 帰途 企図
 キド 木戸 喜怒 輝度<鉱・建・工> 希土<～類金属><鉱・理>
 キトー 貴答 祈*禱 既倒<～にめぐらす> 汽筒 *亀頭<生>
 キドー 軌道 氣道<生・植> 起動
 機動 輝銅<鉱> 氣動<～車>

<工・建>

キトク 危篤 既得 奇特 (奇篤)
 キドリ 気取り 木取り<建>
 キナイ *畿内 機内
 キナレル 来慣れる 着慣れる
 キニクイ 着*悪い 来*悪い
 キヌバリ 絹針 絹張り
 キネン 記念 祈念 紀年<史>
 キネンサイ 記念祭 祈念祭
 キノー 機能 帰納 既納 帰農 気の
 う (*囊) <動> ^昨^日
 キバ *牙 騎馬 木場
 キハイ *跪拝 気配<経>
 キハク 気*魄 希薄
 キハツ 揮毫 既毫
 キハン 規範 (軌範) *驕*絆<~を脱
 する> 機帆 帰帆 帰*阪
 キバン 基盤 机盤<工>
 キヒ 忌避 基肥<農>
 キビ 機微 *驥尾<~に付して>
 *黍
 キヒン 気品 気*稟 貴賓
 キフ 寄附 棋譜
 ギフ 義父 *妓夫
 キフー 気風 棋風
 キフク 帰伏 *跪伏 起伏 軌幅 気
 服<医>
 キブリ 着振り 木振り
 キブン 奇聞 記聞 (紀聞) 気分
 キヘン 机辺 貴辺
 キベン *詭弁 旗弁<植>
 キホー 既報 貴報 貴方 気泡 気胞
 <動> 機*鋒 機砲<軍> 起
 泡<~劑><鉦・建>
 キボー 希望 *毀*謗 企望 企謀 奇
 謀 *詭謀 危亡 飢乏
 ギホー 技法 儀法

キマイ 期米 貴妹
 キミ 黄味 気味 黄身 君
 キミツ 機密 気密<~室>
 キミョー 奇妙 帰命<仏>
 キメ 決め 木目
 キメイ 記名 貴名 記銘<心>
 キモン 鬼門 気門<動>
 キヤクイン 客員 脚韻<文>
 キヤクシャ 客車 客舎
 ギヤクシン 逆心 逆臣
 ギヤクト 逆徒 逆*賭<~しりたい>
 キャッカ 脚下 却下
 キユー *杞憂 希有<~金属><鉦>
 キュー 急 級 旧<~に復する> 九
 球<~関数><数> *灸 弓
 キュー <cue> *笈<~を負う
 て>
 キューイン 吸引 吸飲
 キューエン 救援 求援 求縁 旧縁 旧
 縁 旧*怨 *仇*怨 休演
 キューカ 旧家 休暇 球果 (球花)
 <植>
 キューカイ 九回 体会 球界 旧懷
 キューカン 旧館 休館 旧刊 休刊 急
 患 旧慣 旧観 休閑<農>
 *嗅官<生> 球*竿<運>
 キューキ 旧記 旧規 吸気 吸器<植>
 給気<~口><建> 求基<~
 的><植>
 キューギ 旧*誼 球技
 キューキュー 救急 きゅうきゅう<~い
 わせる> *汲々
 キューキョ 旧居 急*遽
 キューキョー 窮境 旧教 究*竟
 キューギョー 休業 旧業
 キューキョク 窮極 (究極)
 キューキン 給金 球菌<医>

キューケイ 弓形 球形 休憩 求刑 球

茎<植>

キューゲキ 旧劇 急激 急撃

キューケツ 吸血 給血 *灸穴 球欠

<数> 急結<~セメント>

<建>

キューコー 休校 休講 休航 急行

*躬行 旧交 旧稿 休耕 救

荒 急硬<~剂><建>

キューゴ 糾合 旧号

キューコク 救国 旧国 急告 泣*哭

九国

キューコン 球根 吸根<植> 求婚 窮

困

キューサイ 救済 救災 旧債

キューサク 旧作 窮策

キューシ 急死 窮死 球史 旧史 旧

*址 旧師 *灸師 急使 休止

九死<~に一生を得る> 給資

急施<法> *臼齒

キュージ 給仕 *灸治

キューシツ 吸湿<建・理> 給湿<建・

理>

キューシヤ *厩舎 *鳩舎 休車 *柩車

キューシユ *鳩首 旧主

キューシユ 吸収 急襲 旧習

キュージュツ 弓術 *灸術 救*恤

キューシヨ 急所 *灸所

キューシヨ 旧称 急症 求償 九章

キュージョ 球場 宮城 休場 窮状

旧情 球状

キューシヨク 休職 求職 給食

キューシン 休診 急診 球審 旧臣 急

進 急信 休神 丘*疹<医>

求心<理> 球心<数>

キュージン 求人 球人 旧人 吸*塵

九*仞<~の功> 吸尽<~

度><理>

キュース 急*須 休す 窮す

キュースイ 給水 吸水<建・理> 休

*鍾<経>

キュースル 窮する 給する

キューセイ 救世 旧制 旧姓 急性 急

*逝 九星 旧*棲 旧製 糾正

キューセキ 旧跡 休*戚<利害> 求

積<数>

キューセツ 旧説 急設

キューソ 泣訴 窮*鼠

キューソー 急送 給桑<農>

キューゾ 急造 急増 吸蔵<理>

キューソク 球速 休息 急速

キュータイ 旧態 球体 球帯<数> 給

体<理>

キューダイ 及第 旧題 休題

キューダン 球団 糾弾 急談 急断<~

試験><理>

キューチ 旧知 旧地 窮地

キューチョ 級長 急調 急潮<天>

窮鳥

キューツイ 急迫 窮迫

キューテイ 宮廷 休廷 泣*涕

キューテン *灸点 旧典 急転

キューデン 宮殿 休電 給電 急電 旧

伝 給田<史>

キューテンカイ 急転回 急展開

キュート 旧都 窮途

キュート 旧冬 旧*套<~を脱する>

急騰

キュードー 求道 旧道 球道 弓道

ギュート 牛刀 牛痘<農>

キューナン 救難 急難

キューニユ 吸入 *嗅入<~薬>

キューハ 旧派 急派

キューハイ 朽靡 休靡 九拝

キューハク 急迫 窮迫 休泊
 キューハン 急坂 旧藩
 キューヒ 給費 *厩肥<農> 球皮<理
 ・工>
 キューヒ 牛皮 *求肥
 キューフ 給付<法> 給布<理>
 キューホー 旧法 急報 *臼砲
 キューミン 窮民 救民 休眠<動>
 キューメイ 究明 糾明 救命 旧名
 キューヤク 旧訳 旧約<~聖書>
 キューユウ 旧友 級友
 キューヨ 給与 窮余
 キューヨウ 急用 休養 給養 *嗅葉
 <生>
 キューライ 旧来 救*頼
 キューラク 急落 及落
 キューリョウ 給料 丘陵 旧領 救療
 休漁
 キューレキ 球歴 旧暦
 キヨ *毀誉<~褒貶> 寄与
 キヨ 举<~に出る> 虚<~をつ
 く> *渠<~成って水至る>
 居<~をかえる>
 キヨウ 起用 器用 来様 気業<植>
 キョウ ^今日 興 境 凶 経 京
 ギョウ 儀容 技*癢
 ギョウ 行 業
 キョウアク 凶惡 (*梟惡)
 キョウイ 驚異 脅威 胸囲 教委<教育
 委員会>
 キョウイクチョウ 教育庁 教育長
 キョウエイ 競泳 胸泳 共榮 競映
 キョウエキ 共益 享益
 キョウエン 共演 競演 *饗宴 *嬌*艶
 キョウオー 供応 胸輿 *葦黄<~紙>
 <農>
 キョウカ 教化 強化 教科 狂歌 *嬌

歌 供花 橋下 共架<~柱>
 <工>
 キョウカイ 協会 教会 境界 教戒 胸
 懷
 ギョウカイ 業界 凝塊 凝灰<鉱>
 キョウカク *俠客 胸郭 狹角<~レン
 ズ> 共角<数>
 キョウガク 共学 教学 驚*愕 郷学
 <史>
 ギョウカク 仰角 *曉*确
 キョウカン 教官 凶漠 郷関 経巻 共
 感 共管<~事項> 叫喚<阿
 鼻~> 胸間
 キョウキ 狂気 *俠氣 凶器 驚喜 狂
 喜 強記<博覧~> 狹軌<~鉄
 道>
 キョウギ 教義 狹義 協議 共議 競技
 経木<建>
 ギョウギ 行儀 凝議
 キョウギカイ 協議会 競技会
 キョウキュー 供給 *匡救
 キョウキョウ *兢々<戦々~> *恂々
 <人心~>
 キョウギョウ 競業 協業<経>
 キョウク 教区 狂句 恐*懼
 ギョウケイ 行啓 行刑<法>
 キョウゲキ *挾撃 *矯激
 ギョウケツ 凝結 凝血
 キョウケン 強肩 強健 恭謙 恭儉 強
 堅 強権 教権 狂犬
 キョウコウ 強行 強硬 強攻 恐慌 凶
 荒 凶行 狹*巷 恐*惶 胸こ
 う (*腔)<生・動>
 キョウゴウ 強豪 (強剛) *校合 競合
 <法> 共合<~行為>
 ギョウコウ 行幸 *曉*倖 曙光
 キョウコク 強国 峡谷

キョーコツ ×俠骨 輕×忽(輕骨) 胸骨
 <生・動> ×煩骨<生>
 キョーサ 教唆<法> ×誑詐
 キョーサイ 共済 共催 恐妻
 キョーザイ 教材 共在
 キョーサク 凶作 競作 狹×窄
 キョーサツ ×挾殺 恐察
 キョーサン 共產 協賛 強酸<農>
 キョーシ 教師 教士 教示 教旨 ×矯
 姿 ×驕×肆(×驕×侈) 狂詩 狂
 死
 キョーシ 凶事 ×矜×恃 ×驕兒 教示
 経師 ×脇侍<仏> 強磁<〜性
 体><鉦>
 ギョーシ 凝視 仰視 凝脂
 ギョーシ 行事 行司
 キョーシヤ 強者 狂者 狹斜 ◎香車
 ×驕奢
 キョーシュ 興趣 凶手<〜にかかる>
 ×拱手<〜傍觀> ×梟首
 キョージュ 教授 享受
 ギョーシュ 業主 業種
 キョーシュー 郷愁 ×嬌×羞 強襲 教習
 ギョーシュー 凝集(凝×聚)
 キョージュツ 供述<法> ×矜×恤
 キョージョ 狂女 ×俠女 共助<法>
 キョーショウ 狹小 協商<法> ×嬌笑
 ×梟將 胸章 胸×墻 <軍>
 共晶<鉦・理・工> 橋床
 <工>
 キョージョウ 教場 教条 凶状 橋上
 ギョーショウ 行商 ×驍將 曉鐘
 キョーショク 教職 ×矯飾 狹食<〜性>
 <動>
 キョーシン 狂信 恭慎 協心 ×驕臣
 ×俠心 共進 供進 強震 共
 振<建・理・工>

キョージン 狂人 凶刃<〜に倒れる>
 強×鞏
 キョーセイ 強制 強請 ×矯正 ×匡正
 ×嬌声 教生 共生<動・植>
 ギョーセキ 業績 行跡
 キョーゼン ×饜膳 ×恂然
 キョーソ 教組 協組 教祖
 キョーソー 競争 競走 競×漕 狂想
 狂騷(狂×躁) 強壯
 キョーゾー 胸像 経蔵 鏡像<理・数>
 キョーソーキョク 協奏曲 狂奏曲
 キョーソク ×脇息 教則
 キョーダ 強打 ×怯×懦
 キョータイ 狂態 ×嬌態 狂体
 キョーダイ 兄弟 鏡台 橋台<工> 経
 題 強大
 ギョータイ 凝滞 凝体 業態
 キョータク 教卓 供託
 キョータン 驚嘆 きょう(×挾)炭<鉦>
 キョーダン 教団 教壇 凶彈
 キョーチュウ 胸中 ×筐中
 キョーチュウ 協調 強調 凶兆 狹長
 キョーツー 共通 胸痛
 キョーテイ 胸底 ×篋底<〜に秘す>
 教程 競艇 協定
 キョーテキ 強敵 ×梟敵 狂的
 キョーテン 教典 經典 狂×顛 驚天
 <〜動地>
 ギョーテン 暁天 仰天
 キョート 教徒 凶徒
 キョード 郷土 強度 ×匈奴<史>
 キョートウ 教頭 郷党 橋頭<〜堡>
 共闘 驚倒 経塔 鏡筒<工>
 凶刀
 キョードー 共同(協同) 協働 教導
 ×嚮導 経堂
 キョーネン 凶年 享年 強粘<〜結炭>

<鉦>

キョーバイ 競売 競買
 キョーハク 強迫 (脅迫)
 キョーハン 共犯 橋*畔 教範 共販
 キョーフ 恐怖 驚怖 教父
 キョーフー 強風 *矯風 京風
 キョーブシ 凶聞 狂文
 キョーベン 教*鞭 強弁
 キョーホ 競歩 強歩
 キョーボー 共謀 狂暴 凶暴 強暴
 ギョーボー 仰望 *翹望
 キョーホン 教本 狂奔
 キョーマイ 供米 京舞
 キョーマク 胸膜<生> *鞏膜<生>

強膜<動>

キョーム 教務 凶夢
 キョーメイ *矯名 共鳴
 キョーモウ 狂*妄 凶猛 *梟猛
 キョーモノ 京物 京者
 キョーモン 教門 經文 凶問 橋門

<工>

キョーヤク 協約 共役<~点・~応力>
 <理・工・数・鉦>
 キョーユウ 共有 享有 *梟雄 *俠勇
 キョーユウ 共用 強要 供用 教養
 キョーラク 享楽 競落<~価格> 京

*洛

キョーラン 狂*瀾<~怒濤> 狂乱 供
 覧
 キョーリ 郷里 教理 胸裏
 キョーリョウ 橋*梁 狹量
 キョーリョク 強力 協力
 キョーレン 教練 狂恋
 キョーワ 共和 協和
 ギョエン 御*苑 御宴
 キョカ 許可 *炬火
 ギョカ 漁火 漁家 漁歌

キョカン 巨漢 巨艦

キョク 極 巨*軀 局<~に当たる>
 曲<~がない>

ギョク 漁区 玉

キョクゲン 極限 局限 極言 曲言

キョクショー 極小(極少)

キョクセイ 局勢 極性<数・植・工>

曲生<植> 極星<~緯度法>

<工>

キョクセツ 曲折 曲節

キョクセン 曲線 極線<数・建> 局線

<~電話機><工>

キョクチ 極地 局地 極致

キョクチャー 局長 曲調

キョクホウ 局方 局報

キョクメン 局面 曲面<数>

キョクフ 曲譜 局譜

キョクロン 極論 曲論

キョコウ 虚構 举行

キョシ 巨資 巨視 拒止 挙止 *鋸

齒<~状の><植>

キョジ 虚辞 虚字

キョシュ 挙手 拗守

キョシュウ 去秋 去就

キョジュウ 居住 巨獸

キョショウ 巨匠 巨鐘 拳証 *裾礁

<地>

ギョショウ 魚商 魚礁

キョセイ 巨星 虚勢 去勢

キョセキ 巨石 拒斥

キョタン 虚誕 *祛*痰<医>

キョツコウ *旭光 極光

キョトウ 巨頭 巨*濤 挙党 去冬

キョヒ 拒否 許否 巨費

キョホウ 虚報 巨砲

キョヨウ 許容 挙用

キョリ 距離 巨利

キョレイ 虚礼 举例
 ギョロー 漁労 魚^{*}蝦
 キラ ^{*}綺^{*}羅 [△]雲[△]母
 キライ ^{*}嫌^い 归来 機雷
 キラク 帰^{*}洛 気楽
 キリ 霧 ^{*}桐 キリ<ピンから～ま
 で> きり<経> 切り<能楽>
^{*}鉦<建>
 キリズミ 切り炭 切り[°]角 切り墨
 キリン 規律 起立
 キリツギ 切り継ぎ 切り[°]接ぎ<農>
 キリュウ 寄留 気流 機流<工>
 キリョウ 器量 気量<鉦>
 ギリョウ 技量 議了 ^{*}蟻量<農>
 キリョク 気力 汽力<～発電所> 機力
 棋力
 キル 切る 着る
 キレシ 切れ地 切れ^{*}痔 切れ字
 <文>
 キレモノ 切れ者 切れ物
 キロ 帰路 岐路 キロ
 キン 金 禁<～を犯す> 菌
 キンアツ 禁圧 禁^{*}遏 均圧<～母線>
 <工>
 キンエイ 近影 近詠 禁衛
 キンエン 禁煙 禁^{*}苑 禁^{*}厭 筋炎 金
 円
 キンカ 金貨 近火 金科<～玉条>
^{*}槿花<～一朝の夢>
 キンカイ 金塊 ^{*}襟懷 ^{*}欣快 近海
 キンガク 金額 菌学<植>
 キンカン 近刊 金環<～食><天> 金
 冠 金^{*}柑
 キンキ ^{*}欣喜<～雀躍> 禁忌 ^{*}錦旗
 キンギョ 金魚 禁漁
 キンギョウ 近業 ^{*}欽仰
 キンキン 近々 ^{*}僅々

キンク 禁句 金句 キンク<kink>
 <工>
 キンケツ 金穴 金欠<～病> 禁^{*}闕
 キンケン 金権 金券 勤儉 近県
 キンゲン 謹言 金言 謹跋 筋原<動>
 キンコ 近古 今古 金庫 禁^{*}鋼
 キンコー 金鈿 金坑 近郊 均衡 ^{*}欣
 幸 謹厚
 ギンコー 銀鈿 銀坑 銀光 銀行 吟行
 キンゴク 近国 禁獄
 キンコン 金婚 緊^{*}禪<～一番> 菌根
 <植>
 キンサク 近作 金策
 キンサツ 禁札 金札<史>
 キンシ 禁止 近視 金糸 金枝<～玉
 葉> 金^{*}鵝 菌糸<植・建>
 キンシ 近似 金字 近時 [^{*}矜^{*}恃]
 キンシツ 均質 琴^{*}瑟<～相和す>
 キンシャ 金砂 金^{*}紗 きん車<snatch-
 block><工>
 キンシュ 金主 禁酒 筋^{*}腫<医> 菌
 株<植> 菌種<農> 金朱<工
 芸>
 キンジュウ ^{*}禽獸 近習 近^{*}什
 キンショ 禁書 謹書
 キンシュウ ^{*}僅少 金将<将棋> 近称
 <言> 筋しょう(^{*}鞆)<動>
 キンジョウ 近状 今上 ^{*}錦上<～花を
 添える> 金城<～湯池>
 ギンジョウ 吟唱 吟^{*}嘯 銀将<将棋>
 キンシン 近親 近臣 謹慎
 キンセイ 禁制 謹製 金製 均^{*}齊(均
 整) 均勢<～を破る> 金星
 近世
 キンセツ 近接 緊切
 キンセン 金錢 琴線 謹選(謹^{*}撰)
 均染<理>

キンソー 謹奏 金相<～学><鉦>
 キンソク 禁足 緊束
 キンゾク 金属 勤続
 キンタイ 勤怠 今休 近休
 キンダン 禁断 禁男 金談
 キンチャク *巾着 近着
 キンチャウ 緊張 謹聴 禁鳥<農>
 キンテイ *欽定 禁廷
 キンテン 近点<理> 金点<理> 均
 *涸
 キントー 近東 均等
 キンノー 金納 勤王(勤皇)
 キンバイ 金杯 金*牌
 ギンバイ 銀杯 銀*牌
 キンパク 金*箔 緊迫
 キンピ 金肥<農> 菌被<植>
 キンベン 金ベン 近辺
 キンヨー 金曜 緊要
 キンリ 金利 禁裏
 キンリョー 禁猟 禁漁 斤量<～不足>
 ギンリン 銀輪 銀*鱗
 キンルイ *禽類 菌類
 <ク>
 ク 九 句 苦 区
 グ 具 愚
 クイ 悔い *枕 句意 食い<～が
 悪い>
 クー 空 食う
 クーコー 空港 空孔<理>
 グースル 過する *寓する
 クーセン 空戦 空船
 クーソー 空想 空送
 クーダン 空談 空彈
 クーバク 空爆 空*漠
 クーホー 空砲 空包<空放薬包><軍>
 空胞<動>
 クエン クエン(*枸*櫞)<～酸><理>

苦塩<農>
 クガイ 区外 苦界
 クカン 苦患 苦*艱 苦*諫 区間 苦汗
 <～制度(sweating system)>
 *軀幹
 クギ *釘 区識
 クキョー 苦境 苦況
 クギョー 苦行 *公*卿<史>
 クク 区々 九々
 グケイ 愚兄 愚計
 クゲン 苦言 苦*愚<仏>
 グゲン 愚言 具現
 グコー 愚行 愚考 愚稿
 クサ 草 *瘡
 クサイ 区裁 臭い
 グサイ 愚才 愚妻
 クサリ 鎖 腐り
 クシ *櫛 *串 驅使
 クジ 九時 九字 *籤
 クジュ 口授 口受
 クジュー 苦汁 苦渋
 クシン 苦心 苦辛
 グシン 愚臣 具申
 クズ *屑 *葛
 クセ 癖 *曲<～舞><能楽> ク
 セ<～取り機><鉦>
 クセモノ *曲者 癖者
 グソク 愚息 具足
 クダリ ^行 ^件 下り
 クチュー 苦衷 驅虫
 クチャウ 区長 口調
 クッキョー *究*竟 屈強
 クッシン 屈伸 掘進
 クデン *公田<史> *功田<史> 口
 伝
 クトー 句*読 苦闘
 クドク *功德 口説く

クニク 苦肉<～の策> *狗肉<羊頭
を掲げて～を売る>
クビ 首(*頸)<とっくりの～>
クマ *熊 *隈
グマイ 愚妹 愚*味
クミ 組 苦味<～剂>
クミタテ 組み立て *汲み立て
クム *汲む 組む
クモ 雲 ^蜘蛛
クヨー 供養 九曜<～星>
クラ 倉(*庫・蔵) *鞍
クライ 位 暗い
クラス クラス<class> 暮らす
クラブ クラブ<club> クラブ
<clover> クラブ<～ヒッチ
(clove hitck)><工>
クリ *栗 *割り<～盆> 九里
◎庫裏
クル 来る 繰る *剥る ^佝^偻
<医>
クルー クルー<crew> 狂う
クルミ ◎包み<～式製本> ^胡^桃
クレーム クレーム<cream> クレーム
<経>
クレル 暮れる ◎呉れる *眩れる<目
が～>
クロ 黒 ◎畔
グローブ グローブ<野球> グローブ
<～ランプ>
クロジ 黒字 黒地
クロヌリ 黒塗り ◎畔塗り<農>
クワ 桑 *鋏
クワエル 加える *銜える
クワス 食わす(*銜す)
グン 軍 郡 群
グンイ 軍医 軍衣
グンイタ 訓育 薰育

グンカ 軍歌 軍*靴 郡下
クンカイ 訓戒 訓*誨 訓解
グンガク 軍学 軍楽
グンキ 軍規 軍機 軍旗 軍記
グンケン 郡県 軍権 軍犬
クンコー 君公 君侯 勲功 薰香
グンコー 軍港 軍功
クンコク 訓告 君国
クンジ 訓示 訓辞
グンシ 軍使 軍師 軍資 郡市 郡史
クンジャク 勲爵 訓釈
クンシュ 君主 *葦酒
グンシュ 群衆 群集<動>
グンショ 軍書 群書
グンジョー 軍情 群青<理・建>
クンシン 君臣 勲臣
グンシン 軍神 群臣
グンジン 軍人 軍陣
グンセイ 群生 群*棲 軍制 軍政
グンソー 軍*曹 軍装 群*叢
グンタイ 軍隊 群体<動>
グンダン 軍団 軍談 群団<植>
クントー 薰陶 勲等
グントー 群島 群盗 軍刀
グンビョー 軍票 軍*兵
グンブ 郡部 軍部 群舞
グンボー 軍法 群峰
グンヨウ 軍用 軍容
<ケ>
ケ 毛 気 *卦
ゲ 下 *偈<仏>
ケイ 計 刑 景 *野 兄<大田～>
系<数・動>
ケイイ 敬意 敬*畏 経緯 輕易 *繫
維<～機雷>
ケイエイ 経営 警衛 形影 継泳
ケイカ 経過 軽科 軽課<不当に～>

*螢火 輕荷<工> けい (*珪)
 化<理> 傾下<~性><植>
 ケイカイ 警戒 啓開<水路> 輕快
 ケイガイ 形*骸 *警*咳<~に接する>
 ケイカイセン 警戒線 警戒船
 ケイカク 計画 *主角 傾角<鉦>
 ケイカン *挂冠 *柱冠<~詩人> *荆
 冠 警官 景観 *溪間 *溪*潤
 鶏冠 鶏*姦 徑間<工>
 ケイガン *炯眼 *慧眼 けい (*珪) 岩
 <鉦>
 ケイキ 計器 輕機<軍> 景氣 契機
 刑期 京*畿 掲記 繼起
 ケイキョー 景況 景教<宗>
 ケイグ 刑具 敬具 輕愚<心>
 ケイケイ 輕々 *炯々<眼光>
 ケイケン 經驗 敬*虔
 ケイゴ 警護 警固 刑後 敬語
 ケイコー 傾向 *螢光 携行 景仰 徑
 行<直情> 鶏口<~牛後>
 経口<医> 傾光<~性><植>
 ケイコク *溪谷 警告
 ケイコツ *頸骨 けい (*脛) 骨<動>
 輕*忽
 ケイサイ *荆妻 掲載
 ケイザイ 刑罪 輕罪 經濟
 ケイサツケン 警察権 警察犬
 ケイサン 計算 けい (*珪) 酸<理・鉦>
 ケイン 継子 繼嗣 警視 *罫紙 輕
 視 刑死
 ケイジ 刑事 慶事 兄事 計時 啓示
 揭示 *繫辭<哲> 繼時<~
 性>
 ケインキ 形式 (型式)
 ケイシャ 傾斜 鶏舎 けい (*珪) 砂
 <鉦>
 ケイシュ 警手 景趣

ケイショ 輕傷 輕症 輕少 輕*捷
 *勁*捷 景勝 (形勝) 形象
 警鐘 繼承 敬称 輕*鬆<~
 土><農> 輕焼<~マグネシ
 ア><理>
 ケイジョー 經常 計上 掲上<原案に~
 する> 形状 刑場 敬讓 啓
 上 警乗 傾上<~性><植>
 茎状<~葉><植>
 ケイショク 輕食 慶色 傾触<~性>
 <植>
 ケイシン 敬神 輕震 輕信 敬信 茎針
 <植> 傾震<~性><植>
 徑深<工>
 ケイスー 計数 係数<數・理> 徑数
 <數>
 ケイスル 敬する 慶する
 ケイセイ 經世 警世 形勢 形成 警
 *醒 刑政 傾*城 傾性<植>
 ケイセキ 形跡 経籍 けい (*珪) 石
 <理・建>
 ケイセツ *螢雪 けい (*脛) 節<動>
 ケイセン *罫線 係船<工・法> 経線
 <地> *頸線<生> 傾船<~
 差><工>
 ケイソ 刑訴 けい (*珪) 素<理・建>
 ケイソー 形相 敬相<言> 係争 輕装
 繼走 輕*躁 けいそう<*珪*藻>
 <植>
 ケイゾー 惠贈 形像
 ケイゾク 継続 係属<法>
 ケイソン *鮭*鱒<~漁業> ケーソン
 <潜函> 惠存
 ケイタイ 形態 形体 携帯 けい (*繫)
 帶<動>
 ケイチュ 傾注 *閨中 繼注<工>
 ケイチョー 慶弔 敬弔 輕重 傾聴 敬

聴 敬重 軽^{*}佻<〜浮薄>
 茎頂<植> けい(^{*}珪)長<〜
 鈷物><鈷> 憩潮<工>
 ケイテイ 徑庭 兄弟 ^{*}緊停<〜船>
 係艇<〜ブーム><工>
 ケイテキ 警笛 ^{*}頸敵
 ケイテン 經典 刑典
 ケイデンキ 輕電機 繼電器
 ケイド 輕度 經度<地・工>
 ケイトー 系統 傾倒 恵投 鷄頭 輕頭
 <〜船><工>
 ケイハイ 輕輩 けい(^{*}珪)肺<鈷>
 ケイバイ 競売<法> 競買<経> 啓培
 ケイハク ^{*}緊泊 啓白 敬白 輕薄
 ケイバツ 刑罰 ^{*}閨閥 警拔
 ケイハン 京^{*}阪 ^{*}畦畔<農>
 ケイヒ 經費 経皮<〜接種><医>
 ケイビ 警備 輕微
 ケイヒン 景品 京浜
 ケイフ 系譜 繼父 輕浮
 ケイブ 警部 輕侮 けい(^{*}頸)部
 <動>
 ケイフク 敬服 慶福 傾伏<植>
 ケイボ 繼母 敬慕
 ケイホー 刑法 警報 警砲
 ケイボー 警棒 警防 ^{*}閨房
 ケイユ 輕油 經由
 ケイヨ 刑余 恵与
 ケイヨー 形容 掲掲 ^{*}緊養<〜馬>
 茎葉<植>
 ケイラ 輕^{*}羅 警^{*}邏
 ケイリ 經理 警吏
 ケイリュウ ^{*}溪流 係留<法>
 ケイリョウ 輕量 刑量 計量
 ケイリン 競輪 経^{*}綸 けいりん<〜光
 体><理>
 ゲカイ 外科医 下界

ケガキ 毛^{*}描き けがき(^{*}野書き)
 <工・建>
 ゲキ 劇 ^{*}檄 外記<史>
 ゲキカ 激化 劇化
 ゲキジョー 劇場 激情 撃^{*}攘<鼓腹>
 ゲキスル 激する ^{*}檄する
 ゲキセイ 劇性 激声 激成
 ゲキダン 劇団 劇壇 劇談
 ゲキツウ 劇痛 劇通
 ゲキトー 激闘 激騰
 ゲキドー 劇道 激動
 ゲキヒョー 劇評 激評
 ゲキロー 激浪 ^{*}逆浪 劇勞
 ケサ ^{*}今[△]朝 ^{*}袈^{*}裟
 ゲサク 下策 ^{*}戯作<文>
 ケシキ ^{*}景色 気色
 ケズル 削る ^{*}梳る
 ゲセン 下船 下^{*}賤
 ケダシ ^{*}蹴出し ^{*}蓋し
 ケツ 決<〜を取る> 欠<〜をおぎ
 なう>
 ケツイン 欠員 血印 結印<仏>
 ケツエン 血縁 結縁<仏>
 ケッカ 結果 欠課 決河<〜の勢い>
 血河<屍山> 結^{*}伽<〜跌
 坐><仏>
 ゲッカ 月下 激化
 ケッカイ 決壊 血塊
 ケッカク 結核 欠格
 ケッカン 欠陥 血管
 ゲッカン 月間 月刊
 ケッキ 血氣 決起
 ケッキュー 結球 血球<生・動>
 ゲッケイ 月計 月経 月^{*}桂
 ケッコウ 決行 欠航 欠講 血行 欠効
 <〜未遂> 結構
 ゲッコー 月光 激^{*}昂

ケッコソ 結婚 血^{*}痕
ケッサイ 決裁 決済 潔^{*}斎
ケッショ 血書 ^{*}闊所<史>
ケツジョ 欠除 欠如
ケッショ- 決勝 結晶 血^{*}漿
ケツジョ- ^{*}楔状<~文字> 欠場 決
定<仏>

ケッショク 血色 欠食
ゲッショク 月色 月食
ケッシン 決心 結審 欠^{*}屑
ケッスル 決する 結する
ケッセイ 結成 血清
ケッセキ 欠席 結石
ケッセン 決選<~投票> 決戦 血戦
血^{*}栓 結線<~図><工>

ケツゼン 決然 ^{*}蹶然
ケッソー 血相 傑僧
ケツダン 決断 結団
ケッター 血統 決闘 結党
ゲッピョ- 月表 月評
ゲッポー 月報 月^{*}俸
ケツメイ 結盟 血盟<~団>
ケツリョ- 結了 欠量
ゲツレイ 月例 月齡
ゲネツ 解熱 (下熱)
ゲヤ 下屋 下野
ゲラク 下落 下^{*}洛
ケルン ケルン<Kern> ケルン

<cairn>
ケン 險 ^{*}妍 県 券 間<~当り>
剣 賢 件 兼<首相~外相>
^{*}険 堅<~を破る> 見<皮相
の~> ^{*}拳 ^{*}鍵 関<共産~>
けん (^{*}脛)<動>
ゲン 言 ^{*}驗 減 嚴 弦 ^{*}絃 現
<~市長> 原<~テキスト>
元<数・工>

ケンアン 懸案 検案<法>
ゲンイ 原意 言意
ケンイン 検印 ^{*}牽引
ゲンイン 減員 現員 原因
ケンエイ 県営 兼営 献詠
ケンエキ 權益 檢疫
ケンエン ^{*}慊^{*}焉 ^{*}倦^{*}厭 犬^{*}猿<~の
伸>

ケンカ 堅果<植> 顕花<~植物>
<植> ^{*}喧^{*}嘩 県下 藹価
<経> けん (^{*}纈) 化<理>
ゲンカ 原価 (元価) 現価 現下 言
下 弦歌

ケンカイ 県会 県界 見解 ^{*}狷介
ゲンカイ 限界 蔽滅
ケンガイ 県外 閤外 権外 遣外<~使
節> 懸^{*}崖
ゲンガイ 限外<~発行・~顕微鏡> 言
外

ケンカク 懸隔 劍客
ケンガク 見学 研学 兼学
ゲンカク 幻覚 蔽格
ゲンガク 弦楽 ^{*}銜学 減額
ケンカン 顕官 兼官 建艦 県間<~の
不均衡>

ゲンカン 玄関 嚴寒 現官 減感<~剂
・~色素><理>
ケンギ ^{*}嫌疑 建議 県議
ゲンキ 元氣 ^{*}銜氣 原器 原基<動
・植>

ゲンギ 原義 玄義 原議 言議
ケンキョク 健脚 劍客
ゲンキョ- 原級 現級 減給 現給 言
及
ケンキョ 検挙 謙虚
ケンキョ- ^{*}牽強<~付会> ^{*}狷狭 検
鏡<鉦> 顕教<仏>

ケンギョー 兼業 絹業 検[◎]校
 ゲンギョー 現況 元凶
 ゲンキョク 原局 限局 元曲<文> 減
 極<~劑><理>
 ケンキン 献金 兼勤
 ゲンキン 現金 嚴禁
 ゲンクン 元勲 嚴訓
 ゲンケイ 原形(原型) 現形(現型)<~
 測量><建> 減刑 嚴刑 原刑
 減輕<刑の~> 現計<国庫
 の~>
 ケンゲキ 劍^{*}戟 劍劇
 ゲンゲツ 弦月 限月<~売買>
 ケンケン ^{*}喧々<~囂々> ^{*}拳々<~服
 膺> ^{*}蹇々<~匪躬>
 ケンゲン 権限 権原<法> 建言 献言
 顯現
 ゲンゲン 言々<~句々> ^{*}眩々<~相
 摩す>
 ケンゴ 堅固 險固 謙語<言>
 ゲンゴ 言語 原語 ^{*}諺語
 ケンコー 権衡 兼行<昼夜~> 軒
^{*}昂<意氣~> 肩^{*}胛<~骨>
 堅硬 健康
 ゲンコー 言行 現行 原稿 減光 玄黄
 <天地~> 原鉉 減[◎]耗 元^{*}寇
 <史> 原こう(^{*}溝)<動> 原
 口<動>
 ゲンゴ 元号 減号<数>
 ケンコージ 健康児 健康時
 ゲンコク 原穀 減石 原告 嚴酷
 ケンサイ 賢才 賢妻 県債
 ケンザイ 健在 顕在 ^{*}硯材 建材<建
 築資材>
 ゲンサイ 減債 減殺
 ゲンザイ 現在 原罪 弦材<建>
 ゲンザイリョー 現在量 原材料

ケンサク 献策 建策 検索 研削<鉦・
 工>
 ゲンサク 原作 減作 減削
 ケンサツ 検査 検札 賢察
 ケンザン 検算(驗算) 見参 劍山<華
 道>
 ゲンサン 原産 減産 限産<制限生産>
 原蚕
 ケンシ 檢視 検^{*}屍 絹糸 繭糸 劍
 士 賢士 犬齒 県史 献詞
 ケンジ 献辞 謙辞 顯示 検事 健児
 検字 堅持 劍璽
 ゲンシ 原子 原始(元始) 減資 原
 資 原紙 嚴旨 幻視 原詩 原
 糸<~体><植>
 ゲンジ 言辞 現時 限時<~的> 現
 示
 ケンシキ 見識 検糸器
 ゲンシツ 言質 減湿 原質<建・哲>
 ケンシャ 検車 県社
 ケンジャク 間尺 検尺<~径><建>
 ケンシユ 犬種 券種<印紙の~> 賢主
 堅守
 ゲンシユ 元種 原種 嚴守
 ケンシユ 研修 兼修 検収 献酬
 ゲンシユ 減収 現収
 ゲンシユ 現住 原住 嚴重
 ゲンシユク 減縮 嚴肅
 ケンシヨ 肩章 憲章 懸賞 謙称 検
 証 兼掌 顕彰 健勝 顕正
 <破邪~><仏> 見性<仏>
 ケンシヨ 謙讓 堅城 献上 ^{*}喧^{*}擾
 ゲンシヨ 減少 現象
 ゲンシヨ 現状 原状 現場 現成
 <仏> 現条<動>
 ケンシヨク 顯職 兼職 顯色<理>
 ゲンシヨク 原色 言色 現職 減食

ゲンジル 減じる 現じる
 ケンシン 検診 検針 検身 検真<印影
 の〜> 献身 権臣 賢臣 見神
 <宗>
 ケンジン 賢人 県人 堅陣
 ゲンシン 原審 現神 現身<仏>
 ゲンジン 原人 原じん(*腎)<〜管>
 <動>
 ゲンスイ 減水 減衰 元帥 原水<工>
 ケンスー 件数 軒数 間数
 ゲンスー 現数 減数<数・動・植>
 ケンスル 検する 験する
 ケンセイ 憲政 県政 県勢 権勢 賢聖
 *牽制 顕正<破邪〜>
 ゲンセイ 現勢 現制 現世 幻世 厳正
 限性<動>
 ゲンセキ 原籍 原石 言責
 ケンセツ 建設 兼摂
 ケンセン 建船 *捲線<〜工>
 ケンゼン 顕前 健全 顯然 *喧然
 ゲンセン 源泉 厳選 減船
 ゲンゼン 現前 厳然 現然
 ケンソ 儉素 險阻
 ゲンソ 元素 減租
 ケンソー *喧*噪 險相 検層<鉱>
 ゲンソー *舷窓 幻想 現送
 ゲンゾー 現像 幻像
 ゲンソク 原則 減速 玄(*舷)側<工>
 ゲンソン 玄孫 減損 現存 嚴存
 ケンタイ *倦怠 兼帯 肩帯<動>
 ケンダイ 見台 献題 兼題<文>
 ゲンタイ 原態 現態 原隊 減退
 ケンタン 健*啖 検*痰<医>
 ゲンタン 原炭 減反 嚴探
 ケンチ 見地 検地 軒*輕 *硯池 間
 知<〜石><建・工>
 ゲンチ 現地 限地<〜施行の法律>

原地 言*質
 ケンチャー 県庁 堅調<経> 検潮<天
 ・工>
 ゲンチャー 幻聴 原腸<動> 減張
 <植> 弦長<工>
 ケンタイ 賢弟 献呈 検定
 ゲンタイ *舷*梯 限定
 ケンテキ *涓滴 懸滴<植>
 ゲンテン 減点 原点<数>
 ゲンド 限度 原土<土壌試験>
 ケントー 健闘 健投 *拳闘 検討 賢
 答 見当 軒燈 献燈 検糖<〜
 計><理>
 ケンドー 剣道 県道 権道
 ゲントー 幻燈 玄(*舷)燈<工> 原
 糖 嚴冬 原頭 減等 現当
 <仏>
 ゲンドー 言動 原動<〜機・〜力>
 ケンナイ 県内 圈内
 ケンナン 剣難 險難
 ゲンニ 現に 嚴に
 ケンニン 兼任 検認 堅忍
 ケンノー 権能 権納
 ゲンバイ 減配 減廢
 ケンバク 建白 堅白<〜同異>
 ゲンバク 玄麦 原麦<原料麦> 原爆
 ケンバン *鍵盤 検番(見番)
 ゲンバン 原板 原版
 ケンピ 県費 建碑
 ゲンビ 原肥 減肥 嚴秘 原皮
 ケンビン 献品 検品
 ゲンビン 原品 現品
 ケンブ 絹布 賢婦 検布<理>
 ゲンブツ 現物<〜給与> 元物<〜の使
 用の対価>
 ケンブン 見聞 検分
 ゲンブン 原文 言文<〜一致>

ケンペイ 憲兵 権柄<〜ずく> 兼併
 建べい (*蔽) <〜率><建>
 ケンベツ 件別 県別 軒別
 ケンボー 健忘<〜症> 絹紡<絹糸紡績> 健棒 権謀<〜術数>
 ケンボー 憲法 剣法 *拳法 剣*鋒
 ゲンボー 減*俸 現*俸 減法<数>
 ケンボン 献本 絹本
 ゲンマイ 玄米 現米<実米>
 ケンメイ 県名 件名<図> 懸命 賢明
 頭名<〜主義>
 ゲンメイ 言明 厳命 原名
 ゲンメン 減免 原綿
 ゲンモー 原毛 減耗
 ケンモン 権門 検問 見*聞
 ゲンユ 原油 原由
 ケンユウ 県有 兼有
 ケンヨウ 権要 頭要 兼用 頭揚
 ゲンヨウ 言容 厳容 幻*妖
 ケンラン *絢*爛 検卵<農>
 ゲンリ 原理 玄理
 ゲンリュウ 源流 限流<工>
 ケンリョウ 見料 検量 権量 賢良
 ゲンリョウ 原料 原量 減量
 ケンロー 堅*牢 検漏<〜器><工>
 ゲンワク 幻惑 (*眩惑)
 <コ>
 コ 戸 個 粉 *蚕 孤<徳は〜ならず> 弧<数>
 ゴ 五 碁 *伍 ^豆^汁 御<〜兄弟> 後<〜三年の役>
 コイ 故意 恋 請い 古意 *鯉来い 濃い
 ゴイ 語*彙 語意 五位
 ゴイシ 御意志 御遺志 碁石
 コウ 請う (乞う) *恋う
 コウタ 小*唄 小歌

コエ 声 肥
 コエル 越える 肥える
 コー 甲 孝 香 稿 項 公 侯
 功 効 幸 行<〜を共にする>
 工<〜を終わる> 候<炎暑の〜> 講<仏> 劫<仏> 綱
 <建> 交<数> 綱<動・植>
 *斯う
 ゴー 号 剛 豪<〜の者> 郷
 *壕 業<仏> 合<〜目的的>
 コーアン 公安 考案 *苟安<〜を食る> 公案<仏>
 コーイ 行為 厚意 好意 皇位 皇威
 高位 校医 攻囲 更衣<〜室>
 後遺<〜症> *垢衣 校異
 コーイキ 広域<〜経済> 港域 高域
 <〜フィルタ><工>
 コーイン 工員 鉦員 行員 皇*胤 後
 *胤 公印 光陰<〜矢のごとし> 荒*淫 *勾引<法>
 ゴーイン 強引 業因<仏>
 コーウン 幸運 (好運) 港運<〜業者>
 皇運 行雲<〜流水> 耕*耘
 <農>
 コーエイ 光榮 後*裔 後衛 公營
 コーエキ 公益 交易 鉦液<鉦>
 コーエン 講演 講*筵 公演 好演 ロ
 演 後援 香煙 紅炎<〜万丈>
 高遠 広遠 公園 硬鉛<鉦>
 後縁<工>
 コーオン 高温 恒温 高音 高恩 厚恩
 皇恩 *鴻恩
 ゴーオン 号音 *蒨音
 コーカ 効果 考課 公課 功科 功過
 公暇 硬化 *膠化 硬貨 公価
 高価 工科 高架 黄禍 校歌
 降下 高歌<〜放吟> 降嫁 皇

化 鈦化<～作用><鈦> 硬化
 抗火<～石><建>
 コーガ 光画 公^{*}衙 高雅
 ゴーカ 豪華 豪家 業火<仏> ^{*}劫
 火<仏> 業果<仏>
 コーカイ 航海 公海 江海 公開 更改
 銅塊 後悔 降灰 ^{*}狡^{*}獯 ^{*}耿
 介 荒海<工> 交会<～法>
 <工>
 コーガイ 郊外 校外 構外 港外 坑外
 鈦害 公害 ^{*}梗概 ^{*}慷慨 口外
^{*}筭 口がい(^{*}蓋)<動>
 コーカク 広角<～レンズ><理> 高角
 <軍> 交角<工> 光角<工>
 厚角<植> 甲^{*}殻 口角<～泡
 を飛ばす> 高閣 降格 ^{*}礎^{*}确
 コーガク 工学 光学 鈦学 好学 向学
 後学 好楽<～家> 皇学 高額
 コーカツ ^{*}狡^{*}猾 広^{*}濶
 コーカン 交換 交歓 好感 交感<～神
 経><動> 好漢 高官 公館
 後患 ^{*}巷間 皇漢 ^{*}槓^{*}杆 向
 寒 公刊 校勘 鋼管<建・工>
 コーガン 紅顔 厚顔 ^{*}畢丸 向岸<～
 流><工>
 コーキ 工期 後期 好機(好期) 工
 機 航機 光器 網紀 校紀 公
 器 衡器 公企<～体> 光輝
 香氣 皇紀 皇基 ^{*}鴻基 広軌
 興起<感奮～する> 後記 好奇
 高貴 口器<動> 耕起<～農>
 好氣<～性菌><～農>
 コーギ 抗議 講義 広義 公儀 公議
 後議 交^{*}誼 好^{*}誼(厚^{*}誼・高^{*}誼)
 巧技 好技
 ゴーキ 剛^{*}毅(豪^{*}毅) 剛氣(豪氣)
 ゴーギ 合議 豪氣(強氣)

コーキュー 高給 降給 高級 硬球 好
 球 考究 攻究 講究 購求
 恒久 公休 後宮
 ゴーキュー 剛球 強弓 号泣
 コーキョ 皇居 ^{*}溝^{*}渠 公許 ^{*}薨去
 抗拒 高距<鈦>
 コーキョー 公共 好況 高教 口供<～
 書> 広狭 交響<～楽> 荒
 凶 後胸<動> 鋼橋<工>
 コーギョー 工業 鈦業 興業 興行 功
 業 ^{*}鴻業
 ゴーキョー 剛強 豪^{*}俠
 コーギョーギジュツ 工業技術 鈦業技術
 コーギョーケン 鈦業権 興行権 工業県
 コーギョーシャ 工業者 鈦業者 興行者
 コーギョク 紅玉 硬玉 黄玉 鋼玉
 コーキン 公金 行金 拘禁 抗菌 コー
 キン<calking><建・工>
 コーギン 高吟 興銀 紅銀<～鈦>
 <鈦> 光銀<理>
 コーク 鈦区 港区 後句
 コーグ 工具 耕具 校具 香具
 コークー 航空 高空 [口^{*}腔]<医>
 コーグー 皇宮 厚遇
 コークン 校訓 功勳
 コーグン 行軍 皇軍 紅軍 後軍
 コーゲ 高下 香^{*}華(香^{*}花)
 コーケイ 光景 後景 後継 口径 肯
^{*}紫<～に当たる> 黄経<天>
 コーゲキ 攻撃 好劇<～家>
 コーケツ ^{*}膏血<～を絞る> 高潔
 コーケン 後見 貢獻 公権 高見 効験
 後賢 黄蘗
 コーゲン 公言 広言(高言) 抗言 巧
 言 高原 広原 荒原<植> 鋼
 弦<建> 光源<理> 抗原<動
 ・理> 厚弦<～比><工>

ゴーケン 合憲 剛健
 コーコ 考古 好古 *曠古 好個 後
 顧 公庫 江湖
 コーゴ ロ語 交互
 コーコー 鉦工<~業> 高工 高校 港
 口 坑口 鉦坑 航行 皇考 口
 *腔 向光<~性> *膏*育<病
 ~に入る> 公々<~然と>
 *煌々 *皓々 *耿々 *斯々<~
 いう人> 後項<数> 硬鋼
 <鉦> 硬*膏<医> 孝行 香
 々<香の物>
 コーゴー 皇后 香*盒(香合) 交合
 (*媾合) *苟合<妥協~> 校
 合<図>
 ゴーゴー *藹々 *藹々
 コーコク 広告 抗告<法> 皇国 公国
 侯国 興国
 コーコツ 硬骨 甲骨<史> *恍*惚
 コーサ 考查 交差 公差<~単位>
 <数・理・鉦・工> *較差 航
 差 黄砂
 コーザ 講座 口座 高座 後座<軍>
 コーサイ 公債 校債 交際 ロ才 光彩
 <~陸離> 高裁 こう(*虹) 彩
 <生・動> [鉦*淬]
 コーザイ 鋼材 鉦材 構材 功罪 *膠
 剤
 コーサク 高作 工作 交錯 耕作 鋼索
 <鉦>
 コーサツ 考察 高察 絞殺 高札<史>
 コーサン 鉦産 工産 恒産 公算 降参
 鉦酸<理>
 コーザン 高山 鉦山
 コーシ 公使 公子 後嗣 皇嗣 孝子
 高士 好士 講師 公私 厚志
 公司 考試 口試 高師 *嚙*矢

<彼をもって~とする> *皓齒
 <明眸~> 紅脂 公示<法>
 行使 甲子 鉦*淬 後視<鉦>
 後し(*肢)<動> ロし(*肢)
 <動> 厚糸<~期><動> 光
 子<理> *格子
 コージ 高次 公事 好事 後事 小
 路 硬磁 好*餌<~を与える>
 工事 公示 *麴 *柑子
 ゴーシ 合資 合*祀 郷土<史> 合
 糸<理>
 コーシキ 公式 硬式 講式<仏>
 コーシツ 硬質 鉦質 *膠漆 *膠質 皇
 室 後室 高湿 恒湿<~器>
 <理>
 コージツ ロ実 硬実<農> 向日<~
 性>
 コーシヤ 後者 後車 公社 公舎 校舎
 巧者 鉦車 <鉦> 鉦舎<鉦>
 向斜<鉦> 降車 高射<~砲>
 ゴーシヤ *撮舎 郷社 豪*奢
 コーシヤク 公爵 侯爵 講釈
 コーシュ 攻守 好守 巧手 好手 工手
 公主 校主 甲種 絞首 *叩首
 <~百べん> [*拱手] <~傍
 視> 鉦種 耕種<農>
 コージュ ロ授 口受 坑儒<焚書~>
 コーシュ一 公衆 口臭 講習 光周<~
 律><農> 高周<~波>
 ゴーシュ一 豪州 江州
 コージュク 紅熟 黃熟 後熟<糧>
 コージュツ ロ述 後述 講述 公述<~
 人>
 コージュン 孝順 公準<数>
 コーショ 公署 高所 向暑 高書 *苟
 *且
 コージョ 皇女 孝女 高女 公序<~良

俗> 控除<法>
 コーショ 公傷 公称 公証 行賞 交
 渉 後章 後証 考証 口証
 高小 高商 ロ^{*}誦 ロ^{*}承 高
 唱 交唱<~聖歌集> 厚相
 降将 工^{*}廠 工匠 工商<土
 農~><史> 公^{*}娼 好^{*}尚
 高承<御~> ^{*}咬傷 ^{*}哄笑
 高^{*}翔 鉦床<鉦> 硬焼
 <理>
 コージョ 厚情(好情) 交情 ロ上
 ロ状 考状 工場 鉦場<~採
 油所> 荒城 江上 恒常 向
 上 高上<河床の~> ^{*}鉤状
^{*}膠状 甲状<~腺><動>
 綱条<鉦>
 ゴーショ 豪商 号鐘 業障<仏>
 コーショク 公職 降職 ^{*}曠職 好色
 黄色 紅色 交織 広食<~
 性><動>
 コージル 高じる 講じる ^{*}困じる
 コーシン 更新 高進(<^{*}亢進) 後進 行
 進 孝心 恒心 後身 功臣 公
 信<~力> 興信<~所> 交信
 紅^{*}唇 ロ^{*}唇 港^{*}津 ^{*}庚申
^{*}庚^{*}辰 貢進<~生><史>
 光心<理・工> 向心<~力>
 <工>
 コージン 公人 後人 行人 後陣 後
^{*}塵<~を揮す> 貢^{*}塵<~万
 丈> 幸^{*}甚 工人<~会> 荒
 神
 コーゾ 構図 港図 好^{*}事<~家>
 コースイ 香水 降水<~量> 硬水 鉦
 水<鉦> 向水<~性> 公水
 高水<~護岸><工>
 コーセイ 厚生<法> 更生 公正 後世

後生 構成 校正 攻勢 銅製
 好晴 ^{*}曠世 高声 交声<音>
 恒星 向性<~検査> 恒性 硬
 性 坑井 後成<動>
 ゴーセイ 合成 豪勢 剛性<建>
 コーセキ 功績 鉦石 航跡 降積<~
 雪> ^{*}洪積<~層><地>
 コーセツ 高説 講説 ^{*}巷説 後節 公
 設 巧拙 降雪 荒説 交接 硬
 節<動>
 コーセン 交戦 好戦 抗戦 公船 鋼船
 工船<~式漁業> 工鉦<~作
 業> ロ銭 公選 光線 鉦泉
 高専 鉦専 工専 黄泉 鋼線
 <鉦> 鉦染<鉦>
 コーゼン 公然 ^{*}昂然 ^{*}浩然<~の気>
 ゴーゼン ^{*}傲然 ^{*}轟然 ^{*}囂然
 コーソ 控訴 公訴 皇祖 皇^{*}祚 高
 祖 向ソ 抗ソ 公租 酵素
 コーソー 航送 後送 航走 好走 抗爭
 公葬 校葬 構想 高僧 皇宗
^{*}倥^{*}偬<兵馬~の間> 高層 降
 霜<~期> 広壯 高燥 紅そう
 (<^{*}藻>) <~類><植> 鉦層
 <鉦> 鉦巢<鉦>
 コーゾー 構造 鋼造<~車>
 コーソク 校則 高速 高足 港則 拘束
^{*}梗^{*}塞 光束<鉦> 後足<動>
 コーゾク 皇族 公族 後統 航統<~距
 離>
 コーソン 皇孫 公孫 恒存<~度>
 <植>
 コーダ 好打 コーダ<coda><音>
 コータイ 交代<法> 交替 後退 鋼帶
 <工> 光帯<工> 抗体<動>
 鉦体<鉦>
 コーダイ 広大 ^{*}鴻大 高大 後代

コータツ 口達 公達 光達<～距離>
 <工>
 コータン 後端 口端 降誕 荒誕
 コーダン 講談 *巷談 講壇 降壇 公
 団 後段 高段 光弾<～性>
 <理>
 コーチ 耕地 荒地 高地 校地 公地
 甲地<地目> 公知<～事実>
 巧遅 *狡知 巧*緻 拘置 コー
 チ<coach>
 コーチャク 降着 *膠着
 コーチュー 口中 甲虫 講中<仏> 鉦
 柱<鉦>
 コーチャ 高著 皇*儲
 コーチャー 好調 高調 高潮 紅潮 校
 長 鉦長 坑長 港長 公庁
 公聴<～会> 皇朝 候鳥
 <動> こう(*腔) 腸<動>
 後腸<動> 高張<動・植>
 こう長<distance><工> 硬
 調<経・図・理> 抗張<～積>
 <理>
 ゴーチャク 剛直 強直
 コーチン 工賃 コーチン<cochin>
 <鶏の品種> 後沈<理>
 コーテイ 皇帝 皇弟 工程<～管理>
 功程<運搬> 行程<一日>
 航程 公廷 公邸 校訂 更訂
 <減損> 考訂 考定 肯定
 公定 高弟 校庭 後庭<工>
 校定 高低 孝弟 孔底<～拡
 大><鉦>
 コーテキ 好敵 公敵 抗敵 好適 公的
 コーテツ 鋼鉄 更迭
 コーテン 荒天 好天 皇典 後天 後転
 <税の～> 好転 公転<天>
 向点<天> 交点 光点<工>

硬点<鉦>
 コーデン 香典 公電 光電<～測光>
 <建> 向電<～性><動>
 コート 港都 荒都 後図 *宏図 コ
 ート<coat> コート<court>
 コード 耕土 荒土 硬土 紅土<地>
 高度 硬度<理> 光度<理>
 コード<cord> コード<code>
 コートー 好投 高投 口頭 口答 こう
 (*喉) 頭<生・動> 後頭<生・
 動> 光頭 *叩頭 江東 紅燈
 <～の巻> 皇統 公党 高踏
 港頭 高騰 高等 荒唐 鉦筒
 <鉦> 恒等<～式><数>
 コードー 講堂 公道 坑道 皇道 孝道
 高堂 行堂 行動 黃道<～吉
 日> 口道<動> 光導<～電
 管><工>
 コートク 公德 高德
 コードク 購読 講読 鉦毒 抗毒<～素
 ・～剤><動・鉦>
 コーナイ 構内 坑内 校内 港内 口内
 コーナン 硬軟 後難 江南
 コンニン 後任 降任 公認
 コーネツ 高熱 口熱 光熱 後熱<工>
 黃熱<医>
 コーネン 後年 高年 行年 更年<～
 期> 光年<天>
 コーノー 公納 後納 効能 興農 行
 *囊 後脳<動>
 コーハ 硬派 高波 光波
 コーバ 工場 耕馬
 コーハイ 荒廃 興廃 後輩 向背 後背
 <～地> 高配<～株・御>
 後配<～株> 好配<経> 交配
 <動・植・農> 光背<仏> 向
 拜<建>

コーバイ 購買 公売 *勾配 紅梅
 コーハク 紅白 黄白 厚薄 工博 侯伯
 広博 港泊<~図><工>
 コーバク 荒*漠 広*漠
 コーハン 孔版 降版 後半 公判 *挽
 *拌 広範 銅板<建・鉦> 銅版
 <~彫刻><図> 甲板<工>
 紅*斑<生>
 コーヒ 皇妃 公妃 皇*妣 后妃 高
 *庇<御~> 高批 口碑 工費
 公費 校費 光被 公比<数>
 甲皮<動> 硬皮<動>
 コービ 後備 後尾 交尾<動>
 コーヒツ 硬筆 鋼筆
 コーヒョー 講評 好評 高評 公評 公
 表 降*電
 コービン 後便 幸便
 コーフ 交付 公布(*弘布)<法律の
 ~> 工夫 坑夫 鉦夫 耕夫
 コーブ 後部 荒*蕪 公武<~合体>
 <史>
 コーフー 校風 高風 光風<~霽月>
 恒風<天>
 コーフク 降伏 幸福 口腹
 コーブツ 好物 公物<~の使用> 鉦物
 コーフン 公憤 口*吻 興奮
 コーブン 公文<~的> 高文<~制度>
 行文 後聞 高聞 構文
 コーヘイ 工兵 降兵 公平 衡平<負担
 の~>
 コーベイ 向米 抗米
 コーヘン 鋼片 甲片 後編 公辺 口辺
 <動> 孔辺<~細胞><植>
 コーベン 巧弁 口弁 抗弁 光弁<工>
 コーボ 公簿 皇*謨 公募 酵母
 <理>
 コーホー 公報 広報<法> 後報 公法

航法 攻法 工法 後方 高峰
 コーボー 攻防 興亡 好防 工房 光房
 好望 広*袤 光*芒
 ゴーホー 合法 号砲 号*俸 豪放 業
 報<仏>
 コーボク 公*僕 耕牧 香木 高木
 <植> 坑木<鉦>
 コーホン 校本 稿本
 コーマイ 高*邁 香米<農>
 コーミ 香味 好味
 コーミョー 功名 光明 巧妙
 コーム 校務 公務 工務 鉦務 港務
 航務 行務
 コーメイ 高名 校名 抗命 公明<~選
 挙>
 コーメン *垢面<~蓬髮> 鋼綿<鉦>
 構面<建>
 コーモー 孔*孟 紅毛[*膏*育]<病~
 に入る> *鴻毛<~の軽きに比
 す>
 コーモク 項目 綱目
 コーモン 校門 後門 *閤門<~護岸>
 港門 孔門 孔紋<~道管>
 <植> 坑門<工> *肛門
 コーヤ 荒野 広野 *紺屋<~のあき
 って>
 コーヤク 公約 口約 *膏藥
 コーユ 香油 鉦油<鉦>
 コーユー 交友 校友 交遊 公有 後憂
 皇*猷
 ゴーユー 豪遊 剛勇 合有
 コーヨー 公用 綱要 後藥 航洋<~船
 舶> 光*耀 黃葉<~種の葉タ
 バコ> 紅藥 高揚 孝養 広藥
 <植> 口藥<動> 抗揚<~
 比><工>
 コーライ 後來 光来 高*麗

コーラク 行楽 後楽 攻落
 コーラン 高覧 *攪乱 *勾欄 高欄
 <建> コーラン<Koran>
 コーリ ^郡 氷 功利 高利 公利
 公吏 *牧吏 行*李 公理<数>
 ゴーリキ 強力 合力
 コーリツ 高率 効率 工率 公立
 コーリヤク 攻略 後略
 コーリュウ 公流<公水> *勾留<法>
 拘留<法> 交流 興隆 降流
 <動> 向流<~性><動>
 光流<理>
 コーリョ 考慮 高慮 行旅<~病人>
 コーリョー 衡量<法益> 考量 *較
 量 鈐量 鋼量 綱領 香料
 稿料 口粗<携帯> 校了
 荒涼(荒*寥) 広量 こうりょ
 う(*虹*梁)<建> 光量<理>
 恒量<理>
 コーリョク 効力 公力 抗力<理> 光
 力<鈐> 高力<~アルミ合
 金><鈐>
 コーリン 光臨 降臨 光輪<美>
 コール コール<call><経> コール
 <chor><音>
 コーレイ 恒例 好例 高齡 高冷 皇靈
 交靈 高*嶺
 コーロ 航路 公路 行路 香炉 高炉
 <~ガス・~セメント><鈐・
 建>
 コーロー 功勞 公勞<~法> 高樓
 コーロク 高*禄 厚*禄
 コーロン 公論 高論 甲論<~乙駁>
 口論 抗論
 コーワ 講話 高話 講和
 ゴオン 語音 吳音<言> 御恩
 コカ 古歌 *胡歌 *胯下 固化

<理>
 コガ 個我 古画 古雅
 コガイ 子飼い *籠飼い *蚕飼い 小
 買い 戸外 小貝
 ゴカイ 暮会 暮界 五回 五階 五戒
 <仏> ^沙^蚕<動物名> 誤解
 コカク 顧客 古格 呼格<言> 小角
 <建>
 コガク 古学 古楽
 ゴカク 五角 暮客 語格<言> 互角
 コガネ 小金 *黄金
 ゴカン 語感 語間 五感 五官 語
 幹<言> 互換<~工作><数・
 工>
 コキ 古希 呼気 古器 古記
 コギ 古義 *狐疑<~逡巡>
 ゴキ 語気 暮器 誤記
 ゴギ 語義 五義
 コキヤク 顧客 孤客
 コキュー 呼吸 故旧 *胡弓
 コキョー 故郷 故京 古鏡
 ゴキョー 五経 五教
 コク 石<建・農> 古句 酷<~に
 過ぎる> 刻 *扱く *放く<嘘
 を~>
 ゴク 獄 語句 極<~新しい>
 コクイ 国威 黒衣
 ゴクイ 極意 獄衣
 コクイン 刻印 極印
 コクウン 国運 黒雲
 コクエイ 国営 黒影(黒*翳)
 コクエン 黒煙 黒鉛<鈐>
 コクケン 国権 国憲 黒圈 黒*鍵<音>
 コクサイ 国際 国債 国祭 告祭
 コクサイカンコー 国際慣行 国際観光
 コクサク 国策 穀作<~農業>
 コクシ 国土 国史 酷使 国司<史>

コクジ 告示 告辞 国字 国事 国璽

酷似

コクシュ 国手 国主 国守

コクショ 国書 国初 酷暑

コクショク 黒色 穀食

コクジン 黒人 国人

コクスル 刻する *哭する *剋する

コクセイ 国政 国勢

コクゼイ 国税 酷税

コクセイチョーサ 国政調査 国勢調査

コクソ 告訴 国礎

コクソー 国葬 穀倉 穀草

コクタイ 国体<~護持・国民体育大会>

黒体<理>

コクタン 黒炭 黒*檀

コグチ 小口<建・図> 木口<建>

コクテン 黒点 国典

コクド 国土 黒土 国*帑

コクハク 告白 酷薄

コクビ 小首<~をかしげる> 小*頸

<裁>

コクヒョー 酷評 黒表<black list>

コクフ 国富 国父 国府

コクフク 克服 克復<平和へ>

コクブン 国文 告文

コクホー 国法 国宝

コクムショー 国務相 国務省

コクメイ 国名 克明

コクラガリ 小暗がり 木暗がり

コクリ 国利<~民福> 酷吏

ゴクリ 獄吏 獄裏

コクロン 国論 酷論

コケ *苔 *鱗

ゴケ 後家 碁*筭

コケイ 固形 古形 孤*闇

ゴケイ 互恵<~条約> 語形

コケル *転ける<笑いへ> *瘦ける

<頬がへ>

コケン 古賢 *沽券<~にかかわる>

コゲン 古言 古*諺

ゴケン 誤見 謬憲

ゴゲン 五弦 語源

ココ 個々 戸々 *呱呱<~の声>

△此△処

ココー 戸口<~調査> *糊口<~の

資> *股*肱<~の臣> 虎口

<~を脱する> 孤高

コゴー 古豪 呼号

コゴエ 小声 凍え

ゴコク 護国 五穀 後刻

コゴト 小言 戸△毎

コサイ 小才 *巨細<~にわたって>

ゴサイ 後妻 五菜 五彩 誤載

コサツ 古*刹 故殺

ゴサン 午*餐 誤算 五山<仏>

コシ 古詩 古史 *興 *虎視<~眈

々> 枯死 腰

コジ 固辞 固持 誇示 孤児 *虎

児 故事 古寺 *居士<仏>

ゴシ 五指 語詞

ゴジ 誤字 護持

コシツ 個室 *痼疾 固執

ゴシヤ 五社<~協定> 誤写

ゴシヤク 五尺 語釈

コシュ 戸主 鼓手 固守 庫手<工>

ゴシュ 五種 御酒

コシュー 孤舟 呼集 固執

ゴジュー 五十 五重

ゴジョ 互助 語序<言>

コショー 呼称 誇称 故障 古称 湖沼

*胡*椒 小姓<史>

コジョー 古城 孤城 弧状

ゴショー 後生<~を願う> 護照<パス

ポート> 誤称

ゴジョー 互譲 五常 五条
 コシン 己心 己身 湖心
 コジン 古人 故人 個人
 ゴシン 誤診 誤審 誤信 護身
 ゴシントー 五親等 御神燈
 ゴシンバイ 御心配 御親拝
 コス 越す *漉す
 コスイ 湖水 鼓吹 *狡い
 コスー 戸数 個数
 コズカイ 小使 小遣<〜錢>
 コスル *擦る 鼓する
 コセイ 個性 古制 古生<〜代><植
 ・動>
 ゴセイ 語勢 基勢 基聖 悟性<哲>
 コセキ 戸籍 古跡 古昔
 コセン 古銭 湖川<〜港灣> *跨線
 <〜橋> 弧線
 ゴセン 五千 五錢 五線<音> 互
 選
 ゴゼン 午前 御前 御*膳
 ゴソー 護送 誤想
 コタイ 固体 個体 古体
 コダイ 古代 誇大
 コタエル 答える *堪える
 コダチ 木立 小△太△刀
 コチ 故*智 *鮪
 コチャー 古調 *胡蝶 戸長<史>
 ゴチャー 語調 誤聴 *佐長
 コッカ 国家 国花(國華) 国歌 刻
 下 黒化<動> 骨化<動>
 コッカイ 国会 国界
 コッカン 国患 骨幹 酷寒 国漢
 コッキ 国旗 国基 国忌 克己
 コッキョー 国境 国教 国共
 コック コック<cock> コック<料理
 人> 刻苦
 コッケイ 酷刑 *滑*稽

コッケン 国権 国憲 黒圈 黒*鍵
 <音>
 コテ *鋤 小手 *籠手
 コテイ 固定 湖底
 コテン 古典 個展
 ゴデン 誤伝 誤電
 コト 事 古都 *糊塗 異<意見を
 〜にする> 琴 *箏
 コトー 孤島 古刀 孤燈
 コドー 古道 鼓動
 ゴトー 五等 語頭 誤答
 ゴトク 五徳 悟得
 コトワリ 断り *理
 ゴナン 五男 御難
 ゴニン 五人 誤認
 コノミ 好み 木の実
 コバ 木場 小羽<〜屋根><建>
 ゴバライ 誤払い<〜額> 後払い
 コハン 湖畔 古版
 ゴハン 誤判 御飯
 コブ *瘤 鼓舞
 コブシ 古武士 *拳 △辛△夷<〜の
 花>
 コブツ 古仏 故物(古物) 個物
 <哲>
 コブトリ 小*肥り *瘤取り
 コブリ 小降り 小振り
 コブン 子分 古文
 ゴヘイ 語弊<〜がある> 御弊<〜か
 つぎ>
 コベツ 個別 戸別
 ゴホー 誤報 後報 語法 五方 御方
 午砲 護法<仏>
 コボク 古木 古墨 枯木
 コホン 古本 孤本<図>
 コマ △独△楽 *駒 △高△麗<〜人
 蔘><農> *齡<〜落し撮影>

こま<こま取差 (coma)><理>
 ゴマ *胡麻 謔摩<仏>
 コマイ 古米 木舞<建> 小舞<芸>
 ゴミ *塵 五味
 コメ 米 込め<~物・~棒><図・
 鉦>
 コモ *薦 *菰
 コモリ 子*守 *籠り
 コモン 顧問 小門 小紋<~ちらし>
 ゴモン 御門 御紋
 コユ 固有 故友
 コニキ 小雪 粉雪
 コヨー 雇用 小用<~を足す> 古謡
 ゴヨー 誤用 互用 御用 五葉<~の
 松>
 コラス 懲らす 凝らす<工夫を~>
 コリ *梱 凝り *垢離 *狐*狸
 <~のしわざ>
 コリショー 凝り性 懲り性
 ゴリョー 御料 御陵 悟了
 グリン 五輪 五倫<~五常> 五厘
 コル 凝る *樵る
 コロ *頃 ころ (*転)<建・鉦>
 ゴロ 語路 ごろ<ごろつき> ゴロ
 <野球>
 コロー 古老(故老) *虎*狼 固*陋
 鼓楼<建>
 コワイ *恐い *強い (*剛い)
 コン 紺 根<立方~><数>
 コンイン 婚姻 根因
 コンカ 今夏 婚家
 コンガ コンガ<conga><音> 混芽
 <植>
 コンカン 根幹 根冠<植>
 コンキ 根気 根基 婚期 今期(今
 季)
 ゴング ゴング<gong><拳闘> *欣

*求<仏>
 コンケイ 根茎<植> 根系<植>
 コンゲン 根源 根元<~づくり>
 コンゴ 混合 金剛<~砂><鉦> 根
 号<数>
 コンサイ 根菜 混載
 コンジ 今次 今時 恨事 根治 紺地
 金字
 コンシュー 今週 今秋
 コンジョー 根性 懇情 今生 紺青 根
 状<~葉><植>
 コンショク 混色 混織 混食 墾植
 コンシン 懇親 混信 *渾身<~の勇を
 ふるう>
 コンセイ 懇請 混成 今世 混声<音>
 コンセキ 今夕 今席 こん(*痕)跡<~
 器官><植> 根跡<植>
 コンセツ 今節 懇切
 コンゼツ 根絶 *昏絶
 コンセン 混線 混戦 混銃<~炉>
 <鉦・工>
 コンゼン 混然<~として> *渾然<~
 一体>
 コントー 今冬 *昏倒
 コンドー 混同 金銅 金堂<仏>
 コンボー *棍棒 混紡 懇望
 コンモー 懇望 根毛<植>
 コンヤク 婚約 困*厄
 コンリュウ *建*立 *衰*龍<~のそでに
 隠れて> 根粒(根*瘤)<~
 細菌><植> 混粒<~鋼>
 <鉦> 混流<~タービン>
 <工>
 コンワ 懇話 *渾和 混和<~機・~
 性><鉦>
 <サ>
 サ 差 左<~の通り>

サイ 差異 才 妻 *賽 *犀 菜
 細く微に入り～をうがつ> 災
 <～にあう> 際<この～> 最
 <～たるもの>
 ザイ 材 財
 サイエ 才*媛 菜園 再演 再縁
 サイオー 再往 (再応) *塞翁<～が
 馬>
 サイカ 災禍 最下 載貨<～容量>
 裁可 西下 再嫁 載荷<～板>
 <建>
 ザイカ 罪科 罪過 財貨 在荷 (在
 貨) 在華
 サイカイ 再会 再開 際会 斎戒<～沐
 浴> 西海 碎塊<～機><理>
 最下位
 サイガイ 災害 際*涯
 サイカン 才幹 彩管 菜館 再刊
 ザイカン 在官 在監
 サイキ 再起 才氣 債鬼 再帰<～動
 詞><言> 再輝<～点><鉦・
 工>
 サイギ *猜疑 再議<～に付す> 祭
 饗
 サイキョ 再挙 裁許
 サイキョー 最強 西京
 ザイキョー 在京 在郷
 サイキン 最近 細菌 採金 細金<きり
 がね> 細*瑾 再勤
 ザイケイ 財經<財政経済> 罪刑<～法
 定主義>
 サイケツ 採決 裁決 採血
 サイケン 債券 債権 再建 再検 細見
 サイゲン 際限 再現
 サイゴ 最後 最期
 サイコー 再興 再考 再校 採光 採鉦
 碎鉦 最高 細孔<～電解>

<工>
 ザイコー 在校 在港
 ザイゴ 在郷 罪業<仏>
 サイコク 西国 催告<～公示><法>
 サイコン 再*建 再婚 再鑿 菜根 細
 根<植>
 サイサイ 歳々<年々～> 再々<～評
 価> 済々<多士～> 細碎<～
 石・～ロール><工・理>
 サイサン 再三<～再四> 採算
 サイン 妻子 才子 再思 再施<～破
 産手続> 祭*祀 祭司<宗>
 祭*楽<～料> 細糸<～期>
 <動>
 サイジ 細事 細字 歳次 歳時<～
 記>
 サインキ 彩色 才識
 サイジツ 祭日 齋日
 ザインツ 在室 材質 罪質
 サイシュ 債主 祭主 採取 採種<農>
 サイシュ 最終 採集 採収<～率>
 <鉦>
 サイシュツ 再出 歳出<法>
 サインヨ 最初 細書
 サイジョ 才女 妻女
 サインヨ 最小 (最少) 細小 最勝
 再勝 採証<裁判官の～> 宰
 相 妻*妾
 サイジョー 祭場 斎場 最上
 ザインヨ 罪証<～隠滅> 罪障<仏>
 サインヨク 菜食 彩色 才色<～兼備>
 サイン 最新 最深 細心 再審<法>
 碎身<粉骨～> *采薪<～の愛
 い>
 サイジン 才人 祭神
 サイセイ 再生 再製 最盛 祭政 濟世
 催青<～温度 (養蚕)><農>

細精<～管><動>

ザイセイ 財政 在世
サイセイサン 再生産 再精算
サイセキ 採石 碎石 載積
ザイセキ 在席 在籍 罪跡 罪責 材積
<建>

サイセツ 再説 細説 再設 細設 碎せ
つ(×屑) <～鉦床><鉦>

サイセン *賽銭 再選
サイゼン 最善 最前 [×截然]
サイソー 採草 採*藻 栽桑 採桑<～
量><農> 再送 才*藻

サイソク 細則 催促
サイタ 最多 裂いた *割いた 咲い
た

サイタイ 妻帯 *臍帯<生>
サイダイ 最大 細大<～漏らさず>
サイタン 採炭 載炭 最短 歳*旦 菜
単<料>

サイダン 祭壇 [×截断] 裁断<～を仰
ぐ> 採炭<～費> 細断<～
布><理>

サイチ 才智 細*緻

サイチュウ 最中 細注

サイチュウ 最長 細長 再調

ザイチウ 在庁 在朝 材長<建>

サイテイ 最低 再訂 裁定<～権>

サイテン 祭典 採点 再転

サイド 細土 砕土<～器><農> 彩
度<色の～> サイド<side>
済度<仏> 再度

サイニン 再任 再認

ザニン 罪人 在任

サイノー 才能 採納<寄付～>

サイハイ *采配<～をふるう> *儕輩
再拝 再敗

サイハン 再版 再犯 最繁<～時>

<工>

サイバン 裁判 歳晩
サイヒ 歳費 採否
サイヒツ 才筆 細筆
サイヒョウ 砕氷<～船> 細評

サイフ 財布 採譜<音>

サイヘン 再変 再編 碎片

サイホ 採捕<水産動植物の～> 菜
*圃

サイホー 裁縫 細報 才*鋒 西方 [細
胞] 差異法<哲>

サイボー 細胞 再紡<理>

ザイホー 財宝 罪報<仏>

サイマツ 歳末 細末 最末

サイミン 細民 催眠

ザイメイ 罪名 在銘

サイライ 再来 西来

サイリョウ 最良 裁量 宰領

サイルイ 菜類 催淚

サイレン サイレン 再練<～紡機>

<工>

サイロク 採録 載録 再録

サイロン 再論 細論

サイン サイン<sign> サイン<～棒
(sinebar)> <工> サイン

<sine><数>

ザイン 座員 ザイン<Sein><哲>

サカ 坂 *逆<～手> *茶菓

サカテ *逆手 酒手

サカン 左官 佐官<軍> 盛ん

サガン 左岸 砂岩<鉦>

サキ 先 咲き<～が早い> 左記

サギ 詐欺<法> *鷺

サキン 砂金 差金<～収入>

サク 作 策 *柵 咲く *割く さ
く<農> さく<theca><植>
錯<～イオン><工>

サクイ 作為 作意
 サクゲン 削減 〔×遡源〕 策源<～地>
 サクゴ 錯誤 作碁
 サクサク さくさく<～と> ×噴々<好評～>
 サクサン ×柞蚕 酢酸<理>
 サクシ 作詞 作詩 昨紙 策士
 サクジツ 昨日 ×朔日
 サクシュ 昨秋 昨週
 サクセイ 作成<予算を～> 作製<書類を～> さく(×鑿)井<工>
 サクセン 作戦 さく(×鑿)泉<工>
 サクテイ 策定 作定<税の～方法> 削×蹄<農>
 サクドー 策動 索道 作道<作場道><農>
 サクフー 作風 ×朔風
 サケ ×鮭 酒 裂け
 サケル 裂ける 避ける
 サゲル 下げる(×提げる)
 サコー 砂鉋<鉋> 砂耕<～法><農> 鎖交<工>
 ザコツ 座骨 ×挫骨
 ササ ×笹 ×些々
 ササガキ ×笹×垣 ×笹×掻き<料>
 サシ ×渣×滓 砂×嘴 差し<～で飲む>
 サジ ×匙 ×瑣事
 ザシ 座視 座止<～現象><農>
 サシカケ 差し掛け<～屋根><建>×指し掛け<将棋>
 サングスリ 差し薬 ×挿し薬
 サツギ ×指し継ぎ<将棋> 刺し継ぎ<裁>
 サシュ 左手 詐取
 サショ 査証 左証 詐称 ×些少 砂品<植>

サジョー 砂上 砂状 鎖状<～結合><理> 鎖錠<工>
 ザジョー 座礁<工> ×挫傷
 ザショク 座職 座食
 サス 砂州 刺す 差す ×指す ×挿す 鎖す さす(×杈×首)<建>
 サソク 左足 左側
 サタン 左端 サタン<Satan> 左×祖 ×嗟嘆
 サッカ 作家 作歌 昨夏 擦過<～傷> 〔×遡河〕<～魚類> 酢化<～機><理>
 サッカク 錯覚 錯角<数>
 ザッカン 雜感 雜観
 サッキ 殺気 ×先
 サッシ 冊子 刷子 察し
 ザッシュ 雜種 雜酒
 サッシュ 殺傷 擦傷
 ザッシュ 雜食 雜色
 サツジン 殺人 殺陣
 サッシ 殺×鼠 殺×蛆
 サッチョー ×撒超<経> ×薩長<史>
 ザッパイ 雜輩 雜俳<文>
 サテツ 砂鉄 ×蹉×跌
 サトー 差等 左党 砂糖
 サドー 作動<～体><動> 差動<～装置・～マノメーター><工・建>
 サバク 砂×漠 佐幕<史> ×裁く(×捌く)
 サビ ×鏽 寂<わび～>
 サホー 作法 左方
 サボー 砂防<～工事> ×茶房
 サマス ×覚ます ×冷ます
 サメル ×覚める(×醒める) ×褪める×冷める
 サヤ ×莢 ×鞘<経>

サヨー 作用 °然様
 サヨク 左翼 砂浴<鉦・理・工>
 サラウ *浚う *攪う △復△習う
 サラサラ さらさらく〜と 更々
 サル *猿 °申 去る °然る<〜人から>
 サロン サロン<salon> サロン
 <sarong>
 サワ 沢 °茶話
 サワラ *榎 *鯖
 サワリ °障り °触り
 サワル °障る °触る
 サン 三 賛 産<〜をなす> 算
 <〜を乱す> 惨 °燦<〜として輝く> 酸<理> さん (*棧)
 <建>
 サンイ 賛意 産衣 三位<〜式>
 <工>
 サンイン 産院 参院 山陰
 サンエンカ 三塩化<〜リン><理> 酸
 塩化<〜物><理>
 サンカ 惨禍 惨火 産科 *傘下 賛
 歌 山*窩 蚕架 山家 山下
 参加 酸化<理・工> 三価<〜金属><鉦> 酸価<理・工>
 サンカイ 散会 参会 散開 三回 三階
 産科医 山海<〜の珍味> 山塊
 サンガイ 三階 惨害 三界<仏>
 サンカク 三角 参画
 サンガク 産額 山岳 参学
 サンカン 山間 三寒<〜四温> 参観
 (参看) 三*韓<史> 三環
 <植>
 ザンカン 残簡 *斬*奸 残寒
 サンキ 山気 酸基<理> 散気<〜装置><工>
 サンギ 参議<〜院> 算木

サンキュー 三球 三級 サンキュー
 <thank you>
 サンキョー 山峽 惨況 三教
 サンギョー 産業 蚕業<〜試験場> 三
 業 三行 *鑽仰
 サンキン 産金 参勤<〜交代><史>
 サング 産具 蚕具<農>
 サングー 参宮 三宮<史>
 サンケ 産気 酸気 三家
 サンケイ 三景 山形 参*詣 山系 三
 系<〜交配><農> 散形<〜花序><植>
 サンケン 三権<〜分立> 散見 産菌
 <〜処理> 蚕菌<農> 三件
 サンゲン 三弦 三元<〜合金・〜系・〜交配><鉦・農> 三間 三軒
 サンゴ 産後 *珊瑚
 サンコー 参考 参向 賛仰 三項 三綱
 <〜五常> 三皇<〜五帝> 散
 光<理> 酸好<〜性><動>
 散孔<〜材><建・植> 三行
 <〜脈><植>
 サンゴー 三号 山号<寺号>
 サンサ 三*叉<〜路> 蚕*沙<農>
 サンサイ 三才 山菜 山*塞
 サンザイ 散剂 散在 散財
 ザンサイ 残菜 [残*滓]
 サンサク 蚕作 散策
 ザンサツ °惨殺 斬殺
 サンサン 三々 *燦々 *潜々
 サンシ 三氏 三四 三誌 三紙 蚕糸
 蚕紙 三思
 サンジ 産児 蚕児 惨事 三時 三次
 賛辞 参事<法>
 ザンシ °惨死 °慚死 残*滓
 サンシキ 三色 算式
 サンシツ 産室 蚕室<農> 散失 三室

<植>

サンシャ 三者 三社 三舎<～を避く>
 サンシュ 三種 蚕種<農> 産種<～改良(馬)>
 サンシュエ 三週 三周 三州 参衆<～両院> 参集 *纂修
 サンジュエ 三十 三重
 サンシュツ 産出 算出 三出<～複葉>
 <植>
 サンジョ 産所 賛助 *苳除
 サンショウ 三相<～会談> 三章 参照 三唱 山*椒
 サンジョウ 山上 三条 惨状 三畳<～紀><動> 三乗<～根>
 <数> 参上
 サンショク 三色 三食 山色 蚕食<隣国を～する>
 サンシン 三振 三進<野球> 三審<～制度> 参審<～制度(陪審)> 参進 三針<～法><工> 三心<～アーチ><工>
 サンスイ 山水 散水
 サンスー 算数 酸*芻<農>
 サンスル 賛する 産する 算する
 サンセイ 賛成 参政 三省 三世 産制 酸性<理>
 ザンセイ 残生 残星
 サンセン 山川 参戦 三遷<孟母～> 三線<～座標><数>
 サンゼン 三千 産前 参禅 *燦然 *湛然
 サンソー 三層 山莊 山相 蚕桑<～病虫害> 三相<～交流><工>
 サンゾク 山賊 蚕*族
 サンダイ 三代 参内 散大<～筋>
 <動>
 サントン 三反 賛嘆 三嘆 惨*憺<～

たる>

サندان 三段 散弾 算段
 サンチ 産地 山地
 サンチャウ 山頂 参朝 散超<経>
 サンテイ 算定 *刪定
 サンデー サンデー<Sunday> サンデー<sundae>
 サンド 三度 酸土<～改良> 酸度<理> サンド<sandwich>
 サンド<～スキー>
 サンドー 参道 山道 *栈道 算道 産道 賛同 参堂
 ザントー 残党 残燈
 サンニュー 算入 参入<宮中に～>
 ザンニン 残任<前任者の～期間> 残忍
 サンネン 三年 産年<米穀の～>
 ザンネン 残念 残年
 サンバ 産婆 産馬 サンバ<samba>
 <音>
 サンバイ 三倍 三杯
 サンバイ 参拝 三拝<～九拝>
 サンバク 三麦<大麦・小麦・裸麦> 産麦<～価格>
 サンバツ 散発 散髪
 サンビ 酸鼻<～をきわめる> 賛美
 サンブ 産婦 散布 サンブ<thump>
 <工>
 ザンブ 残部 *讒*誣<～中傷>
 サンブク 山腹 三幅<～対> 三伏<～の候>
 サンブツ 産物 賛仏
 サンブン 蚕*糞 散粉<～器><農> 三分
 サンポ 散歩 三*圃<～式農法>
 サンボー 三方 参謀 三宝
 サンボー 三方 三法 算法 山砲 酸法<理>

サンマイ 三枚 産米 三*味
 ザンム 残務 残夢
 サンモー 蚕網 三毛<~作><農>
 サンモン 山門<建> 三文<~判・二束
 ~> 三間
 サンヤク 三役 散葉
 サンヨウ 三様<三人~> 山容 山陽
 算用 山羊<~乳> 蚕*蛹<~
 油>
 サンラン 産卵 蚕卵 散乱<理>
 サンリョー 山陵 山*稜
 サンリン 山林 三輪
 サンルイ 三塁 酸類
 ザンルイ 残類 残壁<野球>
 サンレイ 山*嶺 山霊 蚕胎
 サンレッツ 三列 参列 惨烈<~をきわめ
 る>
 <シ>
 シ 氏 市 死 四 詩 嗣 師
 資 士<有能の~> 刺<~を通
 ずる>
 ジ 字 辞 地 *痔
 ジアイ 慈愛 自愛 地合い
 シアン 試案 私案 思案 シアン
 <~化物(cyanide)><理>
 シイ *恣意 私意 思*惟 四囲<~
 の情勢> 詩意 *椎
 ジイ 字*彙 辞*彙 事*彙 辞意
 示威 自慰 侍医 次位 磁位
 <理>
 シール シール<seal> *強いる *誣
 いる
 シイン 私印<~偽造> 指印 死囚
 試飲 子音(子韻)<言> 子院
 *<建>
 ジウ 慈雨 時雨
 シエイ 市営 私営

ジエイ 自営 自衛
 シエイキ 私益 使役
 シエン 支援 試演 始演 私*怨 紫
 煙 四円<~座標><数>
 シオ 塩 潮
 シオケ 潮気 塩気
 シオミズ 塩水 潮水
 シオリ *葉 *萎<能> *撓<文>
 シオン 子音<言・理> 齒音<言>
 師恩 紫*苑<植物名> 示温
 <~塗料><工>
 シオン 字音<言> 慈恩 時温<~現
 象><理>
 シカ 市価 糸価 紙価 齒科 史家
 史料 賜暇 詩歌 *鹿 私家
 <~集・~版> 雌花<植>
 *爾<~言う>
 ジカ 自家 自火 *直 時価 時下
 自歌 磁化<理> 磁荷<工>
 ジガ 自画<~自賛> 自我
 シカイ 市会 詩会 詩界 *斯界<~
 の権威者> 司会 視界 齒科医
 四海
 シガイ 市外 市街 紫外<~線> 死
 *骸 枝外<~だる木><建>
 ジカイ 次回 字解 自戒 自壞 持戒
 <仏> 磁界<理>
 シカク 視角 死角 視覚 資格 刺客
 詩格 四角 しかく<~簡単では
 ない>
 シガク 私学 史学 歯学 詩学 視学
 *斯学 志学
 ジカク 自覚 字画 寺格 耳*穀 *痔
 核 時角<工>
 シカミ しか(*鑿) み<建> *獅*嚙
 <裝飾>
 シカン 史観 士官 *弛緩 *屍*姦

仕官 子^{*}癩 止観<仏> 齒冠
 <動> 視感<〜度><建> 師
 管<植> 支間<工> 視感<〜
 度> <理> 市間<〜鉄道>
 <工>
 シガン 志願 史眼
 ジカン 時間 次官 字間 時^{*}艱<〜
 克服> 自管<〜内(官庁の)>
 ジガン 慈眼 字眼
 シキ 志気 士気 識<仏> 色
 <仏> 私記 史記 四季 指揮
 式 死期 紙器 始期 雌器
 <植> 敷き<工>
 シギ 市議 私議 仕儀<〜となる>
^{*}鳴
 ジキ 時期(時季) 時機 次期
 直 自記 自棄 磁氣<理> 磁
 器<鉦>
 ジギ 字義 時宜 見戲
 シキガワ 敷き皮 敷き^{*}革
 シキケン 識見 指揮権
 シキシ 式辞 式次 式事 識字<〜運
 動>
 シキシヤ 識者 指揮者
 シキジョー 式場 色情
 シキドー 食堂<仏> 直堂<仏>
 シギャク ^{*}嗜虐 ^{*}弑逆
 シキュー 四球 死球 始球<〜式> 四
 丘<〜体><動> 糸球<〜体>
 <動> 支給 至急 子宮
 シキュー 持久 自給 自救 自吸<〜装
 置>
 シキョ 死去 視距<工>
 シキョー 市況 示教 指教 詩興 司教
 詩経
 シギョー 始業 紙業 糸業 ^{*}斯業 施
 業 ^{*}執行<仏>

シキョー 自供 自^{*}彊 耳鏡<医> 持
 経<仏>
 ジギョー 事業 次行 地業<建>
 ジギョージョー 事業場 事業上
 シキョク 支局 私曲 詞曲
 シキョク 時局 磁極<理> 自局<〜信
 号><工>
 シキリ ^{*}頻り 仕切り<〜弁><鉦・
 工>
 シキル ^{*}頻る<降り〜> 仕切る
 シキン 資金 賜金 至近 試金<鉦・
 理> 糸筋<動>
 シギン 市銀 詩吟 齒^{*}齧<生>
 シク 市区 詩句 死苦 四苦<〜八
 苦> ^{*}布く<法律を〜> 敷く
^{*}如く<〜ものはない>
 ジク 字句 軸 ^{*}軸
 シクンシ 士君子 四君子<絵画>
 シケ [△]時[△]化 ^{*}柱<〜糸>
 シケイ 死刑 私刑 紙型 詩型 市警
 司計 支系
 ジケイ 次兄 慈兄 字形 慈恵 自計
 <〜主義(調査の)> 自^{*}剽
 自警
 シゲキ 史劇 詩劇 刺激 枝げき
 (<隙> <植>
 シケル [△]時[△]化る ^{*}湿気る
 シケン 試験 私見 私権
 シゲン 資源 至言 示現 四弦 始原
 <動・植> 四元<数・鉦・工>
 シケン 事件 自果
 シゲン 次元 字源 時言 時限 示現
 シケンカン 試験官 試験管
 シコ 指願 四顧 指呼 四^{*}股
 シゴ 死後 四五<〜の点> 私語
 死語<言> 示誤<〜三角形>
 <工> 子午<〜線>

ジコ 自己 事故
 ジゴ 事後 *爾後 持基<囲基>
 シュー 施行 施工 志向 指向 私交
 私行 試航 試行<~錯誤> 至
 高 至幸 至孝 至公<~至平>
 思考 私考 詩稿 *嗜好 伺候
 齒*垢<医> 師孔(*篩孔)
 <植> 視紅<動>
 シゴ一 四号 四合 師号 *謚号
 シュー 事項 次項 次稿 辭項 時候
 時好 時効 自校 侍講 耳孔
 自航<~しゅんせつ船><工>
 シゴ一 次号 自業<~自得> 字号
 <活字の~>
 シゴエ 地声 地肥
 シコク 四国 *斯国 四石 紫黒<~
 色>
 シゴク *扱く 至極
 シコク 時刻 自国 自刻
 シコン 士魂<~商才> 詩魂 私恨
 紫紺 支根 齒根
 シサ 示唆 視差<理>
 ジサ 時差 自差 示差
 シサイ 市債 私債 詩才 司祭 子細
 シザイ 資材 私財 資財 死罪 詩材
 支材<工>
 シサク 試作 詩作 思索 施策 試索
 <~法><建>
 シサツ 視察 刺殺 試刷
 シサン 資産 私産 死産 賜*餐 四
 散 試算
 シサン 持参 自賛
 シシ 志士 嗣子 *獅子 *猪 四
 *肢 死*屍 師資 *孜々
 シジ 支持 指示 師事 私事 死児
 四時
 シシ 次子 侍史

ジジ 時事 時々<~刻々>
 シンツ 資質 紙質 糸質 私室 *屍
 室 脂質<理>
 シジツ 史実 子実<~層><植>
 シンツ 自室 地質 自失<茫然~>
 *痔疾
 ジジツ 事実 時日 次日
 シンヤ 使者 死者 支社 詩社 試写
 試射 四捨<~五入> 視射<~
 角><理>
 シンヤ 自社 寺社 侍者
 ジジャク 自若 示寂<仏>
 シンシュ 詩趣 旨趣 四種 死守 雌株
 <植>
 シンシュ 自主 自首 自守
 シンシュ一 刺*繡 詩集 四周
 シンジュ一 四十 始終 死重<工> 四重
 <~電信><工>
 シンシュ一 自習 自修 次週 自宗
 シンシュク 私*淑 止宿
 シンジュン 諮*詢 至純 視準<鉞>
 シンショ 支所 支署 市署 私書<~
 函> 私署<~証明> 四書 詩
 書 史書 司書<法・図> 死所
 シンショ 辭書 字書 自署 自書 自処
 地所 時所 璽書
 シンショ 自序 自叙 自助 次女 兒女
 侍女
 シンショ一 師匠 師承 詩抄 詞章 支障
 私*娼 支*廠 死傷 指称 私消
 支承<建・工>
 シンショ一 紙上 誌上 史上 至情 私情
 詩情 し(*肢)上<~部>
 <動> し(*矢)状<~面>
 <動> 市場 支場 試乗 至上
 糸状<~菌><植> 齒状<植>
 シンショ一 自性<仏> 自証<仏> 事象

自傷<～行為> 自称 自照<～
 文学> 次章 時鐘<工>
 シジョー 自讓 辭讓 事情 次条 自
 *繩<～自縛> 自乗 治定 自
 淨<～作用><工>
 シショク 試食 試植 指触<～乾燥>
 <理>
 シショク 辭職 辭色<～を励ます>
 シシン 私心 至心 視診<医> 指診
 <医> 指針 私信 使臣 始審
 <法>
 シジン 詩人 私人 市人 士人
 シシン 自信 自身 時針 磁針<理・
 工> 地震 侍臣
 シジン 時人 自陣 自刃(自尽)
 シズイ 齒髓<生> 雌ずい(*蕊)
 <植>
 シスー 指数 紙数
 ジスー 字数 次數<数>
 シスル 死する 資する
 ジスル 辭する 持する 侍する
 シセイ 市政 司政 市勢 市制 市井
 施政 私製 試製 紙製 資性
 姿勢 至聖 詩聖 至誠 死生
 <～の間> 私生<～児> 四聖
 氏姓 賜姓 四声<言> 雌性
 <～先熟><動> 示性<～数>
 <数>
 シゼイ 市税 司税<～当局>
 シセイ 自製 自生 自制 自省 時勢
 時世 時制 辭世 磁性<～タイ
 ル・～鋼><建・釵> 磁製<～
 るつぽ><釵>
 シセキ 史跡 史籍 *咫*尺<～を弁ぜ
 ず> 齒石<医> 枝跡<植>
 シセキ 自席 次席 事績 事跡 自責
 耳石<動>

シセツ 施設 私設 私説 師説 使節
 指節<動>
 シセツ 自説 持説 時節 自切<動>
 シセン 支線 私線 死線 死戦 詩
 *仙 詩*箋 私選 支川<工>
 視線 私船<～公船> 賜*饌
 枝線<～渠><工> 始線<数>
 シゼン 自然 至善
 シセン 自選 自薦 磁選<磁力選釵>
 <釵>
 シゼン 事前 次善 慈善
 シソ 始祖 私訴 紫*蘇
 シソー 思想 志操 詞*藻 死相 詩
 想 詩草 市葬 使*喉 齒*槽
 <～膿漏> 銅*槽 刺創 四層
 <～交さ><工>
 シゾー 死蔵 私蔵
 シソク 子息 四足 四則<数>
 シゾク 氏族 士族 支族
 ジソク 時速 自足 磁束<工>
 ジゾク 時俗 持續
 シソン 子孫 至尊
 ジソン 自存 自尊 自村 児孫 自損
 <～行為>
 シタ 下 舌
 シタイ *肢体 姿態 死体 支隊(枝
 隊) 詩体 四*諦<仏> し
 (*肢) 帶<動>
 シダイ 次第 私大 詩題 至大 四大
 シタイ 事態 自体<それ～> 字体
 辭退
 ジダイ 時代 事大<～主義> 地代
 次代
 シタク 私宅 支*度
 シタテ 下手 仕立て
 シタバ 下葉 下齒 下ば<～鉄筋>
 <建>

シタバキ 下[○]履き 下[×]穿き
 シタヤク 下役 下訳
 シダン 師団 詩壇 史談 指弾
 シチ 七 質 死地
 シチカイ 七回 七階
 シチケン 質券 質権 七賢<竹林の〜>
 シチトー 七等 七頭 七島
 シチブ 七部 七分 七歩
 シチヤ 質屋 七夜
 シチュー 市中 支柱 司^{*}廚 シチュー
 <stew> 死中 至忠 私鑄
 シチョー 市長 市庁 支庁 市町 視聴
 試聴 思潮 詩調 ^{*}弛張 ^{*}輻重
 ジチョー 自重 持重 自^{*}嘲 自庁<〜
 処理> 次長
 シツ 室 質 失 疾 湿
 シツイン 実印 実員
 シツー 齒痛 止痛 私通 四通<〜八
 達>
 シッカ 失火 ^{*}膝下
 ジッカ 実家 実価 実科
 シツガイ 室外 湿害
 ジッカイ 十回 十戒<モーゼの〜> 十
 界<仏>
 ジツガク 実学 実額
 シツカン 失陥 疾患
 ジツカン 実感 十貫 十干
 シツキ 湿気 漆器 失輝<〜点>
 <工>
 ジツギ 実義 実技
 ジツギョーカ 実業家 実業科
 シツク 疾駆 シツク<chic>
 ジツケイ 実兄 実刑<〜を科す> 実景
 十景 実形
 シツケン 識見 失権 執権<史>
 シツゲン 失言 湿原
 ジツケン 実験 実検 実見 実権 十件

十軒
 シッコー 失行 失効 執行 疾行 ^{*}膝
 行 漆工
 ジッコー 実効 実行
 シッコク ^{*}桎^{*}梏 漆黒
 ジッコン ^{*}入魂 実根<数>
 ジッシ 実子 実姉 十指 実施
 ジツジ 日時 実事 実字<言>
 ノッシュー 実習 実収
 ジツジョー 実情(実状)
 シッシン 失神 湿^{*}疹
 シッセイ 失政 執政<〜官> ^{*}叱正
^{*}湿生<〜植物><植>
 ジッセキ 実績 実跡<犯罪の〜> 実積
 ジッセン 実践 実戦 実線<建>
 シッソー 疾走 失^{*}踪 執奏
 シッソク 失速 疾速
 ジッソン 実損<〜額> 実存
 ジツタイ 実態 実体
 シッチ 失地 湿地
 ジツテイ 実弟 実定<〜刑法> 実体
 シツド 湿度 湿土
 シットー 執刀 失投<野球> 失当 失
 透<理・鉦>
 シッピ 失費 ^{*}櫛比<商店〜して>
 ジッピ 実費 実否
 ジツボ 実母 地坪
 ジッポー 十方 実包
 ジツマイ 実妹 実米
 シツメイ 失明 失命 失名
 シツリョー 湿量 質料 質量<理>
 シテ し手<賛成〜がない> 仕手
 <経> シテ<能>
 シデ 死出 ^{*}幣
 シテイ 子弟 師弟 姉弟 私邸 指定
 視程<〜範囲><天・工>
 シテキ 私的 史的 詩的 指摘 視滴

<～注油器><工>
 シテイ 自邸 次第
 シテン 支店 視点 四点 支点<理>
 死点<建・工> 四天<～柱>
 <建> 至点<天>
 シデン 私田<史> 賜田<史> 市電
 史伝 師伝
 ジテン 辞典 字典 事典 次点 時点
 自転
 ジデン 自伝 寺伝 磁電<～管>
 <工>
 シト 使途 使徒
 シトー 死闘 私闘 四等 四頭 私党
 指頭 至当
 シドー 市道 私道 士道 師道 至道
 *斯道 指導 始動<鉦・図・工>
 ジトー 自党 寺塔 地頭<史> 時と
 う(禱)<～書><図>
 ジドー 児童 自動 自働<～性>
 <動>
 ジトク 自得<自業～> 自*漬
 シナ 品 支*那 しなく～をつく
 る>
 シナイ 市内 ^竹^刀 *焼い しない
 <塗料><理> しない<～定
 規><工>
 ジナイ 地内 寺内
 シナガラ 支*那側 支*那皮
 シナン 指南 至難
 ジナン 次男(二男)
 ジニン 自任 辭任 自認
 シノー 士農<～工商> 詩*囊 子の
 う(*囊)<～菌><植>
 シノギ ^凌ぎ しのぎ(*鎬)<建>
 シバ 芝 *柴 死馬
 ジバ 地場<経> 磁場<理>
 シハイ 紙背 賜杯 *弛 靡<官紀の

～> 支配
 シバイ 芝居 四倍<～体・～性><植
 ・動> 試売
 シバク 自縛<自繩～> 自爆
 シハツ 四発 始発
 ジバラ 自腹<～を切る> 地腹
 シハライ 支払(仕払)
 シハン 市販 私販 師範 示範 死
 *斑 紫*癥<医> 紫*斑<医>
 四班 四半<～期>
 ジハン 自判 事犯<暴力～><法>
 ジバン 地盤 ^襦^袢
 シヒ 市費 私費
 シビ 始尾 しび(*鵝尾)<建>
 ジヒ 自費 慈悲
 シビキ 字引 地びき<～網>
 シヒツ 試筆 紙筆
 シヒョー 示標 指標 師表<人の～>
 ジヒョー 辞表 次表 時評 時標<政令
 公布の～>
 シフ 師父 師*傳 紙布<～製品>
 詩賦
 シブ 市部 支部 四分 四部 洪
 師部<*節部><～纖維><植>
 ジフ 慈父 自負
 ジブ ジブ<gib><工> ジブ
 <jib><工>
 シフク 私服 私腹<～を肥やす> 紙
 幅 雌伏
 シブツ 私物 死物
 ジブツ 事物<～管理> 持仏
 シフン 四分 私憤 脂粉
 シブン 四分 詩文 死文 *斯文 士
 分
 ジフン 時分 自噴 自奮<～自励>
 自*刳
 ジブン 自分 時分 時文

シヘイ 紙幣 私兵
 ジハイ 時弊 辞柄<～を設けて>
 シヘン 四遍 紙片 詩編 四辺
 シベン 支弁 至便 思弁<哲>
 ジヘン 事変 自変<～数><数>
 シホ 試補 士補 師*輔 支保<～
 工><工>
 ジボ 慈母 字母<活字の～>
 シホー 司法 私法<～公法> 子法
 <～母法> 死法<～と化す>
 至宝 四方 仕方(仕法)<～書
 き> 詩法 刺胞<動> 示法
 <～書><工>
 シボー 志望 死亡 脂肪 子房<植>
 始紡<～機><工>
 ジホー 時報 時法
 シホン 四本 資本 紙本
 シホンカ 資本家 資本化
 シマ 島 *稿 *揣摩<～臆測> 死
 魔 シマ<simā><地質>
 シマイ しまい<～にする> 姉妹 仕
 舞<能>
 シミ *染み △肝△斑 △紙△魚
 ジミ 滋味 地味
 シミン 市民 士民 四民<～平等>
 四眠<農> *嗜眠<～性脳炎>
 <医>
 ジム 事務 時務<～策> 寺務
 シメ *標 締<～焼き><理>
 シメイ 使命 指命 指名 死命<～を
 制する> 師命 氏名 示名<～
 条片><工>
 シメス 示す 湿す
 シメル 占める 締める 湿る
 シメン 紙面 四面 死面 シメン
 <cymene><理>
 シモ 下 霜

シモン 諮問 試問 指紋
 ジモン 自門 寺門 地紋 自問 耳門
 シャ 社 斜 *紗
 ジャ 邪 *蛇
 シャイン 社員 社印
 シャエイ 社營 斜影 射影<数・理・
 工>
 シャガイ 社外 車外 車*蓋 舍飼い
 <農>
 シャカク 写角<理> 斜角<工>
 シャカン *左官 舍監
 シャガン 斜眼 *赭顔 砂岩<地質>
 ジャキ 邪氣 邪鬼
 シャキン 謝金 砂金
 シャク 私約 試薬<理>
 シャク 尺 勺 *酌 *癢 爵 *笏
 釈<仏>
 ジャク 持薬 *餌薬
 ジャク 弱 寂<～として>
 ジャクシ 弱志 弱視
 ジャクシャク *綽々<余裕> *灼々
 シャクゼン 釈然<～としない> *綽然
 *灼然
 ジャクネン 弱年 寂然
 シャクホー 借方<～勘定> 釈放
 シャクモン 釈文 釈門 借問 *迹門
 <仏>
 シャクリョー 借料 *酌量
 シャクル *杓る *礮る
 ジャケン 邪険 邪見
 シャコ 車庫 *碑*礪 *蝦*姑
 シャコー 社交 射幸<～心> *遮光
 <～幕> 斜光 射光<～機>
 砂鉤 斜坑 斜交<～群><数>
 斜航<～的><数> 斜向<～
 棒><工> *藉口 車行 斜*巷
 砂耕<農>

ジャコー *麝香 邪行
 ジャザイ 謝罪 社財 *瀉劑 斜材
 <工>
 ジャシ 社司 社*祠 *奢*侈 斜視
 ジャシ<chassis><自動車の
 〜>
 ジャジ 謝辞 社寺 写字
 ジャシュ 社主 射手
 ジャショー 車掌 社章 捨象<哲>
 ジャジョー 車上 射場 謝状
 ジャシン 写真 捨身
 ジャシン 邪心 邪神 *蛇身
 ジャセイ 写生 射精
 ジャセン 社線 社船 斜線
 ジャソー 車窓 社葬
 ジャダン *遮断 社團<~法人>
 ジャチュー 車中 社中
 ジャッカ 借款 尺貫<~法>
 ジャッカ 弱冠 若干
 ジャッキ *惹起 ジャッキ<jack>
 <建>
 ジャッコー 弱行<薄志~> 寂光
 ジャテイ 射程 舍弟
 シャド 砂土 *赭土
 シャドー 車道 斜道 シャドー<~ピン
 (shadow pin)><工>
 シャナイ 車内 社内 舍内
 シャバ 車馬<~賃> *娼婆
 シャヒ 社費 舍費
 シャヘイ *遮*蔽 (*遮閉)
 シャベル シャベル<shovel> *喋る
 シャメイ 社名 社命
 シャメン 斜面 *赭面 赦免
 シャリ 射利 舍利<仏> *瀉痢<医>
 シャリョー 車両 斜*稜
 シャレイ 謝礼 車輪
 シュ 主<~として・~だ> 種<こ

の~の> 朱
 シュ 儒 寿 *緩 *頤<仏>
 シュイ 趣意 主意 首位 主位<~概
 念>
 シュイン 主因 手*淫 朱印<史>
 シュー 私有 市有 市*邑 詩友 雌
 雄
 シュー 週 周 衆 *主 州 醜 執
 秀 集 囚 シュー<shoe>
 <工>
 シュー 自由 自有<~公物>
 シュー 十 住 銃 柔 從 重<~か
 つ大> シュー<Jew>
 シューイ 周囲 衆意 拾遺 囚衣
 シューイ 獸医 重位 重困<~に陥る>
 *戎衣
 シューウ *驟雨 秋雨
 シューエイ 秀英 修營
 シューエキ 収益 就役 囚役 終駅 周
 易
 シューエキ *汁液 獸疫
 シューエン 終演 終*焉 周縁<~地
 域> 周延<哲>
 シューカ 集荷 集貨 秀歌 衆寡<~敵
 せず> 臭化<~銀><理>
 シューカ 重加 重課 重科<刑の~>
 重荷 銃火 銃架 住家 從価
 <~比率>
 シューカイ 集会 宗会 州界 周回 醜
 怪
 シューカキ 重火器 銃火器
 シューガク 就学 修学 宗学
 シューカン 週問 週刊 終刊 習慣 収
 監 終巻
 シューカン 重患 縦貫 獸*姦
 シューキ 周期 終期<~始期> 秋季
 (秋期) 秋氣 臭氣 周忌 宗

規
 シューギ 衆議 祝儀 宗義
 シューキ 重機 重器 銃器 *戎器 *什器
 シューキュー 週給 週休 *蹴球
 シューギョ 就漁 終漁 集魚<〜燈>
 シューギョー 就業 終業 修業 習業
 <〜契約> 醜業 襲業
 シューキョク 終局 終極 終曲 *褶曲
 <〜山脈>
 シューク 秀句 愁苦
 シューケイ 從兄 重刑
 シューケツ 終結 集結
 シューケン 集権 収菑<農>
 シューコー 就航 周航 舟航 舟行 醜行 醜交 修好 修交 就講
 衆口<〜一致> 集光<〜レンズ・〜器><工・理> 秋耕
 シューゴー 集合 習合<神仏〜> 秋毫
 シューコー 重工 銃口 獸行 重厚
 シューコク 重刻 縦谷
 シューサク 秀作 習作
 シューサツ 銃殺 重殺<野球> 重刷
 シューサン 集産<〜主義> 衆參<〜兩院> 集散 秋蚕<夏〜> しゅう (*蔭) 酸<理>
 シューシ 終始 終止 収支 宗旨 修史
 シュージ 習字 修辭
 シューシ 從姉 獸脂 重視
 シュージ 十時 十字 住持 從事
 シュージツ 終日 週日 秋日
 シューシュ 収取<果実の〜> 集取<証憑の〜>
 シューシュー 収集 (*聚集・拾集) 收拾 修習<知識技能の〜> 舟*揖<〜の便>

シュージュン 從順 (柔順) 重巡<軍>
 シューシヨ 週初 衆庶
 シューシヨー 就床 周章 愁傷 秋*宵
 シューシヨー 重傷 重症 銃傷 銃床
 重唱 重商<〜主義>
 シューシヨク 就職 襲職 秋色 愁色
 修飾
 シューシヨク 重職 住職
 シューシン 修身 終身 終審 就寢 執心
 シュージン 囚人 衆人 集*塵<〜裝置>
 シューシン 重臣 銃身 獸心 獸身 重心 重信<〜カッド><工>
 シューズ シューズ<juice> ジューズ<deuce><運>
 シュースイ 集水<〜区域> 秋水<三尺の〜>
 シューセイ 修正 (修整) 集成 修成 州制 宗制 習性 終生 秋声
 シューセイ 銃声 獸性 *鞣成<皮革の〜> 從性<〜遺伝><動>
 縦生<植>
 シューセキ 集積 就籍
 シューセキ 重責 重積<滯納が〜する> 重石
 シューセツ 衆説 終雪<天>
 シューセン 周旋 終戦 修*撰 *鞣*韃 修船<〜ドック><工>
 シューゼン 修繕 愁然
 シューゼン 從前 十全 *稔然
 シューソ 宗祖 愁訴 臭素<理>
 シューソー 衆僧 就巢 終霜<天>
 シューソー 住僧 從僧 銃創 重層 縦走 重*曹 重奏<音>
 シューソク 終息 収束<数・工> 集束<理> 終速<工> 周速

～度><工>
 ジューゾク 従属 従続<工>
 ジュータイ 重態(重体) 縦隊 渋滞
 獣帯<天>
 ジューダイ 十代 十台 重大 十大
 <～銀行> 重代
 シュータン 終端 愁嘆 収炭<～率>
 <農>
 ジュータン *絨*毯 獣炭<理>
 ジューダン 縦断 銃彈
 シューチ 周知 衆知 *羞恥 集治<～
 監>
 シューチャク 執着 終着 祝着<～しご
 く> 収着<理>
 シューチュー 集中 集注
 シューチョー *酋長 州庁
 シューティ 修訂 修定 舟艇
 ジューテン 重点 充*填
 シュート *舅 衆徒 宗徒 囚徒 シュ
 ート<shoot><建・運・テレビ>
 シュート<chute><鉤・図・
 工>
 シュートー 秋冬 周到
 シュードー 修道<～院> 就働<～率>
 ジュートー 充当 充*棟<汗牛> 重
 盜<野球>
 シュートク 修得(習得) 拾得 取得
 シューニユー 収入 集乳<～量><農>
 ジューニン 十人 住人 重任
 シューネン 執念 周年
 ジューノー 十能 重農<～主義>
 シューハ 宗派 秋波<～を送る> 周波
 <理>
 ジューハ 銃*把<軍> 縦波
 シューバン 週番 終盤
 ジューハン 重犯 徒犯 重版<図>
 シュービ 愁*眉<～を開く> 秀*眉 終

尾 醜美
 ジューヒ 獣皮 柔皮
 ジュービ 充備 柔*媚
 シューフー 宗風 秋風
 シューブン 醜聞 秋分
 ジューブン 十分 重文<言>
 シューホー 週報 宗法 衆峰
 ジューホー 銃砲 重砲 重宝 *什宝
 シューマツ 週末 終末
 シューメイ 襲名 醜名 州名
 ジューヤク 重役 重訳
 シューユー 周遊 舟遊
 シューヨー 収容 収用<土地～法> 襲
 用 修養
 ジューヨー 重要 充用
 ジューライ 従来 重来<捲土>
 シューラン 周覽 収*攬<人心>
 シューリョー 終了 修了 収量<反当り
 ～><農> 終漁 秋涼<～
 の候>
 ジューリョー 重量 従量<～税> 銃貳
 十兩
 シューレイ 秋冷<～の候> 秀麗<眉目
 ～>
 シューレン 修練(習練) 収*斂
 シューロク 収録 集録 週録
 ジュエキ 受益<～者> 樹液
 シュエン 主演 酒宴
 シュオン 主恩 主音<音>
 シュカ 酒価 酒家 主家
 シュガ 主我<哲> 珠芽
 ジュカ 儒家 樹下
 ジュカイ 受戒<仏> 授戒<仏> 樹海
 シュカク 主客 酒客 主格<言> 種核
 <植>
 シュカン 主幹 主管 主観 首巻 手簡
 シュカンシャ 主管者<法> (主幹者)

シュキ 手記 酒気<～を帯びる>
 シュキユ 首級 守旧<～派>
 シュキユ 需給 受給<～資格>
 シュギョ 修業 修行 主業<～副業>
 シュク 宿 祝
 シュクイ 祝意 宿意
 シュクエン 祝宴(祝*筵) 宿*怨<～を
 晴らす> 宿縁
 シュクゴ 縮合<理> 宿業<仏>
 シュクシ 祝詞 宿志<～を果たす>
 *夙志
 シュクシ 熟視 熟思 熟*柿
 シュクシヤ 宿舍 縮写
 シュクシヨ 祝勝 宿将 縮小
 シュクスル 祝する 宿する
 シュクセイ 肅正 肅清
 シュクセイ 塾生 熟成<理・工>
 シュクトー 肅党 祝*禱<宗>
 シュクトク 淑徳 宿徳
 シュクボー 宿望 宿坊
 シュクン 殊勲 主君 酒*饌
 シュケイ 主計 主刑
 シュケイ 受刑 樹形<植>
 シュケン 主権 種蒔 朱圈
 シュケン 受験 受検 授權<法>
 シュゴ 守護 主語<言> 首語<～記
 入><図>
 シュコー 趣向 手工 酒*肴 手交 首
 肯 手稿<～本><図> 珠孔
 <～受精><植> 主構<工>
 シュコー 樹高 受講
 シュサイ 主催 主宰 主祭
 シュザイ 取材 主材<建> 取財<詐欺
 ～> 主剂 首罪
 シュシ 主旨 趣旨 種子
 シュジ 主事 主治<～医> 朱字 主
 辭<哲>

シュシ 樹脂 樹枝 *豎子
 シュシヤ 取捨 手写
 シュジュ 種々 *侏儒
 シュシヨ 朱書 手書
 シュシヨ 首相 主将(首将) 首唱
 主唱 殊勝
 シュシヨ 衆生 主上 主情
 シュシヨ 受賞 授賞 受章
 シュシヨク 主食 酒色 酒食 主色 朱
 色
 シュシン 主神 酒神 朱*唇 主審
 <運>
 シュシン 受信 受診 樹心<建>
 シュセイ 守勢 守成 酒精<～飲料>
 シュゼイ 主税 酒税
 シュセイ 受精 授精 樹勢<～回復>
 シュセキ 首席 主席 酒席 手跡 酒石
 <～酸><理>
 シュセン 主戦<～投手> 守戦 酒*仙
 手選<～炭>
 シュソ *呪*咀 受訴<～裁判所>
 シュゾー 受像<～管><テレビ> 受贈
 <～者>
 シュソク 首足 手足 守則
 シュダイ 主題 首題 主大<～骨片>
 <動>
 シュタイ 受胎 樹帯 受体<理>
 シュタク 手沢 手拓
 シュチ 酒池<～肉林> 主知<～主
 義><哲>
 シュチク 種畜 主畜
 シュチュ 手中 酒中 種虫<動>
 シュチョー 主調 主潮 首長<地方団体
 の～> 主張 *腫脹
 シュツ 術 述
 シュツエン 出演 出*捐<～行為>
 シュッカ 出火 出荷(出貨)

シュッカシ 出棺 宿患
 シュツギョ 出漁 出御
 シュツキョー 出京 出郷
 シュッキン 出勤 出金
 シュツケイ 術計 熟計
 シュツケツ 出血 出欠
 シュツゴ 術語 述語<言>
 シュツコー 出港 出航 出向<～を命ず
 る> 出講
 シュツコク 出国 出穀<～期><農>
 シュツサク 述作 術策<～に陥る>
 シュツシ 出資 出仕 出糸<～突起>
 <動>
 シュツシヨ 出所 出処<～進退>
 シュツスイ 出水 出穂
 シュツセイ 出生 出征
 シュツチョー 出張 出超
 シュツパン 出帆 出版
 シュツリョー 出漁 出猟
 シュテン 主点 酒店
 シュト 首都 主都 首途 酒徒
 シュドー 主導<～権> 主動<～性>
 手動<～式> 主働<～土庄>
 <建>
 シュドー 受動 受働<～土庄><建>
 儒道
 シュニク 朱肉 酒肉
 シュニン 受認 受任<～者>
 シュハン 首班 主犯
 シュヒ 種皮<植> 珠皮<植> 種肥
 <農>
 シュビ 首尾<～一貫> 守備
 シュヒツ 朱筆 手筆 主筆
 シュヒン 主賓 種*牝<～馬>
 シュフ 首府 主婦
 シュブ 首部<～索引> 主部<言>
 シュヘイ 手兵 守兵 珠柄<植>

シュホ 酒保 酒舗
 シュホー 手法 主峰 主砲
 シュボー 首謀 手紡
 シュメイ 主命 種名<動>
 シュモク 種目 *撞木
 シュモン *呪文 *誦文 儒門
 シュヤク 主役 主藥
 シュヨー 主要 主用 *須要 *腫*瘍
 手用<～信号><工>
 シュヨー 樹葉 需要(需用) 受用
 シュラン 朱欄 酒乱 種卵
 シュリユー 主流 手*榴<～彈> *腫
 *瘤
 シュリョー 首領 狩猟 酒量
 シュリン 樹林 儒林
 シュルイ 種類 酒類 主類<～表>
 <図>
 シュン 純(*醇) 準 順 旬<～平
 均><天>
 シュンイ 順位 准尉
 シュンエン 巡演 順延 順縁<～婚>
 シュンカ 純化(*醇化) *馴化 順化
 シュンカン 瞬間 春寒
 シュンカン 旬間 旬刊 循環
 シュンキ 春季(春期) 春機<～発動
 期>
 シュンキョー 順境 殉教
 シュンケイ 巡警 純計<～額> 純系
 <動>
 シュンケツ 俊傑 瞬結<工>
 シュンケツ 純血 純潔
 シュンゲツ 旬月 *閏月
 シュンケン 巡検 巡見 純絹
 シュンコー 春光 春耕 *竣工
 シュンコー 巡行 巡航 順行 巡幸 順
 向<～抑制><心> *醇厚
 シュンシ 巡視 殉死

ジュンシュ 循守(遵守) 巡守
 シュンシュ 俊秀 春愁
 ジュンジュン 順々 準々<～決勝>
 *醇々<～として説く>
 ジュンジョー 純情 準*繩
 ジュンシヨク 潤色 殉職
 ジュンジル 準じる 殉じる
 ジュンセイ 純正(*醇正) 順正 潤性
 潤製
 シュンセツ 春雪 *浚*渫
 ジュンネン *閏年 旬年
 ジュンビ 準備 純美(*醇美)
 ジュンブー 順風 *醇風<～美俗>
 ジュンボー 順法(遵法) 旬報 遵奉
 ジュンユー 巡遊 準由
 ジュンヨウ 準用 遡用 巡洋<～艦>
 ジュンリ 純理 純利 循吏
 ジュンリョー 純良(*醇良) 順良 純
 量
 ジュンロ 順路 巡路
 ショ 書 署 所<～の機構> 緒
 <～につく>
 ジョ *爾余 時余
 ジョ 序 除<数>
 ショイ 所為 初意
 ショイ 女医 叙位
 ショイン 所員 署員 諸員 書院
 ショエン 初演 所縁
 ショー 使用 試用 私用 施用<肥料
 の～> 飼養 仕様<～書> 史
 要 至要 止揚<哲> 枝葉<～
 末節>
 ショー 賞 章 省 抄 小 ショー
 <show> 升 将 生<～をうけ
 る> 性<～がわるい> 衝<～
 に当たる> 証<～とする> 正
 *笙<音> 商<数> 礎<工>

ジョー 滋養 自用
 ジョー 上 情 状<この～> 条<前
 の～に> 錠<建>
 ジョーアイ 情愛 情合
 ジョーイ 小異 少尉 焼*夷<～弾>
 ジョーイ 上衣 常衣 上位 情意 讓位
 *攘*夷 上意
 ジョーイン 証印 省印 消印 承引 勝
 因 省員
 ジョーイン 乗員 剩員 冗員 上院 暈
 韻<文>
 ショーウン 勝運 商運 *昌運
 ショーエキ 小厭 *燖液
 ショーエン 小宴 招宴 小園 小円 硝
 煙<～弾雨> °莊園<史>
 消炎<～法・～火薬><医・
 工> 昇炎<～ガマ><理>
 ジョーエン 情縁 情炎 上演
 ジョーオン 常溫<理> 上音<音>
 ショーカ 消火 消化 昇華 唱歌 *頌
 歌 証歌<文> 商科 商家
 *娼家 消夏 小暇 小過 °上下
 <～一致> 硝化<理> 松果
 <～腺><動> 生花<テレビ>
 ジョーカ 淨火 淨化 情火 情歌 上下
 城下
 ショーカイ 紹介 照会 商会 小会 商
 界 詳解 *哨戒 昇階<～唱
 集><図> 昇塊<～物>
 <鉦> 小塊<～炭><鉦>
 昇開<～徑門・～橋><工>
 ショーガイ 障害 傷害 生害 小害 生
 *涯 涉外
 ジョーカイ 常会 淨界 上昇<数> 淨
 戒<仏>
 ジョーガイ 場外 城外
 ショーカキ 消火器 小火器 消化器

ショーガク 小額(少額) 奨学 小学
 正覚<仏>
 ショーカク 城郭 城閣 乘客 常客 嬢
 核<植>
 ショーガク 定額 常額 上*顎
 ショーカン 償還 召還 将官 小官 昇
 官 商館 小閑 消閑 小寒
 <天> 小管<工>
 ショーカン 上官 冗官 情感 条款 乘
 艦 上*欄 条間<~施肥>
 <農>
 ショーキ 勝機 商機 詳記 抄記 将器
 相器 小器 *瘴気 沼気<工>
 正忌 賞旗<~制度> *鍾*道
 正気
 ショーギ 商議 省議 将棋 床*几 *娼
 *妓 勝義
 ショーキ 常軌<~を逸した> 常規 条
 規 上記 乗機 淨机 上機
 <仏> 上気 蒸気<理>
 ショーギ 情義 定規(定木)
 ショーキヤク 正客 招客 焼却 消却
 <法>
 ショーキヤク 乘客 上客 常客
 ショーキュー 昇給 昇級
 ショーキュー 商況 省境
 ショーギョー 正行<仏> *聖行<仏>
 *聖教<仏> 商業
 ショーキュー 状況(情況) 上京
 ショーキョク 小曲 消極
 ショーキン 賞金 獎金 償金 正金 小
 *禽
 ショーク 冗句 ショーク<joke> 疊句
 *繩*矩
 ショーケイ 勝景 小景 *捷徑 小徑
 小計 象形<~文字> 少憩
 承継 *捷*勁 鐘形<~花冠>

 <植>
 ショーケイ 情景 場景 常形
 ショーゲキ 衝撃 笑劇 少*隙
 ショーケツ 焼結<~法><鉦> *猗*猷
 ショーケン 証券 商榷 小園 正綱
 ショーゲン 証言 詳言
 ショーケン 条件 常見<仏>
 ショーゲン 上限 上弦
 ショーコ 証拠 称呼 *尚古 沼湖 鐘
 鼓 焼固<理> 消弧<理・工>
 ショーゴ 冗語 疊語 上戸 *漏*斗
 ショーコー 商工 商港 小校<~分立>
 症候 小康<~を得る> 照校
 <~電報> 昇降 焼香 消
 *耗 消光 昇こう(*朧)<理>
 小孔<植> 将校 照光<~配
 電盤><工>
 ショーゴウ 称号 商号 照合 承合
 ショーコー 条項 情交 乗降 上厚<~
 下薄> 上皇<史> 常衡
 <鉦> 上鉦<鉦>
 ショーコク 小国 生国
 ショーコン 傷*痕 焼*痕 商魂 招魂
 松根<~油・~タール><理>
 ショーコン 上紺 上根<仏> 条こん
 (*痕)<鉦> 乗根<数>
 ショーサ 小差(少差) 勝差<運> 証
 左 照査 少佐
 ショーサイ 商才 小才 小祭 小斎
 <宗> 詳細
 ショーザイ 錠剤 淨財
 ショーサク 商策 小策 *蕭索
 ショーサク 上策 上作
 ショーサツ 省察 詳察 照察 小冊 笑
 殺 焼殺 *蕭殺
 ショーサン 勝算 称賛 賞賛 消散 硝
 酸<理>

ジョーザン 乗算<数> 錠ざん<建>
 ジョーシ *頌詞 *頌詩 証紙 生死 小
 史 将士 焼死 笑止 晶子<鉦
 ・工> 小し(*肢)<~形>
 <動>
 ジョージ 小事 商事 賞辞 生死 消磁
 <~機><鉦・工> 障子 小字
 ジョーシ 上司 上*梓 城*址 情死 上
 *肢 上使<史>
 ジョージ 情事 常時 常事<~犯> 量
 字<言> ジョージ<~式(Geor-
 gian)><建> 常磁<~性の>
 <鉦>
 ジョーシツ 消失 焼失 小室 品質
 <理>
 ジョーシャ 勝者 傷者 *硝舎 *廠舎
 商社 小社 *瀟*洒 照射 抄
 写
 ジョージャ 生者<~必滅><仏> *盛
 者<~必衰><仏> 精舎
 <仏>
 ジョーシャ 乗者 浄写
 ジョーシュ 情趣 城主 上酒
 ジョーシュー 招集<法> *囂集<暴徒
 ~> *誦習
 ジョーシュツ 抄出 *妾出 晶出<理・
 工>
 ジョーショ 証書 詔書 *尚書<国璽~
 (イギリス)> *哨所
 ジョージョ 少女 小序 昇叙
 ジョーショ 情緒 浄書 上書
 ジョーショ 少将 少々 商相 将相
 承認<~必謹> *悄々 *蕭
 々 昭々
 ジョージョー 賞状 招状 商情(商状)
 症状 掌上 *霄*壤<天地~
 の差> *清浄 *蕭条 小乗

<仏> 掌状<~裂葉>
 <植> 猩々
 ジョーショ 条章<憲法の~> 上昇
 常勝
 ジョージョー 情状<~酌量> 上乘 上
 々 上場<経> 条々 *嫋
 々 量々<~たる山>
 ジョーショク 小食 小職 焼食<鉦>
 消色<理>
 ジョーショク 常食 常職 上職
 ジョーシル 生じる *請じる
 ジョーシン 焦心 傷心 小心 小身 正
 真 正信 昇進 衝心<脾氣
 ~><医>
 ジョージン 消尽 焼尽 小人 精進
 ジョーシン 上進<経> 上伸<経> 上
 申<~書> 上しん(*脣)<植
 ・動>
 ジョージン 常人 情人
 ジョーズ 上図 上*手
 ジョースイ 将帥 小水 *憊*悴 承水
 <~溝> 昇水<~管><建>
 消衰<理>
 ジョースイ 上水 浄水<建・鉦> 常水
 <建>
 ジョースー 少数 小数<数>
 ジョースー 常数 乗数<数>
 ジョーセイ 将星 商勢 小成 笑声 鐘
 声 招請 招婿<~婚> 小生
 焼成<~燐肥><鉦・理> 照
 星<軍>
 ジョーセイ 情勢 上製 釀成 上世
 <史>
 ジョーセキ 証跡 硝石<チリ~>
 ジョーセキ 上席 定席 定石 定跡 乗
 積<数>
 ジョーセツ 小説 章節 小節 詳説 小

雪<農>
 ショーゼツ 勝絶 *峭絶 小舌<植>
 ショーセン 商船 商戦 *哨船 省線
 抄織<~織物> 焦線<理>
 ショーゼン *悄然 *蕭然 *悚然 *聳然
 承前
 ショーセン 乗船 定先<囲碁> 条線
 <~のある><植・鉱>
 ショーソ 勝訴 商租<~権>
 ショーソー 焦燥 *尚早 少壮
 ショーソー 上層 情操 上奏 条桑<~
 育><農>
 ショーソン 小村 小損 焼損
 ショータイ 晶体<動> 小体<動> 招
 待 正体 小隊 商体<数>
 晶帯<~軸><理>
 ショーダイ 昭代 章題 招待
 ショータイ 状態 常態 上体 上*腿
 ショーダイ 上代 城代<史>
 ショータク 小宅 *妾宅 沼沢
 ショータン 賞嘆(称嘆) 傷嘆 小胆
 ショーダン 商談 小団
 ショーダン 上段 冗談
 ショーチ 招致 召致 小知 生地 勝地
 沼池 承知
 ショーチ 上地 淨地 情痴 常置
 ショーチュー 焼*酎 掌中
 ショーチュー 常駐 条中<~の一項>
 城中 条虫 [*蟯虫]
 ショーチャー 象徴 消長 省庁<各~>
 小腸<動>
 ショーチャー 場長 上長<~の指示>
 情調 冗長
 ショーテイ 小*亭 小弟
 ショーテイ 上程 上帝<宗> 乗艇<~
 装置><工>
 ショーテン 商店 小店 章典<権利~>

焦点 賞典 衝天<意気~>
 昇天
 ショーデン 詳伝 小伝 召電 招電 昇
 殿<~参拝>
 ショート 商都 ショート<short>
 ショード 焦土 焼土<~を入れる>
 <農> 照度<理・工>
 ショートー *橋頭 *橋燈 小島 小党
 小刀 消燈
 ショードー 衝動 *聳動 *竦動 唱道
 章動<理>
 ショートー 上*棟 常*套<~手段> 上
 等 上勝<経>
 ショードー 情動<心> 常同<心> 常
 道 成道<仏>
 ショートク 生得 彰徳 *頌徳
 ショーナイ 省内 床内<~気温>
 ショーナイ 場内 城内
 ショーナン 小難 *湘南
 ショーニン 承認 証人 商人 小人<~
 大人> 昇任 *上人(*聖人)
 <仏>
 ショーネ 性根 正*子<天>
 ショーネツ 消熱 焦熱<仏>
 ショーネツ 情熱 釀熱<~物>
 ショーネン 少年 生年 正念<仏> 称
 念<仏>
 ショーノー *樟腦 笑納 小農 小脳
 小のう(*囊)<動>
 ショーハ 小派 小破 *翺破
 ショーハイ 賞杯 賞*牌 勝敗 小輩
 ショーハク 商博 松*柏
 ショーハク 常泊 上白<~下白(白米)>
 上*罇
 ショーバン 定番<史> 城番<史> 上
 番 定盤<鉱> 条板<工>
 ショーヒ 消費 少肥<~栽培>

ショービ 焦^{*}眉 賞美
 ショーヒ 冗費 常費 上皮<～組織>
 <動>
 ショーヒツ 省筆 正筆
 ショービブン 常微分<～方程式><数>
 上微分<～係数><数>
 ショーヒン 賞品 商品 小品
 ショーフ ^{*}娼婦 生^{*}駄 正^{*}駄
 ショーブ 勝負 ^{*}尚武 ^{*}菖^{*}蒲
 ショーフ 情夫 情婦 上布 ^{*}饒富 定
 府<史>
 ショーブ 上部 丈夫
 ショーファー 松風 正風<文> 衝風
 <鉦>
 ショーフク 承服 ^{*}摺伏 ^{*}妾腹
 ショーフク 常服 淨福
 ショーブン 性分 小文 小分
 ショーブン 条文 上文 冗文 上聞<～
 に達する>
 ショーヘイ 将兵 傷兵 ^{*}哨兵 小兵
 招^{*}聘 障^{*}蔽 ^{*}昌平 (昇平)
 小柄<動・植> 焦平<～面>
 <理>
 ショーヘイ 情弊 城兵 常平<～踏み
 板><工>
 ショーヘキ 障壁 晶癖<理>
 ショーヘン 小編 掌編 小片 小変
 ショーホー 詳報 勝報 (^{*}捷報) 商法
 小胞<動・植>
 ショーボー 消防 焼亡 正法<仏>
 ショーホー 情報 上方 定法 常法 乗
 法<数>
 ショーホン 正本<～副本> 証本<戸籍
 ～> 抄本 小本
 ショーマイ 正米 小妹
 ショーミ 正味 笑味 賞味
 ショーミョー 小名<史> 称名 (唱名)

 <仏> [◎]声明<仏>
 ショーム 商務 省務
 ショーム 常務 乗務<～員>
 ショーメイ 証明 照明 正銘<正真～>
 ショーメツ 消滅 生滅 焼滅
 ショーモン 証文 [◎]声[◎]聞<仏> 照門
 <軍> ^{*}蕉門<文>
 ショーモン 定紋 城門 ^{*}繩文<～式土
 器><史>
 ショーヤド 定宿 (常宿) 上宿
 ショーヨ 剰余 譲与 丈余
 ショーヨウ 商用 賞用 小用 賞揚 (称
 揚) ^{*}慇^{*}慇 小^{*}恙 [◎]從容
 照葉<～樹林><植>
 ショーヨウ 常用 乗用 常^{*}備
 ショーライ 生来 松^{*}嶺 将来 招来
 ショーラク 上^{*}洛 常楽<仏>
 ショーラン 笑覧 照覧
 ショーラン 上欄 ^{*}擾乱 上覧
 ショーリ 商利 小利 掌理<事務を～>
 ^{*}變理<國政を～する> 掌^{*}裡
 小吏 勝利 ^{*}捷利
 ショーリ 条理 情理<～を尽くして>
 常理 場^{*}裡
 ショーリツ ^{*}聳立 ^{*}峭立 勝率
 ショーリャク 商略 省略
 ショーリュウ 小粒 昇流<動>
 ショーリュウ 上流 蒸留<理>
 ショーリョウ 使用料 使用量
 ショーリョウ 少量 (小量) 将領 精
 [◎]靈<仏> 商量 涉獵
 ショーレイ 省令 ^{*}瘡^{*}癘 奨励
 ショーレイ 常例 定例 条例 条令<緊
 急～> 上例 条令<～篇>
 <鉦>
 ショーロー 鐘樓 ^{*}檣樓 ^{*}娼樓
 ショーロク 詳録 抄録

ショーロン 詳論 小論
 ショーワ 小話 笑話 昭和 唱和
 ジョーワ 情話 冗話
 ショカ 諸家 書家 初夏 書架
 ショカイ 初回 初会 所懐
 ショガイ 所外 署外
 ショカン 書簡 初卷 書卷 諸卷 初刊
 所感 所管 初感<医>
 ジョカン 女官 女監 女鑑
 ショキ 初期 所期<～の目的> 書記
 署記 所記 暑気 庶幾
 ショキカン 諸機関 書記官
 ショキュー 初級 初給 暑休<～読書
 会><図>
 ジョキュー 女給 叙給
 ショギョー 所行 所業 初行 諸行<～
 無常>
 ジョキョーイン 女教員 助教員
 ショク 私欲 *嗜欲
 ショク 初旬 食 職 嘱<～によっ
 て> *蝕 しょく(*燭)<工>
 ショクイン 職員 職印
 ショクゲン 食言 囑言
 ショクザイ *贖罪 殖財
 ショクジ 食事 食*餌 植字 職事
 ショクシュ 職種 触手
 ショクショー 職掌 食傷
 ショクジン 食人<～種> 食尽<天>
 ショクスル 食する *属する<望みを
 ～> 嘱する
 ショクセイ 食性<動> 植性<植> 職
 制
 ショクゼン 食前 食*膳
 ショクタク 食卓 囑託
 ショクチ 初口 諸口<経>
 ショクドー 食堂 食道
 ショクヒ 食費 植皮<～術>

ショクブン 職分 食分<天>
 ショクリョー 食糧 食料
 ショケイ 諸兄 初経<生> 書契 庶兄
 処刑
 ジョケイ 叙景 女系
 ショケン 所見 初見 書見 諸賢 諸県
 ジョケン 女権 除権<～判決>
 ジョゲン 序言 助言
 ショコ 書庫 書*買
 ショコー 諸公 諸侯 初校 諸港 *曙
 光 初更 初項<数>
 ジョコー 女工 女皇 徐行
 ショサイ 書斎 所載
 ジョサイ *如[△]才<～ない> 助祭<宗>
 ショサツ 書札 書冊
 ショサン 所産 初産<～婦>
 ジョサン 助産 除算
 ショシ 初志 所思 諸子 諸氏 書誌
 書史 書*肆 庶子 諸士 書士
 <司法・行政> 処士<～横
 識>
 ショジ 諸事 所持
 ジョシ 女子 女史 助士<機関>
 序詞 助詞
 ジョジ 叙事<～詩> 助辞(助字)
 女児 序次
 ショシキ 諸式<～高騰> 書式
 ショシヤ 諸卓 書写
 ショシュー 初秋 諸宗
 ショシュツ 庶出 所出 初出
 ショシヨ 諸所 所々
 ショショー 諸将 所掌 書証<～第四
 号> 初品<鉉>
 ジョシヨー 女将 序章 叙唱<音>
 ジョジョー 叙情 如上 叙上
 ショシン 初心 所信 初診 初審 書信
 ジョスー 序数 除数<数>

ショスル 書する 処する
 ショスル 除する 叙する 序する *恕する
 ショセイ 初生 所生 書生 処世 庶政 (諸政) 書聖
 ショセイ 助成 助勢 女性 女婿 女声
 ショセキ 書籍 初析<鉤>
 ショセキ 除籍 除斥<法>
 ショセツ 諸説 所説
 ショセツ 序説 叙説 *絮説 除雪
 ショセン 緒戦 所*詮
 ショソー 諸相 書窓 所相
 ショソー 序奏 助奏 助走 女装 除草
 ショタイ 所帯 (*世帯) 諸隊 書体
 ショタイ 除隊 助胎<~細胞><植>
 ショダン 初段 処断
 ショチュー 暑中 書中
 ショチュー 女中 除虫
 ショチャー 所長 署長 初潮
 ショッカク 触覚 触角 食客
 ショッカカン 触感 触官 食間
 ショッキ 食器 織機
 ショッケン 食券 職権
 ショッコー 職工 織工 *燭光
 ショテン 書店 諸点
 ショデン 所伝 初伝 初電
 ショトー 初等 初頭 初冬 諸島 しょ (*蔗) 糖<理>
 ショドー 書道 諸道 所動
 ショトク 所得 書*牘
 ショナイ 所内 署内
 ショニン 庶人 諸人 初任
 ショネン 初念 所念 初年
 ショハン 初犯 所犯 初版 諸般
 ショヒ 所費 諸費
 ショブツ 諸物 諸仏
 ショホ 初歩 書舗

ショホー 書法 諸方 処方 諸法<仏>
 ショホー 叙法 除法
 ショマク 序幕 除幕
 ショム 庶務 処務<~規則> 所務
 ショメイ 書名 署名
 ショメイ 除名 助命
 ショユー 所有 所由
 ショヨー 所用 所要
 ショリョー 諸陵 所領
 ショロー 初老 所勞
 ショロン 所論 緒論 書論
 ジライ *爾来 地雷
 シラス 白*子 白州 知らず
 シラハ 白羽<~の矢> 白刃
 シリ *尻 私利 支離<~減裂>
 ジリ 事理 自利 じり<~貧>
 シリツ 私立 市立
 ジリツ 自立 自律 侍立 *而立
 ジリユー 時流 自流<~式発電> 磁流 <~鉄鉤><鉤>
 シリョー 資料 史料 死*靈 思量 糸量 紙料 飼料<~配合機><農・工> 試料<理・工> 使料 私領
 ジリョー 寺領 *餌料
 シリョク 死力 資力 視力 示力<~図><建・工>
 ジリョク 自力 磁力<~計><理>
 シリン 四隣 詞林 支輪<建>
 シル *汁 知る
 シルシ 印 (*徴)
 シルス *記す (*印す・*徴す・*標す)
 シレイ 指令 司令
 ジレイ 事例 辞令 自励<~振動> <工> 自冷<~式変圧器> <工>
 シレッツ 四列 *熾烈 齒列<動>

シレル 知れる *痴れる
 シロ 白 城 *代 枝路<工> 四
 路<~式熱風炉><鉦>
 シロー 耳漏 *痔*瘻
 シロン 試論 私論 史論 詩論
 シロン 持論 時論
 シワ 詩話 私話 *皺
 シワホー 指話法 視話法
 シン 真 信 親 *忖 臣 寝 *讒
 シン 仁 陣 シン<gin>
 シンアイ 親愛 信愛
 ジンアイ *塵*埃 仁愛
 シンイ 神意 神威 深意 心意 真意
 *愼*悲 信*倚 *讒緯
 シンイキ 神域 震域<地>
 シンイン 真因 神韻 心因<~反応>
 <心>
 シンエイ 真影 親衛 新營 親英 新鋭
 ジンエイ 陣營 人影
 シンエツ 親聞 親謁 信越
 シンエン 神*苑 深*淵 新門<経> 心
 *猿<意馬> 深遠
 シンオー 新王 深奥 震央<地>
 シンオン 心音<生> *唇音<言> 震
 音<建・工>
 シンカ 進化 深化 真価 神火 神化
 臣下 新加 心*窩<生>
 シンカイ 深海 心界 新開 伸開<~
 線><数>
 シンガイ 侵害<法> 震害 心外 震
 *駭
 ジンカイ *塵*芥 *塵界 人界 人海
 <~戦術>
 ジンガイ *塵外 陣外
 シンガク 進学 神学 心学
 シンカン *宸*翰 親*翰 *箴*諫 神官
 新患 新館 心肝 新刊 震*撼

森閑 信管<軍>
 シンガン 心眼 真*贗 心願
 シンキ 心気 心機<~一転> 神機
 心*悸<~亢進> 新規 振起
 新奇 辛気
 シンギ 信義 真偽 真義 審議 神技
 *清規<仏>
 ジンギ 仁義 神*祇 神器
 シンキュー 新旧 *鍼*灸 審級<~管
 轄> 進級 深究
 シンキョ 新居 心距<建・工>
 シンキョー 信教 新教 心境 進境 神
 境 神橋
 シンキョー *塵境 人境
 シンキョク 新曲 神曲
 シンキン 心筋<動> 伸筋<動> *宸
 *襟 親近
 シンク 真紅(深紅) 辛苦 心*垢
 <仏>
 ジンタン 人君 仁君
 シンケイ 神経 親警<~工作> 深*闊
 心計 親系 しん(*唇)形<~花
 冠><植> 針形<~葉><植>
 ジンケイ 陣形 仁恵
 シンゲキ 新劇 進撃 侵撃
 シンケツ 心血 審決<法>
 シンケン 神権<~説> 親権<~者>
 審検<捕獲> 神剣 真剣
 シンゲン 震源<~地> *箴言 進言
 森厳
 ジンケン 人権 人件<~費> 人絹
 シンコ 新*香 *糝粉 新古 振古<~
 未曾有>
 ジンゴ 人語 人後<~に落ちない>
 シンコー 新鉦 新坑 新興 進攻(侵攻
 ・侵*寇) 進行 進航 新稿
 新考 親交(深交) 親好 深更

深紅 新香 信仰 振興 深厚
 深耕<農>
 ジンコー 人口 人工 人皇 仁厚 〇沈
 香 じん(×腎)ロ<動>
 シンコク 申告 親告 新穀 神国 深刻
 シンコン 心魂 心根 新婚 新墾
 シンサ 審査 診査 深砂<~鉱床>
 <鉱>
 シンサイ 親裁 親祭 神祭 震災 新歳
 薪[×]柴
 シンサク 新作 振作
 シンサツ 新札 診察 審察
 シンサン 心算 神算 辛酸
 シンザン 深山 新参 ^{*}晋山<仏>
 シンシ 紳士 新誌 伸子<~張り>
 振子 ^{*}唇歯<~輔車の関係>
 深思 〇参^〇差 真^{*}摯
 シンジ 心事 神事 新字 心地 神璽
 臣事 ^{*}鍼治 心耳<動>
 シンジ 人事 仁慈
 シンシキ 新式 神式
 シンシツ 寢室 新室 心室<動>
 シンジツ 真実 信実 親^{*}昵
 シンシャ 新車 新社 深謝 親^{*}炙 し
 ん(×辰)砂<鉱>
 シンシャ 仁者 人車<鉱>
 シンシャク ^{*}斟^{*}酌 新釈
 シンシュ 新種 新酒 神酒 浸種<農>
 進取
 シンジュ 親授 親受 神授 心受 真珠
 シンシュ 新秋 新収 新修 真宗
 シンジュ 心中 臣従
 シンシュク 伸縮 振肅<官紀の~>
 シンシュツ 進出 浸出(×滲出・侵出)
 新出 神出<~兎没> 伸出
 <~筋><動>
 シンジュツ 針術 ^{*}脈^{*}恤

シンシ ヌ 信書 親書 親署 新書
 シンシ ヌ 寢所 神助
 シンシ ヌ 心証 身^〇上 真症 神将
 紳商 針小<~棒大> 信賞
 <~必罰> 辛勝 心象 針晶
 <針状結晶><植>
 シンシ ヌ 信条 身上 真情 心情 親
 情 進上 針状<植・鉱>
 シンシ ヌ 寝食 神色<~自若> 神職
 深色<理> 浸食<理> 侵食
 <耐火物><法・理>
 シンシ ン 心身 心神 新進 〇津々<興
 味~> 心々<建>
 シンシ ン 新人 真人 信心 審尋<法>
 深^{*}甚
 シンシ ン 人身 人臣 人心
 シンスイ 心酔 進水 浸水 薪水 親水
 <~性の><建> 心水<工>
 シンズイ 真髓(神髓) 心髓
 シンセイ 真性 真正 神聖 神性 親政
 親征 新制 新生 新政 新製
 新星 申請 深省 親生<~元
 素><理>
 ジンセイ 人生 人世 人性 仁政 人声
 シンセキ 親^{*}戚 真跡 臣籍 浸せき
 <dipping><鉱> 親石<~元
 素><理>
 シンセツ 深雪 新雪 新説 臣節 新設
 親切(深切)
 シンセン 新線 新船 新鮮 新選(新
^{*}撰) 深淺 神^{*}仙 神占 神
^{*}撰 心線<建> 浸染<理>
 シンゼン 親善 神前 浸染
 ジンセン 人選 人織<~業者>
 シンソ 親疎 親ソ 神祖
 シンソー 深窓 新装 真相 深層 進
 相<~機><工>

シンゾー 新造 心臓 神像 心像<心>
 シンゾー 人造 *腎臓
 シンゾク 親族 臣属 真俗
 シンソコ 心底(真底)
 シンソツ 新卒 真率
 シンタイ 身体 神体 新体 進退 真
 *諦<仏>
 シンダイ 寝台 身代
 シンタイ 人体 じん(*靱) 鬱<動>
 シンダイ 神代 *甚大
 シンタク 新宅 神託 信託
 シンタツ 進達<法> 申達<法>
 シンタン 薪炭 心胆 浸炭<~促進剂>
 <鉦>
 シンチ 新地 神知 心地
 ジンチ 人知 陣地
 シンチュー 心中 身中<獅子~の虫>
 真*鎗 進駐 新鑄 新注
 ジンチュー 尽忠<~報国> 陣中
 シンチョ 新著 心*緒
 シンチャー 身長 新潮 伸張 伸長 新
 調 新徴 深長 深重 慎重
 シンチョク 神勅 進*抄
 シンテイ 新定 新訂 心底 真底 新帝
 進呈
 シンテキ 浸滴 心的
 シンテン 伸展 進展 進転 親展 神典
 震天<~動地>
 シンデン 親電 新田 寝殿 神殿
 シント 新都 神都 信徒
 シンド 進度 深度 伸度 震度 心土
 <下層土><農>
 シントー 新党 浸透 新刀 心頭<~を
 滅却すれば> *屑頭 神*道 神
 燈 親等 新東<東京株式取引所
 新株><経> 震とう(*盪)
 <~器><鉦>

シンドー 振動 震動 伸銅 神童 新道
 臣道
 シントー 人頭<~割り> 人当<~片
 費> 陣頭 陣刀
 ジンドー 人道 仁道
 ジントク 人徳 仁徳
 シンナイ 心内 新内
 シンニュー 侵入(進入) 新入 浸入
 (*滲入) 深入 針入<~度>
 <建> 進入<~弁><工>
 シンニョ 真如<仏> 信女<仏>
 シンニン 新任 親任 信任 信託
 シンネン *宸念 *軫念 新年 信念 心
 念<~口称><仏>
 シンノー 親王 進納 心のう(*囊)
 <動> 真のう(*囊) <~胞子
 のう><植>
 シンバ 新派 シンパ<sympathizer>
 シンバイ 心配 親拝
 シンバツ 進発 深発<~地震>
 シンパン 新版 親藩<史> 審判 侵犯
 シンピ 真否 信否 神秘 親*披 真
 皮<動> 心皮<植>
 シンビツ 真筆 *宸筆 親筆
 シンビョー 神*廟 神*妙
 シンビョー 新表 信*憑
 シンビン 新品 神品
 シンプ 神父 新婦 親父 新付 針布
 <理・工> 新譜
 シンプー 新風 神風
 シンプク 振幅 震幅 心服(信服) 臣
 服
 シンベン 新編 身辺 神変
 シンボ 新補 親補 進歩
 シンボー 深謀 神謀 信望 心棒 辛抱
 心房<動>
 シンポー 新法 新報 心法 信奉

シンボク 親^レ睦 神木
 シンマイ 新米 神米
 シンミ 親身 新味 心身<〜にこたえ
 る>
 シンミョー 身命 神妙
 シンメイ 身命 神明 神名
 ジンメイ 人命 人名
 シンモン 審問<法> 心門<動>
 ジンモン 人文 陣門 尋問<法>
 シンヤク 新訳 新約 新葉
 シンユウ 親友 心友 神^レ佑 深憂
 シンヨウ 信用 針葉<〜樹><植>
 シンライ 新来 信賴
 シンリ 真理 心理 心^レ裡 審理
 シンリョ 深慮 神慮 ^{*}宸慮
 シンリョー 診療 新涼
 シンリョク 新緑 深緑 伸力 心力 神
 力
 ジンリョク 人力 尽力
 シンリン 森林 親臨
 シンルイ 親類 進塁<野球>
 シンレイ 心霊 神霊 新例 新令 振鈴
 浸礼<宗>、
 シンロ 進路 針路 親露
 シンロー 心労 辛勞 新郎 身廊<ネイ
 ブ(nave)><建> 浸漏<〜計>
 <工>
 シンワ 神話 親和<〜力><理>
 <ス>
 ス 州 巢 酢 ^{*}簀 ^{*}懸<〜が通
 る>
 ズ 図 頭<〜が高い>
 スイ 粹 錘 水<水曜日> 吸い
 <〜がら> ^{*}酸い すい(^{*}錐)
 <数>
 スイイ 水位 推移
 スイウン 衰運 水運

スイエシ 炊煙 錘鉛 水煙<建>〔垂
 ^{*}涎〕
 スイカ 水火 水禍 ^{*}誰可 水^{*}瓜 垂
 下<植>
 スイカン 醉漢 水管<〜系><動> 吹
 管<〜分析><鉦・理>
 スイガン 醉眼 醉顔
 ズイキ 随喜 ^{*}瑞氣 [△]芋[△]莖
 スイキュー 推究 推及 水球<運>
 スイキョー 水郷 垂教 醉狂
 スイギン 醉吟 水銀
 スイケイ 水系<地> 推計
 スイゲンチ 水源地 水源池
 スイコー 推^{*}敲 推考 遂行 水^{*}閘 水
 耕<農> 水孔<植> 水衝<〜
 機><鉦> 水硬<〜セメント>
 <建・鉦> 水こう(^{*}腔)<動>
 ズイコー ^{*}瑞光 隨行 隨こう(^{*}溝)
 <動> 隨こう(^{*}腔)<植>
 スイサイ 水彩 水際 水災 水砕<〜ス
 ラグ><建・鉦>
 スイサン 水産 炊^{*}爨 推算 推参 水
 酸<〜基><理>
 スイシ 出師 水師 水死
 スイジ 炊事 垂示
 スイシャ 水車 水射<〜機><建>
 錘車<工>
 スイジャク 衰弱 垂^{*}迹<木地〜>
 スイシヨウ 推奨 推称(推賞) 水晶
 スイジョー 水上 推譲 穂状<〜花序>
 <植>
 スイショク 水^{*}蝕 衰色 水色<天>
 スイシン 水深 推進 垂心<数>
 スイジン 粹人 醉人 水神 水じん
 (^{*}靱)<〜法><鉦>
 スイセイ 水星 ^{*}誓星 衰勢 衰世 醉
 生<〜夢死> 水勢 水制<〜

域><工> 水性<～ステーン・
～ガス><建・鉱> 水生<～草
原><動・植>
スイセン 推薦(推選) 水洗 水*仙
垂線<数> 水線<～部・～ペイ
ント><工> 鋲線<～測量>
<鉱> 水せん(*栓)<建・工>
水選<～炭><工>
スイソー 水草 水*藻 水*槽 水葬 吹
奏 吹送<～流><工>
ズイソー 随想 *瑞相 髓層<植>
スイタイ 衰退 衰態 酔態 推*戴 水
常<天>
スイチュー 水柱 水中
スイチャー 水鳥 推重
ズイチャー *瑞兆 *瑞鳥
スイテイ 推定 水底<～式ガス発生炉>
<鉱>
スイト 水筒 出納 水稻<農> 水痘
<医> 水頭<工>
スイド 水道 *隧道
スイハン 垂範 推判 炊飯
スイバン 水盤 推*輓
スイフ 炊夫 炊婦 水夫
スイヘイ 水兵 水平
スイホー 水*泡 水*疱<医>
スイボー 衰亡 水防
スイマ 睡魔 水魔
スイミツ 水*蜜 水密<～試験><理>
スイメイ 水明<山紫～> 吹鳴
スイモン 水門 推問
スイヨ 酔余 睡余
スイヨウ 水曜 衰容 水葉<植> 水様
<～液><動> 水溶<～液>
<鉱>
スイリ 水利 水理<河川の～状況調
査> 推理 巢入り 酔入り

スイリョー 水量 推量
スイリョク 水力 推力
スイレイ 水冷 衰齡
スイレン 水練 垂*憐 睡*蓮 垂*簾
スー 数 吸う
スーガク 数学 数額<相当の～に上る>
スーキ 枢機 数奇
スーコー *趨向 数項 数行 数口 崇
高
スージ 数字 数次
スーセイ *趨勢 *趨性 数世
ズエ 図会 図絵
スエル *据える *億える
スガキ 素書き 酢*牡蠣
スカス 透かす *賺す
スガル *縫る *酸がる すがる<～破
風><建>
スキ *隙 *漉き 好き *数*寄 *望
*鋤 主基<史>
スク *秀句 透く *漉く *鋤く
好く *梳く
スクー 救う *掬う 巢くう
ズシ *厨子 図示 図紙<工>
ズジョー 頭上 図上
スズ 鈴 *錫
ススメル 進める 勧める(*奨める・*薦
める)
スチール スチール<steel> スチール
<steal><野球> スチール
<still><映画>
ストック ストック<stock> <～がな
い> ストック<Stock> <スキ
ー>
スビキ 巢引き 素引き
ズヒー 図表 頭標<工>
スベル *滑る 統べる
スマス 澄ます 済ます

スミ 墨 炭 *隅 △酸味 済み
 スミイレ 炭入れ 墨入れ<建>
 スミツボ 炭*壺 墨つぼ(*壺)<建>
 スム 住む 澄む 済む
 スリ 刷り △掬△摸 す(*磨)り<～
 　ガラス><理>
 スリエ *摺り絵 *摺り*餌
 スル 刷る *剃る °擦る △掬△摸る
 　°為る
 スンカン 寸感 寸間 寸簡
 スンゲキ 寸劇 寸*隙
 <セ>
 セ 背 瀬 敵
 セイ 正 性 生 姓 勢 精 聖
 　*背 °所為<その～か> 静<動
 　中～あり>
 セイ 税 *贅
 セイアツ 正圧<建> 静圧<建>
 セイイ 誠意 勢威 正位 征衣 征
 　*夷<～大將軍><史>
 セイイキ 聖域 声域 西域<史> 整域
 　<数>
 セイイク 生育 成育
 セイイツ *齊一 精一 静逸 清逸
 セイイン 成因 成員 正員
 セイウン 盛運 世運 青雲<～の志>
 　星雲
 セイエイ 清榮 盛榮 精鋭
 セイエン 盛宴 清宴 製塩 製*筵<～
 　機> 声援 *婁*艶 清*艶 正
 　塩<理> 青炎<鉱>
 セイオー 西欧 聖王 静応<～力>
 　<鉱>
 セイオン 正音 清音<言> 声音 聖恩
 　静穏
 セイカ 声価 成果 精華 正価 正貨
 　青果 生花 製菓 製*靴 聖火

聖歌 正科 正課 生家 盛夏
 請暇 勢家 *齊家 *臍下 青化
 　<～法><鉱>
 セイカイ 正解 精解 政界 政海 盛会
 　制海 西海
 セイカガク 性科学 生化学<理>
 セイカク 性格 政客 製革 正格 正確
 　精確 精核<精子核><植>
 セイガク 声楽 聖楽 静学<経>
 セイカン 製*罐 製管<～工場><鉱>
 　製艦 清*罐<～剤> 盛観 性
 　感 正巻 清鑑<～を乞う> 生
 　還 静観 精*悍 清閑 青感<～
 　フィルム・～性の><図・理>
 セイガン 請願 誓願 西岸 清眼<目あ
 　き> 正眼 聖顔
 セイキ 世紀 西紀 生氣 精氣 正気
 　正規 制規<～の服装> 盛期
 　性器 政機<～が動く> 精機
 　<精密機械> 生起
 セイギ 正義 盛儀 精義
 セイキュー 請求 精究 制球<野球>
 　性急
 セイキョ 盛挙 *逝去
 セイギョ 生魚 成魚 盛魚 制御<～装
 　置><理>
 セイキョー 盛況 政況 聖教 正教 清
 　教 政教<～分離> 清興 精
 　強
 セイギョー 生業 正業 成業 盛業 聖
 　業
 セイキョク 政局 世局 成極<理> 正
 　極<～性><工>
 セイクン 正訓 聖訓 請訓
 セイケイ 整形 成形<～粉末><理>
 　生計 正系 政経 成鶏 西経
 　<地> 整経<工>

セイゲツ 生月 *露月<光風~>
 セイケン 政権 政見 聖賢 生蘭 生絹
 セイゲン 西*諺 制限 誓言 正弦<~
 検流計><数・理> 精原<~細胞>
 セイゲン 税源 *贅言
 セイゴ 正誤 生後 成語
 セイコー 成功 性向 性行 精巧 精好
 製鋼 精鋼 政綱 性交 西郊
 清光 正*鵠 西高<~東低型>
 <天> 正攻<~法> 生硬 正
 項<~級数><数> 精鉦<鉦>
 正綱<~機><工>
 セイコク 正刻 聖告 精穀
 セイコン 精根 精魂 成婚
 セイザ 正座 静座 星座
 セイサイ 正妻 生彩(精彩) 制裁 聖
 祭 精碎<~機><工>
 セイザイ 製材 製劑
 セイサク 製作(制作) 政策 成策 静
 索<工>
 セイサツ 省察 精察 制札 生殺<~与
 奪の権>
 セイサン 清算 精算 成算 正*餐 聖
 *餐 生産 製産 聖算 *凄惨
 青酸<~カリ> 制酸<~剤>
 セイシ 製糸 製紙 正史 青史 誓紙
 誓詞 生死 正使 聖旨 世子
 整*肢 精子<動・植> 静思
 静止 制止 正視 整枝<農>
 製司<~コース><鉦・理>
 セイジ 盛時 盛事 政治 政事 正字
 青磁
 セイシキ 正式 制式 整式<数>
 セイシツ 性質 声質 正室
 セイシャ 正写 生者
 セイジャ 聖者 生者 正邪

セイシュ 清酒 聖主 セイシュ
 <seiche><理・工>
 セイジユク 生熟 成熟<動・植> 精熟
 セイジユン *背順 清純 正準<数>
 整準<~ネジ><工>
 セイショ 聖書 誓書 青書<~と白書>
 清書 正書 盛暑
 セイショウ 政商 *齊唱<音> 制勝
 清祥(清勝) 星章 青松 正
 称<図>
 セイジョウ 性情(性状) 政情 聖上
 星条 正常 清浄 正条<~
 植え> 製*細<~機> 製条
 <~機><工> 星状<~体・
 ~毛・~図形><動・植・鉦>
 セイシヨク 聖職 世職 生殖 生食 生
 色 声色 製織 青色 整色
 <~フィルター><理>
 セイシン 精神 誠心 星*辰 正信 西
 進 清新 精審 清真 制振<~
 器><建>
 セイジン 成人 聖人
 セイズ 製図<図> 星図<図>
 スイスイ 清水 静水 精粹 盛衰 制水
 <~門><工>
 セイスー 正数 整数<数>
 セイスル 製する 制する 征する
 セイセイ 精製 生成 整正<車両の順序
 ~> *齊正<米麦取引の~> 正
 ヲ<~堂々> *濟々<多士~>
 井々 生々<~発展> 清々
 セイセイ 税制 税政 ぜい(*脆)性<~
 破壊><工>
 セイセキ 成績 聖跡
 セイセツ 清節 正接<~検流計><数・
 理>
 セイセン 精選 生鮮 聖戦 征戦 政戦

製線<～機><工>
 セイゼン 生前 性善<～説> 西漸 整
 然(井然) *凄然 成全<心>
 セイソ 精粗 聖*祚 清*楚
 セイソー 正装 盛装 盛*粧 成層 *悽
 *愴 清*爽 政争 星霜 清掃
 整相<工> 正相<工> 性巢
 <生> 精巢<動> 正桑<農>
 セイゾー 製造 聖像 正像<写真>
 <図>
 セイソク 正則 生息 精測<～進入レー
 ダー><工>
 セイゾク 正統 製*族<～機><農>
 セイタイ 生態 生体 声帯 *臍帯 政
 体 静態 成体<動> 聖体
 <宗>
 セイダイ 盛代 聖代 正大<天地～>
 盛大
 セイタン 生誕 製炭 精炭 成端<工>
 セイダン 政談 清談 聖断 聖壇 製団
 <飮>
 セイチ 生地 聖地 整地 生知 精
 *緻 正值<～二次形式><数>
 セイチク 成畜 生畜
 セイチュー 成虫 精虫 誠忠 *掣*肘
 正中<～の><動>
 セイチャー 成長<動> 生長<植> 清
 聴 静聴 正調 声調 政庁
 政調<～会> 性微<動> 成
 鳥 清澄<～済・～ガラス>
 <理> 整調
 セイテイ 制定 静定<～構造><建>
 整定<工>
 セイテキ 政敵 清適 静的 性的
 セイテツ 製鉄 精鉄 聖哲 西哲
 セイテン 盛典 成典 聖典 性典 青天
 晴天

セイト 生徒 聖徒 征途 成*兎
 セイド 制度 精度
 セイトー 精糖 製糖 正当 正統 正答
 政党 清党 征討 精到
 セイドー 正道 政道 青銅 精銅<鉦>
 制動<～機・～触媒> 生動 聖
 堂
 セイトク 聖徳 盛徳 生得
 セイドク 正読 精読 西独
 セイニク 生肉(精肉)
 セイニュー 生乳 製乳
 セイネン 青年 成年 盛年 生年
 セイノー 性能 精農 製脳<樟脳> 精
 のう(*囊)<動>
 セイハ 政派 制*覇
 セイハイ *儕輩 *擠排 成敗<～利鈍>
 セイハク 精白 精薄<～児>
 セイバク 精麦<～機><工> 制爆<～
 剤><工>
 セイハン 製版 正犯 正反<～合>
 <哲> 製帆<～工場><工>
 セイヒ 成否 正否 政費 正妃 正比
 <～例> 性比<動>
 セイビ 精美 精微 整備 *濟美
 セイヒュー 製氷 製表 青票
 セイビョー 性病 聖*廟
 セイヒン 製品 成品<～分析><工>
 清貧 正賓
 セイフー 清風 *腥風 西風 整風
 セイフク 正副 制服(正服) 征服 整
 腹<～師> 清福
 セイブツ 生物 静物
 セイブン 正文 成文 成分 精分
 セイヘイ 精兵 政柄 整閉<数>
 セイベツ 性別 生別
 セイヘン 政変 正編
 セイボ 生母 聖母 聖*謨 歳暮

セイホー 西方 製法 精包<動> 正方
 <～晶系><理>
 セイボー 制帽(正帽) 製帽 精紡<～
 機>
 セイホン 製本 正本
 セイメイ 盛名 声名 晴明 清明 声明
 生命 姓名
 セイメン 生面 製*麵
 セイモン 正門 勢門 誓文 声門<生>
 セイヤ 聖夜 静夜 清夜 星夜 征野
 セイヤク 制約 誓約 成約 製薬
 セイユ 製油<理> 精油<理> 聖論
 聖油<宗>
 セイユウ 政友 声優 清遊 西遊
 セイヨウ 西洋 静養 整容 正業<～量
 (蚕)><農>
 セイヨク 性欲 政欲 制欲 制抑
 セイラン 清覧 聖覧 青*嵐 生卵
 セイリ 生理 整理
 セイリュウ 清流 製粒 整粒<～歩合>
 整流<～子><理> 精留<理
 ・工>
 セイリョ 静慮 聖慮
 セイリョウ 声量 正量 盛漁 清涼 精
 良
 セイリョク 勢力 精力
 セイリン 成林 制輪<～子> 正りん
 (*隣)<～酸><理>
 セイルイ 声涙 生類
 セイレイ 政令 制令 聖霊<宗> 精霊
 生霊 精励 清冷 清麗
 セイレツ 整列 清*洌
 セイレン 製鍊<～液><理・鉦> 精鍊
 <～所><鉦> 清廉
 セイロー 青楼 *蒸*籠 晴朗
 セイロン 正論 政論 精論
 セキ 席 籍 *堰 関<～の山>

*咳 せき<考える～はない>
 *勺 積<数>
 セキエイ 赤衛<～軍> 石英<鉦・建・
 理>
 セキコム *急き込む *咳き込む
 セキジ 席次 昔時
 セキシユ 赤手 隻手
 セキジョー 席上 石上
 セキゼン 積善 *寂然
 セキゾー 石造 石像
 セキチュウ 石柱 *脊柱
 セキツイ *脊*椎 石*槌
 セキドー 赤道 赤銅<～鉦><鉦>
 セキネン 積年 昔年
 セキバン 石版 石盤
 セキメン 赤面 石綿
 セキリョウ 席料 *脊*梁<～山脈>
 *寂*寥 積量<工>
 セク *急く *咳く *塞く
 セコ 世故 *勢子
 セコー 施行 施工
 セジ 世事 世辞
 セジョー 世情 世上 施錠
 セタイ 世帯 世態 世代
 セツ 説 節 切<必要～である>
 拙<策の～なるもの> *癪
 セツエイ 設営 拙詠
 セツエン 節煙 雪*冤
 セッカ 赤化 赤禍 石火<電光～>
 ゼッカ 舌禍 絶佳 舌下<～せん>
 <動>
 セツカイ 石灰 石塊<～ダム> せっか
 い<お～> 切開
 セツガイ 雪害 *殺害
 セツカン 折*檻 積寒<～対策> 石棺
 <史> 撰関<史> 節間<～生
 長><植>

セツガン 切願 接岸 接眼<～レンズ>
 セッキ 赤旗 石器 節季 節氣 石基
 <鉦>
 セツギ 節義 拙技
 セッキヤク 接客 隻脚
 セッキョー 説教 説經<仏>
 ゼッキョー 絶境 絶叫
 セツク 節句 隻句
 セツケイ 雪^{*}溪 雪景 石径 設計 石
 経<史> 切形<植>
 セツケン 石^{*}鹼 接見 節儉 席卷
 セツゲン 雪原 節減 切言
 セッコー 石工 斥候 拙稿 石^{*}膏
 ゼッコー 絶交 絶好
 セッサク 拙策 拙作 切削<～油>
 <理>
 セッシ ^{*}截枝<～作業> 接枝 [△]撰
 氏 切齒<～扼腕>
 セッシェ 摂取 接取 接種<医> 窃取
 節酒 拙守<運>
 セッショー 摂政 [◎]殺生 折衝
 ゼッショー 絶勝 絶唱
 セッショク 接触 節食
 セッスル 節する 接する
 セッセイ 節制 摂生
 セッセン 接戦 拙戦 雪線<農> 接線
 <理・数>
 ゼッセン 舌戦 舌^{*}尖
 セッソー 節操 拙僧
 ゼッター 絶対 絶体<～絶命>
 ゼツダイ 舌代 絶大
 セツダン 切断 (^{*}截断)
 セツチ 設置 接地<～アース・～気
 温><テレビ・理・天>
 セツチュー 雪中 折衷
 セッテン 拙店 接点<数> 折点<鉦>
 節点<建>

ゼッター 舌頭 絶島 絶倒<捧腹>
 セツパ 説破 切羽<～詰まる>
 セツパン 切半 接伴
 セツプク 切腹 説伏
 セツブン 節分 拙文
 セツベン 切片<数・動・植> 節片
 <動> 接片<工>
 セツヨー 節用 摂養 切要
 セツリ 摂理<宗> 節理<鉦>
 セツロン 拙論 切論
 セドリ 瀬取り [◎]競取り<経> 畝取
 り<農>
 セミ ^{*}蟬 セミ<semi><～プロ>
 セメグ 責め具 ^{*}関ぐ
 セメテ 攻め手 責め手 [◎]切めて
 セメル 責める 攻める
 セリ [◎]競り ^{*}糶<せりうり> ^{*}芹
 セリアゲ [◎]競り上げ<経> [◎]迫り上げ
 セリウリ [◎]競り売り ^{*}糶売り
 セリョー 施料 施療
 セル [◎]迫る [◎]競る セル<毛織物>
 セル<cell><鉦>
 セロ 世路 セロ<cello>
 セン 千 先<～の国会・～を越す>
 線 ^{*}栓 ^{*}詮<～ない> 選<～
 に入る> せん(^{*}腺)<動・植>
 セン 善 ^{*}膳 漸<～を追うて> 禅
 センアツ 全圧<工> 全厚<～すみ肉溶
 接><工>
 センイ 繊維 戦意 船医 遷移<～元
 素><動・理>
 センイ 善意 禅位<史> 前胃<動>
 センイツ 選一 専一
 センイン 船員 線引<～小切手>
 センイン 全員 全院 前因 善因
 センエイ 船影 先鋭 鮮鋭<～度><図
 ・理>

センエン 千円 遷延
 センエン 全円<～面積><工> 前縁
 <工> 全園<～施肥><農>
 センオー 先王 専横
 センカ 戦火 戦禍 戦果 専科<～教
 員> 選科 船価 船貨 船架
 選歌 選果<～機><農> *仙
 花 <～紙> 泉下
 センカ 前科 全科(全課) 全家 禅
 家 善果<善因> 漸加 漸化
 <～式><数>
 センカイ 先回 先会 旋回 浅海 旋開
 <～径開><工>
 センガイ 選外 船*腰 船外<～機>
 <工>
 センカイ 前回 前会 全会<～一致>
 全快 全壊 全開
 センカイキ 全会期 前会期
 センカク 先覚 千客<～万来>
 センガク 全額 全学 禅学 前額<～
 部>
 センガッキ 全学期 前学期
 センカン 戦艦 船艦 専管<～国務相>
 潜*函 潜艦 線間<～電圧>
 <工>
 センガン 洗顔 洗眼 千貫
 センカン 前官 全巻 全館 善感<医>
 センキ 戦機 戦旗 戦記 戦期 *疝
 氣 洗氣<～ピン><理>
 センギ *詮議 *僉議 先議 戦技
 センキ 前期 全期 前記 全機
 センキヤク 先客 船客 船脚
 センキュー 船級 選球<～眼><野球>
 センキョ 占拠 占居 選挙
 センギョ 鮮魚 選御
 センキョー 戦況 *仙境 船橋 宣教
 浅狹

センギョー 専業 *賤業 先業
 センキョク 選挙区 戦局
 センキョク 全局 前局<囲碁・将棋>
 全曲 前曲<～羽根><工>
 センキン 千金<値> 千*鈎<～の重
 み>
 センキン 前金 漸近<～曲線><数>
 センク 先駆 選句 千句 線区
 センク 全句 前駆<～放電><理>
 センクン 戦勲 先君
 セングン 全軍 全郡 全群
 センゲ 宣下 遷化
 センケイ 線形<～演算子・～空間・～
 薬><理・数・植> 扇形 *尖
 形 船型
 センケイ 全景 前景 全形 前掲
 センケツ 先決 専決<～事項> 鮮血
 センケン 専権<～事項> *擅権<～の
 ふるまい> 先賢 先見<～の
 明> 浅見 先驗<～的><哲>
 先遣 選苗
 センゲン 宣言 選言<～律> 船*舷
 千言<～万語>
 センケン 全権 前件 全県
 センゲン 前言 善言 漸減
 センゴ 戦後 先後 船後<～試験>
 <工>
 センゴ 前後 善後<～措置>
 センコー 先行 潜行 潜航 先攻 専攻
 専行<独断> 選鉦<鉦> 洗
 鉦<鉦> 先考 先皇 選幸 潜
 幸 鮮紅 浅紅 戦功 *閃光
 <～信号> 選考 銃鉦 染工
 織巧 せん(*穿)孔<植・鉦>
 旋光<～性・～度><理> 泉効
 <～計><理>
 センゴー 先号 線号<針金の> 船号

*煎*熬<〜設備(製塩)>
 センコー 全校 善行 前項 前行 前稿
 *矯行
 センゴ 前号 善業<仏>
 センコク 宣告 先刻 遡殺<〜機>
 <工>
 センゴク 戦国 千石
 センサイ 戦災 戦債 先妻 浅才 織細
 センザイ 洗剤 線材<鉦> 潜在 千歳
 千載<〜一週の>
 センサク *詮索 *穿*鑿
 センシ 戦史 先史 戦士 選士 先師
 専*恣 *擅私 戦死 *穿刺<医>
 線刺<〜培養><植・理>
 センジ 戦時 宣旨 *煎*汁
 センシ 全市 全紙 全姿 前史 前
 し(*肢)<動> 前歯 前視<鉦
 ・工>
 センジ 全治 善事 禅師 漸次 善時
 <〜制度(入獄者の)>
 センジツ 前日 全日<〜制> 全実<〜
 性><植>
 センパンコー 千紫万紅 千思万考
 センシャ 戦車 船車<〜連絡施設> 選
 車<〜台><工>
 センシャ 前者 前車<〜の轍> 全社
 センシュ 先取 占守 先守 選取 選手
 船主 先主 *僭主 船首 千首
 織手 選種
 センシュ 選集 *撰修 専修 先週
 千秋 泉州<〜がわら><建>
 先*蹴<蹴球>
 センジュ 先住 専従 *煎*汁
 センシュ 全集 前集 前週 禅宗 全
 州 全周<〜逆転裴徑><工>
 センジュツ 選述 先述 戦術 *仙術
 センジョ *仙女 洗除 *剪除<竹林の〜

権> *芟除
 センショ 全書 前書 善処
 センショ 戦勝 先勝 戦傷 先*蹤
 選奨 *僭称 船*橋 専掌 専
 焼<重油〜設備>
 センジョ 線状<〜分子><理> 扇状
 線条 織条 線上 船上 戦場
 千疊 洗淨 扇情 *僭上 セ
 ん(*腺)上<動> 旋条<工>
 センジョ 前章 全章 全焼 全勝 全
 省 前*蹤 前*橋 前*哨 全
 称<哲> 前照<〜燈><工>
 センジョ 前条 禅譲 禅定<仏>
 センショク 染色 染織 線織<〜面>
 <数> 船飾<工>
 センシン 専心 潜心 先進 *撰進 浅
 深 線審<選>
 センジン 先陣 戦陣 戦*塵 先人 千
 *仞<〜の谷> 鮮人
 センシン 前進 漸進 全身 全心 前身
 善心 前信 前審 前震<天>
 センジン 全人 前人 前じん(*腎)
 <動>
 センス 扇子 センス<sense>
 センスイ 潜水 泉水 浅水<〜波>
 <工>
 センスル *撰する 宜する *僭する
 センセイ 先生 専制 先制 戦勢 潜勢
 宣誓 潜性
 センセイ 全盛 善政 前世 前成<〜
 説><動>
 センセキ 戦跡 戦績 船籍 泉石 セン
 (*煽)石<鉦>
 センセツ 前説 前節
 センセン 戦線 宣戦 先占 専占 戦々
 <〜焼々> *閃々 *潺々
 センセン 全線 前線 全鮮 善戦 漸先

<～形><植>
 センソー 船窓 船倉<工> 戦争
 センソー 禅僧 前奏 全層 漸層<～
 法>
 センソク 船側 *栓*塞<医> 線束
 <数>
 センソク 全速 前足 *喘息
 センソソ 全村 全損<海上保険>
 センタイ 戦隊 船隊 船体 千態<～万
 様> 先体<動>
 センダイ 先代 船台
 センタイ 全体 全隊
 センタク 選択 洗*濯
 センダツ 先達 *蟬脱
 センタン 選炭 洗炭 先端<～放電>
 <理> 戦端<～を開く> 線端
 <～装置><工>
 センダン 船団 *梅*檀<～は二葉より芳
 し> 専断 せん(*剪)断<鉦・
 建>
 センダン 全段 前段
 センチ 戦地 センチ<centi><～メ
 ートル> 先知
 センチ 全知 前知 全治 前置<～詞
 ・～補償器・～増幅器><言・工
 ・テレビ>
 センチャク 先着 染着<～度><理>
 センチュウ 船中 戦中 *箋*註 線虫
 <動>
 センチュウ 船長 先朝
 センチュウ 全長 前兆 全町 前勝
 <動> 前頂<動> 漸長
 <～航法><工>
 センテイ 船艇 船底 先帝 選定 *剪
 定<果樹の～> 潜堤<工>
 センテイ 前堤 前庭
 センテツ 先哲 銃鉄

センテン 先天<～変異><動> 先点
 <数> 選点<工>
 セント 遷都 セント<cent> セント
 <Saint><～ルカ>
 センド 千度 鮮度 織度<理> 先途
 <ここを～と> 先度 染土
 <農>
 セント 前途 全部 前渡<～金>
 セントー 先頭 先登 戦闘 銭湯 *尖
 塔 船燈 *尖頭<～負荷> *仙
 *洞<史>
 センドー 船頭 扇動 先導 *顫動 潜
 動<工>
 セントー 全島 漸騰<経> 前頭<動>
 前冬<天>
 センドー 全道 禅堂 善導 ぜん(*蠕)
 動<～性><動>
 センナイ 船内 線内 *詮無い
 センニュー 先入 潜入 選入
 センニン 専任 先任 選任 千人 *仙人
 センニン 善人 前任
 センネン 千年 先年 専念
 センノー 先王 先皇 洗脳
 センノー 前納 全納 全能 前脳<動>
 センバイ 千倍 専売
 センバイ 先輩 戦敗
 ゼンバイ 全廃 全敗
 センバク 船舶 浅薄
 センバツ 選伐 *剪伐 選抜
 センバツ 洗髪 染髪 先発 浅発<～地
 震><天>
 センバン 千番 先晩 千万 先番 旋盤
 <理> 線番<針金の～>
 センバン 戦犯 先般
 ゼンバン 全般 前半
 センビ 戦備 船尾 鮮美
 センビ 戦費 先*妣

センビ 善美 全備<～重量>
 センビョー 戦病<～死> *腺病<～質> 線描
 センビョー 前表 全*豹
 センビン 先便 船便 洗びん(*曇)
 <鉦>
 センブ 千部 宣*撫
 センブ 先夫 先婦 先父 船夫 宣布
 センブ 全部 前部 *膳部
 センブ 前夫 前婦
 センブー 旋風 *颶風
 センブク 船腹 船幅 潜伏
 センブン 選文(*撰文) 線分<数>
 センブン 全文 前文
 センバツ *餞別 選別
 センベン 千変<～万化> 千編<～律>
 センベン 全編 前編
 センボー *羨望 *瞻望 *譖*妄<心>
 潜望<～鏡><工>
 センボー 先方 先*鋒 戦法 染法
 <理>
 センボー 全*貌 前坊 前房<生>
 センボー 前方 前法
 センボツ 戦没 潜没
 センマイ 千枚 洗米 *饌米
 センミ 鮮味 *仙味
 センメイ 宣明 *闡明 鮮明
 センメツ 全滅 漸滅
 センメン 洗面 扇面
 センメン 全面 前面 全免
 センモー 絨毛<動・植> せん(*腺)毛
 <植> 染毛 *剪毛<農> 戦
 盲 旋網 *譖*妄 旋毛<農>
 センモン 前門 禪門
 センヤ 戦野 先夜 線野<数>
 センヤ 全夜 前夜

センヤク *煎薬 洗薬 *仙薬 先約
 センヤク 前約 全訳
 センユー 占有 戦有 战友 先*猷
 センヨー 専用 占用 *擅用 先用<～権> 船用<～検流計><理>
 戦用 宣揚 專要
 センヨー 善用 全容 全葉<～育(蚕)>
 前葉<～体><植>
 センリ 千里 戦利
 センリツ 旋律 戦*標
 センリュウ 川柳 潜*龍 洗流<～採
 鉦><鉦> 潜流<工・天>
 センリョ 浅慮 千慮<～の一失> 戦虜
 センリョー 千両 染料 選良 占領
 センリョー 全量 善良
 センリョク 戦力 浅緑 せん(*閃)緑
 <～岩><鉦>
 センリン 善隣 禪林
 センレイ 先例 洗礼 船齡<工> 鮮麗
 センレツ 戦列 *賤劣 鮮烈
 センレイ 前例 全靈
 センレツ 前列 全裂<植>
 <ソ>
 ソ 祖 粗 疎<数>
 ソイ 粗衣 疎意
 ソイン 疎音(*疏音) 素因 訴因
 ソウ 沿う(添う・*副う)
 ソー 層 相 僧 壮 装<～を改め
 る> 双<数>
 ゴー 象 像 増<自然> 贈
 ソーアン 草案 創案 草*庵 僧*庵
 ソーイ 創意 総意 相違 創*痍 僧
 衣 装威<～強談> 層位
 ソーイン 総員 僧院 相引<動> 掃引
 <工>
 ソーウン *叢雲 層雲
 ゴーエイ 造営 造影<～劑>

ゴーエン 増援 造園
 ゴーオー 相応 *挿*秧<~期><農>
 ゴーオン 相恩 騒音 *宋音<言> 双音<~源><理>
 ゴーカ 層化 *挿花 僧家 喪家<~の犬> そう(*瘦)果<植> 走化<~性><動・植> 相加<~平均><数・理> 装荷<~回線><工>
 ゴーガ *挿画 *爪*牙
 ゴーカ 増加 増価 造花 造化 雑歌<文> 造果<~器><植>
 ゴーカイ 総会 桑海<~の变> *滄海<~变じて桑田となる> 掃海 壮快 *爽快 相界<理>
 ゴーガイ 窓外 霜害
 ゴーカク 総画 双角<~子官><動>
 ゴーガク 総額 奏楽
 ゴーカツ 総括(総轄)
 ゴーガナ 草仮名 総仮名
 ゴーカン 壮観 総監 送還 創刊 相間<~リアクトル><工> 層間<~総縁><工> 相関 総観 相*姦 相観<植>
 ゴーカン 増刊 造艦 贈官 増感<~スクリーン><鉦>
 ゴーキ 早期 想起 操機<~長> *叢記 総記<図> 走気<~性><植> 掃気<~送風機><鉦>
 ゴーギ 争議 葬儀
 ゴーキ 雑木 臓器 造機
 ゴーキュー *蒼*穹 送球 早急 *躁急
 ゴーキョー *躁狂 早強<~セメント><建>
 ゴーギョー 創業 操業 早暁 僧形
 ゴーキョー 増強 蔵経<仏>

ソーキョク 総局 送局 *箏曲 双曲<数> 双極<~性の><動>
 ソーキン 送金 走*禽<~類> 相近<動> そう(*藻)菌<~類><植>
 ソーク *瘦*軀 走*狗
 ソーグ 装具 葬具
 ソーケイ 早計 総計 *聡*慧
 ゴーケイ 造形 造*詣 造型<~機><工> 増径<~タッパ><工>
 ゴーケツ 増結 増血 造血
 ソーケン 想見 相見 総見 送検<書類> 捜検<身体> 創見 創建 双脣<~にかかる> 壮健 双懸<~果><植>
 ソーゲン 草原 壮言 創元
 ゴーゲン 増減 造言
 ソーコ 倉庫 操*舳 *蒼古
 ソーゴ 相互 壮語
 ソーコー 走行<建・鉦> 走向<鉦脈>~<鉦> 草稿 操行 壮行 *槽*糠<~の妻> 奏効 装甲 倉皇 *然う*斯う 走光<~性><動・植> 双向<~空中線><工> 倉口<~検査><工>
 ソーゴ 総合 相好<~を崩す> 僧綱<仏>
 ゴーコク 増石 造石
 ソーコン 早播 草根 創*痕 走根<動>
 ソーサ 捜査 操作 走査<~線数><テレビ>
 ソーサイ 総裁 葬祭 相殺
 ソーサク 創作 搜索
 ソーサン 早産 壮蚤
 ソーシ 草紙(草子) 壮士 壮志 創始 相思(想思)

ソージ 掃[○]除 相似 走時<～曲線>
 <鉦>
 ゴーシ 増資 増施 曹司<御へ> 造
 齒<～細胞><動>
 ソーシキ 葬式 相識 総指揮 創始期
 ○繰糸繰<工>
 ソーシツ 宗室 喪失 草質<植> 走湿
 <～性><植>
 ソージツ 桑実<～はい><動> 走日
 <～性><動>
 ソーシャ 走者 送者 総社 宗社 壮者
 操車 掃射
 ソーシュ 宗主<～権> 双手 操守
 *漕手
 ソーシュー 早秋 ○爽秋 総収
 ソーシュー 操縦 操重<～車>
 ソーシュツ 創出<有効需要のへ> *簇
 出 送出<～レベル><工>
 ソーシュン 早春 送春
 ソーショ *叢書 草書
 ソーショウ 総称 相承 相称 相生 創
 傷 宗匠 争訟<法> 双晶
 <～形成><鉦>
 ソージョウ *葬場 奏上 騒擾 宋*襄
 <～の仁> 相乗<～平均>
 <数> 僧正 層状 総状
 <植>
 ゴーショウ 蔵相 増床
 ゴージョウ 増醸 増上<～慢><仏>
 ソーショク 僧職 裝飾 草食 走触<～
 性><動・植>
 ソーシン 総身 *瘦身 装身 喪神 送
 信 双信<～閉そく機><工>
 ゴーシン 増進 贈進
 ソース ソース<マヨネーズへ> ソー
 ス<ニュースへ>
 ソーズ *挿図 僧都

ソースイ 総帥 送水 走水<～性>
 <動・植>
 ゴースイ 雑炊 増水 増鍾
 ソースー 総数 双数 相数<～変換>
 <工>
 ソースル 奏する 草する ○然うする
 ソーセイ 双生<～児> 早生<～児>
 早世 早成 創成 創製 *蒼生
 草生<～地> 創世<～記> 奏
 請 *叢生 走性<～運動><動
 ・植> 双星<動> 双性<～イ
 オン><理>
 ゴーセイ 造成 増勢 造精<～器>
 <植>
 ソーセキ 僧籍 *踪跡 送籍 層積<～
 雲><天>
 ソーセツ *叢説 霜雪 総説 創設
 ソーゼツ 壯絶 双絶
 ゴーセツ 増設 造設
 ソーセン 奏薦 層線<鉦> 捜線<工>
 双線<～式信号機><工>
 ソーゼン 窓前 *蒼然 騒然
 ソーソー 草創 葬送 *滄桑<～の変>
 早々 *匆々 草々 *忽々 *錚
 々 *淙々 *蒼々
 ソーゾー 創造 想像 送像<～機><テ
 レビ>
 ソーソク 総則 相即
 ソーゾク 相統 僧俗 宗族 相属<～の
 法則><心>
 ソーダ 操*舵 ソーダ<soda>
 ソータイ 総体 相對 早退 草体 僧体
 相帯<工>
 ソーダイ 総代 壮大
 ソータン 送炭 草炭 操短<操業短縮>
 送端<～インピーダンス><工>
 ソーダン *叢談 相談 装彈

ゴータン 増反<～組合><農> 増炭
 ソーチ 装置 草地 *瘦地 走地<～
 性><動・植>
 ゴーチ 増置 蔵置
 ゴーチク 増築 造築
 ソーチャー 総長 *曹長 *宋朝<～活
 字> 早朝 莊重 送庁
 ゴーチャー 増長 増徴 増張<～現象>
 <植>
 ソーテイ 想定 創定 装丁 送呈 装
 *蹄 壮丁 *漕艇 草*亭
 ゴーテイ 贈呈 造庭
 ソーテン 総点 争点 装*墳 *蒼天 早
 天 操典
 ソーデン 桑田 送電 相伝 走電<～
 性><動・植>
 ソート 壮図 壮途 僧徒
 ソートー 総統 双頭 争鬭 掃*蕩 想
 到 相当 双投<～スイッチ>
 <工> 相等<～長さ><工>
 ソードー 草堂 僧堂 騒動 相同<動・
 植>
 ゴートー 贈答 増投<資本の～> 増透
 <工>
 ソーニュー *挿入 送入 装入 そう入
 <～成長 (intussusception
 growth)><植>
 ソーネン 壮年 早年 想念
 ソーハ 争*覇 走破 *搔*爬 送波
 <～機><工>
 ソーハク *糟粕 *蒼白
 ソーハツ 双発 早発 総髪 総発<～電
 量><工>
 ソービ 装備 壮美
 ゴービン 贈品 *贗品
 ソーフ 送付 相扶<～共済> 総譜
 ソーフク 僧服 双幅

ゴーブツ 造物<～主> *贗物<法>
 ゴーヘイ 増兵 造兵 造幣
 ソーベツ 送別 総別 層別<～接続>
 <工>
 ソーホー 操法 奏法 走法 相法<人
 相> 双方 総包<～片><植>
 双峰<～共振曲線><工>
 ソーボー *匆忙 相*貌 僧坊 双*眸
 想望 *蒼*茫
 ゴーホー 増俸 造胞<～糸><植>
 ソーホン 送本 装本 草本<～帶>
 <植>
 ゴーホン 蔵本 造本
 ソーム 総務 双務
 ソーメイ 奏鳴<～曲> *滄*溟 *聰明
 ソーメン *素*麵 創面
 ゴーモン *蔵物 雑物
 ソーモン 総門 相*聞<文>
 ソーヨー *搔*痒 双用<～ブラウ・～
 犁><農>
 ソーラン 騒乱 争乱 総覧 奏覧 総
 *覧
 ソーリ 総理 相離<動> 層理<天>
 ソーリョー 送料 総量 総領 *爽涼
 送量<～装置><工>
 ソーリョク 総力 走力
 ソーリュウ 層流<理> 走流<～性>
 <植> 双流<～うず巻水車>
 <工> 掃流<工>
 ソーリン 双輪 相隣 倉*廩 *叢林 僧
 林 相輪<～塔><建>
 ソールイ 草類 そう(*藻)類<植> 走
 塁<野球>
 ソーレイ 葬礼 壮齡 壯麗 早冷<天>
 ソーレツ 葬列 壮烈
 ソーロ 走路 草*廬 霜露
 ソーロー 早老 *踰*限 早漏

ソーロン 総論 争論
 ソーワ *挿話 *叢話 送話 総話
 ソカ 粗菓 *楚歌<四面~> *迦河
 <~魚・~漁業>
 ソカイ 素懷 祖界 疎開
 ソガイ 阻害<阻*礙> 疎外 *鼠害
 ソカク 疎隔 阻隔 組閣
 ソガン 訴願 素顔
 ソキュー *迦及 訴求<~力><テレ
 ビ> *迦求<法>
 ソギョー 祖業 礎業
 ゾク 俗 賊 属 続
 ソクイ 即位 ^続^飯
 ソクイン *惻隱 *仄韻
 ゾクエン 続演 俗縁
 ゾクカ 俗歌 俗化
 ゾクカイ 俗界 俗解 続会 続開
 ゾクガク 俗学 俗楽
 ゾクカン 俗間 属官 属間<~雑種>
 <動・植>
 ゾクゲン 俗言 俗^諺
 ゾクサイ 俗才 続載
 ソクサン 速算 測算
 ソクシ 即死 側糸<植> 足糸<動>
 速示<理・工>
 ソクジ 即時 即事
 ゾクジ 俗耳 俗事 俗字
 ソクシャ 側車 速射 測斜<~儀>
 ゾクシュ 俗臭<~紛々> 俗習
 ゾクショ 俗称 俗姓 族称<~廃止>
 賊将
 ソクシン 促進 即身<~成仏><仏>
 測深<~儀>
 ゾクシン 俗信 賊臣 続審
 ゾクジン 俗人 俗^塵 属人<~法主
 義>
 ソクセイ 速成<~堆肥><農> 促成

<~栽培> 側生<~花><植>
 束生<植> 即製 即成<~犯
 (即時犯)>
 ゾクセイ 属性 俗世 俗姓 続生 族生
 ソクセキ 足跡 即席
 ゾクセキ 属籍 族籍
 ゾクゾク 続々 そくぞく<~する>
 ゾクタイ 俗体 俗^諦<仏>
 ソクダン 即断 速断 即談
 ゾクチ 俗知 属地<~主義>
 ソクテイ 側庭<工> 測程<~器>
 <工> 測定<~器><工>
 ソクド 速度 測度<数>
 ソクトー 即答 速答 側燈<工>
 ゾクホー 続報 属邦
 ゾクメイ 俗名 賊名
 ゾクヨ 俗語 俗用
 ゾクリ 俗吏 属吏
 ゾクリュー 俗流 ^栗粒 続流<工>
 ゾクリョー 属領 属僚 俗了
 ソクリョク 速力 足力
 ゾクルイ 俗累 族類
 ソケイ 粗景 *鼠^蹊<生>
 ソケン 訴件 訴権 素絹
 ソコ 底 *其^処
 ソゴ *齟^齬 祖語
 ソコー *迦行 *迦江 *迦航 素行
 粗^肴 粗鉦<~権> 租鉦
 <鉦>
 ソサイ *蔬菜 阻^塞<~氣球>
 ソザイ 素材 礎材
 ソシ 素志 阻止 祖師<仏> 素子
 <工>
 ソジ 素地 措辞
 ソシキ 組織 祖師忌<仏>
 ソシヤク 租借 *咀^嚼
 ソジョー 訴状 *祖上 *迦上

ソショク 粗食 疎植
 ソセイ 粗製 *蘇生 組成 塑性<植
 ・建・鉱・理>
 ソソー 粗相 祖宗 阻爽<意気~>
 ソゾー 塑像 塑造 粗造
 ソソグ 注ぐ *雪ぐ<汚名を~>
 ソゾク *鼠族 *鼠賊
 ソダイ 措大<窮~> 粗大
 ソチ 措置 素地
 ソツ 卒 そつく~がない> *師
 <史>
 ゾッカ 俗歌 俗化
 ゾッカイ 俗界 俗解 続会 続開
 ゾッカン 俗間 属官 属間<~雑種>
 <動・植>
 ソッキ 速記 測器
 ソッキュー 速球 速急 即急
 ソッキン 即金 側近
 ソッケツ 即決 速決
 ソッコー 即効 速効 即行 速攻 測候
 測高<~器> 測光<鉦>
 ゾッコー 続行 続航 続稿
 ソデガキ *袖*垣 *袖書き
 ソドク 素読 *鼠毒
 ソナエル 備える 供える
 ソナタ *其*方 ソナタ<sonata>
 ソノ 園 *其の
 ソバ *傍 *蕎麦 *峠 *綾
 ソバメ *側目 *側*妻
 ソビョー 素描 粗描 祖*廟
 ソフ 祖父 粗布
 ソフク 粗服 素服
 ソホー 素封<~家> 疎放<~農業>
 ソボー 粗暴 粗紡
 ソボク 素*朴 粗*樸
 ソラス *反らす *遑らす
 ソリ そり(*反り)<warping>

<建> *機
 ソリユー 粗粒<~率><工> 阻流<~
 板><工>
 ソル *反る *剃る
 ソロー 疎漏 粗*陋
 ソンエイ 村営 尊影
 ソンカイ 村会 損壊<~罪>
 ソンキョ 村居 *蹲*踞
 ソンショー 尊称 損傷
 ソンスル 存する 損する
 ソンセイ 村政 村勢
 ソンゾク 尊属 存続
 ソンチャー 村長 尊重
 ソンドー 村道 村童 尊堂
 ソンナ 損な そんな
 ソンビ 尊卑 存否 村費
 ソンボー 存亡 損亡
 ソンメイ 尊名 村名
 ソンモー 損*亡 [損耗]
 ソンユー 村*邑 村有
 ソンリツ 村立 存立 損率<工>
 <タ>
 タ 田 他 多<~とする>
 タイ 隊 体 対<早稲田~慶応>
 他意<~ない> *鯛 タイ
 <tie>
 ダイ 代 大 台 題
 タイアン 対案 大安
 タイイ 大意 体位 退位 大尉 対位
 <~法>
 ダイイ 代位 題意
 タイイキ 大域<~的・~変分法><数>
 帯域<~調和関数・~方式>
 <数・工>
 タイイン 隊員 太陰<~暦> 大隠<~
 は市に隠る> 退隠<~料> 退
 院 耐陰<~性><植>

ダイイン 代印 代員
 タイウン *願選 泰運
 タイエイ 対英 滯英 退*嬰<~的>
 ダイエイ 題詠 代詠
 タイエキ 退役 体液<動>
 タイオー 滯欧 対応
 ダイオン 大恩 大音
 タイカ 大火 耐火 滯貨 対価 大家
 大過 対華 大*廈<~高楼>
 退化 袋果<植>
 タイガ 大河 大我
 ダイカ 代価 台下
 タイカイ 大会 大海 退会
 タイガイ 大害 対外 体外 大概
 ダイカイセン 大会戦 大海戦
 タイカク 体格 台閣 対角<数>
 ダイガク 大学 題額
 ダイガワリ 代替わり 台替わり<経>
 タイカン 耐寒 耐*旱 大官 大*奸 大
 患 大*旱 大観 体感 対韓
 *戴冠<~式> 退官 体環<~
 形式><植>
 タイガン 大願 対岸 対眼<~レンズ>
 対顔
 ダイカン 大寒<天> 代換 代艦 代官
 <史> 大管<~形><工>
 ダイガン 大願<~成就> 代願<~申
 請>
 タイキ 大気 大器 待機 対機<仏>
 タイギ 大義 体技 大儀
 ダイギ 代議<~員> 台木
 タイキユー 耐久 耐朽<建> 対級
 ダイキユー 大弓 代休
 タイキョ 大挙 退去 太虚
 タイキョー 滯京 退京 胎教 対共 体
 協<日本体育協会>
 タイギョー 怠業 大業

タイキョク 大局 大曲 太極 対極 対
 局
 タイキン 大金 退勤 耐菌<~試験>
 <理>
 ダイク 第九 大工 題句
 タイクー 対空 滯空
 タイグー 待遇 対偶
 タイグン 大軍 大群
 タイケー 体系 大系 大計 体形(体型)
 隊形 体刑 大兄 大慶
 タイケン 大権 大賢 大圈 大剣 体験
 タイゲン 大言<~壮語> 体現 体言
 <言>
 ダイゲン 代言 題言
 タイコ 太鼓 太古 大呼 耐弧<工>
 タイゴ 大悟 対語 対*晤 対暮 隊
 *伍
 ダイゴ 第五 *靛*闇<~味>
 タイコー 対抗 対校<~試合> 退校
 大綱 大功 大公 太*闇<史>
 体こう(*腔)<動> 退行<植・
 動・理> 大孔<動> 対向<~
 ピストン形><工> 耐光<~
 度><理>
 ダイコー 代行 代講 *乃公
 タイサ 大差 大佐
 タイザ 対座 退座 胎座<植>
 タイサイ 大祭 大齋<宗> 大災 大才
 ダイザイ 題材 大罪
 タイサク 対策 大作
 ダイサク 代作 題作
 タイサン 退散 耐酸<~合金><建・
 鉱>
 タイザン 大山 泰山
 ダイサン 第三 代参
 タイシ 大使 太子 大志 対支 大
 *祀 太始

タイジ 胎児 待時<～通信> 対*峙
 退治 対自<哲>
 ダイシ 題詩 題詞 台詞 第四 台紙
 大士<仏> 大師<仏>
 ダイジ 大事 大慈<仏> 題字 題辭
 大字 台辭
 タイシツ 体質 対質<～尋問> 耐湿
 <～性><建>
 タイシテ 対して 体して 大して
 タイシャ 退社 代*緒<～色> 大赦
 代謝<植> 大社<～造り>
 <建> 滞砂<～庄><工>
 タイシヤク 貸借 *帝釈<仏>
 タイシュ 大酒 太守<史>
 タイジュ 大儒 大樹
 タイシュー 大衆 体臭
 タイシュツ 帯出<図> 貸出 退出
 タイショ 太初 大暑 大所<～高所>
 大書 退所 対処 [対*蹠]
 ダイショ 代書 代署
 タイショー 対称 対照 対象 対症<～
 療法> 大正 大詔 大将 隊
 商 大勝 大笑
 タイジョー 退場 帯*仗 体状 意状
 带状
 ダイショー 大小 代償 代将
 タイショク 退職 大食 体色 退色 耐
 食<～合金><鉦>
 タイシン 大震 耐震 大身 対審<法>
 退身 体心<～正方格子><鉦>
 タイジン 対陣 退陣 滞陣 大人 対人
 ダイジン 大臣 大尽
 ダイス ダイス<dice> ダイス
 <dies>
 タイスイ 滞水 退水 耐水 大酔
 タイスー 大数<～観察> 対数<数>
 タイスル 対する 体する 帯する

タイセイ 大勢 体勢 体制 態勢 退勢
 泰西 大政 大聖 大成 大声
 胎生<植・動> 対性<植>
 タイセキ 退席 対席 *堆積 *堆石 滞
 積 体積
 タイセツ 大雪 *顔雪 大節 大切 体
 節<～間膜><動> たい(*腿)
 節<こん虫><動>
 タイセン 大戦 対戦 大船 滞船 大
 *仙
 ダイセン 代船 題*箋
 タイソー 体操 大宗 大葬 太宗 大層
 タイソク 体側<～神經節><動> 大則
 大息
 ダイタイ 代替 大隊 大たい(*腿)<～
 骨><動> 大体
 ダイダイ 代々 *燈 大々<～的>
 タイチ 大知 対地 対置 多位置<～
 動作><工>
 ダイチ 大地 台地 代地 代置
 タイチョー 隊長 体長 退潮 退庁 耐
 張<～がいし(碍子)><工>
 ダイチョー 台帳 大腸
 タイタイ 退廷 大帝 大抵
 タイテキ 大敵 対敵
 タイテン 大典 *戴天<不俱～> 退転
 対点<数>
 タイト 泰斗 タイト<tight>
 タイド 態度 大度 *堆土
 タイトー 対等 対当 台頭 帯刀 *胎
 *蕩<春風～> *顔唐 大統 泰
 東
 タイドー 大道 帯同 胎動
 ダイトー 大刀 代当<～責任>
 ダイドー 大道 大同<～団結>
 タイドク 対独 滞独 胎毒 体読
 タイナイ 体内 胎内 隊内 対内 他意

ない

タイニチ 対日 滞日
タイニン 大任 退任 体認 耐忍
ダイニン 代人 代任 大人<~小人>
タイノー 滞納 怠納 胎のう(×囊)
　　<動>
ダイノー 大農 代納 大脳
タイハイ 退廃 大杯 大×施 大敗 帶
　　×佩
タイヒ 待避 退避 ×堆肥<農> 耐
　　肥<~性> 対比 貸費 替費
　　<~地><建>
タイビョー 大×廟 大病 耐病<~性>
ダイヒョー 代表 大×兵<~肥満>
ダイブ 大分 ダイブ<diving>
タイフー 台風 大風
ダイブツ 大仏 代物<~弁済>
タイヘイ 太平(泰平) 大兵 大へい
　　<~づか><建>
タイベイ 対米<~外交・妻の~比> 滞
　　米
タイヘン 大編 大変 対辺<数>
ダイベン 大便 代弁
タイホ 逮捕 退歩
タイホー 大砲 滞邦<~許可> 大法
タイボー 待望 耐乏
タイマイ 大枚<~の金> タイ米
タイメイ 大命 待命<~制度>
ダイメイ 題名 代名<~詞><言>
タイメン 体面 対面<~交通>
タイヤ タイヤ<tyre> 連夜
タイヤク 大役 大×厄 対訳 大約
タイヨウ 太陽 大洋 態様(態容) 体
　　用 大要 耐用 常用
タイラン 大乱 台覧
ダイリ 代理 内裏
タイリョー 滞留 対流<理・天>

タイリョー 大漁 大猟 大量 体量 耐
　　量 退寮
タイリョク 体力 耐力<~壁><建>
タイリン 大輪 台臨
タイレイ ×類齢 大礼<~服> 耐冷
　　<~種>
タエル 耐える 絶える
タオル タオル<towel> 手折る
タカ 多寡 他課 他科 高<売り上
　　げの~> ×鷹 多価<~金鼠・~
　　染色体><鉋・数・動> 他家
　　<~受精><植・動>
タガ ×箍 他我<哲>
タカイ 他界 高い
タカク 多角 他覚 多核<植・動>
タカトビ 高飛び 高×跳び
タカネ 高×嶺 高値 高音
タカン 多感 他管<~送致> 多環
　　<植> 多管<~ボイラー>
　　<工>
タキ 滝 多岐
タギ 多技 多義
ダキ 愔氣<~満々> 抱き<横~>
　　×舵機 ×唾棄
タキグチ ×焚き口 滝口<史>
タキモノ ×焚き物 薫物
タキョク 多極<~機><工> 多局<~
　　接続回線><工>
タク 宅 ×焚く
ダク ×駄句 抱く
タクショー 託生<~蓮> 拓相
ダクダク 諾々<唯々> だくだく<~
　　流れる>
タクチ 宅地 拓地
タクバツ 択抜 択伐<~林> 卓拔
タクミ 工 巧み
タケ 竹 丈 他家

タケイ 他計<調査の〜主義> 多形
 <〜現象><植・動> 他形
 <地>
 タケル *哮る(°猛る) °長ける
 タケン 他県 他見
 タゲン 他言 多言<〜を要せぬ> 多
 元
 タコ *蛸 *胤 *胼*胝 タコ<〜部
 屋>
 タコー 他校 他行 多幸 多項<〜
 式><数> 多孔<〜性><鉱>
 多効<〜冷却機><工>
 ダコー *蛇行 情行
 タゴン 他言 多言
 タサイ 多才 多妻<一夫〜> 多形
 タサンケイ 多産系 多産鶏<〜と寡産
 鶏><農>
 タシ 他紙 他誌 多士<〜済々>
 足し 多刺<〜法(接種)>
 タジ 他事 多事<〜多難>
 ダシ 出し<〜入れ・〜ジャコ>
 ^山^車
 タシツ 他室 多湿
 タシャ 他社 多謝
 タシュ 多種 多趣
 ダシュ 打手 *舵手
 タシュー 他州 他宗 多収<〜記録>
 <農> 多衆<〜に分配>
 タショー 多生 他生 他省 多照<高温
 〜> 多少
 タジョー 多情 多条<〜繰糸機>
 ダセン 打線<野球> *唾*腺<生>
 タソー 多相<理・工> 多層<〜フィ
 ルム><理・工>
 タタエル °称える °湛える
 タダス 正す *糺す
 タチ °質 ^太^刀 他地 裁ち(断

ち) 立ち
 タチアガリ 裁ち上がり 立ち上がり
 タチウリ 立ち売り 裁ち売り
 タチカタ 裁ち方 立ち方
 タチモノ 裁ち物 断ち物
 タツ *龍 *辰 立つ 建つ 裁つ
 (断つ) 絶つ °経つ
 ダッカイ 奪回 脱会 脱灰<〜剤>
 <理>
 ダッカン 奪還 脱簡 脱監
 タッケン 卓見 遮見
 ダッコー 脱稿 脱*肛
 タッシ 達し(達示)
 ダッシュ 奪取 ダッシュ<dash>
 ダッタイ 脱退 奪胎<換骨〜>
 タッテ ^達て<〜の願い> 立って
 ダツロー 脱漏 脱*牢
 タテ 縦 *楯 °館 立て ^殺^陣
 <〜師>
 タテキル 立て切る °閉て切る
 タテツボ 建坪 立坪
 タテナオス 建て直す 立て直す
 タテモノ 建物 立て物<大〜>
 タテル 立てる 建てる
 タトー 他党 多党<〜制> 多島 多
 投<野球>
 ダトー 打倒 妥当
 タトエ *譬 °仮°令
 タナ *棚 °店 たな<scaffold>
 <鉋>
 タナウケ °店請け *棚°承け
 タネン 多年 他念
 タビ 旅 °度<この〜> ^足^袋
 タブン 他聞 多聞 多分
 タホー 他方 多方
 タポー 多忙 多望 多房<〜電圧計>
 <工>

タマ 玉(°球) °靈 °偶く〜に行
 く> タマ<長唄三味線>
 タマヤ °靈屋 玉屋<火花>
 タミン 惰眠 惰民
 タメシ °試し °例
 タメル *溜める *矯める(*挑める)
 タメン 他面 多面
 タヨー 他用 多用 多様
 タヨリ °便り °頼り
 タラシコム °垂らし込む *誑し込む
 タリツ 他立 他律
 タリョー 他傾 多量
 タル *樽 足る
 タレ °垂れくかば焼きの〜> *誰
 タレル °垂れる<籠を〜> °放れる
 <小便を〜>
 タン *痰 反<〜当り> 端<〜を
 発する> 単 短 胆 タン
 <tongue>
 ダン 段 壇 暖<〜をとる> 断
 <〜をくだす> 談<車中〜>
 男<〜生徒>
 タンイ 単位 単為<〜結実><植・動
 ・農>
 ダンイ 段位 暖衣<〜飽食>
 タンオン 単音<言>・短音<言>
 タンカ 単価 炭価 短歌 担架 *啖
 *呵 単科 °堪貨<〜能力(船)>
 単果<植> 担荷<〜体><植>
 炭化<理>
 ダンカ *檀家 国歌
 ダンカイ 段階 団塊<地>
 ダンガイ 断*崖 弾劾
 タンカン 胆管<動> 短管<工>
 タンガン 嘆願 單眼<動>
 タンキ 単機 単騎 短期 短気 單記
 單軌<〜鉄道><工>

ダンギ 談議 段木<建>
 タンキュー 単級 探求(探究)
 タンキョク 単極<〜電圧><工> 端局
 <〜装置><理・テレビ>
 タンク 短句 単句 短*軀 タンク
 <tank>
 タンケン 短見 短剣 探検
 タンゲン 單元 端駁 短弦<工>
 タンゴ 單語 端午<〜の節句> タン
 ゴ<tango><音>
 タンコー 炭鉱 炭坑 探鉱<鉱> 淡紅
 淡黄 單行 *堪航<〜能力>
 鍛工<〜場> 鍛鋼<鉱> 單孔
 <〜すべり弁><工> 單口<〜
 霧吹き気化器><工> 單向<〜
 電流><工> 單項<〜式>
 <数>
 ダンコー 断交 団交 断行 男工 断郊
 <〜競走> 団鉄<鉄> 暖向
 <〜期><天>
 タンザ 單座 端座
 タンサイ 淡彩 単彩 短才
 タンサク 探索 單作 單索<〜グラブ>
 <工>
 タンシ 短詩 単糸 短資<経> 端子
 <〜盤><建> 短枝<植> 担
 子<〜胞子><植>
 ダンシ 男子 *檀紙 彈糸<植>
 ダンシュ 断酒 断種<動>
 タンジュー 短銃 胆*汁
 タンショ 短所 探書
 タンショー 嘆賞 嘆傷 短章 探勝 探
 照<〜燈> 短小 單勝<〜
 式> 單称 單床<建> 單品
 <植> 探傷<〜器><工>
 短*梢<〜剪定><農>
 ダンショー 断章 談笑 男*娼

タンショク *貪色 *貪食 単色 単食
 <~性><動>
 ダンショク 男色 暖色
 ダンジル 談じる 断じる 弾じる
 タンシン 單身 短針 誕*辰 丹心 単
 心<~曲線><工> 探針<工>
 単信<~法><工>
 タンスイ *湛水<~量> 淡水 炭水
 <~化物><理>
 タンセイ 丹誠 丹精 端正 端整 嘆声
 丹青 単性<~花><植> 單星
 <動> 單精<~受精><動>
 短声<工>
 ダンセイ 男性 男生 男声 彈性<理>
 タンゼイ 担税<~能力> 単税<~論>
 タンセキ *痰*咳 *旦夕 胆石
 タンセン 単船 単線 探線<工>
 タンゼン 丹前 端然
 タンソ 炭素<理> 炭*疽<医・農>
 嘆訴
 タンソー 单相<~変態・~世代><植・
 鉱> 單層<~表皮><植> 炭
 層 担送
 ダンソー 断層 断想 談*叢 男装 彈
 奏
 タンタイ 担体<理> 単体<理>
 タンダイ 短大 探題<文・史> 単台
 <~車><工>
 ダンタイ 団体 暖帯<~林><農・植>
 彈帶
 タンタン *担々 淡々 *耽々<虎視>
 *湛々
 ダンダン 段々 だんだん<~と>
 ダンチ 暖地 団地
 タンチュー 端柱<工> 短柱<工>
 タンチャー 単調 短調<音> 丹頂
 <~鶴> 單頂<~花序>

<植>
 ダンチャー 団長 断腸<~の思い>
 タンテイ 探*偵 端艇 単底<工>
 タンテン 短点<工> 単点<工>
 タンデン 炭田 丹田
 タントー 短刀 單刀<~直入> 反当
 <~収量> 單筒<~抄紙機>
 <工> 單投<~スイッチ>
 <工> 單糖<~類><理> 担
 当
 ダントー 暖冬 断頭<~台> 彈頭<~
 波><理>
 タンドク 単独 *耽読 丹毒
 タンニン 担任 タンニン<tannin>
 <理>
 ダンネツ 暖熱 断熱<理>
 タンノー 胆のう(*囊)<生・動> 端
 脳<動> 單能<~工作機械>
 *堪能
 タンパ タンパ<tamper><工> 短
 波<工>
 タンパク 淡白 *蛋白
 タンパツ 短髪 單発
 タンビ 嘆美 *耽美
 ダンビ 断碑 団*匪<史>
 タンブン 短文 單文<言> 探聞
 ダンベン 断片 断編
 タンボ 田*圃 *旦暮
 タンミ 淡味 單味<~肥料>
 タンメイ 短命 單名<~手形>
 ダンリュウ 暖流 団粒<~法・~組織>
 <鉱・農>
 タンリョク 胆力 淡緑
 <チ>
 チ 知 地<~の利> 血 治<~
 にいて乱を忘れず> 値<絶対
 ~><数・理>

チイ 地位 地異<天変〜> 地衣
 <〜類><植>
 チエ 知恵 千重
 チエン 地縁<〜社会> 遅延
 チカ 地価 地下 治下
 チカイ 地階 誓い 近い
 チガイ 違い 治外<〜法権>
 チカク 知覚 地核<地> 地*殻<地>
 近く
 チカン 痴漢 置換 [弛緩]
 チキ 知己 稚氣<〜満々> 痴氣
 地氣<工>
 チギ 遅疑 地*祇<天神〜> 千木
 <建>
 チキュー 地球 地級<土地の等級> 地
 久
 チギリ 契り ちぎり<key,butterfly>
 <建>
 チギル 契る 千切る
 チク 地区 *馳駆
 チグー 知遇 値遇
 チグサ 千草 千*種
 チクジ 逐字<〜訳> 逐次
 チクジョー 築城 逐条<〜審議>
 チクゾー 築造 蓄蔵 逐増
 チクテイ 築庭 築堤
 チクデン 逐電 蓄電<〜池><理>
 チケン 地検<地方検察庁> 治権 地
 券 知見
 チコー 遅効 治効 地*溝 池*溝 地
 *窖 知行<〜合一>
 チコク 治国<〜平天下> 遅刻
 チサン 治山 遅参 治産<禁〜>
 <法> 稚蚕<農>
 チシ 地誌 地史<地> 致死 致仕
 チジ 知事 千々<〜に乱れる>
 チシツ 地質 知*悉

チンヤ 知者 治者 痴者 *蒿*苣
 チンヨー 知将 池沼 地象<地>
 チジョー 地上 痴情
 チジン 知人 痴人
 チスイ 治水 池水 致酔<〜飲料>
 チセイ 治政 治世 地勢 地政<〜
 学> 知性
 チセキ 治績 置籍<〜船> 地積 地
 籍<〜測量><工>
 チソー *馳走 地相 地層 遅相<〜
 装置><工>
 チソク 遅速 知足<安分〜> 地測
 <〜航法><工>
 チタイ 地帯 痴態 遅滞 遅怠
 チチ 父 乳 遅々
 チチュー 地中 池中<〜養殖>
 チツ *軼 ちつ(*腔)<生・動>
 チッコー 築港 竹工<〜品>
 チテイ 地底 池*亭
 チトク 知徳 知得
 チドン 遅鈍 痴鈍
 チノー 知能 知*囊
 チノリ 地の利 血*糊
 チホー 地方 痴*呆
 チマキ *粽 千巻き<織機> ちまき
 <建>
 チミ 地味 *魑魅<〜魍魎>
 チメイ 地名 知名 致命<〜傷> 知
 命
 チャカス 茶*滓 茶化す
 チャキ 茶気 茶器
 チャクイ 着意 着衣
 チャクガン 着眼 着岸
 チャッカ 着荷 着火<〜点> 着果<〜
 率><農>
 チャッコー 着工 着港
 チユー 知友 知勇

チュー 注 宙 忠 中 *誅
 チューイ 注意 中位 駐伊<~大使>
 中尉
 チューエイ 駐英<~大使> 中衛<運>
 チューオー 中央 中欧
 チューカ 中華 鑄貨
 チューカイ *廚*芥 仲介 注解 中介
 <~軸><工>
 チューガイ 虫害 中外 駐外
 チューカン 中間 昼間 柱間<~帯>
 <工>
 チューキ 中期 注記 中気 抽気<工>
 チューキュー 中級 *誅求<苛斂~>
 チューキョー 中共 中京
 チューキン 忠勤 鎗金
 チューケイ 中継 仲兄 柱形<工>
 チューゲン 忠言 中元 中原 中間
 チューコー 忠孝 鑄鋼 中興 中耕<~
 除草><農> 曙光<~電球>
 <工>
 チューゴク 中国 中国<~四国>
 チューサツ 駐*割 *誅殺
 チューシ 中止 注視 中支
 チューシャ 注射 駐車
 チューショー 抽象 中小<~メーカー>
 中傷
 チュージョー 柱状 柱上 中將 衷情
 チューシン 忠臣 忠信 衷心 中心 注
 進 中震
 チュースイ 注水 虫垂<~炎>
 チュースー 中樞 中数<統計の~>
 チュースル *沖する 注する *誅する
 チューセイ 中世 中生<~稲> 中正
 忠誠 中性<~触媒><理>
 チューセキ 柱石 *沖積<~層><地・
 農> *疇昔
 チューセン 抽選 中線<数>

チュータイ 中隊 *紐帶 中退
 チューダン 中段 中斷
 チューテン 中天 *冲天 中点<数>
 チュートー 中等 中東 柱頭 仲冬
 *偷盜
 チュードー 中道 鑄銅
 チュードク 中毒 駐独<~大使>
 チュートシ 駐*屯 チュートシ<~民
 族>
 チューニチ 中日 駐日<~代表団>
 チューノー 中農 中脳<動>
 チューバン 中盤 中判
 チューブ 中部 チューブ<tube>
 チューフク 中腹 *誅伏
 チューベイ 中米 駐米
 チューヨー 中庸 中葉 虫様<~突起
 炎>
 チューリャク 中略 *籌略
 チューリユー 中流 駐留 中粒<~砂>
 <工>
 チューロー 中老 柱廊 中勞<~委>
 中*薦<史>
 チョ 著 *緒<~につく>
 チョー *蝶 腸 長 兆(微)<イ
 ソフレの~> 朝 *寵 聴<~
 を失う> 超 *疔
 チョーアイ *寵愛 帳合
 チョーイ 弔意 弔慰 *凋*萎 潮位<~
 曲線><工・天>
 チョーイン 調印 庁員
 チョーエキ 懲役 腸液
 チョーエン 腸炎 長炎<~炭><工>
 チョーオン 朝恩 *寵恩 重恩 聴音
 長音<音> 調音<言>
 チョーカ 長歌 弔歌 町家 超過
 チョーカイ 町会 朝会 懲戒 潮解
 <理> 跳開<~げた><工>

チョーカク 弔客 聴覚
 チョーカン 朝刊 長官 鳥^{*}隙 腸管
 聴官 頂冠<工>
 チョーキ 長期 弔旗 ^{*}寵^{*}姫 聴器
 チョーギ 叮議 朝議
 チョーク 長句 チョーク<chalk> 長駟
 チョーケイ 長兄 長計<國家百年の〜>
 チョーケン 朝権 朝憲 朝見 長剣
 チョーコー 聴講 長考 長講 兆候(徴
 候) 朝貢 長広<〜舌> 調
 光<〜器><工>
 チョーコク ^{*}隆国 彫刻 超克
 チョーコツ 長骨<生> 腸骨<生> 聴
 骨<生>
 チョーザイ 調剤 聴罪
 チョーサン 逃散 朝三<〜暮四>
 チョーシ 弔詞 弔詩 調子 長子 ^{*}銚
 子 町史 聴視 徴し<事例に
 〜> 跳止<〜器><工>
 チョーシ 弔辭 ^{*}寵兒 長時
 チョーシツ 調湿<〜ドライヤー><理>
 調質<〜油><理>
 チョージャ 長者 ^{*}謀者
 チョーシュ 聴取<〜者> 聴守<工>
 チョーシュ 徴収 徴集 聴衆 長^{*}袖
 <〜者流> 調習
 チョージュ 鳥獸 弔銃 聴従
 チョーショ 長所 調書
 チョーショ 徴証 ^{*}嘲笑 長^{*}嘯
 チョージョ 頂上 長城<万里の〜>
 長上 重疊
 チョーシン 朝臣 ^{*}寵臣 長身 長針
 聴診 調進 彫心<〜鏤骨>
 チョーズケ 帳付け 丁付け
 チョースル 徴する 弔する
 チョーセイ 町政 町制 町勢 調整 調
 製 長生 長^{*}逝 超世 鳥声

 調声 調性<音> 長声<工>
 チョーゼイ 町税 徴税
 チョーセキ 朝夕 町籍<〜簿> 潮^{*}汐
 <天> 長石<鉱>
 チョーセン 腸線<ガット> 腸^{*}腺
 <生> 朝鮮 ^{*}挑戦 張線
 <〜器><工>
 チョーゼン 長^{*}髯 超然 ^{*}愜然
 チョーソ 彫塑 重^{*}祚
 チョーダ 長^{*}蛇 長打<野球>
 チョーダイ 頂^{*}戴 長大 町代<史>
 チョータツ 調達 ^{*}暢達
 チョータン 長短 長嘆
 チョーチョー 町長 庁長 ^{*}喋々 丁々
 <〜発止と> 長調<音>
 チョーテイ 調停 調定<〜保険料> 朝
 廷 長弟 重訂
 チョード 調度 丁度 聴度<工>
 チョーナイ 町内 庁内 腸内
 チョーニン 町人 重任<史> ^{*}停任
 <史>
 チョーハ 長波<理・工> 潮波<理・
 工> 跳波<工> 調波<工>
 チョーバ 帳場 町場<史> 調馬 ^{*}嚙
 ^{*}罵
 チョーハツ 長髪 調髪 ^{*}挑発 徴発
 チョーヒ 町費 庁費
 チョーヒョ 帳票 徴^{*}憑 徴表
 チョーブン 長文 弔文
 チョーボ 帳簿 朝暮 徴募
 チョーホー ^{*}謀報 弔砲 調法<不〜>
 重宝
 チョーメイ 長命 町名 朝命 澄明
 チョーモン 弔問 聴^{*}聞 聴問 頂門
 <〜の一針>
 チョーヤ 朝野 長夜
 チョーヤク 調薬 跳躍

チョーユー 町有<~地> *釣友
 チョーヨ 徴用 重用 懲*膺 長幼
 *貼用 聴容
 チョーラク 調絡<電話の~> *凋落
 チョーリ 調理 重利<経>
 チョーリツ 町立 調律
 チョーリュウ 潮流 長流
 チョーリョク 聴力 張力 潮力<~発電
 所><工>
 チョーレイ 朝礼 庁令 朝令<~幕改>
 チョーロー 長老 *嘲*弄
 チョーワ 調和 聴話<~器>
 チョク 勅 *猪口 直
 チョクゴ 勅語 直後
 チョクサイ 勅裁 直裁 [直*截]
 チョクシ 勅使 勅旨 直視 直示<~検
 流計><工>
 チョクシャ 直射 直写 直煮<~式製
 塩>
 チョジョー 勅*詔 直情 直上
 チョクセツ 直接 直*截
 チョクセン 直線 勅選 勅*撰 勅宣
 チョクトー 直答 勅答
 チョクユ 勅諭 直*諭
 チョゲン [*緒言] 著滅
 チョソー 貯槽 貯桑<~室>
 チョゾー 貯蔵 著増
 チョッカク 直角 直覚
 チョッカシ 直視 勅勘 直*諫 直感
 チョッケイ 直径 直系
 チョッコウ 直行 直航 直交<~切線>
 <数>
 チョメイ 著名 著明
 チリ 地理 地利 ちり<料> *塵
 散り<花の~が早い>
 チリョク 知力 地力<~維持>
 チン 朕 *狎 珍<それは~だ>

チンカ 珍菓 珍果 沈下 鎮火
 チンキ 珍器 珍奇 珍貴 沈*毅 チ
 ンキ<tincture>
 チンコー 珍*肴 沈降
 チンジ 珍事 (*椿事)
 チンジョー *枕上 陳情 陳状<史>
 チンスイ 沈酔 沈水<~植物><植>
 沈鍾<工>
 チンセイ 鎮静 沈静
 チンセキ *枕席 珍籍 沈積<~物>
 <鉱>
 チンセン 賃銭 沈船 沈潜
 チンタイ 賃貸 沈滞
 チンチャウ 珍重 沈重 ちんちょう
 <建>
 チンツウ 沈痛 鎮痛<~剤>
 チントー 珍答 *枕頭 陳*套
 チンユウ 珍優 沈勇
 <ツ>
 ツイ 対 つい *終<~のすみか>
 ツイエル 費える *潰える
 ツイカン つい (*椎) 管<動> つい
 (*椎) 間<~軟骨><動>
 ツイキュー 追兜 追求 追及 追窮 追
 給
 ツイコー 追考 追行<手続を~せしめ
 る> [遂行]
 ツイシ 追試 墜死 追*諡 追思
 ツイショウ 追^o従 追賞 追償<違約~
 金>
 ツイセキ 追跡 追惜
 ツイソー 追想 追送
 ツイチャウ 追徴 追弔
 ツイデ *序 次いで
 ツイトー 追悼 追討
 ツイフク 追福 対幅
 ツー 通 ツー<two>

ツーカ 通貨 通過
 ツーカイ 通解 痛快
 ツーカン 通関 通款 痛感 通巻 通観
 通刊<～号数><図>
 ツーケイ 通計 通経<～剂>
 ツーゲン 痛言 通言
 ツーコー 通行 通航 通好 通交
 ツーコク 通告 痛^{*}哭
 ツーショー 通称 通商
 ツーシン 通信 痛心<～事>
 ツーセツ 通説 痛切
 ツーチャー 通帳 通^{*}牒<～を発する>
 ツーネン 通念 通年 痛念
 ツーフー 通風<～ロ> 痛風<医>
 ツーホー 通報 通法
 ツーボー 通謀 痛棒
 ツーヨー 通用 痛^{*}痒
 ツーロン 通論 痛論
 ツカ 〇束 〇柄 ^{*}塚
 ツカエル 使える 仕える つかえる
 <のどに～>
 ツカレル 突かれる 疲れる ^{*}憑かれる
 <仕事に～>
 ツキ 月 突き 付き<～がいい>
 尽き<運の～>
 ツギ 次 継ぎ
 ツギアイ 付き合い 突き合い
 ツギザオ 継ぎ^{*}竿<釣る> 継ぎ^{*}棹<三
 味線>
 ツキモノ ^{*}憑き物 付き物
 ツク 突く 着く<付く・^〇就く・^〇即
 く・^{*}憑く> ^{*}漬く ^{*}搗く ^〇吐
 く<嘘を～>
 ツグ 次ぐ 継ぐ ^{*}注ぐ
 ツクリ 造り ^{*}旁
 ツケ つけ<歌舞伎> 付け
 ツゲ 告げ<神のお～> ^〇黄^{*}揚

ツケガミ 付け髪 付け紙
 ツケコム 付け込む ^{*}漬け込む
 ツケネ 付け根 つけ値
 ツケモノ ^{*}漬け物 付け物
 ツケル 着ける ^{*}漬ける
 ツチ 土 ^{*}髓
 ツツミ 包み 堤
 ツトメル 努める 勤める
 ツバ ^{*}唾 ^{*}顰
 ツバキ ^{*}唾 ^{*}椿
 ツボ 坪 ^{*}壺
 ツマ 妻 ^{*}褻 ^{*}端
 ツミ 罪 積み 詰み<将棋>
 ツミイレ 積入れ 摘入れ<料>
 ツム 積む 摘む 詰む ^〇紡^〇鍾
 ツメ 爪 詰め
 ツメキリ 詰切り 爪切り
 ツモリ 積もり ^〇心^〇算
 ツヤ ^{*}艶 通夜
 ツユ 露 ^〇梅^〇雨 ^〇液 つゆ<～知
 らず>
 ツラ ^〇面 連
 ツル 弦 ^〇蔓 ^〇鉉 ^{*}鶴 ^{*}釣る
 (＜吊る＞)
 ツレル ^{*}釣れる (＜吊れる＞) ^{*}癒れる
 連れる
 <テ>
 テアライ 手洗い 手荒い
 テイ 丁 態(体)<～よく> 艇
 呈 底<数>
 テイアツ 低圧<～計><天> 定圧<～
 比熱><理・工>
 テイイ 帝位 定位 低位
 ティー ティー<tea> ティー<tee>
 <ゴルフ>
 テイオン 低音 低温 定温<～器>
 <理>

テイカ 定価 低価 低下 通加
 テイカイ 停会 低回
 テイカク 定角<～アーチダム><工>
 定格<～出力><工>
 テイガク 定額 低額 停学
 テイカン 停刊 *諦観 定款<法> 低
 乾<低温乾留><工・鉱>
 テイキ 定期 提起
 テイギ 定義 提議
 テイキュー 定休 低級 庭球 *涕泣
 テイキュー 帝京 提供
 テイキン 提琴 庭訓
 テイケイ 定型(定形) *蹄形 定係
 <～港><法> 提携 てい
 (*梯) 形<～アーチ><建>
 定径<～ロール><鉱>
 テイケツ 締結 貞潔
 テイゲン 低減 通減 提言 定限<～年
 齢> 定言<哲>
 テイコー 定稿 抵抗 通降<～変圧器>
 <工> 提高<工> 定向<～進
 化><動>
 テイコク 帝国 定刻
 テイシ 停止 底止 *諦視 定止<～
 燈><工>
 テイジ 定時 低次 丁字 提示 *鼎
 *峙 通次
 テイシツ 帝室 低湿 低質
 テイシュ *亭主 艇首 低首 定種<農>
 テイショ 通相 提唱 低唱 通舟<～
 変圧器><工>
 テイジョー 庭上 呈上 定常<～波>
 <理・建>
 テイショク 定職 定食 停職 呈色 抵
 触 定植
 テイシン *挺進 *挺身 通信 艇身 定
 針<～測量><鉱>

デイスイ *泥水 *泥酔
 テイスル 呈する *挺する
 テイセイ 帝制 帝政 低声 訂正 定性
 <～分析><理・鉱> 底生<～
 生物><動・植>
 テイセツ 定説 貞節 底節<動> 底設
 <～導坑><工>
 テイセン 停戦 停船 *汀線<地> 底
 線<数>
 テイソ 帝*祚 提訴 定礎<～式>
 <建>
 テイソー 貞操 通送 低層<～湿原>
 <植> 底層<天>
 テイソク 定則 定速 定足<～数>
 <法>
 テイソクド 定速度<～電動機><工>
 低速度<～定査><工>
 テイチ 低地 定置 *偵知 定値
 <工>
 テイチョー 低調 丁重 低張<植・動>
 艇長<工> 提頂<工>
 テイテイ 延丁 *亭々
 テイテン 定点 帝展
 テイデン 停電 通伝<～組織>
 テイデンアツ 低電圧<～アーク><工>
 定電圧<～発電機><工>
 テイド 程度 低度
 テイトー 抵当 低頭
 テイナイ 庭内 邸内 延内 提内<～
 地><工>
 テイネイ 丁寧 *訂*聴<医>
 テイネン 定年(停年) 丁年<～者>
 *諦念
 テイホン 底本 定本
 テイメイ 締盟<～国> 低迷
 テイヨー 提要 定容<～比熱><建>
 テイリ 低利 延更 定理<数>

テイリツ 定率 低率 定律 定立<哲>
*鼎立

テイリュウ 底流 停留 定流<~式>
<工>

テイリョウ 定量 低料

テイロン 定論 提論

テガタ 手型 手形<経>

テキ 敵 テキ<ビフテキ>

デキアイ 出来合い *溺愛

テキカ 滴下 摘果<農>

テキカク 適格 的確

テキサク 適策 適作<~地>

テキシ 敵視 摘示<要領を~><法>
適視<~距離><テレビ>

テキシュツ 摘出 *剔出

テキジョウ 敵情 敵城 適条

テキスル 適する 敵する

テキセイ 適性 適正 敵性 敵勢

テキダン 敵弾 *擲弾<~筒><軍>

テキチ 適地 敵地

テキチュウ 的中(適中) 敵中

テキド 適度 適土<~性(作物)>

テキヤク 適役 適訳 適薬

テキヨウ 適用 摘要

デキル 出来る 出切る

テキレイ 適例 適齡

テコ てこ(*梃子)<~関係>
<鉦> 手子<鉦>

デシ *弟子 デシ<~リットル>

テスキ 手透き 手*漉き

テズリ 手刷り 手*釣り

テツ 鉄 *轍<~を踏む>

テッカイ 鉄塊 撤回

テッカク 適格 的確

テッカシ 鉄管 敵艦

テッキ 敵機 敵騎 敵旗 鉄器 適期
<~施肥> 摘記 適帛

テッケツ 鉄血 *剔*抉

テッコウ 鉄鋼 鉄工 鉄鉋 鉄坑 鉄甲
徹甲<~弾><工>

テツザイ 鉄材 鉄剂<医>

テッサク 鉄*柵 鉄索

テッシュウ 鉄舟 徹収

テッシュョウ 鉄相 徹*宵

テツジン 哲人 鉄人

テッスル 徹する 徹する

テッセン 鉄扇 鉄線 鉄船

テットー 鉄塔 鉄筒 鉄*桶<~の陣>
徹頭<~徹尾>

テッペン てっぺん 鉄片

テドリ 手取り<~金> 手*捕り

デバナ 出花 出鼻<~をくじく>

テブリ 手振り 手*風

テボリ 手彫り 手掘<鉦>

テラス 照らす テラス<terrace>

テン 点 天 *貂 転 *簪 テン
<ten> 典<華燭の~> *恬
<~として恥じない>

テンイ 天意 転意 天衣<~無縫>
転移 転位<鉦・数>

テンオン 天恩 転音

テンカ 転化 転嫁 添加 点火 転
*訛 転禍<~化福> 天下

テンガ 点画 典雅

デンカ 殿下 伝家<~の宝刀> 電荷
<理> 電化

テンガイ 天外 天*涯 天がい(*蓋)
<建>

テンカイ 転回 展開 転開<~橋>
<工>

デンカイ 電解<理> 電界<理>

テンカイ 転換 展観 転官 *瘡*痼

テンガン 天顔 点眼<医>

テンキ 天気 転機 天機 転記 転帛

<医>

デンキ 伝記 伝奇 電気 電機<重～
軽～> 電器 電軌

デンキュー 電球 電休<～日>

テンキョ 典拠 転居

デンキリョー 電気料 電気量

テンキン 転勤 天金<図>

テンケイ 典型 点景 天啓 天恵

テンケン 天^{*}験 点検 天^{*}譴

テンコ 点呼 典故 点弧<～電圧>

<工>

テンコー 転向 転校 天候 点光<～
源><図>

テンゴク 天国 典獄

テンサイ 天才 天災 天際 転載 ^{*}甜
菜

テンシ 天使 天子 天資 展^{*}翅

テンジ 点字 ^{*}篆字 展示

デンジ 田地 電磁<～波><理・工>

テンシヤ 転写 転車<～台><工>

デンシヤ 電車 伝写

テンシユ 店主 天守<～閣> 天主<～
教>

テンジュ 天寿 天授

デンジュ 伝授 伝受

テンジュー 転住 添充<～細胞・～物>
<植・建>

テンシュツ 転出 点出

テンショ 添書 転所<免官～> ^{*}篆書

テンジョー 天井 天上 天^{*}壤<～無
窮> 転乗 殿上<史>

デンショー 伝承 伝唱(伝^{*}誦)

テンショク 天職 転職 点食<理・鉦>
展色<～剂><建>

テンジル 転じる 点じる

テンシン 転身 転進 転心 転針<～延
展機><工> 展伸<～金網>

<工> 天心 天真<～爛漫>

点心

テンジン 天人 天神

デンシン 電信 伝心<以心～>

テンセイ 天成 天性 転成 転生 点睛
<画龍～> 天声<～人語> 展
性<理>

デンセイ 電請 伝声<～管><建>

テンセキ 転籍 典籍 転石<鉦>

テンセン 点線 転戦 転染<～法>

<理>

デンセン 電線 伝染

デンソー 電送 伝送 伝奏 電そう

(^{*}槽)<工>

テンソク 店則 天測<～器械> ^{*}纏足
^{*}填足

テンタイ 天体 転貸

デントアン 伝単 電探<電波探知機>

テンチ 天地 転地 転置

デンチ 田地 電池

デンチュー 電柱 殿中 電鉗<鉦>

テンチャー 天朝 天聰 展張 天頂<～
角><数> 転調<音>

テンテイ 天帝 点綴 天底<工>

テンテキ 天敵<動・農> 点滴<～培
養><植>

テンテツ 転^{*}轍<～手> 点綴

テンテン 点々 転々 ^{*}輾転<～反側>

テント ^{*}僦都 テント<tent>

テントー 店頭 點頭 転倒 点燈 ^{*}纏
頭 転頭<～運動><植>

デントー 電燈 伝統 伝燈

デンドー 電動<～式> 伝動<～装置>
殿堂 伝道<宗> 伝導<理>

電導<～ガラス><工>

テンニュー 転入 ^{*}填入

テンニン 天人 転任

デンネツ 電熱<～器> 伝熱<～面>
 <工・鉱>
 デンパ 伝^{*}播 電波<理>
 テンバイ ^{*}顛^{*}沛 天盃 [○]聴^{*}牌<マージ
 ャン>
 テンピ 天日 天火
 テンブ 天賦 添付 ^{*}貼付 転付<～
 命令> 天府<時計>
 デンブ 田^{*}駄 腎^{*}部
 テンブン 天分 天聞
 デンブン 電文 伝聞
 テンベン 天変<～地異> 転変<有為
 ～> 天辺
 テンポ 店舗 転補 テンポ<tempo>
 デンポー 電報 伝法
 テンマ [○]伝[○]馬<～船> 天魔
 テンメイ 天命 店名
 テンメン 転免 ^{*}纏綿
 ツンヨー 転用 ^{*}貼用
 テンライ 天来 天^{*}籟
 テンラン 展覧 天覧
 テンリ 天理 天利<経>
 テンリョー 点料 天領<史>
 テンレイ 典礼<法規> 典令<操典
 ～> 典例 典麗
 デンレイ 電令 伝令 電鈴
 デンロ 電路<～布設><工> 電炉
 <～鋼><工・鉱>
 <ト>
 ト 戸 都 徒<好學の～>
 ド 度 土<土曜日>
 トイ 問い ^{*}樋 徒衣<～徒食>
 トウ 問う [○]訪う
 トー トウ<tow><理> 糖<理>
 塔 ^{*}薔<ふきの～> [○]疾<～
 の昔> 当<～を得る・～委員
 会> 党 ^{*}籐 筒<数>

ドー 胴 堂<～に入る> 銅
 トーアン 答案 ^{*}儉安
 トーイ 当意<～即妙> 等位 登位
 糖衣 遠い 当為<哲>
 ドーイ 同意 同位 胴衣
 ドーイケン 同意見 同意権
 トーイン 党员 登院 当院 頭韻 トー
 イン<toe-in of front wheel>
 <工>
 ドーイン 動因 導因 同韻 同院 動員
 トーエイ 投影<数・理・図> 倒影
 トーオン 等温<理> 唐音<言>
 トーカ 燈火 燈下 頭花<植> 豆花
 <植> 桃花 刀架 十日 等価
 透過 投下 糖化<理> 等化
 <動>
 トーガ 唐画 冬芽<植>
 ドーカ 道歌 童歌 道家 同課 同科
[○]何うか 銅価<理> 銅貨 導
 火<～線> 同価 同化
 トーカイ 東海 倒壊 ^{*}韜^{*}晦
 トーガイ 党外 等外 島外 当該 凍害
 糖害
 ドーガイ 堂外 同害<～報復>
 トーカク 倒閣 登閣 頭角<～を現わ
 す> 統覚<哲> 等角<数>
 ドーガク 同学 道学<～者> 同額
 トーカツ 統括 等割<動>
 トーカン 当館 等閑<～に付する> 統
 監 盜汗 投^{*}函 陶管<工>
 トーガン 東岸 冬^{*}瓜
 ドーカン 導管<建> 道観<建> 同官
 同館 同感 道管<植>
 トーキ 党規 党紀 冬季(冬期) 当
 期 投機 騰貴 登記 陶器 投
 棄 透氣<～率><建> 等輝
 <～光度計・～測光器><工>

トーギ 党議 闘技 討議
 トーキ 動機 動^{*}悸 同期 同気<~
 相求むる> 銅器 同機
 トーギ 道義 動議 同義 胴着
 トーキド 等輝度<~曲線><建> 透気
 度<~試験><建>
 トーキュー 等級 討究 投球<野球>
 トーキュー 同級 ^{*}撞球
 トーギョ 闘魚 統御
 トーキュー 同郷 道教
 トーギョー 同業 同行 童形
 トーギョーシャ 糖業者 当業者
 トーキョク 当局 登陸 等極<~結合>
 <理>
 トークン 同君 同訓
 トーケ 同家 道化
 トーケイ 統計 闘鶏 刀^{*}主<~家>
 東経<地> 等傾<~線><工>
 トーケイ 同形<~配偶・~胞子><数・
 動・植> 同型<~核分裂> 動
 径<数> 同系 ^{*}憧^{*}憬 同慶
 トーケツ 同穴<偕老~> ^{*}洞穴
 トーケン 刀剣 闘犬 当県
 トーゲン 桃源 凍原
 トーケン 同権 ^{*}洞見 同県 同伴
 トーコー 陶工 刀工 東郊 登校 投稿
 投降 等高<~線・~ばり><鉦
 ・建> 燈孔<工> 冬港<工>
 東高<~西低><天>
 トーゴー 統合 投合<意気~>
 トーコー 同校 同港 同行<その銀行>
 同公 銅鉦 銅坑 銅鋼 同項
 動向 同好 同工<~異曲> 同
 効<同種~品> ^{*}瞳孔<生>
 同行 どうこう<~言う>
 トーコーカイ 同好会 同交会 同甲会
 トーゴク 当国 東国 投獄

ドーコク 同国 ^{*}慟^{*}哭
 トーコツ 頭骨<動> とう(^{*}梔)骨
 <動>
 トーコン 刀^{*}痕 痘^{*}痕 闘魂 等根 当
 今
 トーサ 遠さ 踏査<鉦・工> 等差
 <~数列><数>
 ドーサ 動作 どうさ([△]礮[△]水)<~引
 き><図>
 トーサイ 登載 ^{*}搭載 統裁 当歳
 トーザン 当山 唐^{*}棧
 ドーサン 動産 道産<北海道産>
 トーシ 闘士 闘志 当市 唐紙<図>
 唐詩 投資 透視 凍死 通し
 <~の切符> 頭し(^{*}肢)<動>
 トージ 答辞 悼辞 湯治 冬至 統治
 当寺 ^{*}蕩兒 当事<~者> ^{*}杜
 氏 当時 投じ<資金を~> 透
 磁<~率><鉦・理> 等磁<~
 位面><理> 等時<~性>
 <理>
 ドーシ 同志 同氏 同師 同士 導師
 同紙 同誌 同市 童詩 動詞
 同視 導糸<~漏斗><理>
 ドージ 同字 同時 同事 同次<数>
 童子
 トーシツ 等質 透湿<~性><建>
 ドーシツ 同質 同室
 トーシャ 騰写 透写 投射 当社 投写
 <~管・~式><工・テレビ>
 ドーシャ 同社 堂舎 同車
 トーシュ 党首 頭首 当主 投手
 トーシュ 踏襲 等周<~問題><数>
 ドーシュ 同臭 同舟<吳越~> 同囚
 銅臭 道州<~制> 堂衆
 <仏> 同州 同宗
 トーショ 投書 頭書 当初 当所 当署

島*喚

ドーショ 同所 同署 同書
 ドーショ 童女 同女
 トーショウ 凍傷 刀傷 闘将 刀匠 東
 証<~株価平均指数><経>
 等照<~度線><工>
 トーショウ 東上 登場 *搭乘 党情
 凍上<地・工・建・天>
 ドーショウ 同省 同章 同床<~異夢>
 道床<工>
 ドーショウ 同情 同乗 同上 同条 同
 嬢 道場
 ドーショク 同色 同職
 トーシン 刀心 刀身 盗心 *蕩心 闘
 心 燈心 等身<~大> 答申
 投身 東進 等親<法> 痘*疹
 <医>
 トージン 党人 島人 *蕩尽
 ドーシン 童心 道心<~堅固> 同心
 <異体~> 同心<~円><数>
 ドージン 同人<~雑誌> 同仁<一視
 ~>
 トースイ 陶醉 統帥<~帷> 透水<~
 性・~量><建・工>
 トースー 頭数 等数<~分裂><動>
 トーセイ 党勢 騰勢<経> 陶製 陶性
 <~タイル><建> 統制 *搗
 精<~度> 当世 東征 *濤声
 唐制<史> 倒生<植>
 ドーセイ 同姓 同性 動静 動勢<人口
 の~> 銅製 同*棲 同生<~
 鉱床><鉱>
 トーセキ 党籍 投石 凍石<鉱> 等積
 <~孔><鉱> 透析<理> 陶
 石<理>
 トーセン 当選 当*籤 登*仙<羽化~>
 東遷 燈船<工>

トーゼン 東漸<文明の~> 当然 陶然
 ドーセン 同線 同船 銅線<工> 導線
 <工> 動線<建> 銅銭
 ドーゼン 同然 同前
 トーソー 痘*瘡<医> 凍*瘡<医> 闘
 争 党争 党葬 逃走 凍霜<~
 害>
 トーソク 党則 等速 踏測
 ドーゾク 同族 道俗
 トーダイ 燈台 当代
 ドータイ 胴体 同体 動態 導体<理>
 道*諦<仏>
 ドーダン 同断 道断<言語~> どうだ
 ん<植物名>
 トーチ 当地 島地 湯池<金城~>
 統治 倒置 等値<~曲線・~荷
 重><数・工> トーチ<blow-
 pipe><建> トーチ<~ランプ
 (torch lamp)><理・工>
 ドーチ 同地 動地<驚天~> 同値
 <数>
 ドーチャク 同着 *撞着
 トーチャー 登庁 当庁 当町 盗聴 登
 頂 頭頂<動> 等長<~変
 換><数> 等張<~係数>
 <動・植・工>
 ドーチャー 道庁 同町 同調
 ドーツキ 胴付き<~のこ><建> 胴突
 き<心棒胴突き><~くい打ち
 法><建>
 ドーテイ 道程 童貞 同定<動・植>
 トーテン 当店 東天 *読点
 トーデン 盗電 答電 等電<~点>
 <動>
 ドーテン 同点 同店 動転
 トード 陶土 凍土 唐土
 トートー とうとう<~まいった> *滔

☆ *蕩々 等々<甲乙丙~>
 ドーソー 同党 同等 道統 導燈<工>
 ドーソー 同道 堂々
 トーナイ 党内 島内
 トーナン 東南 盗難
 トーニュー 糖乳 豆乳 投入 透入<~
 法><工>
 トーハ 党派 踏破
 ドーハ 同派 道破 導波<~管・~
 器><テレビ>
 ドーハイ 同輩 銅*牌
 トーバツ 党閥 討伐 盗伐
 トーハン 登*攀 盗犯
 トーバン 当番 登板<野球>
 ドーハン 同班 同伴
 ドーバン 銅板 銅版 銅盤 同番
 トーヒ 当否 党費 逃避 討*匪 等
 比<~数列><数> とうひ
 <japanese spruce><建>
 トービ 遠火 *掉尾
 トーヒョー 投票 燈標<工>
 ドーヒョー 同表 道標<工>
 トーブ 東部 頭部
 ドーブ 同部 胴部
 トーフー 党風 唐風 東風
 トーブン 糖分 等分 当分
 トーベン 答弁 頭弁<~掃気><工>
 トーホー 東方 東邦 投法 答訪 答砲
 当方 等方<~性><建・鉱・
 工>
 ドーホー 同胞 同法
 ドーボー 同房 同*朋 同傍<~外角>
 <数>
 トーボク 倒木 唐木<チーク, マホガニ
 ー, ラワンなどの総称> 唐墨
 トーホン 膳本 唐本 東奔<~西走>
 トーミ 遠見 唐*箕

トーミツ 糖みつ(*蜜) <理> 東密
 <仏>
 トーミン 島民 冬眠
 トーメイ 党名 唐名 透明
 ドーメイ 同名 同盟
 トーメン 当面 東面
 ドーモー 童*蒙 *艦*轢 *瘁*猛
 ドーモン 同門 *洞門
 トーヤ 遠矢 陶冶 当夜 塔屋<建>
 トーユ 燈油 *桐油<~紙>
 ドーユー 同友 同憂 道有<~林>
 トーヨー 東洋 当用 陶窯 登用(登
 庸) 盗用<電力の~> 燈用
 <~ガス><鉱> 糖葉<植>
 等容<~の><理>
 ドーヨー 童謡 動揺 同様
 トーラク 当落 騰落<経>
 ドーラン 動乱 胴乱<植> ドーラン
 <Dohran>
 トーリ 党利 統理<議院の事務を~>
 桃*李<~言わざれど>
 トーリュウ 当流 *逗留 東流 等流
 <工>
 トーリョー 統領 頭領 *棟*梁 等量
 投了<囲碁> 当量<理>
 ドーリョー 同僚 同量
 トール 通る *透る
 トールイ 党類 糖類 盗塁<野球>
 ドールイ 同類 道類<~群><数>
 トーロー 燈*籠<建> *蟻*蟬 登楼
 ドーワ 童話 道話 同和<~事業>
 トエイ 都営 渡英
 トオシ 通し *筵
 トカ 都下 渡河 徒過<期間を~>
 トカイ 都会 渡海
 ドカイ 土塊 土*芥
 トカス 解かす 溶かす(*溶かす)

*梳かす
 ドガマ 土^釜 土^窯
 トキ 時<～をかせぐ> *閑<～の
 声> *斎<仏> *鶉<動物名>
 ドキ 土器 怒気
 ドキョー 度胸 *読経<仏>
 トク 得 徳 説く 解く 溶く
 (*熔く)
 ドク 毒 独<～仏> *退く
 トクイ 得意 特異
 ドクガ 毒^牙 毒^蛾
 トクガク 篤学 督学<～官>
 トクギ 徳義 特技
 ドクゴ 読後 独語
 トクシ 特使 篤志 特志 特旨
 ドクシ 毒死 読史
 ドクジ 読字 独自
 トクシク 特質 得失
 トクシャ 特赦 特車<軍> 特写
 トクシュ 特殊 特種
 ドクシュ 独習(独修)
 トクショ 特賞 特称 特小
 ドクショ 独唱 読^誦
 トクショク 特色 *讀職
 トクシン 篤心 篤信 得心 特進 *漬
 神<宗>
 ドクシン 独身 読心<～術> 読^唇
 <～術>
 トクセイ 特性 特製 徳性 徳政<史>
 トクセン 特選 特薦 督戦
 ドクセン 独擅<～場> 独占 毒せん
 (*腺)<動>
 ドクソ 毒素 独ソ
 トクソー 徳操 得喪<抵当権の～> 徳
 宗<史>
 ドクソー 毒草 独創 独走 独奏
 トクソク 特則<～規定> 督促

ドクダン [独壇]<～場> 独断 独弾
 <音>
 トクチャー 特徴 特長
 トクテン 得点 特典
 トクトー 特等 *禿頭
 トクトク 得々<～と> とく<とく>～流
 れ出る>
 トクニ 特に *疾くに
 トクヒツ 特筆<～大書> *禿筆
 トクボー 徳望 特紡<～ガラ紡>
 トクメイ 匿名 特命
 ドクヤク 毒薬 独訳
 トクレイ 特例 督励
 トケイ *時計 徒刑
 トケル 解ける 溶ける(*熔ける)
 トコー 渡航 とうく<～するうちに>
 ドゴ 土豪 怒号
 トサツ *屠殺 塗擦
 トシ 年 都市 *杜詩 渡支 徒死
 トジ 途次 徒^爾 *綴じ
 トシ 徒手 斗酒
 トショ 図書 *屠所<～の羊>
 トジョー *屠場 途上 登城<史>
 ドジョー ^泥^鱸 土^壤 土状<鉱>
 トジル 閉じる *綴じる
 トシン 都心 *兎^唇
 トセイ 都制 都政 渡世
 ドセイ 怒声 土製 土性<～顔料>
 <建> 土星
 トセン 渡鮮 渡船
 ドソー 土葬 土層
 タタン 塗炭<～の苦しみ> 途端
 トチ 土地 *析<～の木>
 ドチュ 土中<～植物><植> 土柱
 <地>
 トチャー 都庁 徒長<～軟弱><農・
 天> ト調<音>

トッカ 特価 特科 徳化
 トッカン 突貫<〜工業> *唸*喊
 トッキ 突起 *凸起 徳器 特記
 トッキュー 特級 特急
 トックリ *徳利 とっくり<〜と>
 トツケイ 突形<植> とつ(*凸)形
 <〜原形質分離><植>
 トッケイ 特惠<〜貿易> 特掲<〜産
 業> 篤敬
 トッコー 徳行 篤行 特高<〜警察>
 特攻<〜隊> 特効
 ドッコー 独行 独航<〜船>
 トトー 徒党 渡島 渡唐
 トドク 渡独 届く
 トナエル 唱える *称える
 ドバ 土場 *驚馬
 トヒ 都*鄙 徒費 渡比
 ドヒ 奴*婢 土*匪
 トフ 都府 塗布
 トマル 泊まる 留まる(止まる)
 トメル 泊める 留める(止める)
 トモ 友 供 *臚
 ドモリ 度盛り 土盛り *吃り
 トユー 都*邑 都有<〜地>
 ドヨー 土曜 土用
 トラ *虎 *寅
 トライ 渡来 トライ<try><ラグビ
 ー>
 トラエル 捕える(*捉える)
 トラス 取らす トラス<truss><建
 ・工>
 トラック トラック<track> トラック
 <truck>
 トリ 鳥 *酉
 トリテ 取り手 *捕り手
 トリモチ 取持ち 鳥*鶺
 ドリョー 度量 土量

トロ *瀨 吐露
 トンシ *頓死 豚脂<〜油>
 トンジ *遁辞 豚児
 <ナ>
 ナ 名 菜
 ナイエツ 内閣 内謁
 ナイエン 内*苑 内縁
 ナイカ 内科 内火<〜艇> 内貨<〜
 建>
 ナイカイ 内海 内界 内科医
 ナイカク 内閣 内郭 内角<数>
 ナイカン 内患 内観<心>
 ナイコー 内航 内港 内*訐 内攻
 <医> 内向<〜性><心> 内
 項<数> 内甲<動>
 ナイサイ 内妻 内済
 ナイシ *乃至 内し(*肢)<動>
 ナイジ 内示 内耳<動>
 ナイツ 内室 内質<動>
 ナイシュヒ 内珠皮<植> 内種皮<植>
 ナイショー 内相 内証<仏> 内しょう
 (*鞘)<植>
 ナイシン 内心 内申<〜書> 内診
 <医>
 ナイセイ 内政 内省 内生<〜胞子>
 <植>
 ナイセン 内戦 内線
 ナイソー 内争 内奏 内装<〜工事>
 <建>
 ナイゾー 内臓 内蔵
 ナイチ 内地 内治<〜外交>
 ナイテイ 内定 内*偵 内庭 内廷<〜
 費>
 ナイト ナイト<knight> ナイト
 <night><〜ラッチ(latch)・
 〜テーブル(table)><建>
 ナイフ 内府 ナイフ<knife>

ナイフク 内福 内服
 ナイブン 内聞 内分<数>
 ナイホー 内報 内包<哲> 内方<～分岐><工>
 ナイヨー 内容 内用<～薬> 内業
 <動>
 ナイラン 内乱 内覧
 ナガイ 長居 長い
 ナキゴエ 泣き声(鳴き声)
 ナク 泣く(鳴く)
 ナグ *風ぐ(*和ぐ)
 ナゴリ 名*残 △余△波
 ナシ *梨 無し
 ナズケ 名付け 菜*漬け
 ナダイ 名代(名題)
 ナツメ *棗<植物名> 夏芽<植>
 ナマエ 名前 生*餌
 ナマス *膾 *脍す
 ナマズ *鮠 *癪<生>
 ナマリ *訛り *生く<なまりふし> 鉛
 ナマル *訛る *鈍る
 ナミ 波 並み
 ナメシ *韃<～皮> 菜飯
 ナラウ 習う *倣う<懇みに～>
 ナラス 鳴らす 慣らす(*馴らす)
 *均らす *生らす<果実を～>
 ナリ *生り<～がいい> *形<大き
 な～をして> 鳴り
 ナリモノ *生り物 鳴り物
 ナル 鳴る 成る(*為る) *生る
 <実が～>
 ナレル 慣れる *馴れる(*狎れる)
 *熟れる<くみそが～> *為れる
 <大臣に～>
 ナンア 南△亜 南△阿<～連邦>
 ナンイ 難易 南緯
 ナンカ 軟貨<～圓> 軟化 南下

ナンカイ 何回 南海 難解
 ナンキュー 軟球<運> 難球<運>
 ナンギョー 難行<～苦行> 難業
 ナンキョク 難局 難曲 南極
 ナンキン 南*京<～豆> なんきん<～
 がんな(spoke shave)・～下見
 (bevel siding)><建> 軟禁
 <～状態>
 ナンコー 軟鋼<鉦・建・理・工> 難鉦
 <鉦> 難攻<～不落> 軟*膏
 難航 南高<～北低型><天>
 ナンジ 何時 難事 難治 *汝
 ナンショク 難色 男色
 ナンセイ 南西 軟性
 ナンセン 難船 難戦 南船<～北馬>
 南鮮
 ナンチャー 難聴 軟調<経> 南朝
 <史>
 ナンテン 何点 難点 南天
 ナンド 何度 *納戸 軟度<建>
 ナントー 南東 軟投<野球> 難凍<～
 ダイナマイト><鉦>
 ナンパ 軟派 難破
 ナンブー 南風 軟風<天>
 ナンブン 難文 何分<～の一>
 ナンベン 何遍 軟便
 <ニ>
 ニ 二 荷
 ニオウ *臭う *匂う
 ニカ 二課 二化<～螟虫> 二価
 <～染色体><動・植>
 ニカイ 二回 二階
 ニガサ 苦さ 荷*嵩
 ニカタ 煮方 荷方
 ニキ 二季 二期<～作>
 ニクショウ 肉*漿 肉*醬
 ニクショク 肉食<～性の><動> 肉色

ニクシン 肉親 肉身 肉心<鉦>
 ニゲン 二元<~論・~合金><哲・
 鉦> 二弦<~琴>
 ニコー 尼公 二項<~定理・~曲線>
 <数・植>
 ニゴー 二号 二合
 ニシ 西 *螺 二枚<~形の・~集
 散花序><動・植>
 ニジ 二時 二字 二次 *虹
 ニジキ 二食 荷敷<~板><工>
 ニシャ 二社 二者<~択一>
 ニジュー 二十 二重
 ニジョー 二畳 二*帖 二丈 二条 二
 乗<仏・数>
 ニジル 煮*汁 *罫る
 ニシン 二心 二伸<~追申> *鯨
 二進<~法><数・理>
 ニセ *偽 二世<~仏>
 ニセモノ *偽者 *偽物
 ニソク 二足 二束<~三文>
 ニチジ 日次 日時
 ニチヨー 日曜 日用
 ニチャー 二頂<~曲線><植> 二長
 <~雄ずい(蕊)><植>
 ニッカ 日課 日華 日貨<~排斥>
 ニッカイ 肉塊 肉界<宗>
 ニッカン 日*韓 日刊 肉感
 ニッケイ 日系<~市民> 日計<~表>
 肉*桂
 ニッコー 日光 日航<~機> 肉交
 ニッサン 日産 日参
 ニッシ 日誌 日支 日子<~を費や
 す>
 ニッショー 日章<~旗> 日照<~時>
 ニッシン 日進<~月歩> 日*清<~戦
 争>
 ニッタイ 日タイ<~通商協定> 日台

<~通商協定>
 ニト 二途 二*兎<~を追う者は>
 ニトー 二等 二頭 二*棟 二刀
 ニホン 日本 二本
 ニューカ 乳価 乳化 入荷
 ニューキョ 入居 入*渠
 ニューコー 入港 入校 入坑 入*寇
 入貫
 ニューサン 乳産<~品> 乳酸<理>
 ニューシ 乳齒<生・動> 乳*菊 入試
 ニューシツ 乳質 入室
 ニューシャ 入社 入舎 入射<~角>
 <理・工>
 ニュージョー 入場 入城 入定<仏>
 ニューシン 入神<~の技> 入信
 ニューセシ 入選 入船 乳*腺<生>
 ニューチャー 入超<輸入超過> 入朝
 ニュートー 入党 入湯<~税> 乳頭
 <動> 乳糖
 ニューフ 入夫 入府<史>
 ニューヨー 乳用<~牛> 入用
 ニューラク 入*洛 乳酪<農>
 ニューリョー 乳量 入寮 入漁
 ニル 似る 煮る
 ニワカ *仁*輪*加 *俄
 ニン 任<~に当たる> 忍
 ニンキ 人気 任期
 ニンショー 認証<法> 人称<言>
 ニンジョー 人情 *刃*傷<~ざた>
 ニンチ 任地 認知<法>
 ニンタイ 人体 認定
 ニントク 人徳 *仁徳
 ニンブ 妊婦 人夫
 ニンメン 任免 人面
 ニンヨー 忍容 任用 認容 妊*孕<~
 力><医>

<ヌ>
 ヌカス 抜かす 吐かす<小言を〜>
 ヌキ 抜き<…を〜にする> ぬき
 (°貫)<建> °緯<織物>
 ヌレガミ ぬれ紙<〜をはがす> ぬれ髪
 <ネ>
 ネ 音 根 値 °子
 ネギ °葱 °福宜
 ネギリ 値切り 根切り<建>
 ネコ °猫 ねこ<〜流し><鉦>
 ネジメ 音締め 根締め
 ネットイ 熱意 ねつい
 ネットン 熱戦 熱線<理>
 ネバリ 粘り 根張り<建>
 ネビキ 値引き 根引き
 ネリ °煉り(°鍊り) 練り<〜摒・
 ~舟><建>
 ネル ネル 寝る 練る(°煉る・°鍊
 る)
 ネン 念 年
 ネンカン 年間 年鑑<図> 年刊<〜
 書><図>
 ネンキ 年期 年季<〜奉公> 年忌
 ネンキン 年金 粘菌
 ネンシ 年始 °撚糸<〜機>
 ネンジュ 念°誦<仏> 念珠<仏>
 ネンショ 年少 燃焼<理・鉦・工>
 ネンセイ ねん(°捻) 性<植> 粘性
 <理・鉦・建>
 ネンチョ 年長 [粘°稠]
 ネンド 年度 粘土 粘度<建>
 ネット 年頭 念頭
 ネンブ 年賦 年譜
 ネンポー 年°俸 年報
 <ノ>
 ノ 能 農 脳 °膿 ノー<no>
 ノーエン 農園 脳炎 濃°艶

ノーカ 農家 農科 濃化<鉦>
 ノーカイ 農会 納会
 ノーガク 能楽 農学
 ノーガクシ 能楽師 農学士
 ノーカン 納棺 農閑<〜期>
 ノーキ 納期 農期 農機
 ノーキョー °膿胸<医> 脳橋<生>
 ノーコー 農耕 農工<〜商> 濃厚 濃
 紅<〜銀鉦><鉦>
 ノーサツ 納札 悩殺
 ノージ 農事 能事<〜終り>
 ノーシヨ 能書 納書<〜箱><図>
 ノーシヨ 農相 脳症<医> 脳°漿
 <生>
 ノージョー 農場 のう(°囊)状<〜葉>
 <植>
 ノーチュー °囊中 脳中 のう(°囊)虫
 <動>
 ノード 濃度 農奴<史>
 ノーフ 農夫 農婦 納付
 ノーム 濃霧 農務
 ノーリ 能吏 脳裏
 ノーリョク 能力 濃緑
 ノケル °退ける(°除ける)
 ノジ 野路 野地<建>
 ノス °伸す(°攣す)
 ノセル 乗せる(載せる)
 ノゾク 除く °覗く(°覷く)
 ノゾム 望む 臨む
 ノダテ 野立て 野°点<茶道>
 ノットル 乗っ取る °則る
 ノビ 野火 延(伸)び<〜率・〜
 計><建・鉦>
 ノビル 野°蒜 延びる(伸びる)
 ノベ 野°辺 延べ
 ノベル 述べる 延べる
 ノボセル °逆°上せる 上せる

ノボリ 登り *幟
 ノボル 上る(登る)
 ノミ *蚤 *蟥 *呑み<~行為>
 <株式>
 ノリ *糊 △海△苔 °伸り のり
 <inclination><建>
 ノル 乗る(載る)
 ノロ °鈍 のろ<slag><鉦>
 ノロイ *呪い °鈍い
 ノロマ °鈍間 野*呂°松<~人形>
 <ハ>
 ハ 葉 齒 派 *覇 刃 羽 °端
 <~が出る>
 ハイ 灰 肺 豨 *杯 はい<船の
 数> *蠅 はい(*胚)<植・
 動>
 パイ *牌<マーシャン> パイ
 <pie(菓子)> パイ<π>
 ハイイ 配意 背違 配位<理>
 ハイエイ 排英 拝英 背泳
 ハイエキ 廃液<鉦> 排液<鉦>
 ハイエン 廃園 排煙 肺炎
 バイエン *煤煙 梅園
 ハイカ 配下 排貨 廃家 拝火<~
 教><史> 排架<~整理>
 <図> 灰化<理>
 ハイガ 拝賀 俳画 *胚芽
 バイカ 売価 買価 梅花 倍加
 ハイカイ 俳*諧 *俳*徊
 ハイガイ 排外 拝外
 バイカイ 媒介 売買<株式>
 ハイカン 肺患 廃官 廃刊 廃艦 拝観
 配管 背管<動>
 ハイキ 廃棄 排棄 拝*跪 排気<~
 組織・~口><植・鉦・建>
 ハイキュー 廃休 廃朽 配給 排球
 ハイキン 排菌<~者> 背筋<~力>

拝金<~宗> 配筋<~図>
 <建>
 ハイケイ 拝啓 背景 配景
 ハイケン 拝見 *佩剣
 ハイゴ 背後 廃語
 ハイコー 廃校 廃坑 廃鉦 配光<建・
 工> 配向<理>
 ハイゴー 配合 廃合 俳号
 ハイザイ 配剤 廃材
 ハイザン 敗残(廃残)
 ハイシ 俳誌 *稗史 廃止 背し(*肢)
 <動>
 ハイジ 廃寺 拝辞
 ハイジク はい(*胚)軸<植> 背軸
 <~の><植>
 ハイシツ 廃疾<不具> 肺疾
 ハイシャ 配車 廃車<~処分> 敗者
 拝謝 背斜<~層><鉦・工>
 排砂<~弁><工> 齒医者
 ハイシュツ 輩出 排出<植・動>
 ハイショ 俳書 配所
 ハイジョ 排除<法> 廢除<法>
 ハイショウ 敗將 廃*娼 拝承 拝*誦
 排障<~器><工>
 バイショウ 賠償 売笑 ばい(*焙)焼
 <~炬><鉦>
 ハイショク 敗色 配色 廢職
 バイショク 売色 陪食
 ハイシン 背信 背進
 ハイジン 廢人 俳人 配陣
 バイシン 陪審 陪臣<史>
 ハイスイ 排水 配水 廢水<鉦・工>
 背水<~の陣>
 ハイスル 排する<万難を~> 廢する
 拝する 配する
 ハイセイ 敗勢 俳聖
 ハイセキ 排斥 廢石<~捨場><鉦>

ハイセン 廃船 配船 配線 廃川<～敷
 地> 敗戦 杯洗 肺^{*}尖<生>
 背線<動>
 ハイゼン 配^{*}膳 ^{*}沛然
 バイセン 買船<～計画> 媒染<～剂>
 <理>
 ハイソー 敗走 背走 灰層<鉱>
 ハイタ 排他 齒痛
 ハイタイ 敗退 廃^{*}頤 ^{*}胚胎
 ハイダン 俳壇 俳談
 ハイチ 配置 排置<～記号><図>
 廃置<～分合> 背^{*}馳<根本精
 神に～する>
 ハイチャウ 廃庁 廃朝 ^{*}蠅帳 拝聴
 ハイテイ 廃帝 拝呈
 ハイデン 廃田 拝殿 配電
 ハイトウ ^{*}佩刀 廃刀 配当
 ハイニン 背任 拝任
 ハイノー 背^{*}囊 排^{*}膿 はいのう(^{*}胚
^{*}囊)<植> 肺のう(^{*}囊)
 <動>
 ハイハン 背反 廃藩<史>
 ハイパン はい(^{*}胚) 盤<～胞><動>
 背板<動>
 ハイビ 拝^{*}眉 配備
 バイヒン 売品 陪賓
 ハイフ 肺^{*}腑 配布
 ハイブ 背部 肺部
 ハイフク 拝復 拝伏 背腹<～性>
 <植>
 ハイブツ 廃物 廃仏<～毀釈> 拝物
 <～教>
 ハイブン 俳文 拝聞 配分 灰分<鉱・
 建・工>
 ハイヘイ 敗兵 廃兵 配兵 はい(^{*}胚)
 柄<植>
 ハイメー 俳名 拝命

ハイメツ 敗滅(廃滅)
 ハイヤク 配役 背約
 バイヤク 売約 売薬
 ハイユ 廃油 配油
 ハイユウ 俳優 俳友
 ハイヨウ ^{*}佩用 肺薬<生> はい(^{*}胚)
 薬<動>
 バイヨウ 培養 買用<～計画>
 ハイラン 拝覧 敗乱 排卵
 ハイリ 背離 ^{*}悖理 背理<～法>
 <数>
 ハイール ^{*}遺入 配流<史>
 ハイレイ 拝礼 背^{*}戻
 ハエ ^{*}映え ^{*}蠅
 ハエール ^{*}榮える(^{*}映える) ^{*}生える
 ハカ 墓 ^{*}果<～が行く> 破^{*}瓜
 <～期>
 ハカイ 破壊 破戒
 ハカリ ^{*}秤 計り
 ハカル 計る(測る・図る) ^{*}謀る
 ハキ ^{*}覇氣 破棄
 ハギ ^{*}脛 ^{*}接ぎ<裁> ^{*}萩
 ハキダシ 掃出し<～口><建> 吐出し
 <～弁><鉱>
 ハギレ 歯切れ ^{*}端切れ 葉切<天>
 ハク ^{*}箔 吐く 掃く ^{*}履く ^{*}佩
 く ^{*}捌く
 ハグ ^{*}剥ぐ ^{*}接ぐ
 バク ^{*}漠<～たる> 縛<～につ
 く> ^{*}貌
 バクゲキ 爆撃 ^{*}駭撃
 ハクサイ 薄才 白菜
 ハクシ 白紙 博士 薄志<～弱行>
 ハクシャ 拍車 薄謝 白砂<～青松>
 ハクジョウ 白状 薄情
 バクショウ 爆笑 爆傷
 ハクジン 白人 白刃

バクシン 爆心<～地> *轟進 幕臣
 バクスル *駁する 縛する
 ハクセン 白線 白屑 白銑<鉦・工>
 ハクダツ *剥奪 *剥脱
 ハクチ 白痴 泊地
 ハクチュー 白昼 伯仲 白鑄<～鉄>
 <鉦>
 ハクトー 白頭 白桃 白糖 白陶 白燈
 <工>
 ハクドー 白銅 はく(*搏) 動く動>
 ハクヒュー 白票 薄氷
 バクフ *瀑布 幕府
 ハクブン 博聞 博文 白文
 ハクヘン 薄片 *剥片
 ハクメイ 薄命 薄明
 ハクラク 伯樂 *剥落
 ハクリ 薄利<～多売> はく(*剥)
 離<建・工>
 バクリュー 幕僚 *曝涼
 ハグルマ 齒車<理・工> 羽車
 ハケ *刷毛 *捌け<～がいい>
 ハゲル *禿げる *剥げる
 ハケン *覇権 派遣
 ハコー 破衝<需給に～を来たす>
 *跛行 *爬行 破甲<～弾>
 <軍> 波高<～点・～値>
 <工>
 ハザシ 葉ざし<農> ハ刺し<裁>
 ハサム *挟む *鉢む
 ハサン 破産 破算<御>
 ハシ 端 橋 *箸
 ハジ 恥 *把持
 バジ 馬事 馬耳<～東風>
 ハンヤ *覇者 *跛者
 バシユ 馬主 馬首
 ハス *斜 *蓮
 バス バス<乗合自動車> バス<ふ

ろ> バス<bass><音>
 ハスー 端数 波数<理>
 ハスル 派する 破する
 ハセン 波線 破線<建・工> 破船
 *端銭 派川<工>
 ハソク *把*捉 波速<工>
 ハタ 畑 旗 機<～屋> *側<～
 が迷惑する> *将
 ハタケ 畑 *疥<医>
 ハタチ Δ 二 Δ 十 Δ 歳 畑地
 パタン パタン<pattern> ぱたん
 <～と>
 ハチ 八 *鉢 *蜂
 バチ *罰 *撥*杓
 ハチュー 波長 ハ調<音> 波頂<工>
 バツ 罰 閥 ばつ<～がわるい>
 *跋
 ハツオン 発音 *撥音<言>
 ハッカ 発火 薄荷<植物名> 白化
 <動>
 バッカ 麦価 幕下
 ハッカク 発覚 八角
 ハッカシ 八貫 八巻 発刊 発汗
 バッカン 麦間<～直播> 麦*稈
 ハッキ 白旗 発揮
 ハッキュー 薄給 発給<証明書を～>
 ハッキン 発禁 白金<鉦>
 バック バック<pack><美容> バ
 ック<puck><アイスホッケー
 ー>
 ハッケイ 八景 白糸<～ロシア>
 ハッケン 八間 発見 発遣<質問書の
 ～> 発券<～高><経> *剥
 権<～処分> 白*鍵<音>
 ハツゲン 発言 発現
 バッケン 抜劍 バッケン<Backen>
 <スキー>

ハッコー 発行 発効 発向 発航 発港
 ハ^{*}紘<〜一字> 蕨幸 発光
 <〜顔料><植・動・理・天>
 発香<〜りん(麟)・〜団><動・理> 発酵<理・植>
 バッシ 抜糸 抜歯 ^o末子
 ハッシェ 発車 発射
 ハッショー 発祥 八省<史> 八姓
 <史>
 ハッシン 発信 発進 発^{*}疹 発振
 <工>
 ハッセイ 発生 発声
 ハッソー 発送 発走 発想 発喪
 ハッタツ 発達 八達<四通〜>
 ハット ハット<hat> 八斗 ^o法^o度
 <史>
 バット バット<bat><運> バット
 <vat><鉦>
 ハツネ 初^o子 初音 初値
 ハッパ 葉っぱ 発破
 ハップ 髪膚<身体〜> 発布 発付
 <令状〜>
 ハッポー 八方 発砲 発^{*}泡<〜剤>
 ハテ 果て はて<〜どうだっけ>
 バテイ 馬丁 馬^{*}蹄<〜型>
 ハトー 波^{*}濤 波頭
 ハドー ^{*}覇道 波動<理・建>
 バトー 馬頭<〜観音> ^{*}罵倒
 ハナ 鼻 ^{*}渡 花 ^o端
 ハナシ 話 歯無し
 ハナス 話す 放す(離す)
 ハナミ 花見 羽並み 歯並み
 ハナムケ ^{*}餞 鼻向け<〜もならぬ>
 ハナワ 花輪 鼻輪
 ハネル ^o跳ねる ^{*}撥ねる
 ハフ 破^o風 ^{*}廓府<史>
 ハム ハム<ham><食品・アマチ

ムア無線家> ハム<hum>
 <工> ^o食む<禄を〜>
 ハメン 破面<工> 波面<工>
 ハモノ 刃物 ^o端物 薬物 はもの
 <bat><建>
 ハモン 波紋 破門
 ハヤ ^{*}鮪 早くすでに>
 ハヤク ^o端役 破約
 ハヤシ 林 ^{*}離子
 ハヤス ^o生やす ^o称^o揚す ^{*}離す
 ハヤル [△]流[△]行る ^o遡る
 ハラ 原 腹
 バラ ばら<〜銭> ^{*}薔^{*}薇 ^{*}荊^{*}棘
 ハライ 払い<〜が悪い> ^{*}祓い
 ハラウ 払う ^{*}祓う
 ハラス 晴らす ^{*}腫らす
 バラス ばらす バラス<ballast>
 バラズミ ばら積み ばら炭
 ハラン 波^{*}瀾 葉^{*}蘭<植物名>
 ハリ 針(^{*}鉤・^{*}鍼) ^{*}梁 張り<〜
 がある> ^{*}玻^{*}璃
 バリ ^{*}罵^{*}詈 バリ<burr><鉦>
 ハリバン 張り番 ^{*}玻^{*}璃版
 ハリメ 針目 張り目
 ハル 春 張る
 ハレ 晴れ ^{*}腫れ
 ハレツ 破裂 波列<工>
 ハレル 晴れる ^{*}腫れる
 バレル ばれる バレル<barrel>
 <鉦・工>
 バレン 馬^{*}棟<版画> 馬^{*}籠<まと
 いの飾り>
 ハロー 波浪 破牢 ハロー<halo>
 <天・理> ハロー<hallo>
 ハロー<harrow><農・工>
 ハン 判 斑 版<〜を重ねる> 煩
 <〜を避ける> 範<〜を示す>

藩<史> 反<哲>
 バン 番 晩 盤 万<～やむを得ず> 判 *鵠
 バン バン バン<pan><フライ> 万<～> バン<Pan><牧羊神> バン<panoramic><映画・テレビ>
 ハンイ 犯意 反意(*叛意) 範圍 反位<測量><工>
 ハンエイ 反英 繁榮 反映
 ハンカ 反歌<文> 繁華 半可<～通・生> 般化<心>
 バンカ 万花 万*願 晩夏 *挽歌<文> 万化<千変> 晩化<～栽培>
 ハンカイ 半壊 半開 半解<一知>
 ハンガク 半額 藩学<史>
 ハンカン 繁閑 繁簡 反感 反間<～苦肉の策> 半官<～半民>
 ハンガン 半眼 判官<史> はん(*斑) 岩<鉦>
 ハンキ 半期(半季) 反旗<～を翻す> 半旗 搬器<鉦> 反婦<～曲線><数>
 ハンキュー 半休 半球 半弓
 ハンキュー 反響 反共
 バンキン 万*鉤<～の重み> 板金<～工><建> *輓近
 ハンケイ 半径<数> 反傾<数>
 ハンゲキ 反撃 繁劇
 ハンゲン 半*鉞 半減 反言
 バンケン 番犬 万犬
 ハンコ 判子 帆庫<工>
 ハンコー 反攻 反抗 犯行 版行 頒行 藩侯<史> 藩*饗<史>
 バンコク 万国 万*斛<～の涙>
 バンコン 晩婚 盤根 万恨

ハンサイ 半歳 半済 [半*截]
 ハンザツ 繁雑 煩雑
 ハンシ 半死<～半生> 半紙 範士<武道> 反し<予期に> 判士<軍> 判詞<文> 藩士<史>
 ハンジ 版次<図> 判じ<～絵><図>
 バンシ 万死<罪に値す> 番士<史>
 バンシヤ *挽車 万謝
 バンシユ 晩秋 蛮習 番衆<史>
 バンシヨ 板書 番所<史> *蕃書<史>
 ハンシヨ 半生<半死> 半鐘 反将(*叛将) 帆*檣 *汎称 半商<半農> 半焼 反証 範唱 反照<～検流計><鉦・工>
 ハンシヨ *斑条 *斑状 半疊 犯状 繁*昌
 バンシヨ 晩鐘 晩照 万象<森羅> 万障<～繰り合わせて>
 バンシヨ 板上 盤上 板状 万丈<気炎> 万乗<～の君> 番匠<史> バンシヨ <banjo><音> 盤状<～胎盤><動>
 バンシヨク 晩食 伴食
 ハンシン 半身 半信
 バンジン 蛮人 *蕃人 万人 万尋(万*仞)
 ハンシンロン *汎心論<哲> *汎神論<哲>
 ハンスー 反数 反*拐
 ハンセイ 半生 反省 藩政<史> 伴性<～遺伝><植・動・農>
 ハンゼイ 反税<～運動> 反*噬
 バンセイ 万世 蛮声 晩成 蛮性 晩生

<～種><農>

ハンセイキ 半世紀 反省期

ハンセキ 版籍<～奉還><史> 藩籍

<史> 犯跡

ハンセツ *汎説 半切 半折<繊維>

<理>

ハンセン 帆船 反戦 半銭

ハンソ 反ソ 反訴<法>

ハンソー 搬送 帆走 半双 帆装<～
図><工>

ハンソー 番僧<仏> 伴僧<仏> 晩霜
伴奏 伴走

ハンソク 反則 犯則<～物件> 反側
<輾転～> 反足<～細胞>
<植>

バンダイ 番台 盤台 万代

ハンチ 半知<～半解> 反致<法>

ハンチ<haunch><建・工>

バンチ 番地 *蕃地

ハンテイ 反帝<～闘争> 判定 藩邸
<史>

ハンテン *斑点 半*纏 反転

ハント 反徒 半途 版図

ハンド ハンド<hand><～ビュアー
・～レベル><建・図> 半戸
<建>

ハントー 半島 反騰<経> 半透<～
性><植・動> 半倒<～生の>
<植>

ハンドー 反動 はん(*斑) 銅<～鉱
(bornite)><鉱>

バントー 晩冬 晩稻 番頭

ハンドク 判読 *繙読 範読、

ハンニチ 半日 反日<～的>

ハンニン 犯人 半人 判任<～官>

ハンノー 反応 半農<～半漁> 半納

ハンブ 帆布<麻の～> 頒布 ハンブ

<hump><工>

ハンブク 反復 反覆 反服(*叛服)

ハンブン 半分 繁文<～綱礼>

ハンベイ 反米 *汎米<～主義>

ハンベン 半片 半*平<食品> 反変

<～ベクトル><数>

ハンボー 半紡 繁忙

ハンマ 半間 ハンマ<hammer>

ハンム 繁務 煩務

ハンメン 半面 反面 版面

バンメン 板面 盤面

ハンモン *斑紋 反問 煩*悶

バンユー 蛮勇 万有<～引力>

ハンヨウ 繁用 *汎用 飯用<～麦>

バンライ 万雷 万来<千客～>

ハンラン 反乱 *汜濫

ハンレイ *凡例 範例 判例 反*戻
(*叛*戻)

ハンロン *汎論 反論

<ヒ>

ヒ 非 否 火 比 *杼 *樋 日

碑 *緋

ビ 美 微

ヒアイ 悲哀 被愛<～妄想><心>

ヒアシ 日*脚 火*脚

ビイ 微意 美衣<～美食>

ビート ビート<beat><水泳> ビー

ト<beet><砂糖大根>

ヒイロ 火色 *緋色

ビウ 微雨 *眉宇

ヒウシ 悲運 非運 飛雲

ヒエ 冷え *稗

ビオン 微温 微音 鼻音<言>

ヒカ 悲歌 皮下<医> 比価<経>

ヒガ 彼我 非我<哲>

ビカ 美化 微*瑕 美果 鼻下

ヒカク 皮革 比較

ヒカゲ 日陰<～者> 日影<～曲線>
 <建>
 ヒガシ 東 干菓子
 ヒガラ 日柄 日^{*}雀
 ヒカン 秘巻 悲観 避寒
 ヒガン 悲願 彼岸
 ヒカン 美観 美感 微官
 ヒキ 引き 悲喜<～こもごも>
 ヒギ 被疑<～者> 非議 秘戯
 ビキ 美[♀]姫 美^{*}肌
 ビギ 美^{*}妓 美技<運>
 ヒキアゲル 引き上げる 引き揚げる
 ヒキテ [♀]弾き手 引き手
 ヒキョー 悲境 悲況 秘境 秘教 秘経
 比況 卑^{*}怯
 ヒキョク 秘曲 悲曲
 ヒキンゾク 非金属<鉱・理> 卑金属
 <鉱・理>
 ヒク 引く (<退く>) [♀]弾く ^{*}挽く
^{*}碾く ^{*}轆く
 ビク [△]魚[△]籠 [△]比[△]丘<仏>
 ビクル ビクル<picul (重さの単位)>
 ピクル<pickles><料>
 ヒゲ ^{*}髭 卑下 ひげ<palp>
 <動>
 ビケ ビケ<pique><織物> ビケ
 <ビケット>
 ビケイ 美景 美形 尾形<植>
 ヒゲキ 悲劇 飛^{*}檄
 ヒケツ 否決 秘^{*}訣 秘結<医>
 ヒケン 卑見 (<鄙見>) 被検<～者>
 比肩 ^{*}披見
 ヒコ [♀]孫 ^{*}曾[♀]孫
 ヒゴ 卑語 飛語<流言> ^{*}籤
^{*}底護 被護<～過剰><心>
 ヒコー 非行 飛行 ^{*}跛行 肥効<～
 分> 肥厚<動・植> ^{*}披講

<文>
 ビコー 尾行 微行 鼻孔 鼻こう
 (<腔>) <動> 備考 備荒<～作
 物> 微光 尾鉤<鉤>
 ヒコツ ひ(<腓>) 骨<動> 皮膚<動>
 ビコツ 尾骨<生> 鼻骨<生>
 ヒサイ 非才 (<菲才>) 被災<～者>
 ビサイ 微才 微細
 ヒサン 悲惨 飛散 ひ (<砒>) 酸
 <理>
 ヒシ 秘史 避止<競業> 比し
 <に> ^{*}菱 皮脂<～腺>
 被子<～植物類> <植> 比視
 <～感度><建>
 ヒジ 秘事 ^{*}肘
 ヒジキ ひじ (<肘>) 木<建> [△]鹿[△]尾
[△]菜<植物名>
 ヒシツ 皮質<大脳> <生・動> 比
 湿<建>
 ヒシヤ 飛車<将棋> 飛砂<～扞止
 林> 被写<～体>
 ヒジュン 批准<法> 比準地<法>
 ヒシヨ 秘書 避暑
 ヒシヨー 悲傷 卑称 飛^{*}翔 費消 卑小
 ヒシヨー 非常 非情 被乗<～数>
 <数> 避讓<～義務船><工>
 ビシヨー 微傷 美粧<～職> 微笑 美
 称 微小 (微少)
 ビシヨー 尾錠 尾状<～花序><植>
 ビシン 微震 微臣 美神
 ビスイ 微酔 微睡
 ヒスル 比する 秘する
 ヒセイ ^{*}秕政 非勢 批正
 ヒセキ 秘跡 碑石 肥^{*}瘠 飛跡<原
 子核><理>
 ヒゼメ 火攻め 火責め
 ヒセン 非戦<～論> 被選<～人>

飛泉 卑[×]賤 皮せん (×腺)
 <動>
 ビセン 微[×]賤 尾せん (×腺) <動>
 ヒソー 皮相 悲[×]愴 悲壯 皮層<～
 維管束><植>
 ヒゾー 秘藏 ひ (×脾) 臓<動>
 ビソー 美装 美相
 ヒゾク 卑俗 ×鄙俗 ×匪賊 卑属
 <法>
 ヒソメル 潜める ×擧める
 ヒタイ 額 避退
 ヒタン 悲嘆 飛[×]湍
 ヒダン 飛彈 被彈
 ビタン 尾端 鼻端
 ヒチュー 秘中<～の秘> 比[×]儔
 ビチュー 鼻柱 微衷
 ヒッカク 筆画 引[×]掻く
 ヒツギ 日[○]嗣 ×柩
 ヒッケン 必見 筆[×]硯
 ヒッコー 筆耕 筆工<図>
 ヒッシ 必死 必至 筆紙
 ヒツジ 羊 [○]未
 ヒッシャ 筆者 筆写
 ヒッセイ 筆勢 筆生 ×畢生
 ヒッセン 筆戦 筆洗
 ヒツチュー 匹[×]儔 必中 筆[×]誅
 ヒッター 筆頭<～者> 筆答
 ヒップ 匹夫 匹婦 ヒップ<hip>
 ヒッポー 筆法 筆[×]鋌
 ヒテン 批点 飛点<工>
 ヒデン 秘伝 飛電 被伝<～者>
 <図>
 ヒト 人 一<～押し> 費途
 ヒトアタリ 人当り 一当り<～してみ
 る>
 ヒトエ 一重 [○]単<裁>
 ビトー 尾筒<工> 尾燈<工>

ヒトク ×非徳 秘匿
 ヒトシオ 一塩<料> 一[○]入
 ヒトズキ 人好き 人付き<～がいい>
 ヒトデ 人出 人手 [△]海[△]星
 ヒトナミ 人並み 人波
 ヒトハダ 人膚 一[×]肌<～脱ぐ>
 ヒトミ ひとみ (×瞳) <動> 人見
 <～はりっぱだ>
 ヒトメ 人目 一目
 ヒトモジ 人文字 一文字
 ヒトリ 一[○]人 (×独) 火取り
 ヒナ ×雛 ×鄙
 ヒナン 避難 非難 批難
 ヒニク 肥肉 ×髀肉<～の喫> 皮肉
 ヒニン 否認 避妊 非人
 ヒネル ×捻る [○]陳る<大根が～>
 ヒノモト 火の元 日の[○]本
 ヒバ 肥馬 [○]乾葉 ×檜葉
 ヒバイ 非売<～品> 肥培<～管理>
 ヒバク 飛[×]爆 被爆
 ヒヒ ×狒々 ×霏々
 ヒビ ×罅 (×罅) ×筵 日々
 ヒフ 皮膚 秘府
 ビフー 微風 美風
 ヒフク 被服 被覆<～線><数・工>
 ひ腹<～筋 (gastrocnemius)>
 <動>
 ビフク 美服 微服
 ヒブン 碑文 非分
 ビブン 美文 微分<数>
 ヒホー 悲報 飛報 秘宝 秘法 秘方
 被包<～組織><植>
 ヒボー 非望 秘謀 ×誹[×]謗
 ビボー 美[×]貌 備忘 (×彌縫)
 ヒボシ 干乾し 日乾し 火干し
 ヒマ 暇 (×隙) ×蔭床
 ヒマク 被膜<動> 皮膜<～浮選>

<鉦>

ヒメイ 悲鳴 碑銘 非命
 ヒモク 費目 皮目<植>
 ヒヤク 秘薬 飛躍 非役
 ヒヤクセン 百千 百戦
 ヒヤッカ 百花<〜繚乱> 百貨<〜店>
 百科<〜辞典> 百家<諸子〜>
 ヒヨ一 日*備 被*備<〜者> 費用
 飛揚
 ヒヨ一 表 標<〜を立てる> 票 評
 *電 *豹
 ビヨ一 美容 微*恙
 ビヨ一 秒 *鉦 *廟 *眇<〜たる>
 ビヨ一イン 病院 病因
 ヒヨ一カ 評価 表価 氷菓 氷花 *萃
 果
 ビヨ一カ 病家 病暇
 ビヨ一ガ 病*臥 描画
 ヒヨ一カイ 氷塊 氷海 氷解
 ビヨ一カン 病患 病間
 ヒヨ一キ 表記 標記
 ビヨ一ク 病苦 病*軀
 ヒヨ一ケイ 表掲 表慶
 ヒヨ一ケツ 表決 票決 氷結
 ヒヨ一ゲン 氷原 評言 表現
 ヒヨ一ゴ 標語 評語
 ヒヨ一コー 標高 氷厚
 ヒヨ一シ 表紙 拍子
 ヒヨ一シキ 標識 表式<再生産〜>
 ヒヨ一シツ 氷質 氷室 漂失
 ビヨ一シツ 病室 病質
 ビヨ一シャ 病舎 病者 描写
 ヒヨ一シャク 評釈 氷釈
 ヒヨ一ショ一 標章 表彰 表象<心>
 氷晶<理>
 ヒヨ一ジョ一 表情 表状 氷上 評定
 *兵*仗<史>

ビヨ一ショ一 病床 病症
 ビヨ一シン 病身 秒針
 ヒヨ一スル 評する 表する<祝意を〜>
 ビヨ一セイ 病勢 病性<〜鑑定>
 ヒヨ一セツ 氷雪 評説 *剽窃
 ヒヨ一ソー 表層 氷層 表装 俵装 氷
 倉<工>
 ヒヨ一ダイ 表題 (標題)
 ビヨ一タイ 病態 病体
 ヒヨ一タン 氷炭<〜相いれぬ> *瓢*簞
 ヒヨ一チュ一 標注 評注 標柱 氷柱
 表中 表忠<〜碑>
 ビヨ一チュ一 病虫 病中
 ヒヨ一チャ一 表徴 漂鳥<動>
 ヒヨ一テイ 評定 表定<〜速度><工>
 標定<理・工>
 ヒヨ一テン 評点 氷点 標点<工>
 ヒヨ一ト一 標燈 *剽盗 漂*蕩
 ビヨ一ド一 *廟堂 平等
 ヒヨ一ハク 漂泊 漂白 表白
 ビヨ一フ 病父 病夫 病婦
 ヒヨ一メン 表面 水面
 ヒヨ一ロー 兵糧 漂浪
 ヒヨク 比翼<〜塚> 肥*沃
 ビヨク 尾翼 鼻翼
 ヒヨケ 日*除け 火*除け<〜地>
 ヒライ 避雷<〜針> 飛来
 ヒリ 非理 *鄙*俚
 ヒリョ一 肥料 比量 *匙量
 ビリョ一 鼻*梁 微量
 ヒリン 比隣 比倫
 ヒル 昼 *蛭 *蒜 干る *放る
 ヒレ *鱸 ヒレ<fillet>
 ヒレイ 比例 非礼
 ヒロー 疲労 *披*露 拾う *鄙*陋
 ビロー 尾*籠 *蒲*葵<植物名>
 ヒワ 秘話 悲話 *彌

ビワ *琵琶 *枇*杷
 ヒン 品<～がある> 貧
 ビン *瓶 *髻 敏 ビン<bin>
 <工>
 ヒンカク 品格 賓客
 ヒンキュー 品級 貧窮
 ヒンコー 品行 貧鉞
 ヒンシ 品詞<言> *瀕死
 ヒンシツ 品質 *稟質
 ビンショー *憫笑 敏*捷
 ヒンスル 貧する *瀕する
 ヒンセイ 品性 *稟性
 ビンセン 便船 便*箋
 ヒンピン *頻々 *彬々<文質～>
 ヒンブ 貧富 *稟賦
 ビンラン 便覧 *紊乱
 <フ>
 フ *訃 *斑 *舛 府 *腑<～に
 落ちない> 譜 *歩<将棋>
 負<数・動・植・工> 賦<文>
 ブ 部 武 歩<～止まり> 分
 <～が悪い>
 ファン ファン<fan> *醺<マーシャ
 ン>
 フイ ふい<～になる> 不意
 ブイ 部位 武威 ブイ<buoy>
 フイク 扶育 *傳育
 フイリ 不入り *斑入り
 ブイン 部員 無音
 フー 封 ふう<さういう～に> 風
 <地水火～><仏>
 フーイ 風位 風威
 フーイン 風韻 封印
 フーカ 富家 風化<鉞>
 フーガ 風雅 フーガ<fuga><音>
 フーカン 封*緘 *諷*諫 風乾<理>
 フーキ 風紀 富貴

フーキョー 風教 風狂
 フーコー 風光 風向<天・建>
 フーサイ 風*采 風災
 フーシ 風刺 夫子
 フーショク 風色 風*蝕<天>
 フーセイ 風声 風勢
 フーセツ 風雪 風説
 フーソー 風霜 風葬
 フータイ 風体 風袋
 フード 風土 フード<hood><建>
 風度<天> フード<～センタ
 ー>
 フートー 封筒 風*濤
 フードー 風*洞 風道<建・工>
 フーボー 風*貌 風防<～ガラス>
 フーロー 風浪 封*蠟
 フウン 浮運 不運
 フエ 笛 不*壊
 フエキ 夫役<～現品> 不易<～流
 行>
 フェン 敷*衍 赴援 不縁
 フオー 父王 不応<～期><動>
 フォーム フォーム<form> フォーム
 <プラットフォーム>
 フオン *訃音 不穩
 フカ 府下 *饒 富家 付加 浮華
 <輕佻～> 不可 ふ(*艇) 化
 <動> 賦課<法> 負荷<理>
 ブカ 部下 部課
 フカイ 府会 付会 深い 不快
 フカシ *蒸かし 不可視<～光線>
 フカス 吹かす *更かす *蒸かす
 フカン 不感<～性> 不乾<～性油>
 不換 付款 *俯*瞰
 ブカン 武官 武鑑
 フキ 不*羈 不軌 付記 不帰<～
 <～の客> *踏 *施<裁>

フギ 付議 不義
 フキカエ *葺き替え 吹き替え<演劇>
 フキュー 普及 不急<~不要> 不朽
 腐朽 不休
 フキュー 布教 不況 不興 富強
 ブキョク 部局 舞曲
 フキン 付近 布*巾
 フク 福 服 複 副<正~> 吹く
 *拭く *葺く
 フグ 不具 不*俱<~戴天> 河
 豚
 フクイン 副因 幅員 復員 福音<宗>
 フクエン 復縁 復門<天> 複塩<理>
 フクギョー 副業 服業 復業
 フクゲン 復元(復原)
 フクコー 腹こう(*腔)<動・植> 腹
 孔<動> 復校 復航 副港 覆
 光<~溶接><工> 複効<~蒸
 発機><工>
 フクザイ 服罪 伏在 腹材<工>
 フクシ 腹し(*肢)<動> 副し(*肢)
 <動> 複糸<~期><動・植>
 福祉 副使 副詞<言> 複視
 フクシキ 複式 腹式<~呼吸>
 フクシャ 複写 *輻射
 フクシュー 復習 復*讐
 フクシヨウ 副賞 副章 副将 複勝<~
 式> 複称 復唱(復*誦)
 フクシヨク 服飾 服色 副食 復職
 フクシン 腹心 復申 覆審<~制度>
 フクシン<染料><理>
 フクジン 副じん(*腎)<動> 福神
 <~演>
 フクスイ 覆水<~盆に返らず> 腹水
 <医> 復水<~器><建・工>
 フクスル 伏する 服する 復する<旧に
 ~>

フクセイ 複製 副成<~ガス> 服制
 復姓 復成 覆製
 フクセキ 復席 復籍
 フクセン 複線 伏線 腹線<動> 複占
 <経>
 フクソー 服装 福相 *幅*轆 復奏 複
 相<植>
 フクゾー 腹蔵 複像<工>
 フクチャー 副長 複調<音>
 フクハイ 腹背 伏拝 復配<経>
 フクヘキ 復*辟 腹壁<生>
 フクホー 副砲<軍> 複方<医>
 フクホン 複本 副本<法>
 フクム 服務 含む
 フクメイ 複名<~手形> 復命
 フクヨウ 服用 副用 服*膺 複葉
 <植>
 フクリ 福利 複利<経>
 フクン 父君 夫君
 フケイ 父兄 父系 符契 婦警 不敬
 父傾<~遺伝><植>
 フケル *耽る *更ける *蒸ける<い
 もが~>
 フケン 府県 父権 夫権
 フゲン 富源 不言<~実行> 浮言
 *誣言 付言
 ブゲン *誣言 侮言 分限<~者>
 フコウ 不幸 不孝 富鉱
 フゴウ 符合 付合<土地に~> 符号
 富豪
 フコク 布告 富国
 フサイ 負債 府債 夫妻 不才
 フサク 不作 *斧*鑿
 フシ 府史 府志 父子 節 不死
 五[△]倍[△]子
 フジ 不時 不[◎]二 不次 不治<~
 の病> *藤 父事

ブジ 武事 *蕪辞 無事
 フジツ 不実 不日
 フシメ 節目 伏し目
 フシユー *俘囚 腐臭 不*銹<~銅>
 フジュク 腐熟<~肥料> 不熟
 フジュン 不純 不順<天候~>
 フジョ 婦女 扶助
 フシヨウ 夫唱<~婦隨> 不肖 負傷
 不祥 不詳 不承<~不承>
 浮礁<漁業> 不生<仏>
 フジョウ 浮城 浮上 不浄 不定<老少
 ~> 富*饒
 ブシヨウ 武将 無精(*不精)
 フシヨク 腐食<理> 腐植<~土><植
 ・建・工> 扶植 付嘱
 フシン 不振 不信 不審 普請 腐心
 浮心<浮力の中心><工> 不侵
 <~材料><工>
 フジン 夫人 婦人 布陣 不仁 不尽
 ブシン 武神 武臣
 フス 伏す(*臥す)
 フズイ 不随<半身~> 付随
 フスマ *麤 *褌 *衾
 フスル 付する 賦する
 フセ 布施 伏せ
 フセイ 不正 不整 不*齊 父性 府政
 浮生 賦性 腐生<植> *斧正
 フゼイ 府税 賦税 △風△情 負性<~
 抵抗><工>
 フセツ 敷設(布設) 浮説 付設
 *誣説 符節 ふ(*附) 節<動>
 フセヌイ 伏せ縫い<裁> 伏せ*縫い
 <手芸>
 フセル 伏せる(*臥せる)
 フセン 普選 婦選 付*箋 不戦 浮
 選<工> 布線<工>
 フゼン 不善 不全

フソク 付則 不測<~の事態> 不即
 <~不離> 不足
 ブゾク 部族 部属<~の決定>
 フソン 賦存<鉱物の~量> 不*遜
 ブタイ 舞台 部隊
 フタク 負託 付託
 フタメ 二目 不*為
 フダン 普段 不断<~の努力>
 フチ 付置 布置 付値<数> 負値
 <~二次形式><数> 不知 不
 治<~の病> 縁 *淵 扶*持
 <史>
 フチャク 付着 不着
 フチュウ 付注 不忠
 フチャウ 府庁 婦長 符丁 不調
 フツウ 不通 普通
 ブッカ 物価 仏家
 ブツガ 物我 仏画
 フッカシ 復刊 副官
 フッキ 復帰 複記
 フッキュー 復旧 復*仇
 ブッキョウ 仏教 仏経
 ブッケン 物件<法> 物権<~法>
 フッコウ 復興 復校 復航
 フコク *仏国 復刻
 ブッシ 物資 仏師
 ブッショウ 物象 物証<物的証拠> 仏
 性<仏>
 ブツジョウ 物情<~騒然> 物上<~担
 保>
 ブッシン 物心 仏神 物神<宗> 仏心
 仏身
 ブッソー 仏葬 物騒
 ブッテキ 物的 仏敵<仏>
 ブツドウ 仏道 仏堂
 ブツブツ 物々<~交換> ぶつぶつ<~
 いう>

ブツリ 物理 ふつり<〜と>
 ブツリョー 物量 物糧<〜投下> 物料
 <〜の分析鑑定> 物療<物理
 療法>
 フテイ 不定 不貞 不^{*}逞
 フテキ 不敵 不適
 フトー ^{*}埠頭 不^{*}撓<〜不屈> 不党
 <不偏> 不当 不凍 不等
 <数・動>
 フドー 不同 不動 不働<〜時間>
 婦道 府道 浮動
 ブドー 武道 ^{*}葡^{*}萄
 フトク 婦徳 不徳 不得<〜要領>
 フニン 赴任 不妊 ^{*}補任<史>
 フネン 不燃 不ねん(^{*}稔)<〜性>
 <植>
 フノー 富農 不能 不納 浮のう
 (^{*}囊)<植>
 フハイ 不敗 腐敗
 フバイ 不買<〜同盟> 不売
 フハク 布^{*}帛 浮薄
 フヒョー 付表 付票<戸籍の〜> 浮氷
 浮標 不評 浮票
 フビン 不^{*}憫 不敏
 ブベツ 部別 侮^{*}蔑
 フヘン 普遍 不変 不偏<〜不党>
 布片
 フベン 不便 不弁
 フホー ^{*}訃報 不法
 フボク 腐木 浮木
 フミン 不眠 府民
 ブモン 部門 武門
 フユー 富有 富裕 浮遊 ^{*}蜉^{*}蝣 不
 遊<〜点><理>
 フヨ 付与 賦与 不予
 フヨー 不要 不用 ^{*}芙^{*}蓉 扶養 浮
 揚 不溶<〜分・〜性の><理>

浮葉<植>
 フライ フライ<fry> フライ<fly>
 <野球>
 ブライ 無頼 ブライ<Brei><動>
 フラン 腐乱 ふ(^{*}孵) 卵<動> 不
 乱<一心〜> フラン<franc>
 フリ ^{*}風(振り) 不利 不離<密
 接〜>
 フリカエル 振り返る 振り替える
 フリコム 降り込む 振り込む
 フリダス 降り出す 振り出す
 フリャ ^{*}俘虜 不慮
 フリョー 不漁 不猟 不良
 フリョク 富力 浮力<理>
 フル 古 振る 降る フル<full>
 フルイ ^{*}篩 古い
 フルウ 振るう(奮う) 震う
 フレ 振れ 触れ(布^{*}令) ふれ
 <deflection><理・工>
 フレイ 布令 府令 不例
 フレル 触れる 振れる ふれる<気が
 〜>
 フロ ^{*}風^{*}呂 ^{*}風炉<茶の湯>
 フロー 不老 浮浪<〜見> 不勞<〜
 所得> フロー<flow><建・
 工>
 フロック フロック<frock> フロック
 <fluke><撞球>
 フワ 不和 付和<〜雷同>
 フン 分 ^{*}糞 ふん(^{*}吻)<建>
 ブン 分 文
 フンカ 噴火 粉化<建>
 ブンカ 分科 分課 文化 文科 文華
 分化 分果<植>
 ブンカイ 分会 分解 分界<〜線> 分
 塊<鉱>
 ブンカツ 分割 分轄

ブンカン 文官 分館 分巻<図>
 フンキ 噴気<〜孔> 奮起
 ブンキョー 文教 分教<〜場>
 ブンキョク 分局<工> 分極<工>
 フンゲキ 憤激 奮激
 ブンケン 文献 分県<〜地図> 分権
 分遣<〜隊>
 ブンゲン 分限 文言
 フンゴー *吻合 分*毫
 ブンコー 分校 分光<理>
 ブンゴ 文豪 分合<交換〜>
 ブンサイ 文才 文彩
 フンシ 憤死 *刎死
 ブンシ 文士 分子 文詞 分施<肥料
 を〜する> 分枝<〜系・〜毛>
 <数・動・植> 分詞<言>
 ブンジ 文辞 文事 文治
 ブンシツ 分室 文質<〜彬々>
 ブンショ 文書 分署
 フンジョー 紛*擾 粉状
 ブンショ 文章 文相 分掌
 ブンジョー 分場 分譲 分乗
 フンショク 粉食 粉飾(*扮飾)
 フンジン 奮迅 粉*塵
 ブンシン 分身 文身
 ブンセイ 文政 文勢
 ブンセキ 文責 分析
 フンセン 奮戦 紛戦 噴泉
 フンゼン 憤然 奮然 紛然
 フンソー 紛争 *扮装
 ブンソン 分村 分損<全損〜(保険)>
 ブンタイ 文体 分隊
 ブンダン 文壇 分団 分段 分断
 ブンチ 分地 聞知 文治
 ブンテン 分店 文典 分点<天>
 フンド 憤怒 *糞土
 フントー 奮闘 噴騰

ブンビツ 文筆 分筆 分泌<動・植>
 ブンプ 分布 分賦<〜徴収> 分付
 フンブン *芬々<香氣〜> 紛々
 ブンボー 文法 分封<史・動>
 ブンミヤク 文脈 分脈
 ブンメイ 文明 文名 分明
 ブンリ 文理 分離 分利<医>
 ブンリュウ 分流<鉱・天> 分粒<〜試
 験><鉱> 分留<分別蒸留>
 <理>
 ブンレイ 文例 分靈
 ブンレッツ 分裂 分列
 <ヘ>
 ヘイ 丙 幣 兵 *摒 閉<工>
 ベイ 米<アメリカ> ペイ<bay>
 <建・工>
 ヘイイ 弊衣 平易 兵衣
 ヘイイン 兵員 閉院
 ヘイエイ 兵營 併映
 ヘイオン 平温 平穩
 ヘイカ 兵火 兵禍 兵科 兵家 兵
 *戈 陛下 弊家 *苹果 平価
 <経> 併科<罰則の〜> 閉果
 <植> 閉架<図>
 ベイカ 米価 米貨
 ヘイカツ 平滑 平*潤
 ヘイカン 弊館 閉館
 ヘイキ 兵器 併記 併起 平気
 ヘイコ 弊*袴 兵鼓 *炳*乎
 ヘイコー 平行 平衡 閉校 閉講 並行
 閉口
 ベイコク 米国 米穀
 ヘイサツ *斃殺 併殺<野球>
 ヘイシ 兵士 平氏<史> 弊紙 弊誌
 閉止 *斃死
 ヘイジ 平時 兵事
 ベイシ 米紙 米誌

ヘイシヤ 兵舎 弊社 閉社 平射<〜
 砲><軍>
 ヘイシユ 丙種 兵種 幣種<〜別の金
 額>
 ベイシユ一 米収 米州
 ヘイジョー 兵[×]杖 閉場 平常
 ヘイシン 平信 平身<〜低頭> 並進
 <数>
 ヘイセイ 兵制 幣制 弊政 平替
 ヘイゼン 平然 [×]炳然
 ヘイソク 閉息 閉[×]塞
 ヘイソン 弊村 並存
 ヘイタン 兵[×]站 平[×]坦 平淡
 ヘイチ 平地 併置
 ヘイチョー 平調 兵長<軍>
 ヘイテイ 平定 閉廷
 ヘイテン 弊店 閉店
 ヘイバン 平盤 平板 平版<〜印刷>
 ヘイフク 平服 平伏
 ヘイホー 平方<〜根><数> 閉包
 <数> 兵法
 ヘイヨ一 兵用 併用
 ヘイロ 平炉<鉦・工> 閉路<鉦・
 工>
 ヘイワ 平和 平話
 ヘキカイ [×]碧海 ヘき([×]劈)開<cleav-
 age><理>
 ベスト ベスト<best> ベスト
 <vest><服飾・写真>
 ヘタ [×]蓐 △下△手 ヘた([○]端)
 <〜株><経>
 ベッコー [×]鼈甲 別項
 ベッシ 別紙 [×]蔑視
 ベツジ 別事 別字 別辞
 ベツジョー 別条 別状
 ベッソー 別荘 別送
 ベツデン 別電 別殿 別伝<教化〜>

ベット ベット 別途
 ベッピン 別品 別[×]嬪
 ベッポー 別法 別報
 ベツメイ 別名 別命
 ヘリ [○]縁 減り
 ヘル 減る 経る ヘル<mohair>
 ヘン 辺<数> 変 編 偏<〜微
 分><数>
 ベン 便 弁([×]辯)<東京〜> 弁
 ([×]瓣)<建・動>
 ヘンイ 変異 変移 変意 偏[×]倚 変
 位<理・数・鉦・建・工> 偏位
 <〜法><理・工> 偏移<工>
 変緯<航海><工>
 ベンイ 便衣 便意
 ヘンカ 変化 返歌
 ヘンカク 変革 変格 偏角<理・数・鉦
 ・工>
 ヘンカン 返還 変換
 ヘンキョー 辺境 偏狭
 ヘンキョク 変局 編曲<音> 变曲<〜
 点><数> 偏極<〜法>
 <工>
 ヘングー 片隅 辺隅
 ヘンケイ 変形 [×]扁形 偏茎<植> 変
 経<航海><工>
 ヘンゲン 片言<〜隻句> 变幻<〜自
 在>
 ヘンコー 変更 偏向 偏好 变光<〜
 星> 偏光<理・鉦・工> 变向
 <〜点><鉦> 变高<〜ばり>
 <建>
 ヘンサ [×]騙詐 偏差<数・植・鉦・工>
 ヘンサイ 辺際 変災 返済
 ヘンザイ 偏在 遍在 辺材<植>
 ベンサイ 弁才 弁済
 ヘンジ 返事 変事 編次 片時

ヘンシツ 偏執 変質
 ヘンシユ 変種 *騙取<~罪> 編首
 ヘンシユ 編集 編修<国史の~> 偏執 *扁舟
 ヘンショ 編章 変称 変象 *贬称 返償 偏小 偏晶<~反応> <鉦>
 ヘンジョ 辺城 返上 遍照<仏> 片状<~黒鉛><鉦> 変状<~土><工>
 ベンショ 弁償 弁証<~法><哲>
 ヘンショク 偏食 変色
 ベンジル 便じる 弁じる
 ヘンシン 変心 変身 変針 返信 偏心 <~率・~プレス・~生長><理・鉦・植・建・工>
 ヘンスー 辺*阪 変数<数・植>
 ヘンスル 偏する *貶する
 ヘンセイ 編成 編制 編製<戸籍の~> 変性<理・農> 変生 変成<~岩・~比><鉦・理> 偏性 偏西<~風><天>
 ヘンセツ 変節 変説<~改論>
 ヘンセン 変遷 変旋<~光><理>
 ヘンソー 変装 変相 返送 変奏<~曲><音>
 ヘンソク 変則 変速<~機><工>
 ヘンタイ 変体 変態<動> 編隊
 ヘンチョー 変調 偏重
 ヘンバイ 返杯 変敗<~品>
 ベンビ 便秘 便否
 ベンブク 便腹 便服
 ヘンブツ 偏物 変物
 ヘンボー 边防 変*貌 偏*旁<言>
 ヘンポー 返報 変報
 ベンポー 便法 弁法
 ヘンボン 返本 *翻翻<~と翻る>

ベンモ 便*蒙 弁*妄 べん (*鞭) 毛 <~室・~運動><動・植>
 ヘンヨ 辺要 変容
 ベンリ 弁理<~士・~公使> 便利
 ヘンリュ 変流<~器><理・工> 偏流<~こう(勾)配><工>
 ヘンレイ 返礼 返*戻
 <ホ>
 ホ 穂 帆 歩<~を進める> 補 <~母数><数>
 ホイ 補遺 *布衣
 ボイル ボイル<boil><~油><建> ボイル<voile><服飾>
 ボイン *拇印 母音<言>
 ホー 法 報 *頰 方 砲 *朴 胞 <動> *袍<服飾>
 ボー 棒 暴 某<学生> 房<~に入れる> 帽 坊
 ボーアツ 暴圧 防*遏 膨圧<~運動> <植>
 ホーアン 法案 方案 奉安<~殿>
 ホーイ 方位<~配列><理・工> 包囲 芳意 法衣<仏> 法位 <仏> 胞衣<生>
 ボーイ 暴威 ボーイ<boy>
 ホーイキ 法域 方域<~調和関数> <数>
 ボーイン 暴飲 暴*淫
 ホーエ 法*衣<仏> 法会<仏>
 ボーエキ 貿易 防疫
 ホーエン 砲煙 方円 *烽煙 豊*艶 方鉛<~鉦><理・鉦>
 ボーエン 望遠<~写真・~レンズ><理・工> 防煙<~ヘルメット> <工> 防災<~たて><工>
 ホーオー 訪欧 *鳳*凰 法王 法皇
 ホーオン 報恩 芳恩 方音

ポーオン 防音 忘恩
 ホーカ 邦貨 法科 法家<史> 砲火
 *烽火 砲架<軍・工> 邦家
 *蜂*窩 放課 放火 放歌 胞果
 <植>
 ホーガ *萌芽 奉賀 奉加<〜帳>
 邦画
 ホーカイ 崩壊 抱懷 方解<〜石><理
 ・鉱>
 ホーガイ 方外 法外
 ポーガイ 妨害 防害 望外
 ホーガク 方角 法学 邦楽
 ホーカン 宝冠 宝鑑 法官 砲艦 *耕
 間 奉還 胞間<〜裂開><植>
 ホーガン 砲丸 砲眼<軍> 方眼<〜
 紙> 包含 *判官<史>
 ポーカン 暴漢 防寒 坊間 傍観
 ホーキ 宝器 法器<仏> *箒 法規
 芳紀 放棄<法> *蜂起
 ポーキョ 暴挙 *妄挙
 ホーキョー 豊*煩 封境 豊凶<〜係
 数><豊>
 ポーキョー 望郷 防共
 ホーギン 放吟 邦銀<〜ユーザンス>
 <経>
 ポートン 暴君 某君 亡君 傍訓
 ホーケイ 法経 包莖 方形<〜導波管・
 〜コイル><工> 抱莖<〜の>
 <植> ほうけい (*礪*珪) <〜
 酸塩・〜酸ガラス><理・工>
 ポーケイ 亡兄 傍系 謀計
 ホーケル *惚ける ほおける<けばだ
 つ>
 ホーケン 封建 宝剣 法権<治外〜>
 奉獻
 ホーゲン 方言 法源 法験 放言 法
 *眼<仏> 胞原<〜細胞><植>

ポーケン 冒険 望見 某県
 ポーゲン 暴言 *妄言 *謗言 ポーゲン
 <スキー> 防玄 (*絃)<〜材>
 <工>
 ホーゴ 邦語 法語 *反*故
 ホーコー 方向 芳香 報効<〜の誠>
 奉公 放校 *咆*哮 *彷徨 砲
 口<工>
 ホーゴウ 抱合 縫合 法号<仏> 包含
 <〜系><数・理>
 ポーコー 某港 某校 暴行 棒鋼<鉱・
 建・工> ぼうこう (*膀*肱)
 <動>
 ホーコク 報告 奉告 報国 邦国
 ポーコク 亡国 某国
 ホーザ 砲座<軍> 法座<仏>
 ポーサイ 亡妻 防災 防*塞
 ホーサク 方策 豊作
 ポーサツ 忙殺 謀殺
 ホーサン 奉賛 放散 ほう (*礪) 酸
 <理>
 ホーシ 法師 法嗣 *褒詞 芳志 奉
 仕 奉伺 奉*祀 放*恣 胞子
 <動・植>
 ホージ 法事 邦字 宝璽 *捧持 報
 時<〜信号・〜球><工>
 ポーシ 某紙 某誌 某氏 某市 亡師
 亡姉 帽子 紛糸<〜液><理>
 防止 暴死
 ポージ 亡児 房事
 ホーシキ 方式 法式
 ポーシツ 亡失 防湿<建・工>
 ホーシヤ 報謝 奉謝 砲車 放射<理・
 工> ほう (*礪) 砂<理>
 ポーシヤ 某社 *茅舍 房舍 坊舍 紡
 車 暴*瀉
 ホーシュ 砲手 法主<仏> 宝珠<建>

ホージュツ 砲術<工> 方術 法術
 ホージュン 芳[×]醇 豊潤 芳潤
 ホーショ 方旭 奉書 芳書
 ボーショ 某所 防暑
 ボージョ 某女 防除
 ホーショウ 報奨 報償<法> [×]褒賞
[×]褒章<藍綬~> 法相 奉唱
 奉[×]頌 放[×]縦 包晶<~反応>
 <鉦> 砲床<工>
 ホージョウ 方丈<仏> 法城<仏>
[×]褒状 法[×]帖 法条 芳情 放生
 <~会><仏> 豊[×]稷 豊[×]饒
 ボーショウ 傍証 帽章 ほう([×]芒) 硝
 <理>
 ボージョウ 暴状 棒状<~水銀温度計>
 <理>
 ホーショク 奉職 飽食
 ボーショク 紡織 望[×]蜀 暴食 防食
 <~剤><鉦・工>
 ホージル [×]脛じる 報じる 崩じる 奉
 じる
 ホーシン 方針 芳心 芳信 放心(放
 神) 砲身<~旋盤><工> 法
 身 報身<仏>
 ホージン 邦人 法人 方陣
 ボーシン 亡親 傍心<数> 防振<~ゴ
 ム><建>
 ボージン 傍人 防じん([×]塵)<~マス
 ク・~処理・~形電機><鉦・理
 ・工>
 ポーズ ポーズ<pose><~をとる>
 ポーズ<pause>
 ホースイ 豊水<~期><工> 放水<~
 路・~マツト><工> 抱水<~
 クロラル><理>
 ボースイ 紡錘 防水

ホーセイ 法制 砲声 [×]鳳声 芳声 縫
 製 方正
 ホーセキ 宝石 包析<~反応><鉦>
 ボーセツ 暴説 防雪 傍接<~円・~さ
 <~><工・数>
 ホーセン 邦船 砲戦 奉遷 訪船 法線
 <~輝度・~力・~照度><建・
 数・理・工> 縫線<植> 放線
 <~菌><理>
 ボーセン 棒線 傍線 防戦 防染
 ボーゼン [×]呆然 [×]茫然 [×]惘然
 ホーソ 宝[×]祚 ほう([×]礪) 素<理・
 鉦>
 ホーソー 法[×]曹 放送 包装 奉送 [×]抱
[×]瘡
 ホーゾウ 宝蔵 法蔵 包蔵<~水力>
 <工>
 ボーソー 房総 暴走 防霜<~林>
 <天>
 ホータイ 包帯 奉[×]戴 胞体<数>
 ボーダイ 傍題 膨大 棒大<針小~>
 ホーダン 砲弾<~旋盤><工> 放談
 法談<仏>
 ホーチ 法治 報知 放置
 ホーチュウ 方柱 [×]庖[×]廚
 ボーチュウ 傍注 防虫 忙中 房中
 ホーチョウ 包丁 放鳥<仏> 法潮
 <~球><工>
 ボーチョウ 膨脹<理・工> 傍聴 防
[×]謀 防潮<~ゲート・~堤>
 <工> 某町
 ホーテイ 法廷 法定 [×]捧呈 奉呈 法
 弟 [×]鵬程<~万里> 方程<~
 式><数>
 ホーテキ 法敵 放[×]擲 法的
 ホーテン 法典 宝典 奉[×]奠
 ホーデン 宝殿 放電<理>

ホード 邦土 封土
 ボート 暴徒 ボート<boat>
 ホートー 法燈 法統 奉答 報答 *朋
 党 宝刀<伝家の〜> 砲塔<〜
 装甲><工> *蓬頭 奉*悼 宝
 塔<建>
 ボートー 冒頭 暴騰 暴投<野球>
 ホードク 訪独 *捧読 奉読
 ボートク 冒*瀆 亡匿
 ホーニン 放任 法認<〜の組合>
 ホーネン 豊年 芳年 放念
 ホーハイ 奉拝 *澎*湃 胞はい(*胚)
 <動> 胞背<〜裂開><植>
 ホーバイ *傍輩 *朋輩
 ボーバク *茫*漠 防爆<〜形><工>
 ボーハン 防犯 謀判
 ホーヒ 包皮 放*屁
 ボーヒョー *妄評 防水<〜堤><工>
 ホーフ 抱負 豊富
 ボーフ 亡父 亡夫 防腐<〜剤>
 <理・工>
 ボーファー 暴風<天> 防風<〜林>
 <天>
 ホーフク 報復 法服 抱腹<〜絶倒>
 抱腹<〜裂開><植>
 ホーフツ 訪*仏 *彷彿
 ホーブン 法文 邦文
 ホーヘイ 砲兵 奉幣 法幣
 ホーホー 方法 *這々<〜のてい> *遑
 *々
 ホーボー *鋒*鋌 *魴*鯈 方々
 ボーボー 某々 ぽおぽお<〜燃える>
 茫*々
 ホーボク 芳墨 放牧
 ホーマン 放漫 豊満 飽満
 ボーミン 暴民 亡民
 ホーム 法務 ホーム<ブラ ット ホー

ム> ホーム<home>
 ホーメイ 芳名 芳命
 ホーメン 方面 放免
 ホーモン 法門<仏> 法文<仏> 砲門
 訪問
 ホーユー *朋友 封*邑<史> 包有
 ボーユー 亡友 暴勇
 ホーヨー 包容 抱擁 放養 法要<仏>
 包葉<植>
 ボーヨー 亡羊<多岐〜> *茫洋
 ホーヨク *鵬翼 豊*沃
 ホーラク 法楽<仏> 崩落<経> 包絡
 <〜面・〜線><数>
 ホーリ 法理 方理
 ボール ボール<〜紙> ボール<球>
 ボール<〜ミル (ball mill)>
 <鉦> ボール<料> ボール
 <〜分級機 (bowl classifier)>
 ボール<〜盤 (drill press)>
 <建>
 ホーレイ 法令<法> 放冷<〜する>
 豊麗
 ボーレイ 亡霊 暴*戾
 ホーレツ 砲列 放列<カメラの〜をし
 <> 芳烈
 ホーロー 放浪 報勞<〜金> *琺*瑯
 <建>
 ホーロク *熠*熠 俸*禄
 ホーロン 放論 法論<宗>
 ホーワ 法話<仏> 飽和
 ホオン 保温 補温
 ホカク 捕獲 補角<数>
 ホカゲ *火影 帆影
 ホカン 保管 補完<〜関係> 歩管
 <〜系><動> 補間<〜法・〜
 発振器><数・理・工>
 ホキュー *佶球<野球> 捕球<野球>

補給

ボク *僕<代名詞> 木
 ボクジツ *朴实 *穆実
 ボクジョー 牧場 墨*帖
 ホクシン 北*辰 北進 北*清<~事変>
 <史>
 ホクセイ 北西 北征
 ボクセキ 木石 墨跡
 ボクヨー 牧養 牧羊<~神(パン)>
 ボケ *惚け *木*瓜
 ボケイ 母系 母傾<~遺伝> 母型
 母鶏<~孵化>
 ホケツ 補欠 補血
 ボケル *惚ける *量ける
 ホケン 保険 保健
 ホケンフ 保健婦 保健夫
 ホゴ *反*故 保護 補語<言>
 ホコー 歩行 補考 補講 保恒<~
 劑><理>
 ホコー 母校 母港 母項<理>
 ホコリ 誇り *埃
 ホサ 補佐 保佐<準禁治産者の~>
 <法>
 ホサツ 捕殺 補殺<野球>
 ボサツ 簿冊 菩薩<仏>
 ホジ 保持 保磁<~力><理・工>
 ボシ 母子 *拇指 墓誌
 ホシイ *繡 *欲しい
 ホシュ 保守 保手<電話局~> 捕手
 <野球>
 ホシュ一 補修 補習 捕収<~劑>
 <鉈>
 ボシュ一 暮秋 募集
 ホジョ 補助 保助<~看護婦(保健婦
 助産婦・看護婦)>
 ホシヨ一 保証 保障<安全の~><法>
 補償<遺族~><法> 歩*哨

ホジョ一 捕*縄 *圍場
 ホショク 補食 捕食<~性の><動>
 補色<理・工> 補職 補植
 ホスル 保する 補する
 ホセイ 補正 補整 補成
 ホゼイ 保稅 *遺稅<~脱稅>
 ホセン 補*箋 保線<工>
 ボセン 母船<工> 母線<数・工>
 ホゾ *臍 ほぞ(*柄)<建>
 ホソク 補則<法> 歩測 補足 捕
 *提 保測<~変換><数>
 ホソミ 細み 細身
 ボタイ 母体 母胎
 ボタン ボタン<シャツの~> *牡丹
 ホチヨ一 歩調 補聴<~器> ホ調
 <音>
 ボッカ 牧歌 墨家
 ホックアイ 北海 法界<仏> 北界<動>
 ボッキヤク 墨客<文人~> 没却
 ホック ホック<hook> 発句<文>
 *法*鼓<仏>
 ポックリ *木履 ぽっくり<~と>
 ホッケ *鮎 法*華<仏>
 ホッシン 発心 発*疹 法身<仏>
 ホッス 法主<仏> *払子<仏>
 ボツゼン 没前 *勃然
 ボツボツ *勃々 ぼつぼつ<~と>
 ホテイ *布*袋 補*綴
 ホテル ホテル<hotel> *火照る
 ホド *程 歩度 ほど(*火*床)
 <鉈・工>
 ホドー 歩道 *鋪道 補導<職業~
 所> 保導<校外~>
 ホナミ 穂波 穂並み
 ホヒツ 補筆 補*弼
 ホブ 歩武 ホブ<hob><工>
 ホボ 保母 *略

ホヤ ◎火屋 △海△鞘＜動物名＞
 ボヤ ぼや＜～を出す＞ 暮夜
 ホユー 保有＜～熱・～限度＞＜理・
 農＞ 補^{*}佑 補雄＜動＞
 ホラ *洞 *法^{*}螺＜～を吹く＞
 ホリ *堀 彫り
 ポリス ポリス＜police＞ ポリス
 ＜polis＞＜都市国家＞
 ホリユー *蒲柳 保留 補流＜工＞
 ホル 掘る 彫る
 ボルト ボルト＜bolt＞＜建・工・理＞
 ボルト＜volt＞＜工＞
 ホレル *惚れる 掘れる
 ホン 本 ホン＜phon＞＜理・建＞
 ボン 盆 凡 *梵＜仏＞
 ホンアン 翻案 本案
 ホンイ 本位 本意 翻意
 ホンイン 本院 本員＜～の所信＞
 ホンカ 本科 本歌＜文＞
 ホンカイ 本懐 本会
 ホンガク 本学 本覚＜仏＞
 ホンカン 本官 本館
 ホンギ 本義 本紀
 ホンキョク 本局 本曲
 ホンケン 本絹 本繭 本件 本県 本権
 ホンコー 本校 本坑 本項 本稿
 ボンサイ 凡才 盆栽 *梵妻＜仏＞
 ボンサク 凡作 凡策
 ホンシ 本紙 本誌 本旨 本志 本市
 ホンジ 本字 翻字 本寺 本地＜仏＞
 ボンシュ 凡手 凡守 凡主
 ホンシュー 本州 本集
 ホンショ 本所 本署 本書 本初
 ボンショ 凡書 凡庶
 ホンショウ 本性 本省 本章
 ホンジョー 本城 本性 本条 本状 本
 場＜～支場＞

ボンジョー 凡情 凡常
 ホンシン 本心 翻身 本震＜天＞
 ホンセイ 本性 本姓
 ホンゼイ 本税 本誓＜仏＞
 ホンセン 本線 本川＜～支川＞ 本船
 ホンゼン 本^{*}膳 本然＜～の姿＞ 翻然
 ホンソー 本葬 奔走
 ホンタイ 本体 本態 本隊
 ホンダイ 本題 ◎品題＜仏＞
 ホンチョー 本庁 本町 本朝
 ホンデン 本殿 本伝 本田＜～移植＞
 ホントー 本島 本党 奔騰 本当
 ホンドー 本堂 本道
 ホンネン 本年 本然
 ホンバ 本場 奔馬
 ホンブン 本分 本文
 ホンボ 本^{*}圃 本舗
 ホンボー 本邦 本^{*}俸 本法 奔放
 ボンボン ボンボン＜bon-bon＞ ぽんぽ
 ん＜～と＞
 ホンメイ 本名 奔命 本命＜競馬＞
 ホンモン 本文 本間 本門＜仏＞
 ホンリユー 本流 奔流
 ＜マ＞
 マ 魔 間 真＜～に受ける＞
 マイカイ 毎回 毎会
 マイコ 舞い子 毎戸
 マイジ 毎時 毎次
 マイシン *邁進 マイシン＜ストレブ
 ト～＞
 マイソー 埋葬 埋草＜飼料＞ *味^{*}爽
 マイド 毎度 埋土＜～貯蔵＞＜農＞
 マイル マイル＜mile＞ 参る
 マウ 舞う *眩う＜目が～＞
 マニアシ 前あし（◎脚）＜こん虫＞＜動＞
 前あし（*肢）＜動＞
 マカス 負かす 任す＜人に～＞

マガリ 曲り<建・工> 間借り
 マキ 巻き[○]薪 牧[×]楨
 マキエ[×]蒔絵[×]撒き[×]餌
 マキガミ 巻き紙 巻き髪
 マキバ 牧場 巻き葉
 マク 幕 膜 巻く[×]蒔く[×]撒く
 <殺虫剤を〜・尾行を〜>
 マグサ[×]秣 まぐさ (×楯)<〜石>
 <建>
 マゲ[×]蜷 曲げ<建・鉦・工>
 マゲモノ 曲げ物[×]蜷物
 マケル 負ける まける<金利を〜>
 マゴ 孫[×]馬子
 マシ 麻紙 麻糸 増し
 マシヨ 魔性 魔障 真正
 マシン 魔神 マシン<machine> 麻[×]疹
 マス[×]枺 マス<mass><〜コミュ
 ニケーション>[×]鱒 増す 摩
 す ます(°斗)<〜形><建>
 マタ[×]股(×又) 又
 マダイ 間代 真[×]鯛
 マタタビ[×]股旅[○]木[○]天[×]蓼
 マチ 町[×]檔<裁>
 マツ 松 待つ[×]俟つ
 マッコ 真向[×]抹香<〜くさい> 末
 項<数>
 マッチ[△]隣[△]寸 マッチ<match><タ
 イトル〜・よく〜する> マッチ
 <〜プレート (match plate)>
 <建>
 マツル 祭る まつる<裁>
 マドイ 惑い[○]団居
 マトー[×]纏う[×]碼頭
 マヒ 麻[×]痺 まひ<rigour><植>
 ママ ママ<mamma> 間々
 マムシ[×]蝮 まむし<鰻井>

マメ 豆[△]肉[△]刺[△]忠[△]実
 マユ[○]齒[×]眉 まゆ<建>
 マユミ[×]檀弓[×]檀<植物名>
 マル[○]円 丸[△]虎[△]子<お〜>
 マルマル 丸まる 丸々<〜と肥る・〜損
 をする>
 マロン マロン<〜グラッセ> マロン
 <〜酸><理>
 マンガ 漫画[○]馬[×]鉄<農>
 マンカイ 満開 満会
 マンガン 満願 万巻 満貫<マーシャ
 ン> マンガン<manganese>
 <鉦>
 マンキ 満期 慢気
 マンキン 万金<〜にも代え難い> 万[×]鈎<〜の重み>
 マンゲン 万言 漫言
 マンザイ 万歳 漫才
 マンシン 慢心 満身<〜の力>
 マンセン 満船<〜飾><工> 満鮮
 マンテン 満点 満天<〜の基>
 マンドー 満堂 万燈<仏>
 マンプク 万福 満幅<〜の賛意> 満腹
 マンマン 漫々 満々<自信〜> 万々
 <〜>
 マンモク 万目 満目
 マンリョ 満了 万両<植物名>
 <ミ>
 ミ 身 実[×]巳[×]箕
 ミート ミート<meat> ミート
 <meet><野球>
 ミイル 見入る 魅入る
 ミオトス 見落す 見[×]貶す
 ミカイ 未開 未解 味解
 ミカタ 味方 見方
 ミカン 未刊 未完 味感[×]蜜[×]柑
 ミキ 幹[○]御[○]酒

ミケン *眉間 未見
 ミコ *御子 △巫△女
 ミコシ *御*與 見越し
 ミゴロ 見*頃 身*頃<裁>
 ミコン 未婚 未墾
 ミジカイ 短い 身近い
 ミジョー *微笑<仏> 未生<仏> 未
 詳 実生<~繁殖><農>
 ミス *御*廩 ミス<Miss> ミス
 <miss>
 ミズ 水 見ず<~知らず>
 ミズエ 水絵 *瑞*枝
 ミズモリ 水漏り 水盛り<水準器>
 ミセイ 未成<~品> 未製<~品>
 ミセル 見せる ミセル<micell><植
 ・理>
 ミソ 味*噌 みそ<石材><建>
 ミダス 乱す 見出す
 ミチ 道 未知
 ミツ *蜜 密<数> 三つ
 ミツギ 密議 密饒<宗> *貢
 ミツケイ 密契 密計
 ミツゴ *蜜語 密語 三つ子
 ミツコー 密航 密行
 ミッシュー 密集 密宗<仏>
 ミッソー 密送 密葬
 ミツゾー 密造 密蔵
 ミツド 密度<人口> 三斗<~組>
 <建>
 ミツマタ 三つ又 三*極<植物名>
 ミツリョー 密漁 密猟
 ミトー 味到 未到 未踏
 ミドリ 緑 見取り<より取り>
 ミトル 見取る (*看取る)
 ミニクイ 醜い 見にくい
 ミノ *蓑 三*幅<裁>
 ミバエ 見*映え 実*生え

ミヒラキ 見開き<~とびら><図>
 身開き
 ミモト 身*許 *御*許
 ミヤケ 宮家 △屯△倉<史>
 ミョーオー *冥応<仏> 明王<仏>
 ミョーガ *茗荷 *冥加<仏>
 ミョーシュ 妙手 妙趣 名主<史>
 ミョーセキ 名跡 明夕
 ミョーバン 明晩 みょうばん (明*礬)
 <理>
 ミョーリ 名利 *冥利<仏>
 ミリョー 未了 魅了
 ミル 見る △海△松 ミル<~スケ
 ール(millscale)><鉦>
 ミンセイ 民生 民政
 ミンゾク 民族 民俗
 <ム>
 ムイ 無位<~無冠> 無医<~村>
 無為<~無策>
 ムエン 無援<孤立> 無縁 無煙
 <~炭・~装置><鉦・理・工>
 無塩
 ムカイ 向い<~火・~風> 無灰<~
 燃料><工>
 ムガイ 無害 無*蓋<~貨車><工>
 無*涯
 ムカン 無冠<~の帝王> 無官<~の
 大夫> 無管<~植物><植>
 無感<建>
 ムキ 向き 無期 無季<俳句> 無
 機<~化学・~顔料><理・建>
 無氣<~呼吸・~噴射><植・
 動・工>
 ムキュー 無休 無窮 無給
 ムク *朧 向く *剥く 無*垢 *棕
 むく<~タイヤ (solid tyre)・
 ~軸 (solid shaft)><工>

ムクゲ *龍毛 *木*槌
ムゲ 無*碍<融通~> 無下
ムケイ 無形 無*稽<荒唐~>
ムケツ 無血 無欠<完全~>
ムケル 向ける *剥ける
ムゲン 夢幻 無限
ムコ 婿 無*辜<~の民>
ムコー 無効 向こう 無孔<~材>
<植>
ムサイ 無才 無妻 *穢い
ムザイ 無罪 無財
ムサン 無産 霧散
ムシ 虫 無私<公平~> 夢死<醉
生~> 無視 無死<野球> 無
始 蒸し<~箱><理・工・建>
無糸<~分裂><植・動>
ムシグスリ 虫薬 蒸し薬
ムシュ 無臭 無終 無執<仏>
ムショ 霧鐘 無償
ムジョ 無情 無常 無上
ムショク 無職 無色<~干涉じま>
<理>
ムシロ *筵 *寧ろ
ムシン 無神<~論> 無心
ムジン 無人 無尽
ムス 蒸す *産す<苦~>
ムスビ 結び 結*飯
ムスブ 結ぶ (*掬ぶ)
ムセイ 無声<~放電><理> 夢精
無性<~生殖><植・動>
ムセン 無線 無銭<~旅行>
ムソー 夢想 無想<無念~> 無双
<~窓><建> 無霜<~期間>
<天>
ムソーカ 夢想家 無装荷<~回路・~ケ
ーブル><工>
ムダイ 無代 無題

ムチ *鞭 無知<~蒙昧> 無恥
<厚顔~>
ムチュー 霧中<五里~・~信号><工>
夢中 無柱<~プレス><理>
ムテキ 霧笛 無敵
ムト 無答 無燈 無糖 無党<~無
派>
ムネ 胸 *棟 旨 *刀*背
ムヒョ 霧氷<天> 無票
ムフ 無風 無封<無封緘>
ムヘン 無辺<广大~> 無偏
ムボ 無謀 無帽 無*芒<~種>
ムホン *謀*叛 無*品<史>
ムメイ 無名 無銘
ムラ 村 *斑
ムリ 夢*裡 無理
ムリョ 無料 無量<感慨~>
ムレル 群れる 蒸れる
ムロ 室 無*漏<仏>
<メ>
メ 目 芽
メイ 命 銘 *姪 盟<~を結ぶ>
明<先見の~>
メイアン 名案 明暗 *冥暗
メイエン 名園 *茗園
メイカ 名歌 名花 名菓 銘菓 名家
メイカイ *冥界 *冥海 明解 明快
メイカン 名鑑 銘肝 *冥感 鳴管
<動>
メイキ 名器 明記 銘記
メイギ 名義 名*妓
メイキュー 迷宮 盟休
メイクン 名君 (明君)
メイゲツ 名月 (明月)
メイゲン 明言 名言 鳴弦
メイゴ 命期 迷悟
メイコー 名工 名香

メイサイ 明細 迷彩<軍>
 メイサツ 名[×]刹 明察
 メイシ 名刺 名詞<言> 名士 明示
 明視<～論><建・理>
 メイジ 明示 名辞<哲>
 メイシュ 盟主 名主 名手 銘酒
 メイショウ 名将 名相 名匠 名称 名
 勝 明証
 メイジル 命じる 銘じる
 メイシン 迷信 名臣
 メイスウ 命数 名数<数>
 メイセキ 名跡 名籍 明[×]晰
 メイセツ 名説 名節
 メイソー 名僧 迷想 迷走<～神経・～
 電流><動・工> [×]冥想 迷装
 <～法><工>
 メイチュー 命中 [×]螟虫<二化～>
 メイチョー 明徴 明澄 明[×]暢
 メイテイ [×]酩[×]酊 明定<法律に～する>
 メイド [×]冥途<仏> 明度<建>
 メイトー 名刀 銘刀 明答 名答
 メイブン 名文 明文 名聞 名分<大義
 ～>
 メイホー 名宝 盟邦
 メイボー 名望 明[×]眸<～皓齒>
 メイボク 名木 銘木<建>
 メイム 迷夢 迷霧
 メイメイ 命名 銘々 明々<～白々>
[×]冥々
 メイモク 名目 [×]瞑目
 メイユー 名優 盟友
 メガネ [○]眼[○]鏡 [○]鑑[○]識<～にかなう>
 メグム 恵む 芽ぐむ
 メザス 目差す 芽差す
 メシ 飯 召し
 メジ [○]眼路 目地<～仕上げ><理
 ・工> めじ<まぐろ>

メッシュード 召[○]人 [○]囚[○]人
 メシヤ 飯屋 メシヤ<Messiah>
 メス 雌 メス<mes> 召す
 メダツ 目立つ 芽立つ
 メド 目[○]処 [△]針[△]孔<～穴>
 メン 綿 面 [×]麵
 メンエキ 免役 免疫<～性><医・動・
 植>
 メンカ 綿花<～年度><農> 綿価
 メンザイ めんざい<飼料> 免罪<～
 符> 面材<工>
 メンジョー 免状 面上 綿状<～沈殿>
 <理>
 メンセキ 面積 面責 免責
 メンソ 免租 免訴<法>
 メンボー 面[×]貌 綿紡<～機><工>
[×]麵棒 綿棒<医>
 メンメン 面々 綿々<～として>
 メンヨー 面容 綿羊 面[×]妖
 メンルイ 綿類 [×]麵類
 <モ>
 モ 喪 [×]藻 [×]蓑
 モーカン 毛管<～現象・～水><理・動
 ・農・工> 盲管<～銃創>
 モーキ [×]濛氣 盲[×]亀 毛基<～体>
 <動>
 モーケル [×]儲ける 設ける
 モーシャ 猛射 盲射 盲者
 モーシュー [×]妄執 猛襲
 モージョー 猛獸 盲從
 モージョー 網状<～脈・～質・～鉸脈・
 ～ルーフィング><植・動・鉸
 ・建> 毛状<～体・～突起>
 <植・動>
 モーシン 猛進 盲進 盲信 [×]妄信
 モージン 盲人 [×]蒙[×]塵
 モーソー [×]妄想 [×]孟宗

モードー ×朦×朧 盲動
 モーノー 毛のう（×囊）＜動＞ 盲のう
 （×囊）＜動＞
 モーバク 猛爆 盲爆
 モーロー 盲×瞶＜～啞＞ ×朦×朧
 モニル 燃える ×萌える
 モギ 模擬 ×裳着＜史＞
 モク 目＜植・動＞ もく＜木理＞
 ＜建＞
 モクゲク 黙劇 目撃
 モグサ ×藎草 ×艾
 モクサク 木×柵 木酢＜理＞
 モクシ 黙示 黙視 黙止 黙思 目視
 モクスル 目する 黙する
 モクセイ 木製 木星 木×犀 木生＜～
 しだ＞＜植＞
 モクゼン 目前 默然
 モクソー 目送 黙送 黙想
 モクゾー 木像 木造
 モクト 目途 目×睹
 モクニン 黙認 目認
 モクヒ 木皮＜草根＞ 黙秘＜～権＞
 モクレイ 目礼 黙礼
 モサク 摸索 模作
 モゾー 模像 模造
 モタセル 持たせる ×凭せる
 モチ ×餅 ×糰 ×糰 持ち °望
 ＜厝＞
 モチヤ ×餅屋 持ち家＜建＞
 モツ 持つ 物＜蔵物＞
 モッカ 黙過 目下
 モッカイ 黙解 木灰＜農＞ 木塊＜工＞
 モッコー 木工＜建・工＞ 黙考
 モットモ 最も ×尤も
 モテル もてる＜女に～＞ 持てる＜～
 者＞ モテル＜motel＞
 モト 元 下

モトイ 基 元°結
 モノ 物 者 もの＜賛成する～であ
 る＞ モノ＜～スコープ＞＜工＞
 モノゴシ 物腰 物越し
 モミ ×粃 ×樅 △紅△絹＜～のきれ＞
 モモ 桃 ×腿 °百
 モヤ ×霧 °母屋 もや＜purlin＞
 ＜建＞ 喪屋＜史＞
 モリ 森 ×銛 盛り＜～土・～がい
 い＞ °守り 漏り
 モル 盛る 溺る モル＜mol＞＜～
 液・～比熱＞＜理・鉦・工＞
 モン 門 紋 間
 モンシ 門齒＜動＞ ×悶死
 モンジョー 文章＜～生＞＜史＞ 間状
 ＜史＞
 モンチュー 門柱 間注＜～所＞＜史＞
 ＜ヤ＞
 ヤ 矢 野＜～にある＞ 八
 ヤエー 野営 夜營
 ヤガイ 野飼い 野外
 ヤカン 夜間 °薬×罐
 ヤキ 夜気 焼き＜～がまわる＞
 ヤキバ 焼き場 焼き刃
 ヤキン 野×禽 夜勤 ヤ（×治）金
 ＜～学＞＜鉦・工＞
 ヤク 訳 役 約 ×厄 焼く やく
 ＜手を～＞ やく（×葯）＜植＞
 ヤク＜動物名＞
 ヤクイン 役員 役印
 ヤクカ 薬価 薬科
 ヤクシ 訳詞 訳詩 薬師＜仏＞
 ヤクジ 薬事＜～法＞ 薬×餌 薬治
 ＜～料＞
 ヤクシヤ 訳者 役者
 ヤクシユ 薬酒 薬種

ヤクシヨ 役所 訳書
 ヤクシン 躍進 薬^{*}疹<医>
 ヤクスル 訳する 約する ^{*}扼する
 ヤクソー 薬草 役僧 躍層<天>
 ヤクドク 訳読 薬毒
 ヤクブン 訳文 約文 約分<数>
 ヤクホ 薬舗 薬^{*}圃 訳補
 ヤクホー 薬方 薬包<鉢・理>
 ヤクメイ 役名 訳名 薬名
 ヤグラ ^{*}櫓 やぐら<~滑車><鉢>
 ヤケ [△]自[△]棄 焼く<~金><鉢・理>
 ヤケイ 夜警 夜景 野鷄
 ヤコー 夜行 夜光<~塗料・~雲>
 <建・理・工>
 ヤゴー 屋号 野合
 ヤシ 野師 野史 ^{*}椰子
 ヤシュ 野趣 野手<野球>
 ヤショク 夜色 夜食
 ヤス ^{*}瘠 安<十円><~経>
 ヤスイ 安い [○]易い<書き>
 ヤスデ 安手 [△]馬[△]陸<動物名>
 ヤスヤス 安々 ([○]易々)
 ヤセイ 野生 野性
 ヤセン 野戦 夜戦 野選<野球>
 ヤソ 八[○]十 [△]耶[△]蘇 野^{*}鼠
 ヤチ 野地 [○]谷地 野致
 ヤチヨ 野鳥 夜鳥 野帳<鉢・工>
 ヤツ [○]奴 八つ
 ヤッカ 薬価 薬科
 ヤッカイ 訳解 ^{*}厄介
 ヤトー 野党 夜盗 雇う
 ヤブレル 破れる 敗れる
 ケマカゲ 山影 山陰
 ヤマドメ 山止め<建> 山留め
 ヤマモト 山元 山下
 ヤム 病む<氣に> [○]止む

ヤメル [○]止める 病める<~人>
 ヤライ 矢来 夜来<~の雨>
 ヤリカタ [○]遣り方 やり ([○]遣) 形<~ぐ
 い(杭)><建>
 ヤロー 野郎 夜郎<~自大>
 ヤワ 夜話 柔<~な家>
 <ユ>
 ユー 勇<匹夫の> 雄<文壇の
 ~> 夕 有<~に帰す> [△]木
[△]綿 言う 結う 優<~に>
^{*}尤<~なるもの>
 ユーイ 優位 有為<~の青年> 有意
 雄偉 有位<~者> 誘意<~
 性><心>
 ユーイン 誘因 誘引 有因<~証券>
 <法>
 ユーエキ 誘^{*}掖<指導> 有益
 ユーエン ^{*}悠遠 幽遠 優^{*}婉 優^{*}艶
 幽^{*}艶 遊園 遊宴 有縁<~膜
 孔><植>
 ユーカ 融化 有価<~証券><~経>
 雄花<植>
 ユーガ 優雅 幽雅 誘^{*}蛾<~燈>
 <農>
 ユーカイ 幽界 誘^{*}拐 融解<理・工>
 有界<~変動関数><数>
 ユーガイ 有害 有^{*}蓋<~車><工>
 ユーカク 遊客 遊郭 優角<数> 雄
 核<~発生><動>
 ユーカン 夕刊 憂患 勇敢 有閑 勇
^{*}悍 有管<~植物><植> 有
 感<~地震><天>
 ユーキ 勇氣 幽鬼 結[○]城<~木綿>
 有機<~化学・~肥料><理・
 農> 有期<~刑> 誘起 雄器
 <~床><植> 有氣<~呼吸>
 <植>

ユーギ 友^{*}誼 友義 遊戯 遊技
 ユーキュー 遊休 有給 ^{*}悠久
 ユーキュー 遊興 遊^{*}俠 幽境 勇^{*}俠
 優境<～学><動>
 ユーキノ 遊金<経> ^{*}游^{*}禽<～類>
 有菌
 ユーク 憂苦 憂^{*}懼
 ユーグン 友軍 遊軍
 ユーケイ 有形 夕景 幽契 雄^{*}勁
 ユーケン 郵券 有権<～者> 勇健(雄
 健)
 ユーゲン 幽玄 有限
 ユーコー 友好 有功 有効 遊行 遊航
 有向<～距離><数> 有孔<～
 材・～質の・～フィルム><植・鉱
 ・理・工>
 ユーゴー 融合 勇剛
 ユーコク 憂国 友国 夕刻 幽谷
 ユーコン 幽魂 雄^{*}渾
 ユーザイ 有罪 融劑<鉱・理>
 ユーシ 融資 遊資 勇士 有志 雄志
 雄姿(勇姿) 遊子 有司 猶子
 有史 有刺<～鉄線> 雄視 有
 糸<～分裂><植・動>
 ユーシャ 勇者 優者
 ユーシュー 憂愁 幽愁 有終<～の美>
 幽囚 優秀
 ユージョ 遊女 ^{*}佑助 ^{*}有^{*}恕
 ユーショウ 優勝 優賞 勇将 有賞
 ユージョウ 友情 有情 優^{*}詔
 ユーショク 夕食 遊食 憂色 有色<～
 体><植・動> 有職<～者>
 ユーシン 雄心 憂心 有神 有心<～単
 素樸・～二次曲線><工・数>
 ユースイチ 遊水池 遊水地 ^{*}湧水池
 ユースル 有する 幽する
 ユーセイ 郵政<～事業> 遊星 憂世

幽^{*}棲 優勢 優生<～学>
 <動> 雄性<～配偶子・～物
 質><植・動> 優性<～突然変
 異><植・動> 有性<～世代・
 ～生殖・～繁殖><植・動・農>
 融成<～物><理> 有精<～
 卵><農>
 ユーゼイ 郵税 有税 遊説
 ユーセン 有線 優先 勇戦 優占<～度
 ・～種><植・動>
 ユーゼン 友禅 有^{*}髯 悠^{*}然 融然 油
 然
 ユーソー 郵送 勇壮 遊走<～細胞>
 <植>
 ユータイ 優待 優退 有体<～物> 勇
 退
 ユーダン 有段<～者> 勇断
 ユーチョウ ^{*}悠長 有潮<～河川>
 <工>
 ユート 雄図 雄途
 ユートー 友党 遊^{*}蕩 優等
 ユードー 誘導 遊動<～速度・～顕微
 鏡><工・理>
 ユーハン 夕飯 雄藩<史>
 ユーヒ 夕日 雄飛 遊飛<野球>
 ユーヒツ 雄筆 右筆<史>
 ユーフ 有夫 有婦
 ユーベ タベ [△]昨[△]晩
 ユーホー 友邦 雄峰
 ユーメイ 勇名 幽名 幽^{*}冥 有名
 ユーモン 憂^{*}悶 幽門<生・動>
 ユーヨウ 有用 ^{*}悠揚
 ユーリ 遊里 遊離<～酸・～塩素>
 <理・工> 有利 有理<～単位
 系・～数><工・理・数>
 ユーリョウ 有料 遊猟 優良
 ユーレイ 幽霊 優麗 雄麗

ユーワ 融和 *有和<~政策>
 ユエン 油煙 由縁 *所*以
 ユキ 雪 行き *桁<裁>
 ユキズリ 行き*摩り 雪づり(*釣)<建>
 ユキチガイ 行き違い (行き*交い)
 ユケ 湯気 *遊化<仏>
 ユシ 油脂 油紙 諭旨 諭示
 ユスル 播する 輸する<~籌を~>
 ユズル *弓弦 譲る
 ユセイ 油性<理> 油井<鉱> 輸精
 <~管><動>
 ユソー 油*槽 油送 油層 輸送
 ユリ 揺り<~いす><建> ^百^合
 ユリョー 油糧<~資源> 油量<~計>
 <工>
 ユルイ 油類 *緩い
 <ヨ>
 ヨ 世 夜 余
 ヨイ *宵 余威 酔い 良い
 ヨー 用 要 洋<~の東西を問わ
 ず> 幼<~にして> *沓<~
 として> 陽<陰に~に> *瘍
 <医> 葉<動・数>
 ヨーイ 用意 容易
 ヨーイン 要員 要因 葉印<植>
 ヨーエキ 要役 用益<~物権・~部分>
 <法・建> *徭役<史> 溶液
 <理> 養液
 ヨーエン *妖*艶 *遙遠
 ヨーカ 養家 洋貨 *妖化 溶化<~
 磁石><工> 八日 よう(*沃)
 化<~メチル><理> 溶加<~
 材><工・建> 葉化<植>
 ヨーガ 洋画<西洋画・西洋映画> 陽
 画<~受信・~陰画><工> 幼
 芽<植> 葉芽<植>
 ヨーカイ *妖怪 *容喙 溶解<理・鉱・

工> 溶灰<~式發生炉><理>
 ヨーガク 洋楽 洋学
 ヨーカン 洋館 羊*羹
 ヨーキ 容器 用器<~画><建>
 *妖気 *妖*姫 揚棄<哲> 陽
 気
 ヨーギ 容儀 要義 容疑
 ヨーキュー 要求 *楊弓 溶球<~反
 応><理>
 ヨーギョ 幼魚 養魚
 ヨーキョク 陽極<理・鉱・工> 謡曲
 ヨーキン 洋琴 用金 溶菌<~素>
 <動> 洋菌<農>
 ヨーグ 用具 要具
 ヨークン 幼君 庸君
 ヨーケイ 養鵝 洋鵝 幼形<~成熟>
 <動・植>
 ヨーゲキ *遊撃 要撃 葉げき(*隙)
 <植>
 ヨーケン 用件 要件 洋犬
 ヨーゲン 要言 *妖言 謡言 揚言 用
 言<言>
 ヨーゴ 擁護 養護 用語 要語 洋語
 用後
 ヨーゴー 要綱 要項 要港 陽光 洋行
 溶鉱<~炉><鉱・工>
 ヨーサイ 洋裁 庸才 要*塞
 ヨーザイ 用材 溶材<~装入><鉱>
 溶剤<理・建・工>
 ヨーシ 用紙 洋紙 容姿 容止 要旨
 要し 擁し 陽子<理・工> *夭
 死 養子
 ヨージ 幼児 幼時 要事 用事 用字
 洋字 *楊枝
 ヨーシキ 様式 洋式 要式<~契約・~
 証券>

ヨーシツ 洋室 溶質<建・鉱・工>
 ヨーシヤ 幼者 容赦 用捨
 ヨーシュ 洋酒 洋種 幼主
 ヨージュ *榕樹 陽樹<建・農>
 ヨーショ 洋書 要所
 ヨージョ 養女 幼女 *妖女 容*恕 葉
 序<植>
 ヨーショウ 要衝 要償<~権> 要証
 <~事実> 幼少 葉しょう
 (*鞘)<植>
 ヨージョウ 洋上 養生 葉状<~莖>
 <植> よう(*雍)城<建>
 ヨーショク 要職 容色 洋食 養殖
 ヨーシン 葉身<植> 葉針<植> 要
 津 養親
 ヨージン 要人 用心
 ヨースイ 用水 揚水 幼穂<~形式期>
 羊水<生・動> 要水<~量>
 <農> 容水<~量><農>
 ヨースル 要する 擁する
 ヨーセイ 養成 養正 *妖精 *妖星 幼
 生<~生殖・~植物><動・植>
 葉性<~巻きひげ><植> 陽生
 <~植物><植> 要請 *夭*逝
 陽性<医・理> 溶性<~シリ
 カ><建> 溶製<~鉄・~鋼>
 <鉱・工> 溶成<~燐肥>
 <農>
 ヨーセキ 陽石 容積 葉跡<植>
 ヨーセツ *夭折 溶接<建・鉱・理・工>
 ヨーセン 用船<~契約><工> 用*箋
 溶銑<~法><鉱> 葉先<植>
 ヨーソ 要素 よう(*沃)素<~試法>
 <植・理> 養素<植>
 ヨーソー 様相 洋装
 ヨータイ 様態 溶体<~化处理><鉱>
 腰帶<動>

ヨーダイ 容体 様体
 ヨータン 用炭 揚炭<~機><工>
 ヨーダン 要談 用談 溶断<工> 揚彈
 <~機><工>
 ヨーチ 用地 要地 揚地 幼稚
 ヨーチク 養畜<~経営> 用畜<~飼
 養>
 ヨーチョウ 揚超<政府資金引揚超過>
 羊腸 *膺懲 *竊*窶
 ヨーテン 要点 陽転<医>
 ヨート 用途 養*兎
 ヨード 用度<~課> 用土 ヨード
 <~ホルム(iodoform)><理>
 ヨートー 羊頭<~狗肉> 揺*蕩
 ヨーニン *傭人 用人<史> 容認 *遙
 任<史>
 ヨーヒン 用品<図> 洋品
 ヨーフ 養父 *妖婦 用布<裁>
 ヨーブ 要部 腰部 洋舞
 ヨーヘイ *傭兵 *傭*聘 用兵<~作
 戦><軍> 葉柄<植>
 ヨーベン 用便 用弁
 ヨーホー 用法 用方 養*蜂
 ヨーボー 容*貌 要望
 ヨーマ 洋間 *妖魔 洋席<農>
 ヨーム 用務 要務
 ヨーメイ 幼名 用命
 ヨーヤク 要訳 要約 踊躍 漸く
 ヨーヨー 漸う 洋々<前途> 揚々
 <意気> 溶々<~として流れ
 る> 陽葉<植>
 ヨーラン 要覧 揺*籃
 ヨーリ 要理 養*鯉 溶離<~液>
 <鉱・理>
 ヨーリョウ 容量 用量 要領 養料
 ヨーレイ 用例 幼齡
 ヨエイ 余榮 余映 余*裔

ヨカ 余暇 予科
 ヨカン 予感 余寒
 ヨギ 余技 夜着 余儀<～ない>
 ヨク 欲 翼 良く
 ヨクアツ 抑圧 翼厚<～比><工>
 ヨクシュ 翌秋 翌週
 ヨクジョ 欲情 抑情 浴場 *沃*饒
 翼状<～筋><動>
 ヨクスル 浴する *善くする
 ヨクセイ 抑制 翼威
 ヨクチャ 翌朝 浴長<理>
 ヨクネン 翌年 欲念
 ヨクヤ *沃野 翌夜
 ヨクヨ 抑揚 浴用
 ヨクヨク *善く*善く 翼々<小心>
 ヨケイ 余慶 余計
 ヨケン 予見 与件<哲>
 ヨゲン 予言 余弦<～法則><数・
 工>
 ヨコ 余光 余香 予行 余効<理>
 ヨゴエ 夜声 夜越え
 ヨコク 与国 予告
 ヨゴト *寿*詞 夜*毎
 ヨザイ 余罪 余財
 ヨシ 由 *葦 善しく～悪し>
 ヨジ 余事 予示
 ヨシュ 余臭 予習
 ヨジョ 余情 余剩
 ヨシル *振る *禁じる
 ヨシン 予審 与信<～業務> 余震
 <天>
 ヨジン 余*燼 余人
 ヨセ *寄*席 よせ<建>
 ヨセイ 余生 余勢
 ヨセンカイ 予*饞会 予旋回<工>
 ヨタク 余沢 預託<～金>
 ヨダツ 与奪<生殺～の権> *彌立つ

<身の毛が～>
 ヨダン 余談 予断 四段
 ヨチ 余地 予知 与知
 ヨツカ 四日 翼下
 ヨト 与党 余党 夜盗
 ヨトク 余徳 余得
 ヨネツ 余熱 予熱<～炉><鉦・工>
 ヨネン 余念<～なく> 四年 予燃
 <～室><工>
 ヨビ 予備 呼び<～水>
 ヨブ 余部 呼ぶ
 ヨブン 余聞 余分
 ヨホ 予報 余芳
 ヨボ 与興望 予防
 ヨボロ *囑 *丁<史>
 ヨム 読む (*詠む)
 ヨメ 嫁 夜目
 ヨメイ 余命 四名
 ヨヨ 代々 夜々 よよ<～と泣く>
 ヨリ 余利 四里 *縫り<～をもど
 す> 寄り<相撲> *選り<～
 取り>
 ヨル 夜 寄る *抛る 因る *選る
 *縫る
 ヨレル 寄れる *選れる *縫れる
 ヨワ 余話 夜*半
 ヨワイ *齢 弱い
 <ラ>
 ラーメン *老*麵 ラーメン<rahmen>
 <理・工>
 ライ 雷 *瀨 ライ<～麦><農>
 ライエン 来援 来演
 ライカ 雷火 来夏
 ライガ 来賀 来*駕
 ライカン 来観 来館 来簡 雷管<鉦・
 工・理>
 ライコー 来校 来航 来*寇 来貢 来

光<御へ> 雷こう(*永)<理>
 ライシ 来旨[○]礼紙
 ライシヤ 来社 来車
 ライシュ 来週 来秋 来襲 来集
 ライジョー 来場 来状
 ライシン 頼信<紙> 来信 来診
 ライター ライター<lighter> ライター<writer>
 ライチャー 来朝 来聴 雷鳥<動物名>
 ライデン 雷電 来電
 ライト ライト<light><サーチへ>
 ライト<light><ブルー・ラ
 ンチ> ライト<right><運>
 ライドー 来同 雷同<付和へ> らい
 (°礼) 堂<建>
 ライホー 来訪 来報
 ライメイ 雷鳴 雷名 来命
 ラク 楽 酪<製品>
 ラクイン *烙印 落^x胤
 ラクゴ 落語 落^x伍
 ラクシュ 落首 落手
 ラクショー 落照 楽勝 落掌
 ラクセイ 落成<式> 落勢<経>
 ラクセキ 落石<止め><工> 落籍
 ラクチャー 落丁<図> 落潮<経>
 ラクハク 落^x魄 落^x剥
 ラクヨー 落葉 落陽
 ラシン 裸身 羅針<盤>
 ラセン らせん(*螺旋)<軸・鉄
 筋><理・工> 裸線
 ラチ *埒 *拉致 裸地<天>
 ラッカ 落花 落下 落果<農> ラッ
 カ<盤><工>
 ラッカカン 楽観 落款<書画>
 ラック ラック<lac><建> ラック
 <rack><レール・駆動ジ
 ャッキ><工・建>

ラッセル ラッセル<車> ラッセル
 <へが聞こえる><医>
 ラッチ *拉致 ラッチ<latch><工>
 ラフ 裸婦 ラフ<rough>
 ラマ ラマ<lama><宗> ラマ
 <llama><動物名>
 ラム ラム<rum><酒> ラム
 <rhм (レントゲン時メートル単
 位)><理>
 ラン 乱 欄 濫<にわたる>
 *蘭 ラン<run><ロング・2
 へホーム><映画・野球>
 ランカク 卵かく(*殻)<動> 卵核<包><動> 濫獲
 ランシ 乱視<理> 乱刺<式(接
 種)><医> 卵歯<動>
 ランシン 乱心 乱臣
 ランセイ 乱世 濫製 卵生<動>
 ランダ 乱打 *懶惰
 ランタン ランタン<lantern><建>
 ランタン<lanthanum><理>
 ランチ ランチ<launch> ランチ
 <lunch>
 ランチャー 乱丁 乱調<工>
 ラントー 乱闘 *蘭塔<仏>
 ランバツ 乱髪 乱発(濫発)
 ランマ 乱麻<快刀へを断つ> 欄間
 <リ>
 リ 利<地のへ> 理<へに合う>
 リーダー リーダー<leader><クラスの
 へ> リーダー<leaders><印
 刷> リーダー<reader><を
 読む・マイクロへ>
 リード リード<lead><する> リ
 ード<Lied><音> リード
 <reed><音>
 リエキ 利益 離液<理>

リエン 離縁 *梨園
 リカ 理科 理化<~学> *俚歌
 *李下<~に冠を正さず>
 リカイ 理解(理会) 離解<動・理>
 リカン 離間 *罹患 理観<仏>
 リキ 力 利器
 リキソー 力走 力*漕
 リキト 力闘 力投<野球>
 リキョー 離京 離郷
 リクショー 陸相 陸将
 リクトー 陸島<地> 陸稻<農>
 リケン 利権 利剣
 リゲン 里言 *俚*諺 利源<~式配当
 方法><経>
 リコー 理工<~科> 履行 利口 利
 巧
 リコン 離婚 利根
 リジ 理事 *俚耳<~に入り易い>
 リショー 離床 離礁 利生<仏>
 リショク 利殖 離職
 リス 離州 *栗*鼠
 リスイ 利水 離水
 リセイ 理性 離生<~子房><植>
 リセン 離船 履踐
 リソー 理想 離層<植・理>
 リゾク 里俗 *俚俗
 リツ 率 律<音>
 リッカ 立夏 立華<華道>
 リッケン 立憲 立件<~送致>
 リッコー 立后 力行 陸行
 リッコク 立国 *六国<史>
 リッシ 立志 律詩<文> 律師<仏>
 リッシュー 立秋 律宗<仏>
 リツゾー 立像 律蔵<仏>
 リットー 立党 立冬
 リッポー 立法 立方<~品系・~根>
 <鉦・数>

リテイ 里程 *犁底<~盤><農>
 リト 利刀 離島 離党
 リネン 理念 リネン<linen><~
 装><図・理>
 リハツ 理髮 利発
 リャクショー 略章 略称
 リュー *龍 粒<鉦>
 リューアン 柳暗<~花明のちまた> 硫
 安<~堆肥><農>
 リューカ 流下 硫化<鉦・理>
 リューカイ 流会 粒界<鉦>
 リューカン 流汗 流感 粒間<~割れ・
 ~腐食><工・鉦> 流管<理
 ・工>
 リューガン *龍顔 *立願 *龍眼<植物
 名>
 リューキ 流期<質流れ> 隆起 硫氣
 <~孔><鉦>
 リューコー 流行 隆興
 リューシュツ 流出 留出<~物><理>
 リューショク 留職 粒食
 リューセイ 流星 隆盛 流性<~学>
 <工>
 リューセキ 流積<工> 流跡<~線>
 <工>
 リューソク 流速 留速<理> 流束
 <理>
 リュータイ 隆替 留滞 流体<~力学・
 ~圧力><理・建・工>
 リューダン 流弾 りゅう(*榴)弾<軍・
 工>
 リューチャー 流*暢 留鳥<動> 流潮
 <~航法><工>
 リュード 流土<鉦> 粒度<理・鉦・工>
 リュート *龍燈 流燈<~会> *龍頭
 <~蛇尾>
 リュービ 隆鼻<~術> 柳*眉

リューボク 流木 °立木<〜登記><法>
 リューヨ 流用 留用
 リューリュ 粒々<〜辛苦> 隆々<〜
 たる筋肉>
 リューリョ °瀏°亮 流量<〜計・〜係
 数><鉦・建・理・工・天>
 リューレイ 流麗 °立礼<茶の湯>
 リューロ 流路<工> 流露
 リョー 里謠 理容<〜師> 利用 利
 養
 リョー 料量 寮 漁 獵 糧 領
 陵 °稜 涼<〜を求める> 了
 <〜とする> 両 良
 リョーアン 兩案 良案 °諒°闊
 リョーエン 良縁 °遼遠<前途〜>
 リョーカ 良家 良貨 寮歌 良化
 リョーカイ 領海 兩回 了解 領会 (領
 解)
 リョーカン 獵官 僚官 僚艦 量感 漁
 閑<〜期>
 リョーガン 兩岸 兩眼
 リョーキ 漁期 獵期 涼氣 量器 良器
 僚機 獵奇
 リョーケイ 良計 量刑
 リョーケン 兩鼎 兩件 料°簡 (量見)
 獵犬
 リョーコ 兩°虎 °龍°虎 良°賈
 リョーコー 良港 兩校 良好 兩向<〜
 性格><心>
 リョーサイ 良妻 良才
 リョーザイ 良材 料材 良劑
 リョーシ 兩氏 漁師 獵師 兩市 兩誌
 兩紙 良師 料紙 量子<〜化>
 <理・工>
 リョージ 領事 兩次 療治 °令旨
 <史>
 リョーシヤ 兩者 兩社 寮舍

リョーシュ 領主 良主 良酒 良種
 リョーシュ 領°袖 涼秋 領収
 リョーショ 良書 獵書 兩所
 リョーショ 兩省 兩相 良相 良將
 了承 領承 領掌
 リョーショク 糧食 獵色 兩色<〜燈>
 <工>
 リョーシン 兩親 良心
 リョージン 獵人 良人
 リョースイ 領水 量水<〜タンク・〜
 標><建・工>
 リョースル 了する 領する
 リョーセイ 寮生 兩°棲<〜動物> 兩
 性<〜世代・〜花><動・植>
 リョーセツ 兩説 良説
 リョーセン 僚船 獵船 °稜線
 リョーゼン 兩全 °瞭然<一目〜>
 リョーソク 兩足 兩側
 リョーゾク 良俗 領屬
 リョーチ 領地 料地 兩地 良知 了知
 量地 領置<法>
 リョーテイ 料°亭 涼°亭 僚艇 量定
 リョード 領土 兩度
 リョートー 兩党 兩頭<〜フライス盤・
 〜船・〜ひも><工> 兩刀
 兩統 °龍頭<〜鵠首><史>
 兩透<〜性><植> りょう
 (°遼) 塔<建>
 リョードー 糧道 兩道 領導
 リョートク 兩得<〜拳〜> 了得 (領得)
 リョーバ 獵場 漁場 良馬 料馬 兩刃
 リョーヒ 寮費 良否
 リョーフー 涼風 良風
 リョーブシ 領分 兩分
 リョーボ 寮母 陵墓
 リョーホー 療法 良法 兩方
 リョーボク 料木 良木 °梁木<体育>

リョーミン 良民 領民
 リョーユー 良友 僚友 療友 両雄 領有
 リョーヨー 両様 両用 療養
 リョーリ 料理 良吏
 リョーリツ 料率<～算定法> 両立
 リョーリョー 両々<～相まって> *寥々<～たる> *稜々
 リョクソー 緑草 緑そう(*藁)<～類>
 <植・工>
 リョシュエ 旅愁 虜囚<～の辱しめ>
 リョテイ 旅程 旅*亭
 リン 鈴 輪<植> りん(*隣)<～銅><鉦> 厘
 リンカ 隣家 輪禍 りん(*隣)化<～水素><理>
 リンカイ 臨海 りん(*隣)灰<～石>
 <鉦> 臨界<～温度・～速度・～圧><鉦・理・工>
 リンカン 林間 臨監 輪換<田畑>
 輪*姦
 リンキ 臨機 *恪気
 リンギョー 林業 輪業<自転車販売業>
 リンク リンク<rink><スケート>
 <運> リンク<link><鉦・工> リンク<links><ゴルフ>
 <～>
 リンケイ 輪形 *隣形 りん(*隣)茎
 <植>
 リンコー 隣交 隣好 臨港<～施設>
 <工> 臨幸 輪講 りん(*隣)
 鉦<鉦> りん(*隣)光<理・工> 輪*溝<～施肥><農>
 リンサン 林産 りん(*隣)酸<理>
 リンシ *綸旨 臨視 *淋糸<医>
 リンシツ 隣室 *淋疾
 リンシヨ 臨床 輪唱

リンジョー *隣状 輪状<～ゲート・～集散花序><理・植> 臨場
 リンセイ 林政 *稟請 輪生<植>
 リンセキ 隣席 臨席
 リンセン 林泉 臨戦<～体制>
 リンソー 林相 輪そう(*藻)<～類>
 <植>
 リンチ 隣地 臨地 林地 リンチ
 <lynch>
 リンドー 林道 *龍*胆
 リンモ 厘毛 りん(*隣)毛<植>
 リンリ 倫理 *淋*漓<流汗>
 リンリン りんりん<～と鳴る> *凛々
 <勇氣>
 <ル>
 ルイ 類 累<～を及ぼす> 罌<～を摩す> *誅<～を賜わる>
 ルイ<～十四世式><建>
 ルイエン 類*苑 類縁<動・植>
 ルイカ 累加 類化 類火 類歌
 ルイケイ 類型 累計
 ルイサン 類*纂 累算
 ルイジ 類字 類似 累次<～積分>
 <数>
 ルイジュ 類*聚 類從
 ルイシン 累進 罌審<野球>
 ルイダイ 累代 類題
 ルイハン 類伴 類版 累犯<法>
 ルート ルート<route> ルート
 <root><建・数・工>
 ルジュツ *屢述 *縷述
 ルセツ 流説 *縷説<～を要しない>
 <レ>
 レイ 例 礼 靈 零 レイ<lei>
 レイイ 靈位<～点・～法・～線>
 <工> 靈威 靈異
 レイカ 冷菓 隸下 靈化 零下

レイカイ 例会 例解 霊界 冷塊<理>
 レイガイ 例外 冷害<天・農>
 レイカン 靈感 冷汗 冷間<～圧延・～
 もろさ・～圧縮強さ・～加工>
 <鉦・理・工>
 レイキ 冷氣 靈氣 靈鬼 *瘴氣 例
 規 励起<～子・～電圧><理・
 工>
 レイグー 冷遇 礼遇
 レイケイ 令兄 令*閨 零系<数>
 レイゲン 例言 靈驗 麗言 冷厳
 レイコー 靈光 励行
 レイコク 例刻 冷酷
 レイサイ 例祭 零碎 零細
 レイシ 令嗣 令姉 麗姿 令旨 例示
 *荔枝<植物名>
 レイジ 零時 例示 励磁<～器・～電
 流><鉦・理・工>
 レイシキ 礼式 例式
 レイシツ 令室 靈室 麗質
 レイシャ 靈車 靈舎
 レイショ 隸書 令書<法>
 レイショウ 例証 冷笑 冷床<農>
 レイジョウ 礼状 令状<法> 令嬢 靈
 場 礼讓
 レイショク 冷色 令色<巧言～>
 レイジン 麗人 *伶人
 レイスイ 冷水 靈水
 レイスル 令する 隸する
 レイセイ 令婿 励精 励声<～一番>
 冷静
 レイセツ 礼節 例説 冷接<～点>
 <鉦・理・工>
 レイセン 冷泉 靈泉 冷戦
 レイゼン 靈前 冷然
 レイソー 靈草 礼装 礼奏
 レイゾー 靈像 冷蔵<～器><理>

レイチ 靈地 靈知
 レイチャー 靈長<万物の～> 靈鳥
 レイテン 零点 冷点 礼典 礼*奠
 レイデン 礼電 靈殿
 レイニク 冷肉 靈肉
 レイハイ 靈*牌 礼拝 零敗
 レイブン 例文 礼文 令聞
 レイヘイ 例幣 礼*聘
 レイホー 礼法 礼砲 靈峰 靈宝
 レイボー 礼帽 冷房
 レイボク 零墨 靈木
 レイメイ 令名 *黎明
 レイヨー 礼容 麗容
 レーキ レーキ<lake><建> レーキ
 <rake><～分級機><鉦>
 レース レース<lace> レース
 <race><運>
 レキシ 歴史 *襟死
 レキセイ 歴世 歴青<～炭・～液>
 <鉦・理・工>
 レキネン 歴年<～の辛苦> 暦年
 レキホー 曆法 曆訪
 レザー レザー<leather><～クロ
 ス> レザー<razor>
 レツ 列 劣<～調和関数><数>
 レッカ 烈火 劣化<理・工>
 レッキ 列記 れっき<～とした>
 レッセイ 劣勢 劣性<～突然変異・～
 の><植・動> 列世 列聖
 レッソ 烈祖 列祖
 レットー 列島 劣等
 レップ 烈婦 烈夫
 レバー レバー<liver><牛の～>
 レバー<lever><～ハンドル>
 <建>
 レビュー レビュー<review><ブック
 ～> レビュー<revue><～ガ

ール>

レン *聯<詩歌> 連<図・植>

レンカ 恋歌 *葦下 廉価

レンガ *煉*瓦 連歌<文>

レンカン 連関 連環<互助~> 連管

<音>

レンク 連句<俳諧> *聯句<漢詩>

レンケイ 連係<~関係> 連携

レンケツ 連結 廉潔

レンゴ 連語<言> 連碁<囲碁>

レンコー 連衡<合従~> 連行 鍊鋼

<鉦>

レンサイ 連載 連載<農>

レンシ 連枝 廉士

レンジ レンジ<range><建> 連子

<~窓><建>

レンセイ 練成 鍊成 廉正 連成<~振

動・~圧力計><建・工>

レンソー 連想 連奏 連装<~砲>

<軍> 連窓<建>

レントイ 連帯 連隊<軍>

レンダイ *葦台 *蓮台<仏> 連台

<鉦>

レントン 練炭 連*檐<~戸数>

レンチュー 連中 *簾中<史>

レンパ 連*溺 連破

レンバイ 連俳<文> 連敗

レンボー 連邦 連峰

レンメイ 連名 連盟

レンルイ 連類 連累

<ロ>

ロ *鋸 *櫓 炉<鉦・建>

ロー *牢 楼 *驛 労<~に報い

る> *廊<仏> ろう(*蠟)

<~揚げ・~タブレット><工・

植・図・理> ろう(*蠟)<建>

ローエイ 漏*洩 朗詠

ローオー 老王 老*嫗 老翁 老*鷺

ローカ 廊下 *弄火 老化<~試験>

<勤・理・工> 老花<~授粉>

<農>

ローカイ 浪界<浪曲界> 老*獺

ローガン 老眼 老顔

ローキュー 老朽 *籠球

ローキョ *陋居 *籠居

ローギン 労銀 朗吟

ローク 老*軀 労苦

ローケン 老犬 *陋見

ローコ 老*虎 *牢固(*牢*乎)

ローコー 老公 *陋*巷<~に窮死> 老

巧

ローコツ 老骨 *鏝骨

ローサイ 老妻 労災<~保険>

ローサク 労作 *陋策

ローシ 労使<~関係> 労資<~協調

主義> *牢死 老死 老師 浪

士

ローシヤ *驛者 老者 *牢舍

ロージャク 老若 老弱

ロージュ 老儒 老樹

ローシュ *陋習 老醜

ロージュ 郎従 老中<史>

ローショ 労相 老将 老松 老少<~

不定> 朗*誦 朗笑

ロージョ 老嬢 楼上 *籠城

ローシン 老身 老臣 老親

ローズ ろおず<~物> ローズ<~合

金(Rose's alloy)><鉦>

ロースイ 漏水 老衰

ロースル *弄する<詭弁を~> 労する

<身心を~> *驛する <耳を

~>

ローセイ 老生 老成

ローソー 老僧 [労相] 老壮

ローダイ 老台 楼台
 ロータク *陋宅 浪宅
 ロート 漏斗<理> ロート<~油>
 <理>
 ロードー 労働 郎等
 ローノー 老農 労農<~党>
 ローバ 老婆 老馬
 ローハイ 老輩 老廃<~物> 老*憊
 ローバイ 老梅 *蠟梅 *狼*狼
 ローヒ 老*婢 浪費
 ローフ 老父 老夫 老婦 *蠟布<農>
 ローヘイ 老兵 労兵
 ローボク 老木 老*僕
 ローム 労務<~者> ローム<loam>
 <~層><建・地>
 ローヤ *牢屋 老*爺
 ローユー 老雄 老友 老優
 ローレン 老練 労連<労働組合連合>
 ローロー 浪々<~の身となる> 朗々
 ロク 六<~三制> *禄<~をは
 む> ろく<~でもない> ろく
 (*陸)<~屋根><建>
 ロクゴー 六号 六合
 ロクジ 六時 六字 六次 録事
 ロクブ 六部<仏> 六分<~板>
 <建>
 ロクロク *碌々<~たる人物> ろくろ
 <~考えない>
 ロケット ロケット<rocket> ロケット
 <locket><裝飾>
 ロジ 路地 露地<~栽培> 路次
 ロショー ろ(*濾)床<鉦・工> 炉床
 <~ジャケット><鉦> 路床
 <~土><工>
 ロセン 路銭 路線<~測量・~防火
 地域><工・建>
 ロック ロック<~アウト(lock-out)>

ロック<rock><~ガーデン>
 <建>
 ロッポー 六法<~全書> 六方<演劇>
 ロテイ 露呈 露帝 路程<~計>
 <工> 炉底<~部><鉦>
 ロテキ *蘆笛 *蘆*荻
 ロテン 露店 露天 露点<鉦・建・天
 ・理・工>
 ロトー 路頭<~に迷う> 露頭<鉦>
 炉頭<~部><鉦> 炉筒<工>
 ロバン 路盤<鉄道><工> 露盤
 <建> ろ(*濾)板<理>
 ロヘン 炉辺<~閑話> 路辺
 ロメン 露面<鉦> 路面<~電車・~
 鉄道・~処理><鉦・工>
 ロヨー 路用 炉用<~時炭>
 ロンキュー 論究 論及
 ロンケツ 論決 論結
 ロンコー 論功<~行賞> 論考
 ロンソー 論*叢 論争
 ロンダン 論壇 論断
 ロンポー 論法 論*鋒<~が鈍る>
 <ワ>
 ワ 輪 和<数>
 ワカイ 和解 若い
 ワカギ 若木 若氣
 ワガク 和学 和楽
 ワカメ 若芽 若*布
 ワカン 和漢 和*姦
 ワキ 和氣<~あいあい> *脇 沸
 き<~が早い>
 ワキメ *脇目 *腋芽
 ワク *杵 沸く *湧く
 ワコー 和光<~同座> *倭*寇<史>
 ワザ *業(*技) わざ<~と>
 ワサン 和算 和賛<仏>
 ワシ 和紙 わし<代名詞> *鷲

ワセ °早°稲 °早°生
 ワセイ 和製 和声<~学><音>
 ワセン 和船 和戦<~両様>
 ワタ 綿 °腸
 ワタシ 渡し わたし<代名詞>
 ワタル 渡る *亘る<久しきに~>
 ワット ワット<watt> ワット
 <vat><建>
 ワビ *侘び *詫び
 ワビゴト *侘び言 *詫び言
 ワビル *侘びる *詫びる
 ワヘイ 和平 話柄
 ワヤク 和訳 和約
 ワヨー 和洋<~折衷> 和様<建>
 ワラウ 笑う (*嗤う)
 ワラビ *藁火 *蕨
 ワル 悪 割る
 ワレ 我 割れ
 ワン 湾 *碗 (*碗)

国立国語研究所刊行書

国立国語研究所年報

1～11 (昭和24年度～昭和34年度)

国立国語研究所報告

- 1 八丈島の言語調査
- 2 言語生活の実態 (秀英出版刊)
—白河市および付近の農村における—
- 3 現代語の助詞・助動詞
—用法と実例—
- 4 婦人雑誌の用語
—現代語の語彙調査—
- 5 地域社会の言語生活 (秀英出版刊)
—鶴岡における実態調査—
- 6 少年と新聞
—小学生・中学生の新聞への接近と理解—
- 7 入門期の言語能力
- 8 談話語の実態
- 9 読みの実験的研究
—音読にあらわれた読みあやまりの分析—
- 10 低学年の読み書き能力
- 11 敬語と敬語意識
- 12 総合雑誌の用語 (前編)
—現代語の語彙調査—
- 13 総合雑誌の用語 (後編)
—現代語の語彙調査—
- 14 中学年の読み書き能力
- 15 明治初期の新聞の用語
- 16 日本方言の記述的研究 (明治書院刊)
- 17 高学年の読み書き能力
- 18 話しことばの文型(1)
—対話資料による研究—
- 19 総合雑誌の用字

国立国語研究所資料集

- 1 国語関係刊行書目(昭和17～24年)
- 2 語彙調査
—現代新聞用語の一例—
- 3 送り仮名法資料集
- 4 明治以降国語学関係刊行書目 (秀英出版刊)

国立国語研究所論集

- 1 ことばの研究

国 語 年 鑑

(昭 和 29 年 版) (秀英出版刊)

(昭 和 30 年 版) (秀英出版刊)

(昭 和 31 年 版) (秀英出版刊)

(昭 和 32 年 版) (秀英出版刊)

(昭 和 33 年 版) (秀英出版刊)

(昭 和 34 年 版) (秀英出版刊)

(昭 和 35 年 版) (秀英出版刊)

高 校 生 と 新 聞	国立国語研究所 共著	(秀英出版刊)
	日本新聞協会	
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 共著	(金沢書店刊)
	国立国語研究所	

昭 和 36 年 3 月

国 立 国 語 研 究 所

東京都千代田区神田一ツ橋1-1
電話九段 (331) 代表 4 2 9 5

U D C 4 9 5 . 6 : 4 1 3
N D C 8 1 4 . 6

969

JAPANESE HOMONYMY AND ITS PROBLEMS

CONTENTS

FOREWORD

I GENERAL OUTLINE

II SIMPLE HOMONYMY AND ITS CLASSIFICATION

III COMPOUND HOMONYMY AND ITS CONSTRUCTION

1° COMBINATION OF HOMONYMIC WORD-COMPONENTS

2° COMBINATION OF HOMONYMIC WORDS

IV OTHER HOMONYMS

1° PROPER NAMES

2° ABBREVIATIONS

3° COMBINATION OF FREE FORMS AND BOUND FORMS

4° FOREIGN WORDS

5° OTHERS

V CONFUSION OF HOMONYMS IN THE TELETYPE BUSINESS

VI ANALYSIS OF CONFUSION FACTORS

CONCLUSION

LIST OF HOMONYMIC WORDS

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE

KANDA-HITOTUBASI, TIYODA, TOKYO

1961

「同音語の研究」正誤表

ページ	行	誤	正
6	5	……登録されるから、「十大事 件」は……	……登録されるが、「十大」は 登録されるはずがないから、「重 大事件」「十大事件」は……
21	8	つーぎの	つぎの
22	31	ともに一般語	ともに非一般語
24	27	向学：後学	C 向学：後学
42	22	複難	複雑
51	7 右	家：化 狂信家：狂信化	トル
58	17	Coat：Court	coat：court
95	23	無答率30%が	無答率が30%
129	4	異っている	異なっている
140	20 左	〈～に及ばず〉	〈～に及ばず〉
147	4 右	思威	恩威
147	9 右	音×溝〈理〉	音×溝
148	11 右	開眼	開 ^o 眠〈仏〉
156	14 左	×鏝	からみ(×鏝)
167	20 右	×鋸	きょ(×鋸)
216	24 右	スイスイ	セイスイ
224	17 左	〈～子官〉	〈～子宮〉
241	35 右	テンカイ	テンカン
243	9 左	ツンヨー	テンヨー
247	1 右	〔独壇〕	独壇
258	22 右	比準地	比準〈～地〉
276	11 左	メイスウ	メイスー
277	10 左	モクゲク	モクゲキ
286	17 右	×誅	×誅
287	22 右	曆訪	歴訪